

I 調査の概要



I 調査の概要

調査の概要

1. 調査の目的

本調査は、市民の生活の実態や本市での暮らしの課題について幅広く把握し、合志市における今後のまちづくりを進めていくために必要な基礎資料とすることを目的とする。

2. 調査設計

(1) 調査対象地域 合志市内全域

(2) 調査対象

市内に在住する18歳以上の男女 3,000人

(3) 調査対象者の抽出方法 住民基本台帳から無作為抽出

(4) 回収率

35.4% (回収数 1,064 件)

(5) 調査方法

郵送による配布、郵送及びWEBによる回収

(6) 調査期間

令和5年4月24日～令和5年5月10日

3. 本報告書の見方

(1) 図表中の「n」とは、回答総数を表している。

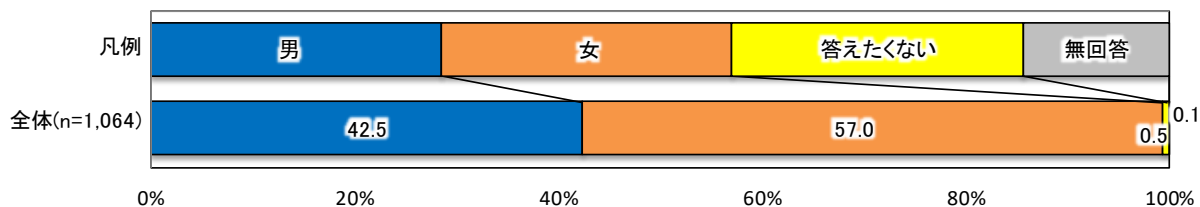
(2) 単一回答については、全て百分率(%)で算出し、小数点第2位を四捨五入しているため、合計値が100%にならない場合がある。

(3) 複数回答については、回答項目ごとに算出していることから、合計値が100%を超える場合がある。

4. 回答者の基本属性

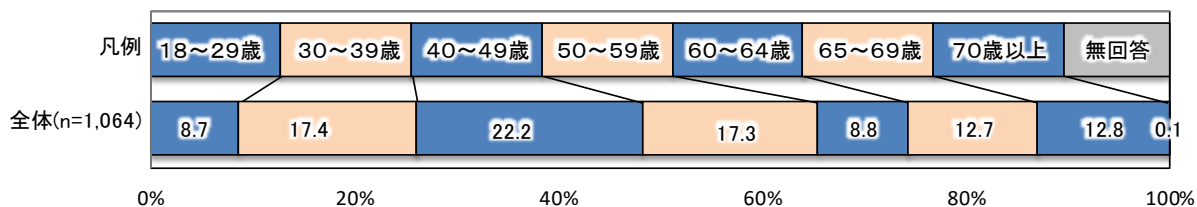
(1) 性別

- 「女性」が半数以上となっており、「男性」の約4割を上回っている。



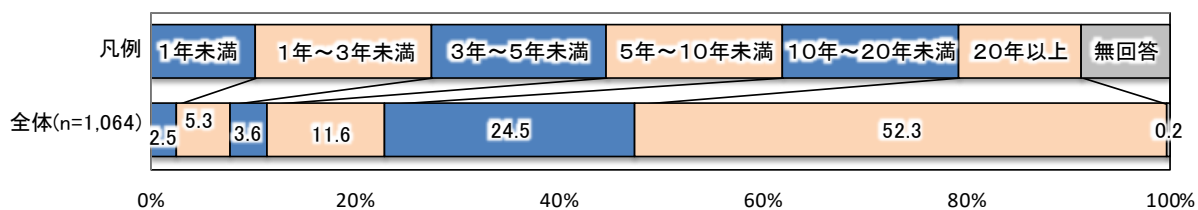
(2) 年齢

- 「40～49歳」が22.2%と最も多く、「30～39歳」が17.4%で続く。



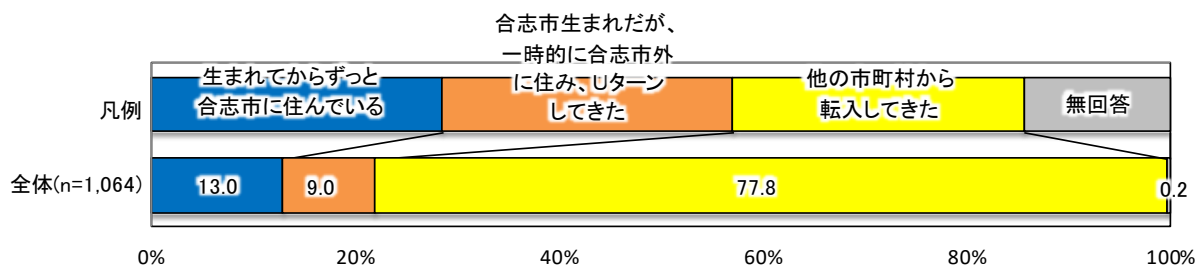
(3) 居住年数

- 「20年以上」が52.3%と半数を占めている。



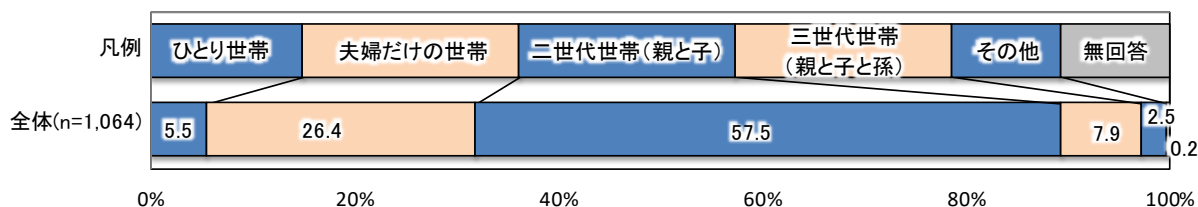
(4) 居住パターン

- 「転入」が8割弱となっており、「合志市（転出なし）」、「Uターン」がそれぞれ1割前後となっている。



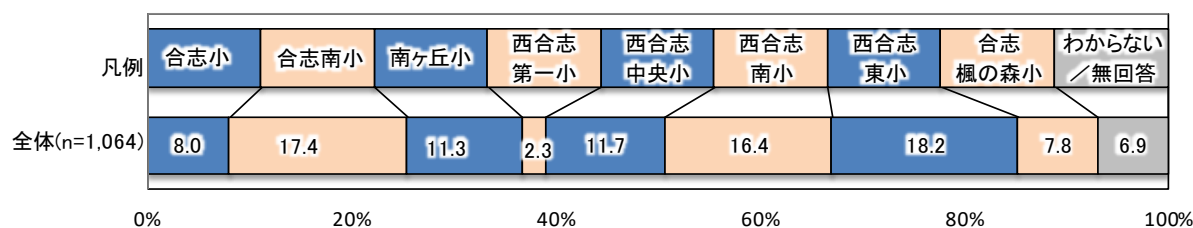
(5) 家族構成

- 「二世世代世帯（親と子）」が 57.5%と半数を超えており、次いで「夫婦だけの世帯」が 26.4%となっている。「ひとり世帯」「三世世代世帯（親と子と孫）」は1割未満となっている。



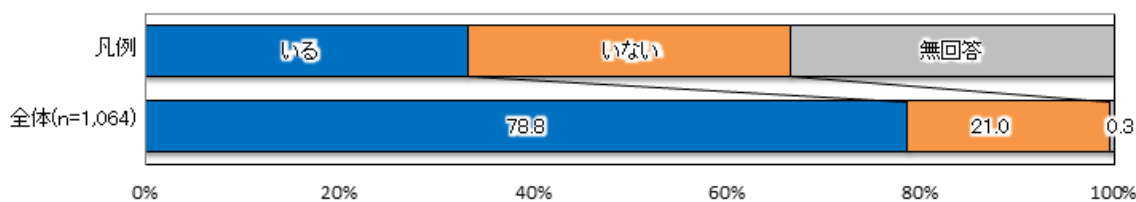
(6) 校区

- 「西合志東小」が 18.2%と最も多く、「合志南小」17.4%、「西合志南小」16.4% と続く。以下、「西合志中央小」11.7%、「南ヶ丘小」11.3%、「合志小」8.0%、「合志颯の森小」7.8%の順となっている。なお「西合志第一小」は 2.3%と少ないため、数値を見る際に注意が必要である。



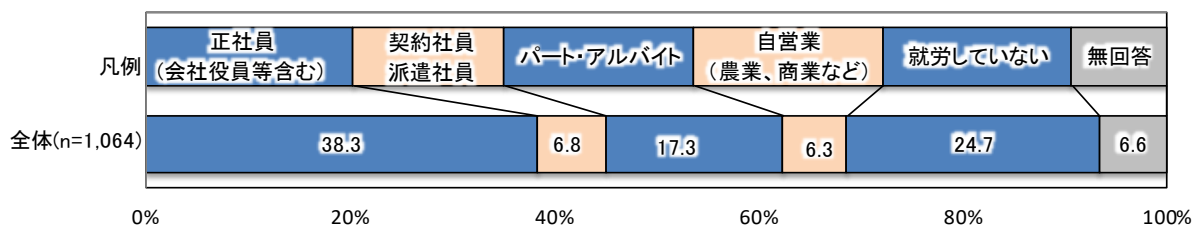
(7) 配偶者有無

- 配偶者が「いる」が 8割弱を占めており、「いない」は 21.0%となっている。



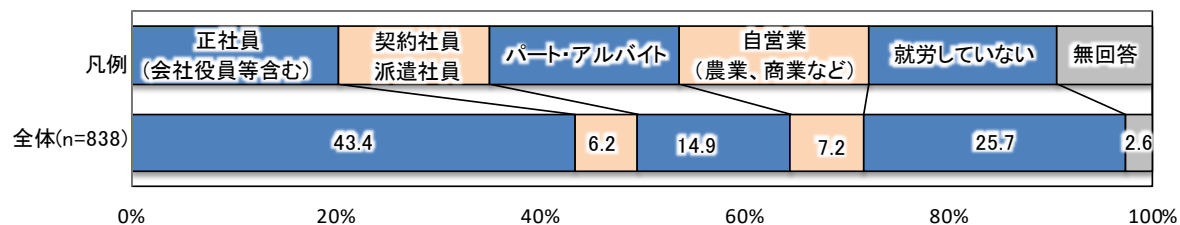
(8) 自身の職業

- 約7割が就労しており、「正社員」が 38.3%、次いで「就労していない」が 24.7%となっている。



(9) 配偶者の職業

- 配偶者がいる 838 人のうち、約 7 割が就労しており、配偶者の職業では「正社員」が 43.4%と最も多く、「就労していない」が 25.7%で続く。



<基本属性の比較>

		令和 5 年度調査 n=1,064	令和 4 年度調査 n=1,121	令和 3 年度調査 n=1,363	令和 2 年度調査 n=1,329	平成 31 年度調査 n=1,116
性別	男	42.5	40.6	40.8	43.2	43.1
	女	57.0	58.5	58.6	56.1	56.0
	答えたくない	0.5	0.4	0.3	0.6	0.5
	無回答	0.1	0.4	0.3	0.1	0.4
年齢	18～29 歳	8.7	7.4	9.7	10.1	8.6
	30～39 歳	17.4	19.0	16.7	16.2	15.9
	40～49 歳	22.2	21.8	20.8	21.3	20.9
	50～59 歳	17.3	16.1	15.6	15.5	14.2
	60～64 歳	8.8	9.1	9.6	10.1	12.9
	65～69 歳	12.7	11.3	12.5	11.4	13.7
	70 歳以上	12.8	15.1	14.7	15.5	13.5
	無回答	0.1	0.3	0.3	0.0	0.3
自分の職業	正社員	38.3	40.8	36.5	39.7	36.3
	契約・派遣社員	6.8	5.5	7.0	5.0	5.4
	パート・アルバイト	17.3	17.8	20.0	17.8	16.8
	自営業	6.3	6.8	7.0	6.0	6.6
	就労していない	24.7	27.6	28.0	30.1	33.9
	無回答	6.6	1.5	1.4	1.4	1.1
居住パターン	合志市 (転出なし)	13.0	10.3	10.1	23.4	22.7
	Uターン	9.0	9.5	10.3	76.4	76.9
	転入	77.8	80.1	79.3		
	無回答	0.2	0.2	0.3	0.2	0.4
居住年数	1 年未満	2.5	3.5	2.9	3.2	3.4
	1～3 年未満	5.3	4.6	5.8	5.7	4.0
	3～5 年未満	3.6	5.2	4.8	6.4	4.7

	5～10年未満	11.6	13.4	13.1	11.7	9.9
	10～20年未満	24.5	20.1	22.2	21.0	22.9
	20年以上	52.3	52.9	50.8	51.3	54.6
	無回答	0.2	0.4	0.3	0.7	0.4
校区	合志小	8.0	7.9	7.6	9.2	8.8
	合志南小	17.4	17.0	16.4	22.0	20.5
	南ヶ丘小	11.3	14.5	12.8	13.8	14.4
	西合志第一小	2.3	2.4	2.9	3.0	2.2
	西合志中央小	11.7	12.0	11.3	10.5	11.7
	西合志南小	16.4	16.5	17.2	16.9	14.2
	西合志東小	18.2	15.9	16.0	16.9	20.1
	合志楓の森小	7.8	8.7	7.3		
	わからない	6.9	5.3	8.5	7.8	8.1
家族構成	ひとり世帯	5.5	5.9	7.6	5.8	5.9
	夫婦だけ	26.4	26.4	25.6	25.6	28.1
	二世帯世帯	57.5	58.1	55.6	56.5	55.1
	三世帯世帯	7.9	7.2	7.7	8.2	7.6
	その他	2.5	2.2	3.1	3.1	3.0
	無回答	0.2	0.2	0.4	0.8	0.2
配偶者	いる	78.8	78.2	79.0	78.4	76.0
	いない	21.0	21.4	20.7	21.4	23.5
	無回答	0.3	0.4	0.3	0.2	0.5
配偶者の職業	正社員	43.4	44.6	42.7	40.3	37.7
	契約・派遣社員	6.2	5.0	5.3	4.7	5.3
	パート・アルバイト	14.9	15.6	12.9	16.6	15.2
	自営業	7.2	7.4	7.5	7.9	7.9
	就労していない	25.7	25.3	26.2	27.7	30.7
	無回答	2.6	2.1	5.4	2.8	3.2

※平成30年度は国勢調査結果と比較して、65歳以上の高齢者の割合が4.9%と極端に低く、若い年齢層の回答者が多かったことから、結果を比較する際には注意が必要である。

Ⅱ 調査結果

II 調査結果

日常生活について

1. 職場について

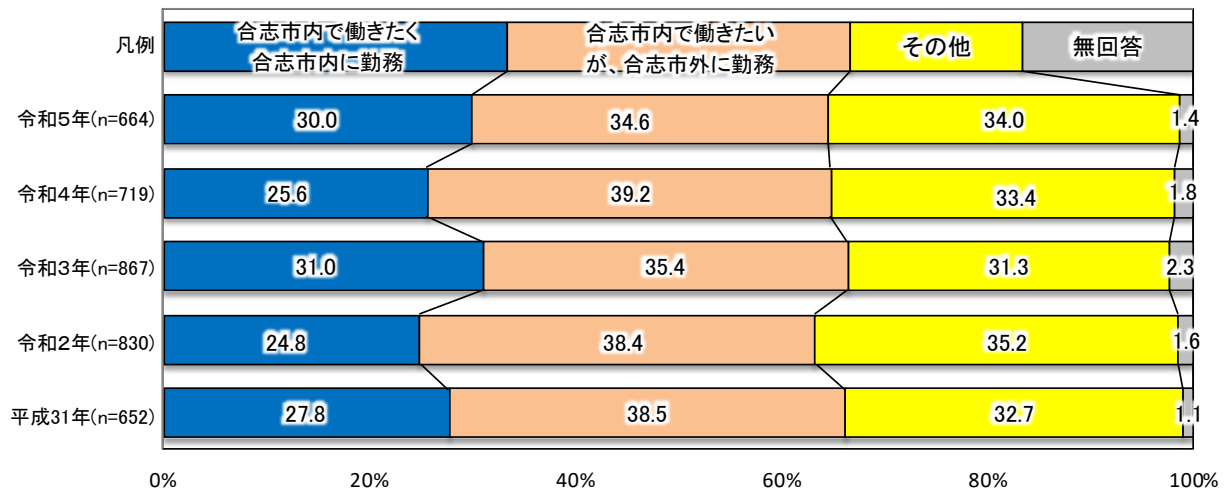
(1) 働く場所（問9）

あなたは、合志市内で働きたいと思いますか。また合志市内で勤務していますか。

自営業以外で働いている664人について、合志市内での就労意向と実際の勤務状況を尋ねたところ、合志市内で働きたいと思っている人（「合志市内で働きたいと思っており、合志市内に勤務している」＋「合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している」）は64.6%となっている。

しかしながら実際に市内に勤務している人の割合は全体の30.0%であり、市内で働きたいと思っている人の半数を下回っている。

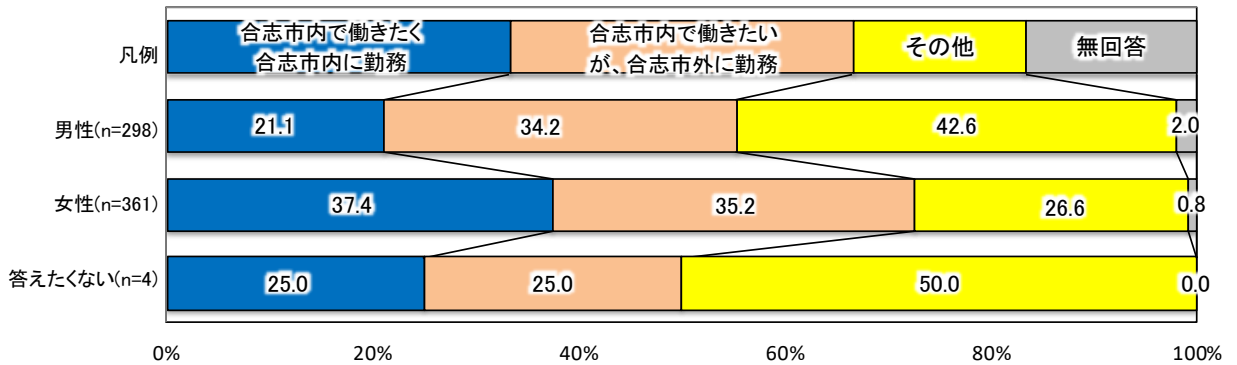
昨年度と比較して大きな差は認められないが、合志市内で働きたいと思っているが合志市外に勤務する人の割合はやや減少している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 合志市内で働きたいと思っており、合志市内に勤務している	199	30.0	184	25.6	269	31.0	206	24.8	181	27.8
2 合志市内で働きたいとは思っているが、合志市外に勤務している	230	34.6	282	39.2	307	35.4	319	38.4	251	38.5
3 その他	226	34.0	240	33.4	271	31.3	292	35.2	213	32.7
4 無回答	9	1.4	13	1.8	20	2.3	13	1.6	7	1.1
合計	664	100.0	719	100.0	867	100.0	830	100.0	652	100.0

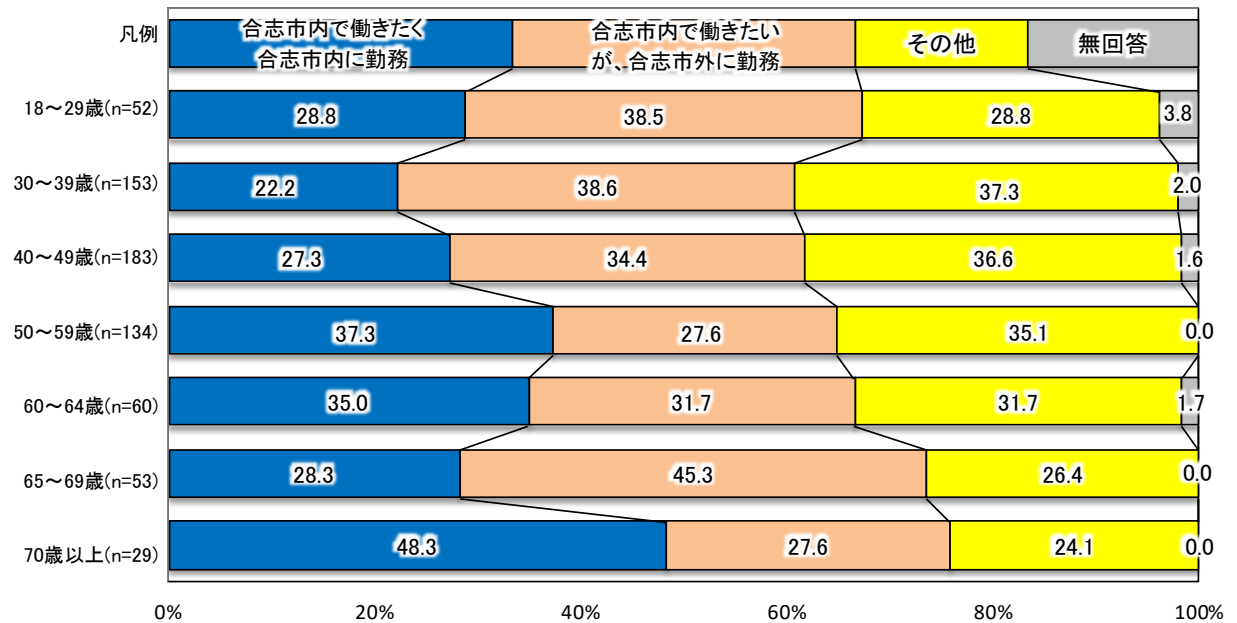
【性別】

- 合志市内で働きたいと思っている人の割合は、男性 55.3%に対し、女性は 72.6%で女性の方が高くなっている。
- また実際に合志市内で勤務している人の割合も男性 21.1%に対し、女性は 37.4%となっており、女性の方が高くなっている。



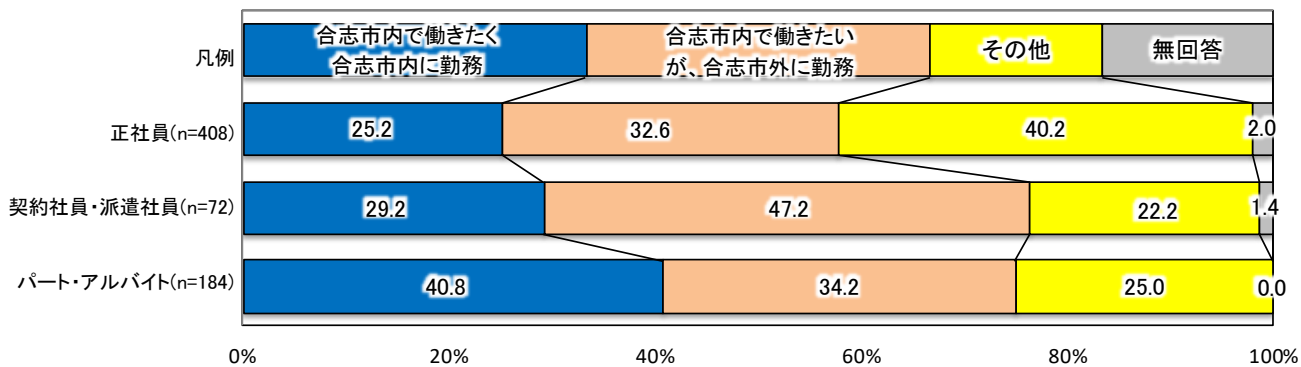
【年齢】

- 合志市内で働きたいと思っている人の割合は、70歳以上が75.9%と最も高く、これに65～69歳の73.6%が続いている。20代以下は67.3%で、30代と40代は60%前後で市内で働きたいと思っている人の割合が最も低くなっている。
- 20～60代で、実際に合志市内で勤務している人と合志市外で勤務している人の割合はいずれも約2～3割となっている。50代、60～64歳、70歳以上を除く年代ではいずれも合志市外で勤務している人が市内で勤務している人を上回っている。



【職業】

- 合志市内で働きたいと思っている割合は、正社員 57.8%、契約社員・派遣社員 76.4%、パート・アルバイト 75.0%となっており、非正規雇用で働いている人の方が合志市内で働きたいという意向を持つ人が多い。
- 実際に合志市内に勤務している割合は、パート・アルバイトの 40.8%が最も高く、契約社員・派遣社員 29.2%、正社員 25.2%となっている。



2. 地域活動等への参加について

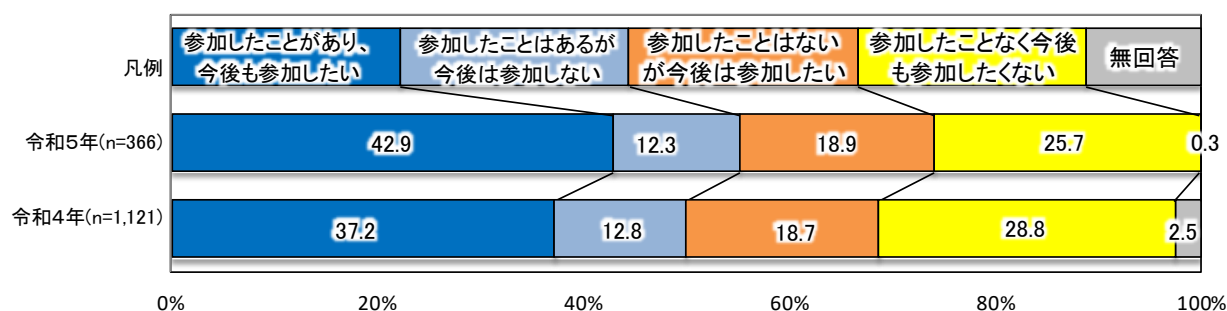
(1) 地域活動への参加（問13）

あなたは、過去1年間で地域の活動（自治会の活動）に参加しましたか。また、今後参加したいと思いませんか。

過去1年以内に、地域の活動（自治会の活動）に参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は55.2%と半数を超えている。一方、参加していない人（「参加したことはないが、今後は参加したい」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）は44.6%となっている。前年と比較すると、参加した人の割合は5.2ポイント増加している。

また、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は61.8%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の38.0%を大きく上回っている。

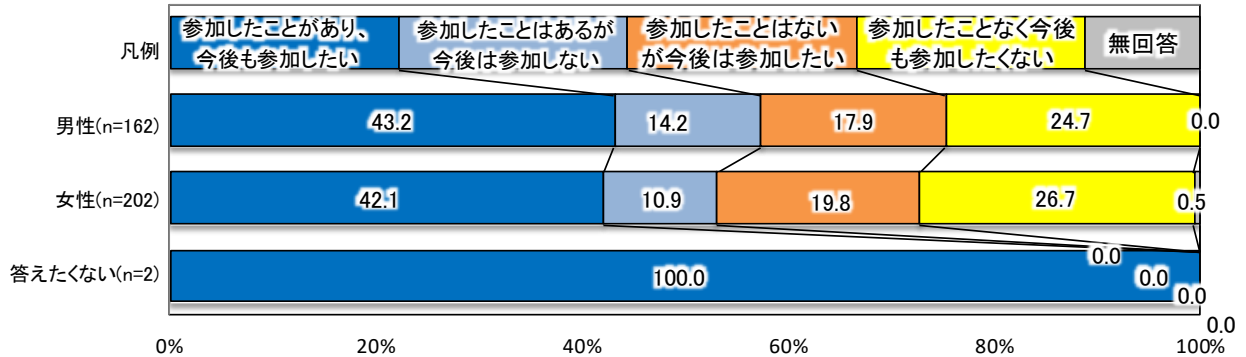
※設問対象者が限定されていたため回答者数が前年調査と比べ少数となっている。



	令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	157	42.9	417	37.2
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	45	12.3	143	12.8
3 参加したことはないが、今後は参加したい	69	18.9	210	18.7
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	94	25.7	323	28.8
5 無回答	1	0.3	28	2.5
合計	366	100.0	1121	100.0

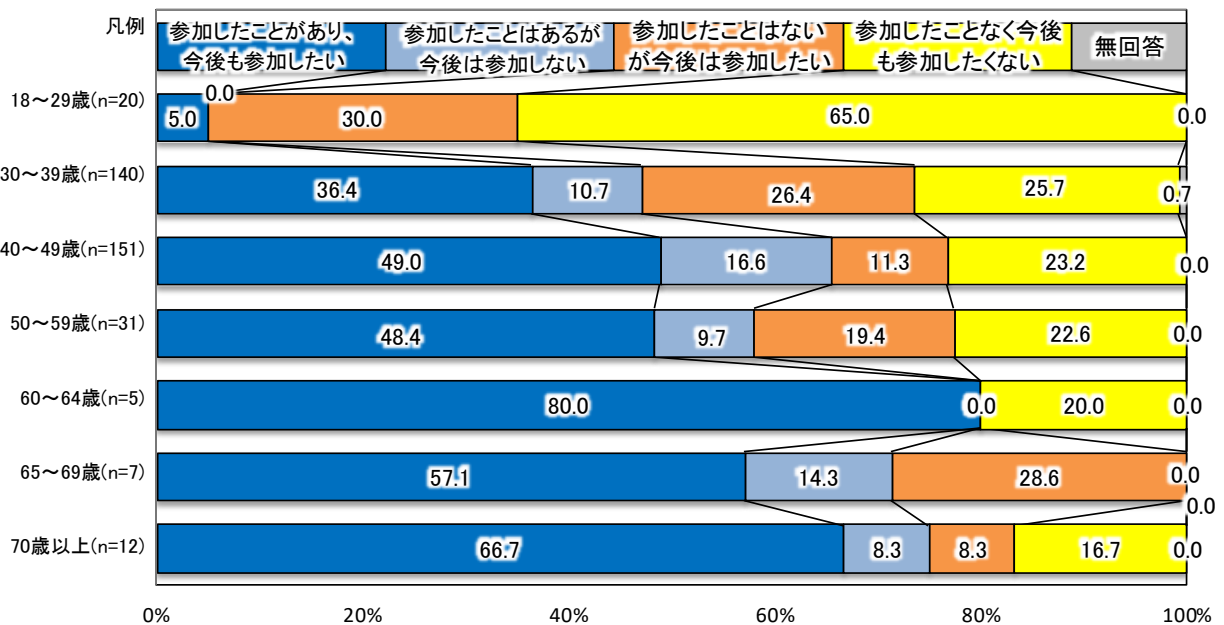
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 57.4%、女性 53.0%と男性の方がやや高い。
- 今後の参加意向がある人の割合は男性 61.1%、女性 61.9%であり、性別による差は認められない。



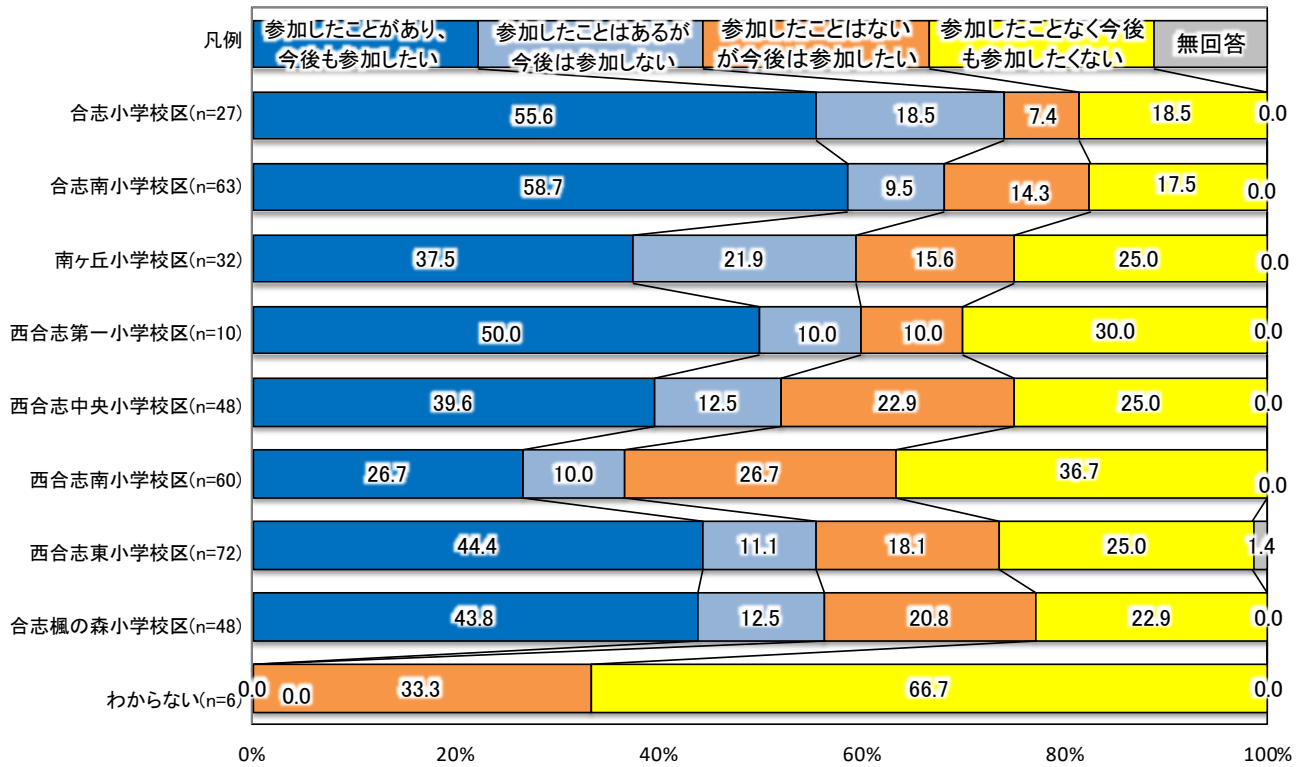
【年齢別】

- 参加した人の割合は、20代以下では5.0%となっているが、40代以上のどの年代も、半数を超えている（ただし、50代以上は設問対象者が限定されていたため回答者数が少数となっている）。
- 40代以上のどの年代も、半数以上の人参加意向を示している。



【校區別】

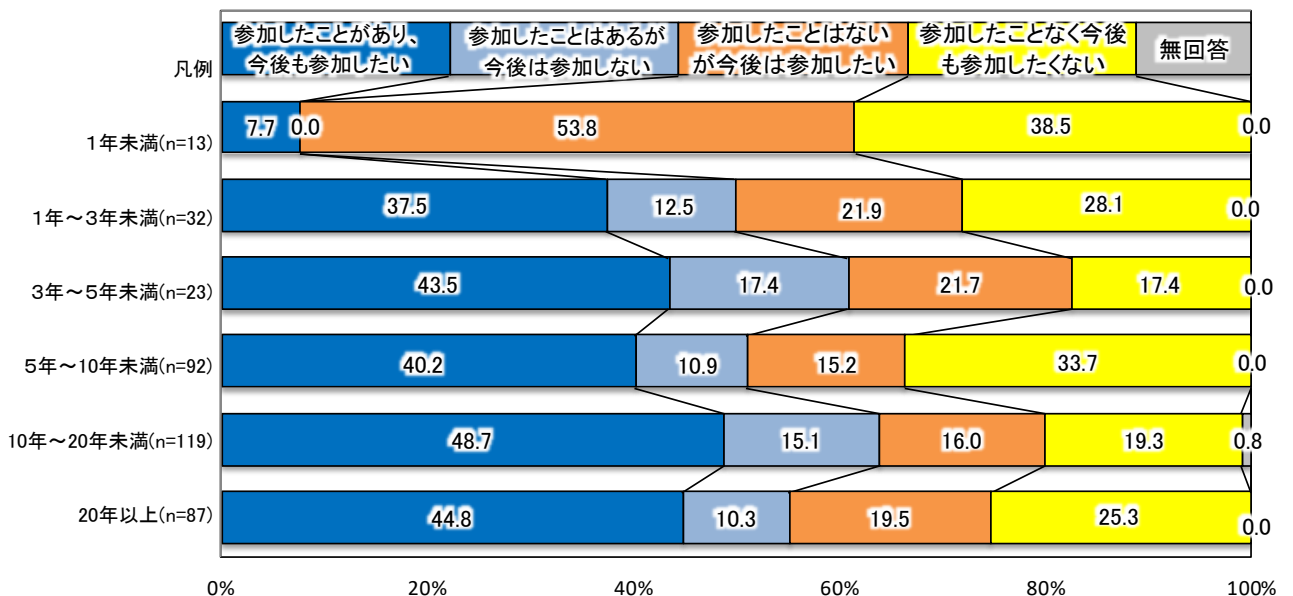
- 参加した人の割合は、合志小 74.1%、合志南小 68.2%が高く、西合志南小を除いた他の校区も半数以上となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、すべての校区で半数以上となっており、合志南小は73.0%で高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

- 参加経験者は、10年～20年未満と3年～5年未満が6割台で高くなっている。
- 今後の参加意向については、半数以上の人参加意向を示している。



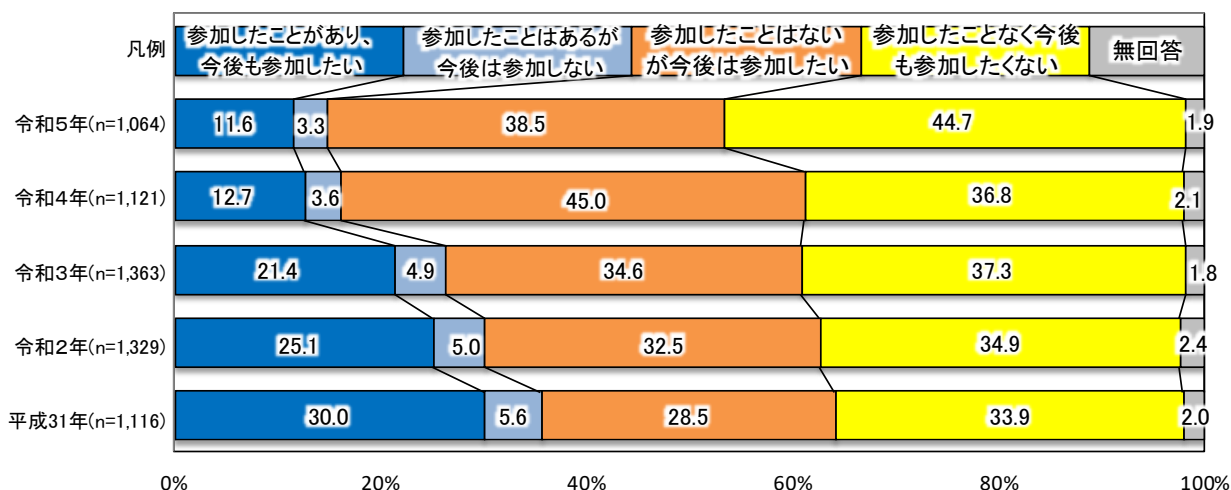
(2) 地域活動への参加（問14）

あなたは、過去1年間でボランティア活動、NPO活動などに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、ボランティア活動、NPO活動などに参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）の割合は14.9%となっており、参加していない人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が83.2%と8割を超えている。

しかしながら、今後の参加意向がある人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）の割合は50.1%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の48.0%をやや上回っている。

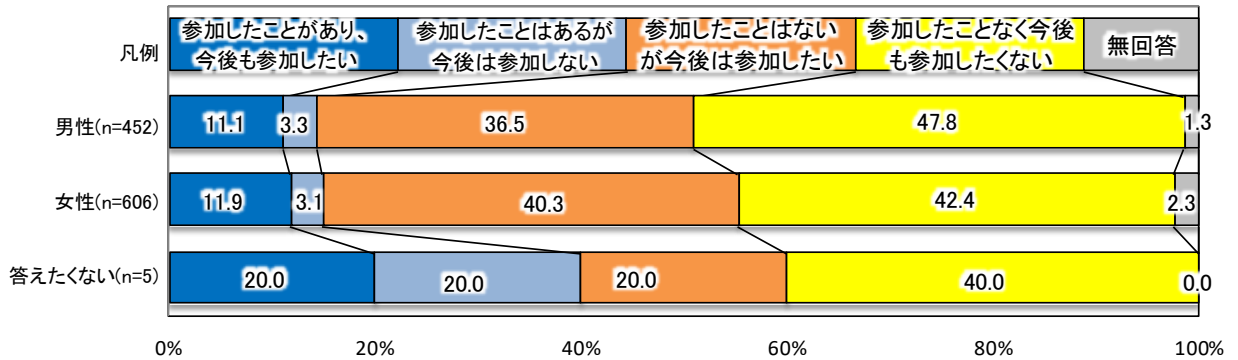
参加した人の割合は、平成31年以降から減少傾向が認められ、特に令和3年度以降の減少が顕著となっている。このことに関しては、新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛が影響していると考えられる。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	123	11.6	142	12.7	292	21.4	334	25.1	335	30.0
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	35	3.3	40	3.6	67	4.9	67	5.0	63	5.6
3 参加したことはないが、今後は参加したい	410	38.5	504	45.0	471	34.6	432	32.5	318	28.5
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	476	44.7	412	36.8	509	37.3	464	34.9	378	33.9
5 無回答	20	1.9	23	2.1	24	1.8	32	2.4	22	2.0
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

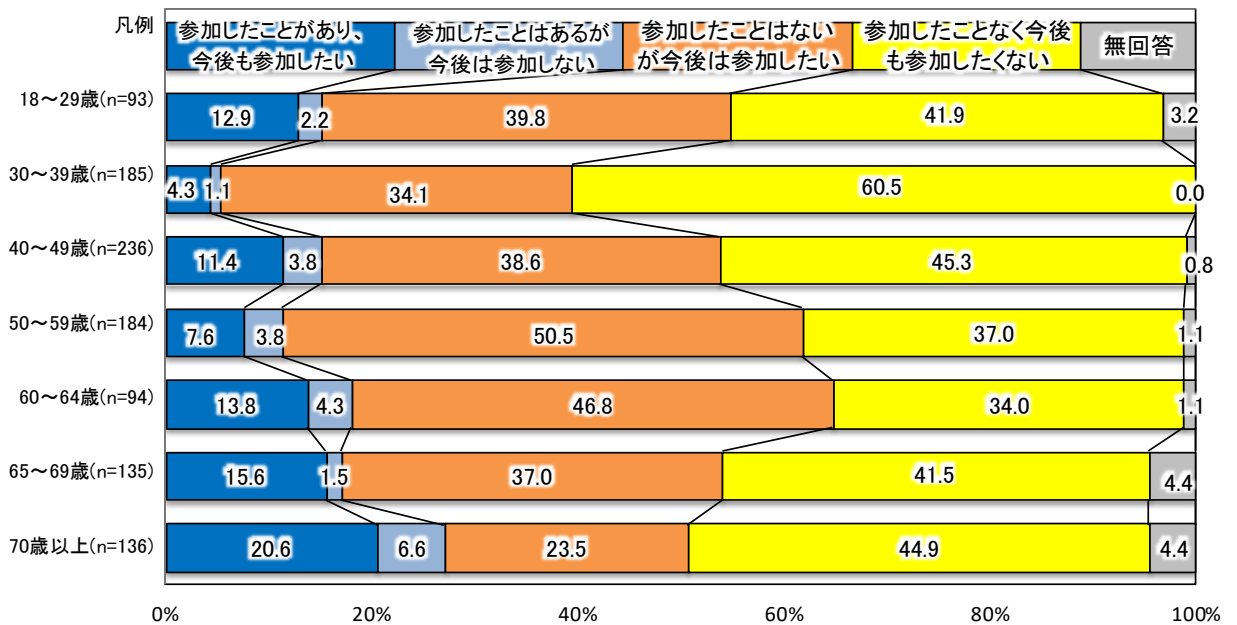
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 14.4%、女性 15.0%と大きな差は認められない。
- 今後の参加意向は、男性 47.6%、女性 52.2%と女性の割合がやや高い。



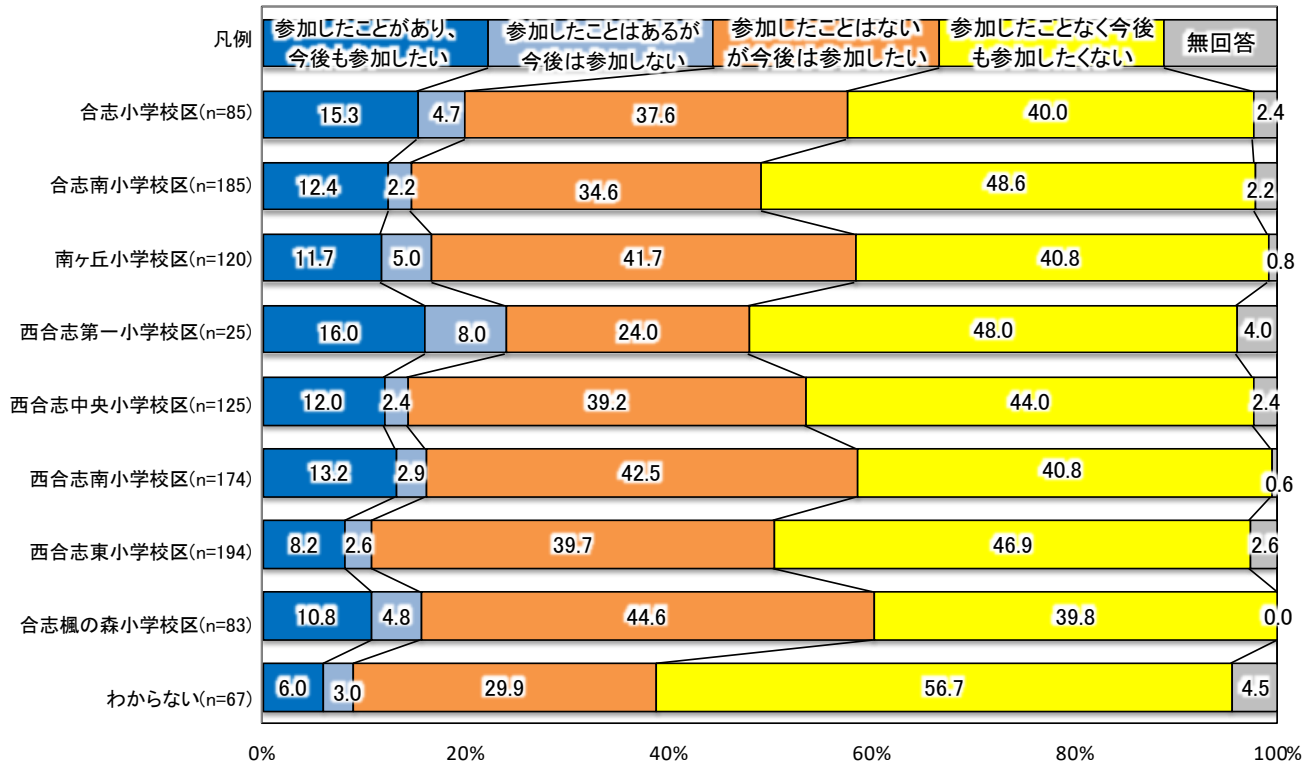
【年齢別】

- 参加した人の割合は 30 代を底に年代が上がるにつれておおむね増加傾向であることが認められ、70 歳以上では 27.2%となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、30 代と 70 歳以上を除く全ての年代が半数以上を占め、60～64 歳では 60.6%と最も高くなっている。



【校區別】

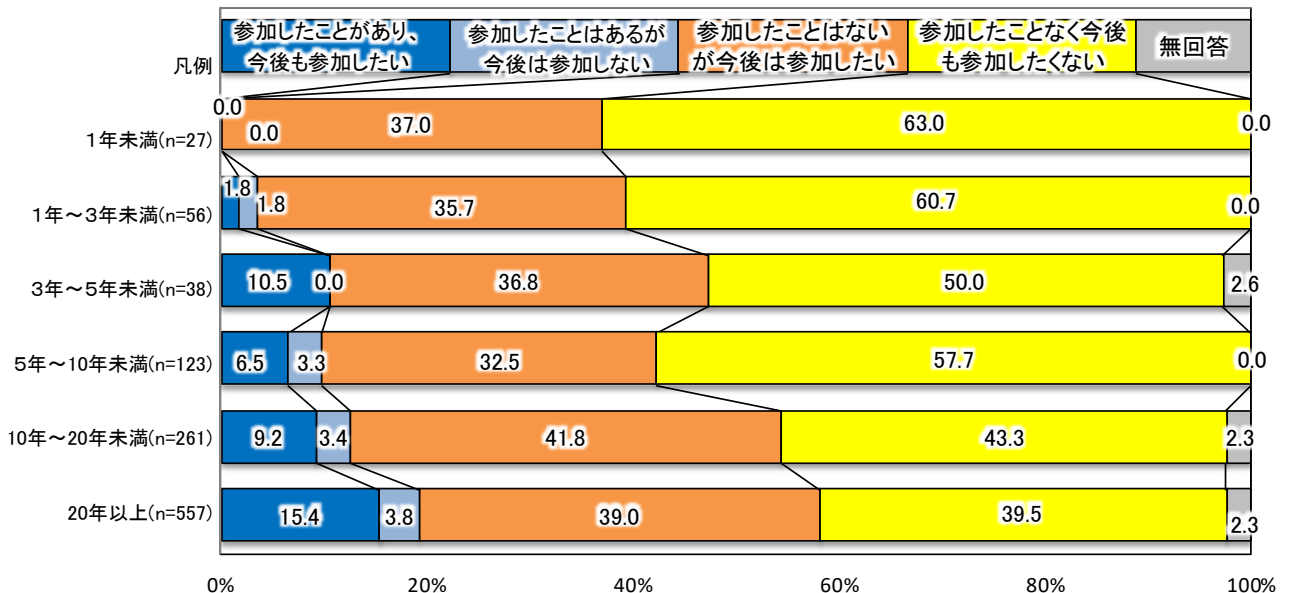
- 参加した人の割合は、西合志第一小が24.0%（ただし回答者数は25人）と最も高く、これに合志小の20.0%が続く。その他の校区は2割以下となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、合志南小と西合志第一小を除くすべての校区で約半数となっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【居住年数別】

- 参加した人の割合は、20年以上が19.2%、10年～20年未満が12.6%と高く、これら以外の居住年数では約1割以下となっている。
- 今後の参加意向については、5年～10年未満以下の短い居住年数では、参加意向を示している人の割合が半数以下となっている。



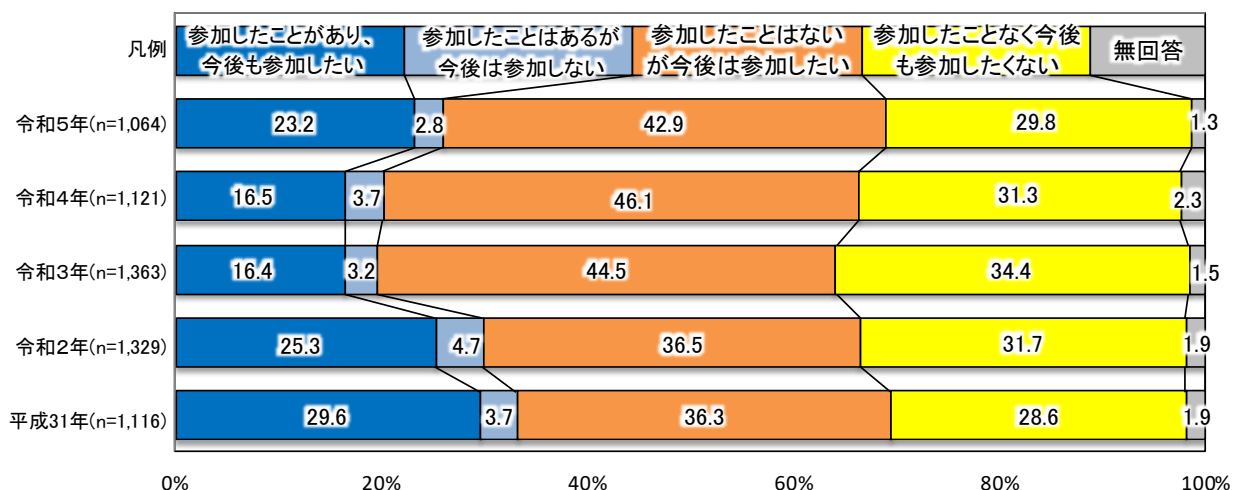
(3) 市のイベント等への参加（問15）

あなたは、過去1年間で市が行う説明会や行事、イベントなどに参加しましたか。また、今後参加したいと思いますか。

過去1年以内に、市が行う説明会や行事、イベントなどに参加した人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはあるが、今後は参加しない」）は26.0%となっており、参加したことがない人（参加したことはないが、今後は参加したい）＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」が72.7%を占めている。

しかしながら、今後参加したいと考えている人（「参加したことがあり、今後も参加したい」＋「参加したことはないが、今後は参加したい」）は66.1%と参加意向がない人（「参加したことはあるが、今後は参加しない」＋「参加したこともなく、今後も参加したくない」）の32.6%を大きく上回っている。

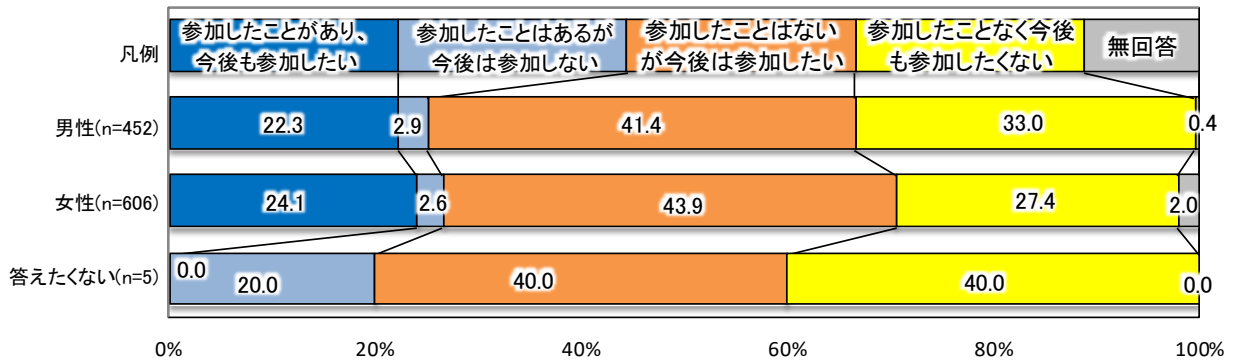
令和3年度以降、参加した人の割合が減少していることに関しては、新型コロナウイルス感染防止のための活動自粛が影響していると考えられる。ただし、今年度（5年度）は前年度（4年度）を上回っている。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 参加したことがあり、今後も参加したい	247	23.2	185	16.5	224	16.4	336	25.3	330	29.6
2 参加したことはあるが、今後は参加しない	30	2.8	42	3.7	44	3.2	62	4.7	41	3.7
3 参加したことはないが、今後は参加したい	456	42.9	517	46.1	606	44.5	485	36.5	405	36.3
4 参加したこともなく、今後も参加したくない	317	29.8	351	31.3	469	34.4	421	31.7	319	28.6
5 無回答	14	1.3	26	2.3	20	1.5	25	1.9	21	1.9
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

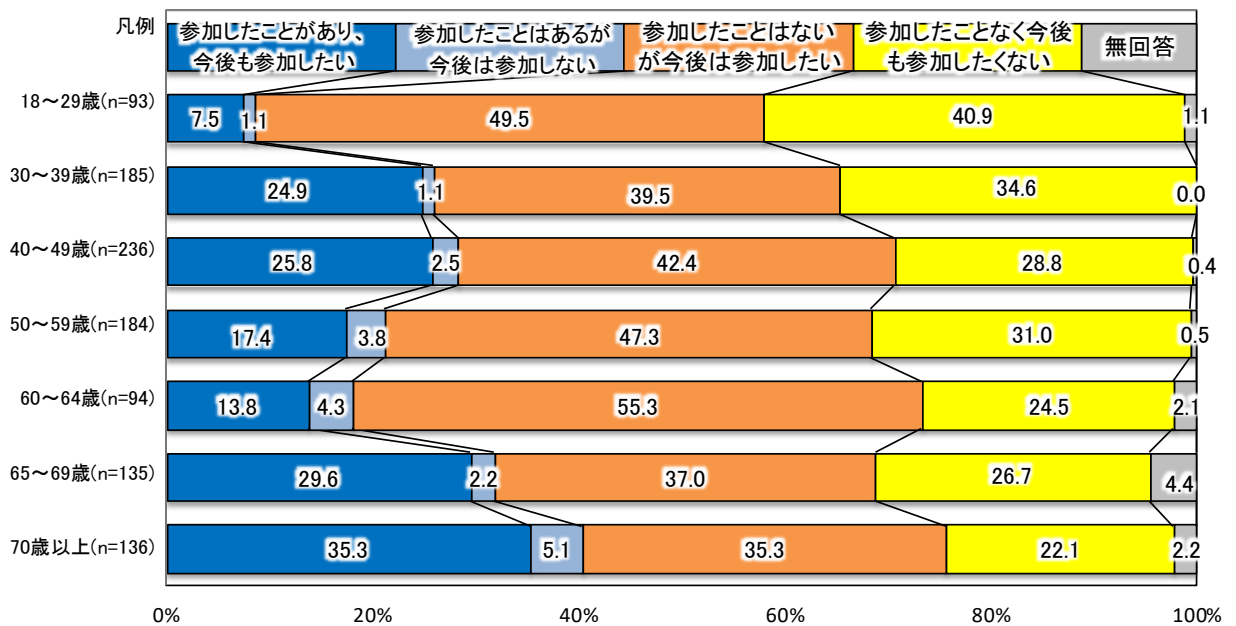
【性別】

- 参加した人の割合は、男性 25.2%、女性 26.7%と大きな差は認められない。
- 今後の参加意向は、男性 63.7%、女性 68.0%と女性の割合がやや高い。



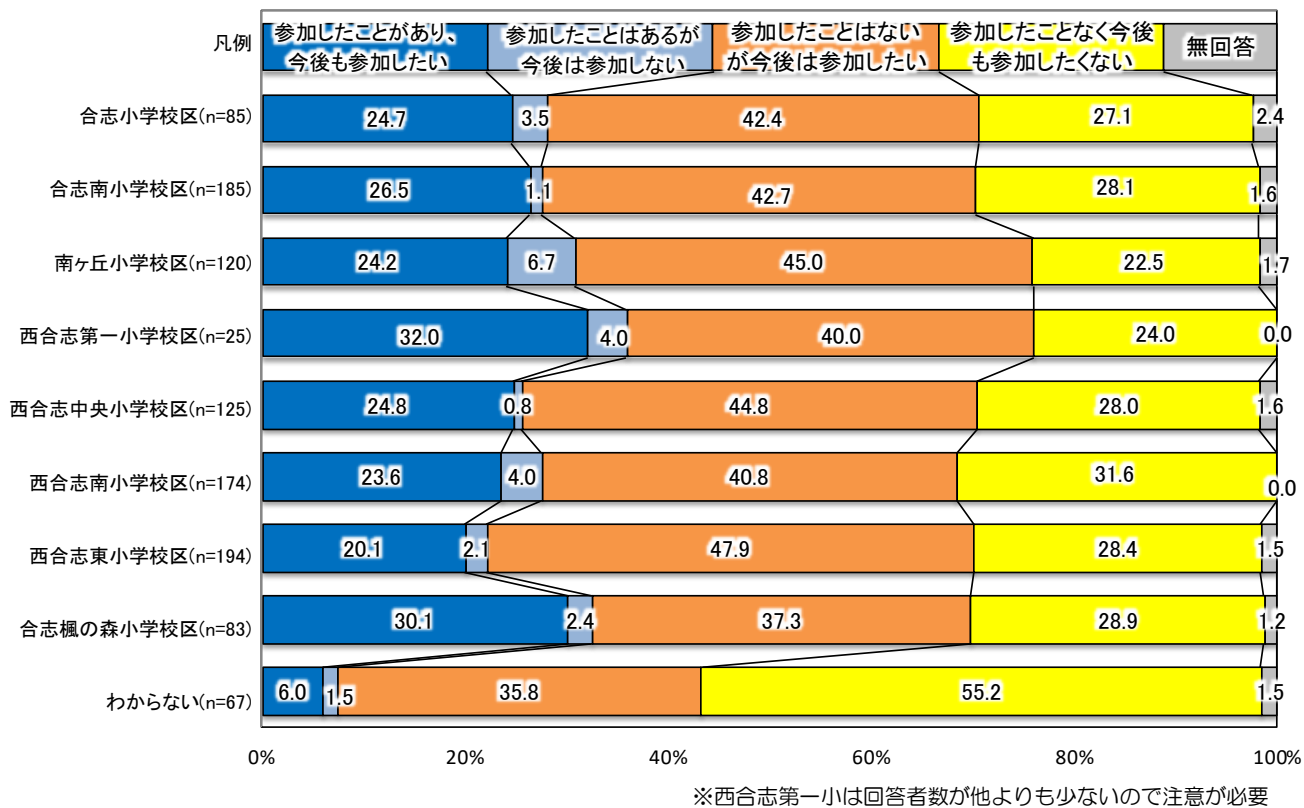
【年齢別】

- 参加した人の割合は 20 代以下では約 1 割と低く、その他の年代では約 2～4 割となっている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、どの年代でも半数以上となっている。



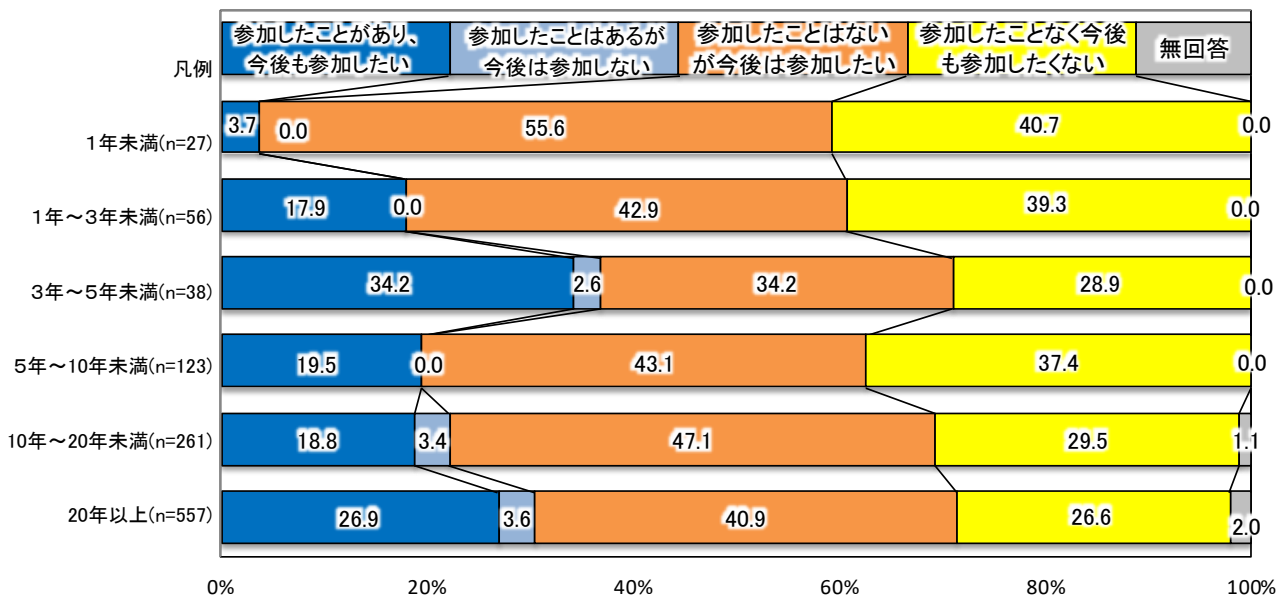
【校区別】

- 参加した人の割合は、西合志第一小が36.0%（ただし回答者数は25人）と最も高く、これに合志楓の森小の32.5%、南ヶ丘小の30.9%が続く。
- 今後の参加意向がある人の割合は、どの校区でも半数以上となっており、特に西合志第一小と南ヶ丘小では7割前後となっている。



【居住年数別】

- 参加した人の割合は、居住年数3年～5年未満の36.8%が最も高く、これに20年以上の30.5%が続いている。
- 今後の参加意向がある人の割合は、居住年数に関係なく半数以上を占めている。



3. 子育てについて

(1) 子どもの数（問10）

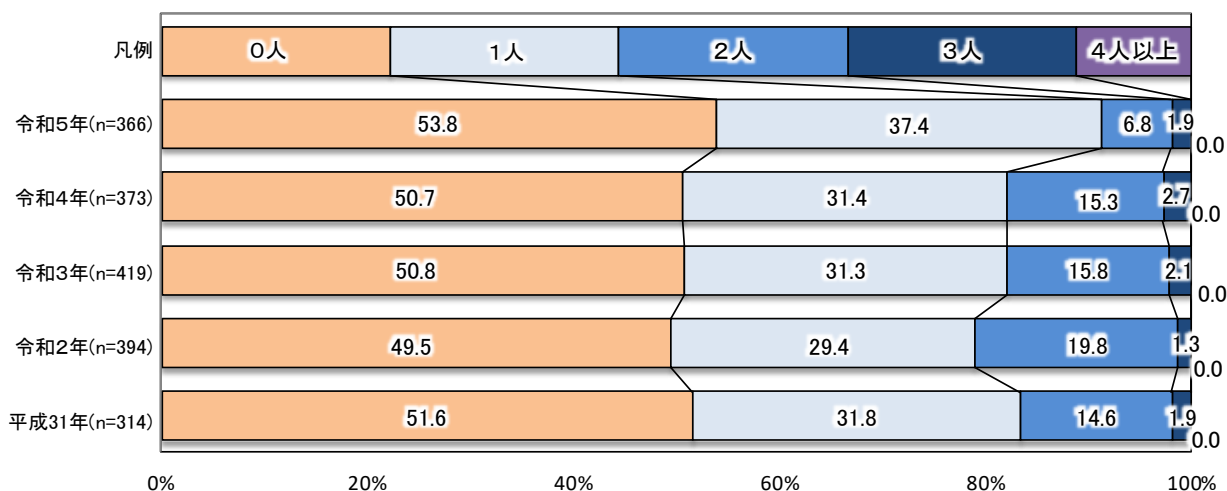
中学生以下のお子様は何人いますか？

<就学前の子ども>

中学生以下の子どもがいる 366 人の就学前の子どもの数をみると、0 人が 53.8%で半数を占める。以下、割合の高い方から 1 人 37.4%、2 人 6.8%、3 人 1.9%となっている。

前年度と比較すると、1 人の割合が 6.0 ポイント増加し、2 人の割合が 8.5 ポイント減少している。

<就学前の子ども>



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	197	53.8	189	50.7	213	50.8	195	49.5	162	51.6
2 1人	137	37.4	117	31.4	131	31.3	116	29.4	100	31.8
3 2人	25	6.8	57	15.3	66	15.8	78	19.8	46	14.6
4 3人	7	1.9	10	2.7	9	2.1	5	1.3	6	1.9
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	366	100.0	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

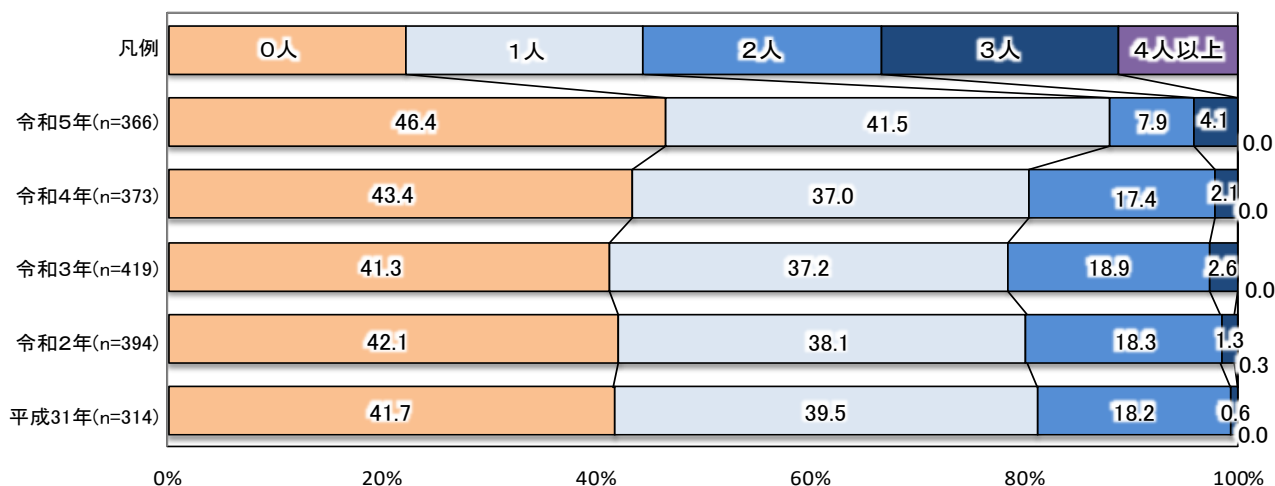
中学生以下のお子様は何人いますか？

＜小学生の子ども＞

中学生以下の子どもがいる 366 人の小学生の子どもの数を見ると、0 人が 46.4%で最も高い。以下、割合の高い方から 1 人 41.5%、2 人 7.9%、3 人 4.1%となっている。

前年度と比較すると、1 人の割合が 4.5 ポイント増加し、2 人の割合が 9.5 ポイント減少している。

＜小学生の子ども＞



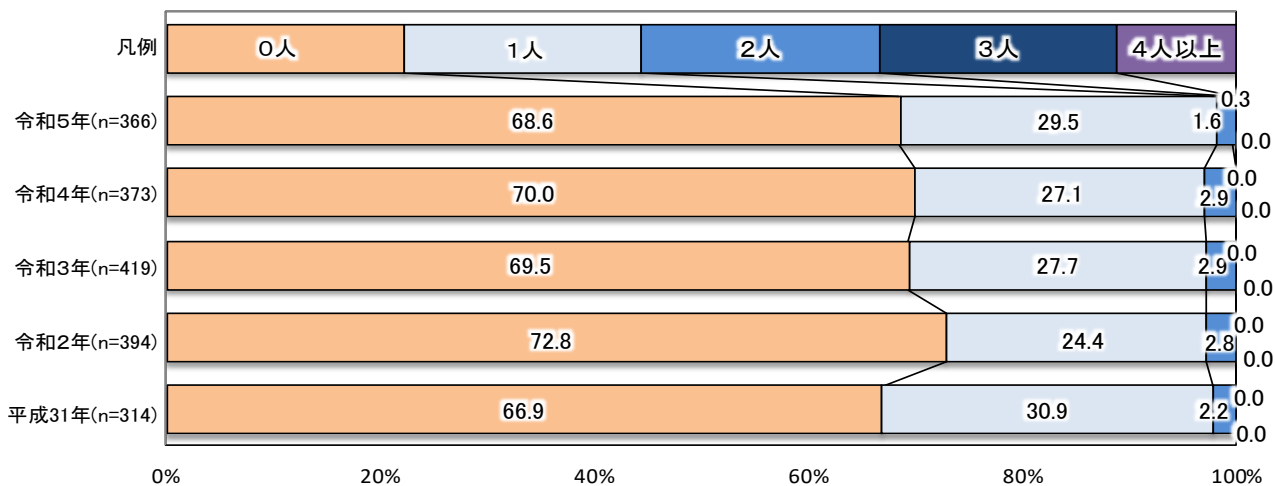
	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	170	46.4	162	43.4	173	41.3	166	42.1	131	41.7
2 1人	152	41.5	138	37.0	156	37.2	150	38.1	124	39.5
3 2人	29	7.9	65	17.4	79	18.9	72	18.3	57	18.2
4 3人	15	4.1	8	2.1	11	2.6	5	1.3	2	0.6
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	0.3	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	366	100.0	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

中学生以下のお子様は何人いますか？

＜中学生の子ども＞

中学生以下の子どもがいる 366 人の小学生の子どもの数を見ると、0 人が 68.6%で最も高い。以下、割合の高い方から 1 人 29.5%、2 人 1.6%、3 人 0.3%となっている。
前年度と比較して、大きな差は認められない。

＜中学生の子ども＞

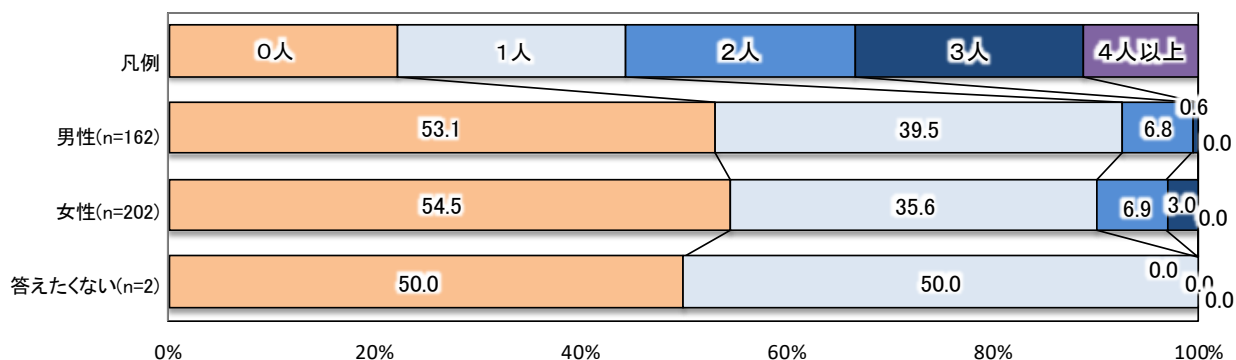


	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 0人	251	68.6	261	70.0	291	69.5	287	72.8	210	66.9
2 1人	108	29.5	101	27.1	116	27.7	96	24.4	97	30.9
3 2人	6	1.6	11	2.9	12	2.9	11	2.8	7	2.2
4 3人	1	0.3	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
5 4人以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
6 無回答	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0
合計	366	100.0	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

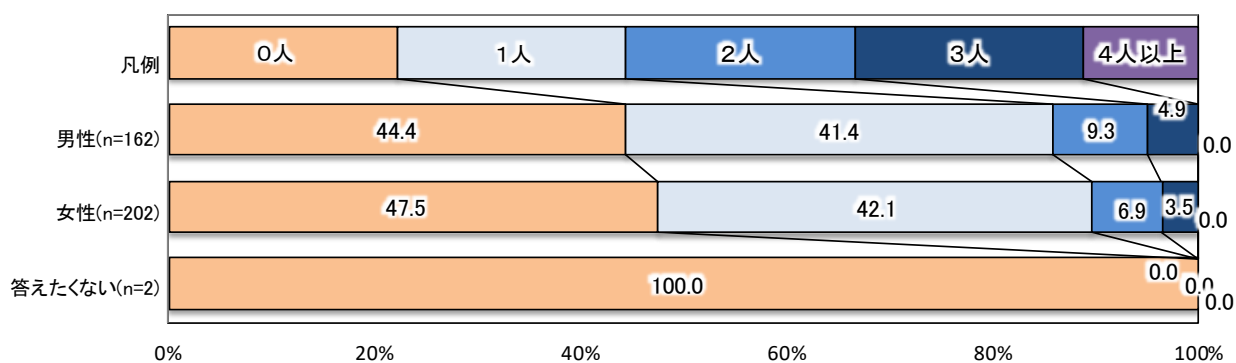
【性別】

●就学前、小学生、中学生の子どもがいる人の割合は、性別による大きな差は認められない。

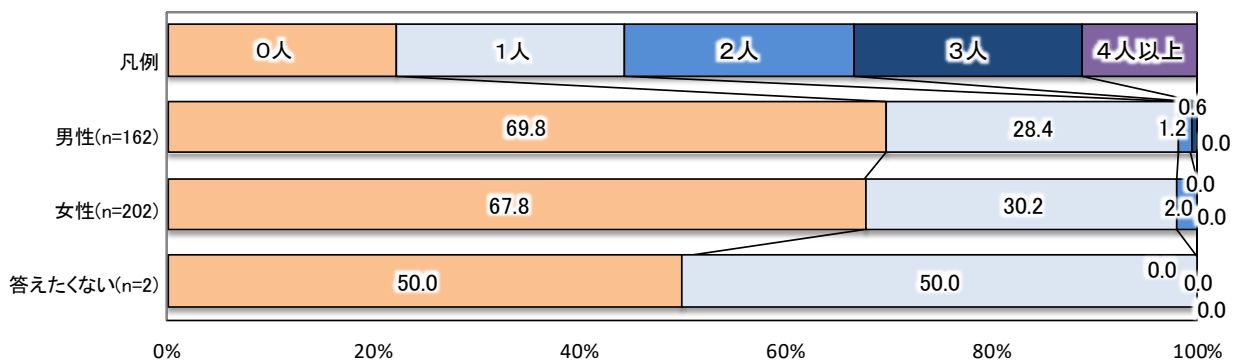
<就学前の子ども>



<小学生の子ども>



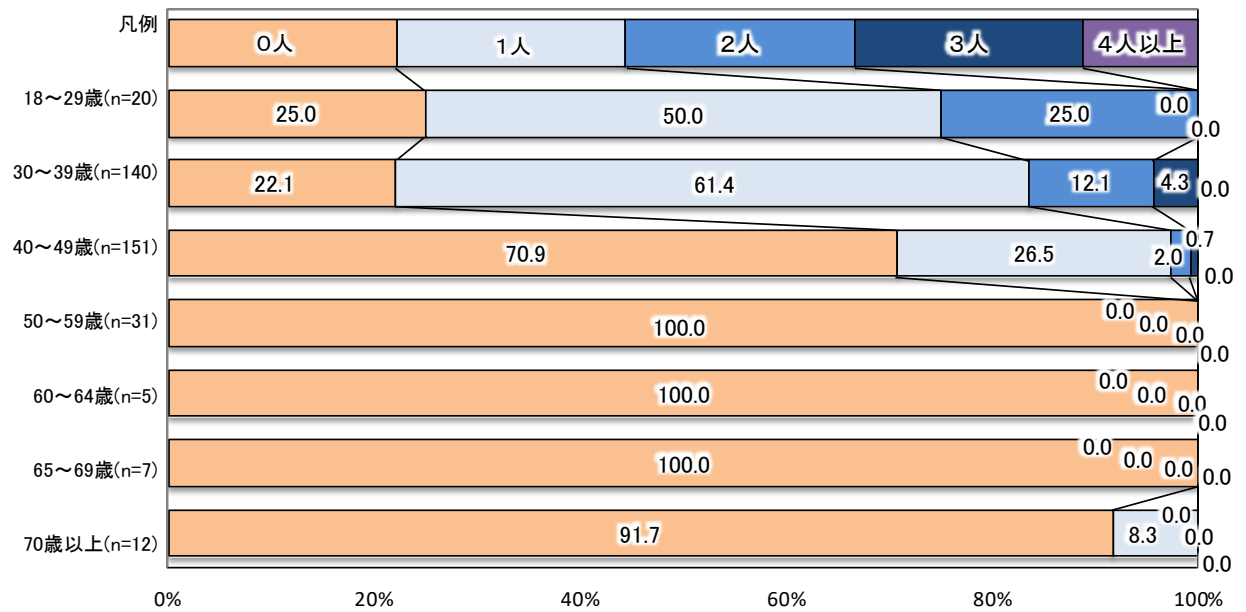
<中学生の子ども>



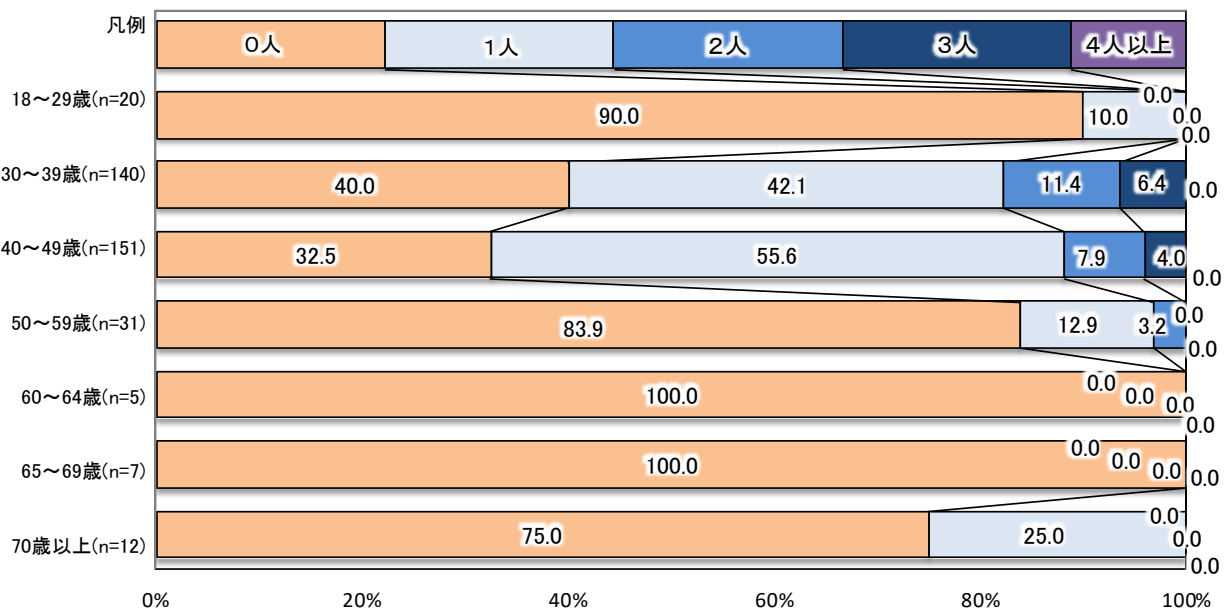
【年齢別】

- 就学前の子どもがいる人の割合は20代以下と30代で多く、20代以下75.0%、30代77.9%となっている。
- 小学生の子どもがいる人の割合は40代が67.5%と最も高く、30代60.0%、70代以上25.0%と続く。
- 中学生の子どもがいる人の割合は50代が67.7%と最も高く、40代も47.7%と高くなっている。

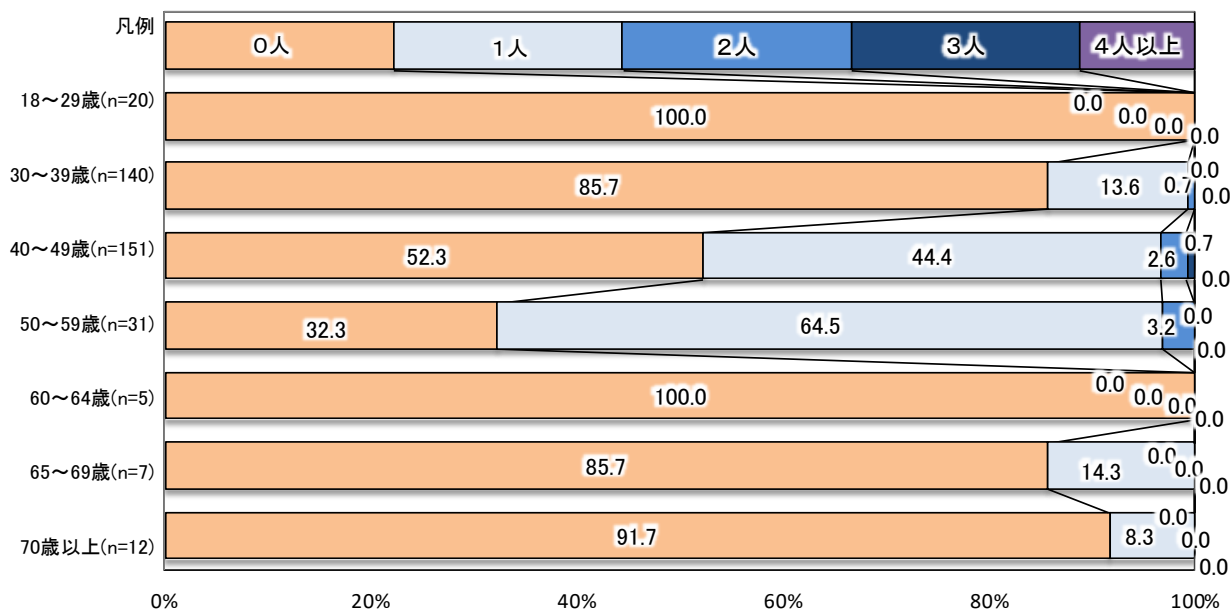
<就学前の子ども>



<小学生の子ども>



<中学生の子ども>



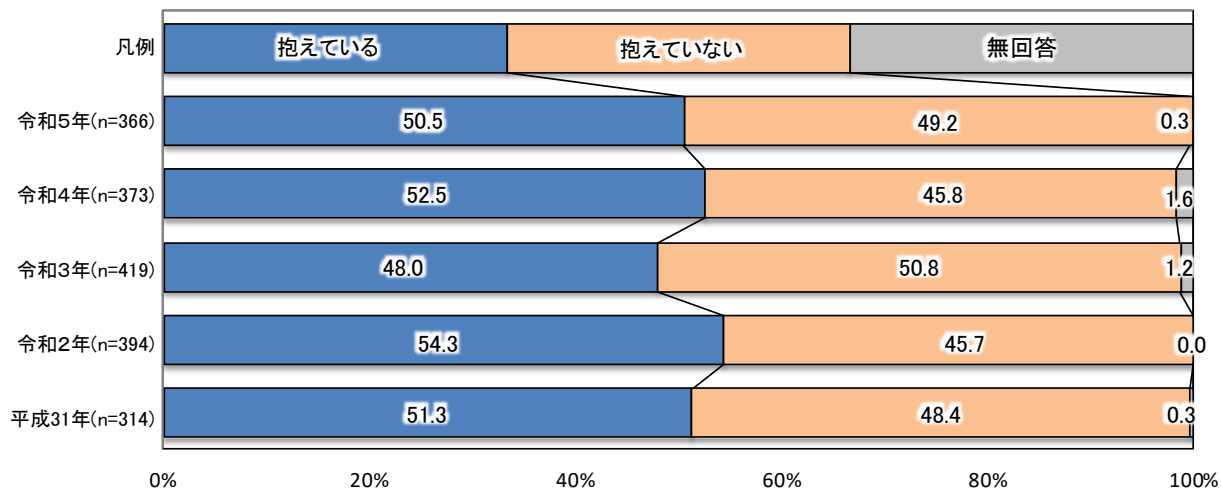
(2) 子育ての悩み (問 1 1)

①悩みの有無

あなたは、子育てに関する悩みを抱えていますか。

中学生以下の子どもがいる人で、子育ての悩みを「抱えている」人の割合は 50.5%、「抱えていない」人の割合は 49.2%となっている。

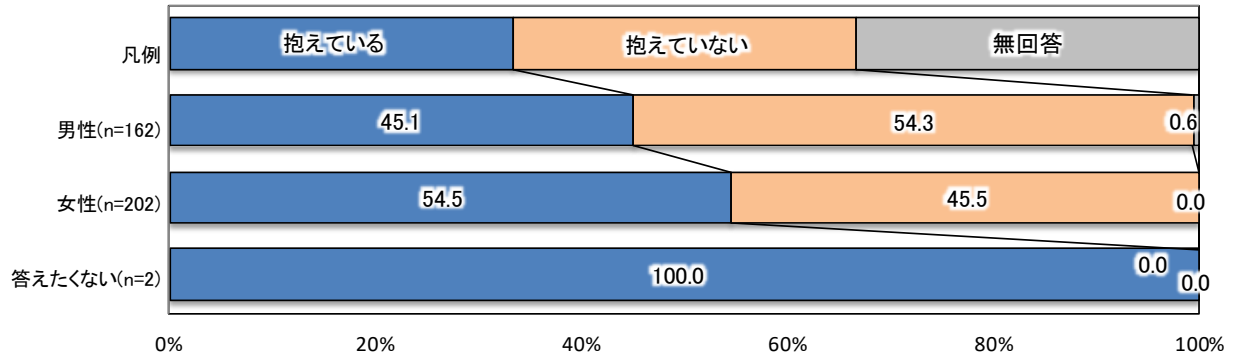
前年度と比較すると、悩みを「抱えていない」人の割合は 3.4 ポイントとやや増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 抱えている	185	50.5	196	52.5	201	48.0	214	54.3	161	51.3
2 抱えていない	180	49.2	171	45.8	213	50.8	180	45.7	152	48.4
3 無回答	1	0.3	6	1.6	5	1.2	0	0.0	1	0.3
合計	366	100.0	373	100.0	419	100.0	394	100.0	314	100.0

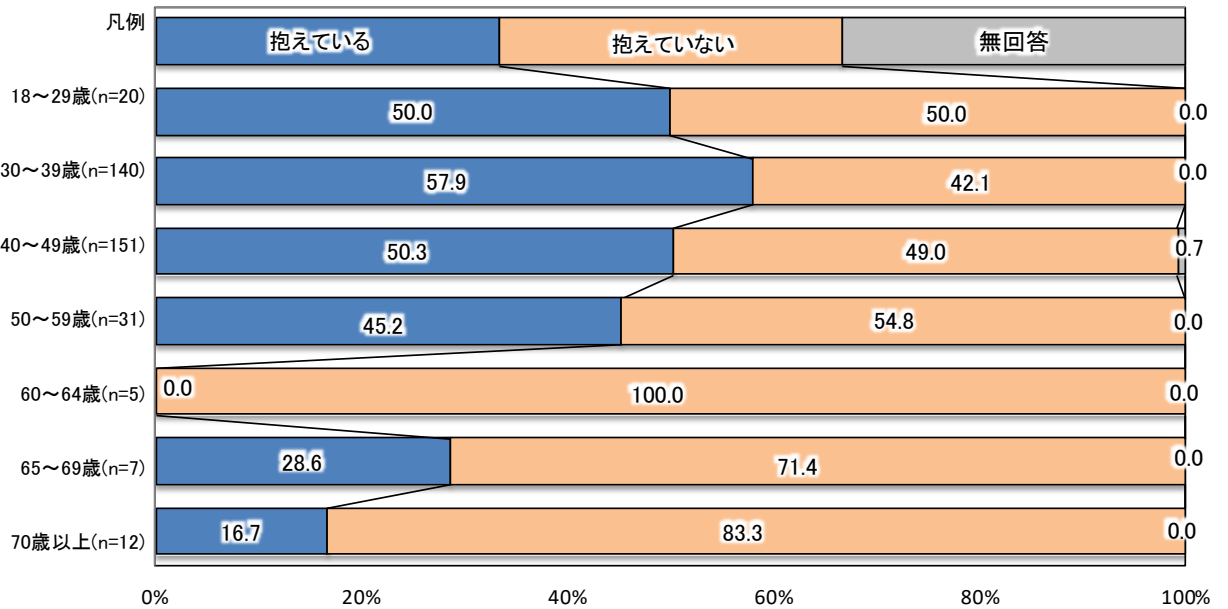
【性別】

●悩みを抱えている人の割合は、男性 45.1%、女性 54.5%と女性が上回っている。



【年齢別】

●中学生以下の子どもがいる割合の高い 20 代以下~40 代では、悩みを抱えている人の割合が半数以上となっている。また、就学前の子どもや小学生のいる割合の高い 30 代では悩みを抱えている人の割合が 20 代以下や 40 代~50 代と比較すると高くなっている。



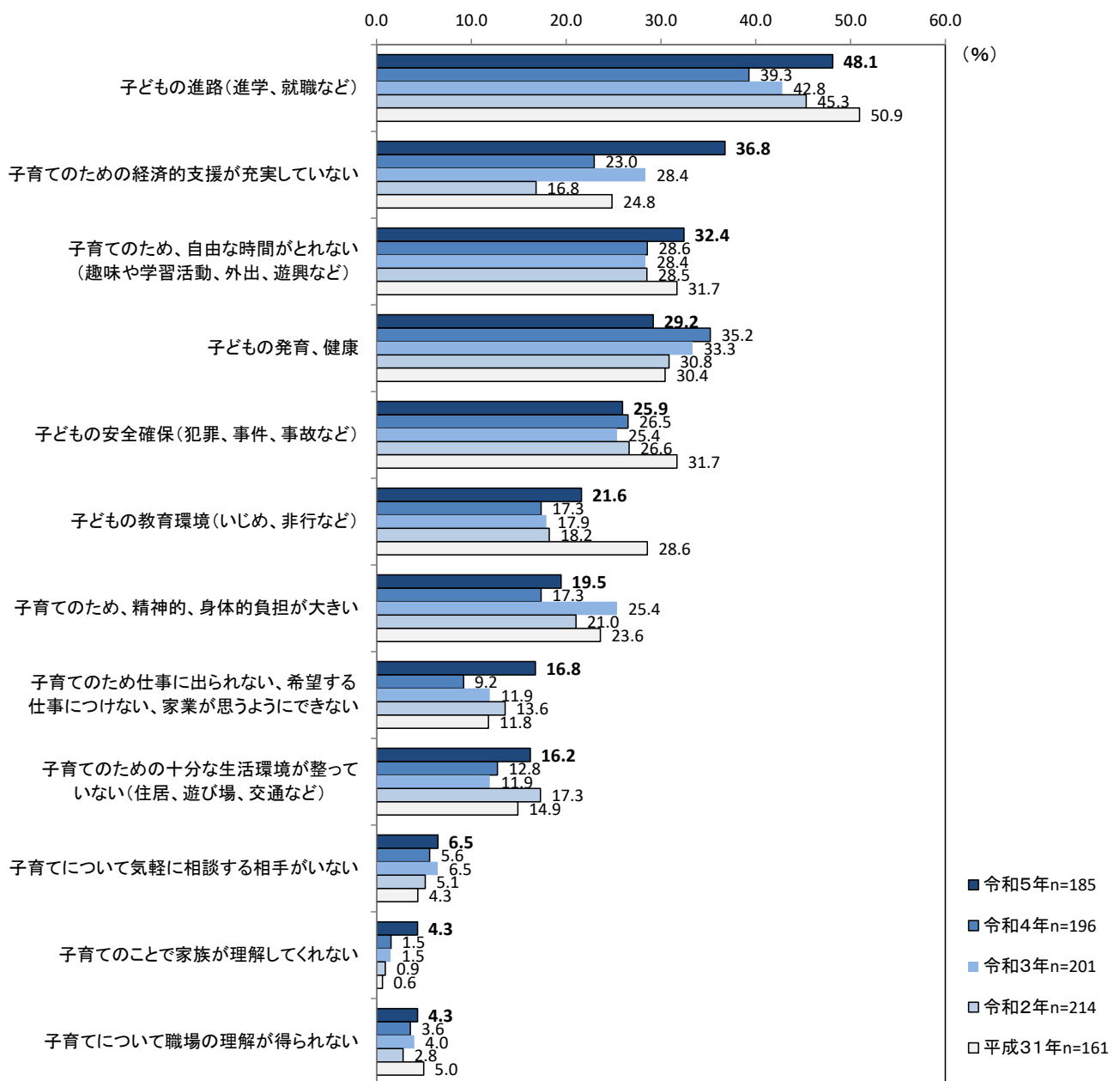
②具体的な悩み(問12)

問11で「1.抱えている」と答えた方にお尋ねします。

あなたが子育ての上で特に不安に思っていること、悩んでいることは何ですか。

子育ての悩みを抱えている185人の具体的な悩みとしては、「子どもの進路」が48.1%と最も高く、次いで「子どものための経済的支援が充実していない」36.8%、「子育てのため、自由な時間がとれない」32.4%となっている。

昨年度と比較して大きく増加しているのは、「子どもの進路」(8.8ポイント増)、「子どものための経済的支援が充実していない」(13.8ポイント増)、「子育てのため、自由な時間がとれない」(3.8ポイント増)、「子どもの教育環境(いじめ、非行など)」(4.3ポイント増)、「子育てのために仕事に出られない、希望する仕事につけない、家業が思うようにできない」(7.6ポイント増)となっている。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=185		n=196		n=201		n=214		n=161	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 子育てのための経済的支援が充実していない	68	36.8	45	23.0	57	28.4	36	16.8	40	24.8
2 子育てのため、精神的、身体的負担が大きい	36	19.5	34	17.3	51	25.4	45	21.0	38	23.6
3 子育てのため、自由な時間がとれない(趣味や学習活動、外出、遊興など)	60	32.4	56	28.6	57	28.4	61	28.5	51	31.7
4 子育てのため仕事に出られない、希望する仕事につけない、家業が思うようにできない	31	16.8	18	9.2	24	11.9	29	13.6	19	11.8
5 子育てのことで家族が理解してくれない	8	4.3	3	1.5	3	1.5	2	0.9	1	0.6
6 子育てのための十分な生活環境が整っていない(住居、遊び場、交通など)	30	16.2	25	12.8	24	11.9	37	17.3	24	14.9
7 子育てについて職場の理解が得られない	8	4.3	7	3.6	8	4.0	6	2.8	8	5.0
8 子育てについて気軽に相談する相手がいない	12	6.5	11	5.6	13	6.5	11	5.1	7	4.3
9 子どもの進路(進学、就職など)	89	48.1	77	39.3	86	42.8	97	45.3	82	50.9
10 子どもの発育、健康	54	29.2	69	35.2	67	33.3	66	30.8	49	30.4
11 子どもの安全確保(犯罪、事件、事故など)	48	25.9	52	26.5	51	25.4	57	26.6	51	31.7
12 子どもの教育環境(いじめ、非行など)	40	21.6	34	17.3	36	17.9	39	18.2	46	28.6

【性別】

- 男女ともに「子どもの進路」「子どものための経済的支援の充実」が上位にあげられているが、このうち「子どものための経済的支援の充実」の割合は男性が女性よりも17.9ポイント高くなっている。
- 女性の場合は、「精神的、身体的負担」「子どもの教育環境」をあげる割合が男性よりも高くなっている。

【年齢別】

- 年齢が低いほど、「経済的支援が充実していない」をあげる人の割合が高くなっている。
- 30代では、「子育てのため自由な時間がとれない」、40代では「子どもの進路」「子どもの発育、健康」「子どもの教育環境」もあげる人が多くなっている。
- 50代の8割弱が「子どもの進路」をあげている。

	合計	子育てのための経済的支援が充実していない	子育てのため、精神的、身体的負担が大きい	（子育てのため、自由な時間がとれない、趣味や学習活動、外出、遊興など）	子育てのため、仕事に出られない、希望する仕事につけない、家業が思うようにできない	子育てのことで家族が理解してくれない	子育てのため十分な生活環境が整っていない（住居、遊び場、交通など）	子育てについて職場の理解が得られない	子育てについて気軽に相談する相手がいない	（子どもの進路、進学、就職など）	子どもの発育、健康	（子どもの安全確保、事件、事故など）	（子どもの教育環境、いじめ、非行など）
全体	185	36.8%	19.5%	32.4%	16.8%	4.3%	16.2%	4.3%	6.5%	48.1%	29.2%	25.9%	21.6%
■性別													
男性	73	47.9%	16.4%	31.5%	15.1%	4.1%	20.5%	5.5%	8.2%	43.8%	30.1%	23.3%	16.4%
女性	110	30.0%	21.8%	33.6%	18.2%	4.5%	13.6%	3.6%	5.5%	50.9%	29.1%	27.3%	24.5%
答えたくない	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	50.0%	50.0%
■年代別													
18～29歳	10	80.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	30.0%	20.0%	0.0%	20.0%	10.0%	10.0%	20.0%
30～39歳	81	37.0%	21.0%	37.0%	17.3%	2.5%	13.6%	3.7%	6.2%	40.7%	28.4%	28.4%	13.6%
40～49歳	76	35.5%	22.4%	35.5%	21.1%	6.6%	18.4%	3.9%	7.9%	55.3%	34.2%	27.6%	31.6%
50～59歳	14	21.4%	0.0%	7.1%	0.0%	7.1%	7.1%	0.0%	7.1%	78.6%	21.4%	14.3%	21.4%
60～64歳	0	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
65～69歳	2	0.0%	50.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	50.0%	50.0%	50.0%	0.0%
70歳以上	2	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【子どもの年齢別】

- 就学前の子どもがいる人では、「自由な時間がとれない」が4割弱と最も高くなっているほか、「経済的支援が充実していない」「進路（進学、就職など）」「安全確保（犯罪、事件、事故など）」も3割を超えている。
- 小学生の子どもがいる人では、「子どもの進路」が4割を超えており、「自由な時間がとれない」「経済的支援が充実していない」「子どもの発育、健康」も3割を超え多くなっている。
- 中学生の子どもがいる人では、「子どもの進路」が7割を超えている。

就学前(n=102)		小学生(n=110)		中学生(n=56)	
自由な時間がとれない	39.2	進路(進学、就職など)	46.4	進路(進学、就職など)	75.0
経済的支援が充実していない	37.3	自由な時間がとれない	34.5	子どもの発育、健康	33.9
進路(進学、就職など)	33.3	経済的支援が充実していない	32.7	経済的支援が充実していない	32.1
安全確保(犯罪、事件、事故など)	30.4	子どもの発育、健康	30.9	安全確保(犯罪、事件、事故など)	21.4
子どもの発育、健康	27.5	安全確保(犯罪、事件、事故など)	28.2	教育環境(いじめ、非行など)	21.4
仕事に出られない等	20.6	教育環境(いじめ、非行など)	22.7	自由な時間がとれない	16.1
精神的、身体的負担が大きい	19.6	精神的、身体的負担が大きい	18.2	十分な生活環境が整っていない	12.5
教育環境(いじめ、非行など)	15.7	仕事に出られない等	17.3	精神的、身体的負担が大きい	10.7
十分な生活環境が整っていない	14.7	十分な生活環境が整っていない	16.4	家族が理解してくれない	7.1
気軽に相談する相手がいない	7.8	気軽に相談する相手がいない	6.4	職場の理解が得られない	3.6
職場の理解が得られない	5.9	家族が理解してくれない	4.5	気軽に相談する相手がいない	3.6
家族が理解してくれない	3.9	職場の理解が得られない	1.8	仕事に出られない等	1.8

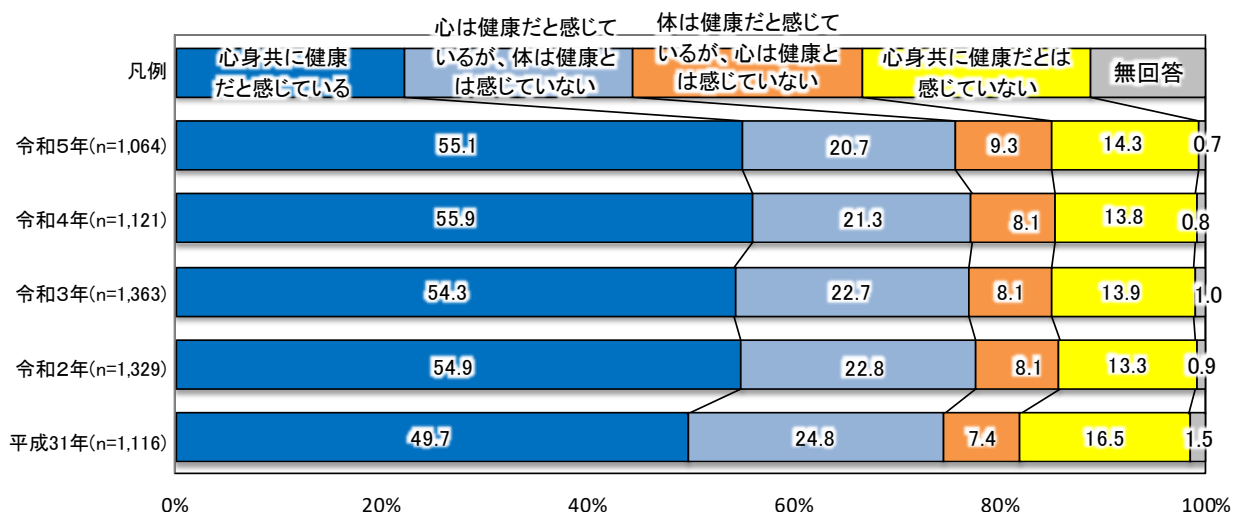
健康づくりについて

1. 自身の健康状態（問16）

あなたは、心身共に健康だと感じていますか。

「心身共に健康だと感じている」人の割合は55.1%と半数を超え、これに「心は健康だが、体は健康とは感じていない」が20.7%で続いている。体が健康だと感じている人（「心身共に健康だと感じている」＋「体は健康だと感じているが心は健康だとは感じていない」）の割合は全体の64.4%、心は健康だと感じている人（「心身共に健康だと感じている」＋「心は健康だと感じているが体は健康だとは感じていない」）の割合は全体の75.8%となっている。「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は14.3%となっている。

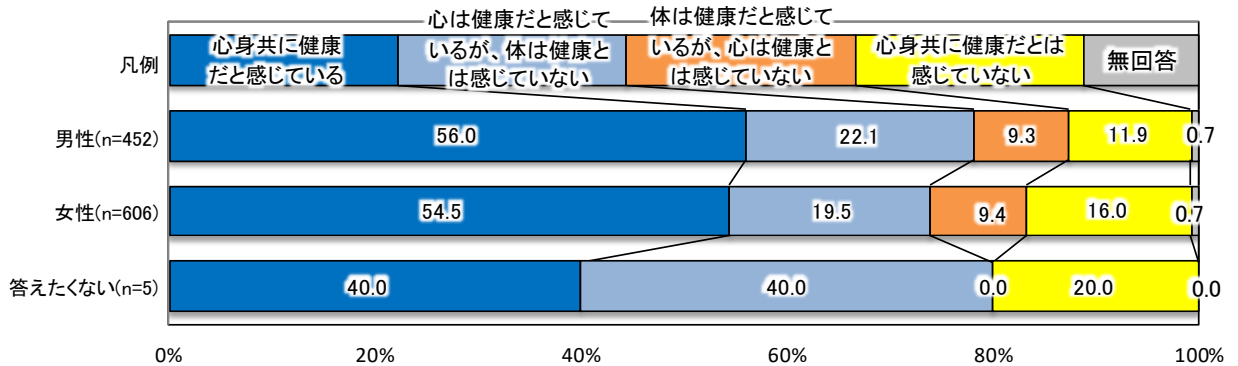
前年度と比較して大きな差は認められないが、心身共に健康だと感じている人の割合は、令和2年度以降55%前後で推移している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 心身共に健康だと感じている	586	55.1	627	55.9	740	54.3	730	54.9	555	49.7
2 心は健康だと感じているが、体は健康とは感じていない	220	20.7	239	21.3	309	22.7	303	22.8	277	24.8
3 体は健康だと感じているが、心は健康とは感じていない	99	9.3	91	8.1	111	8.1	107	8.1	83	7.4
4 心身共に健康だとは感じていない	152	14.3	155	13.8	189	13.9	177	13.3	184	16.5
5 無回答	7	0.7	9	0.8	14	1.0	12	0.9	17	1.5
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

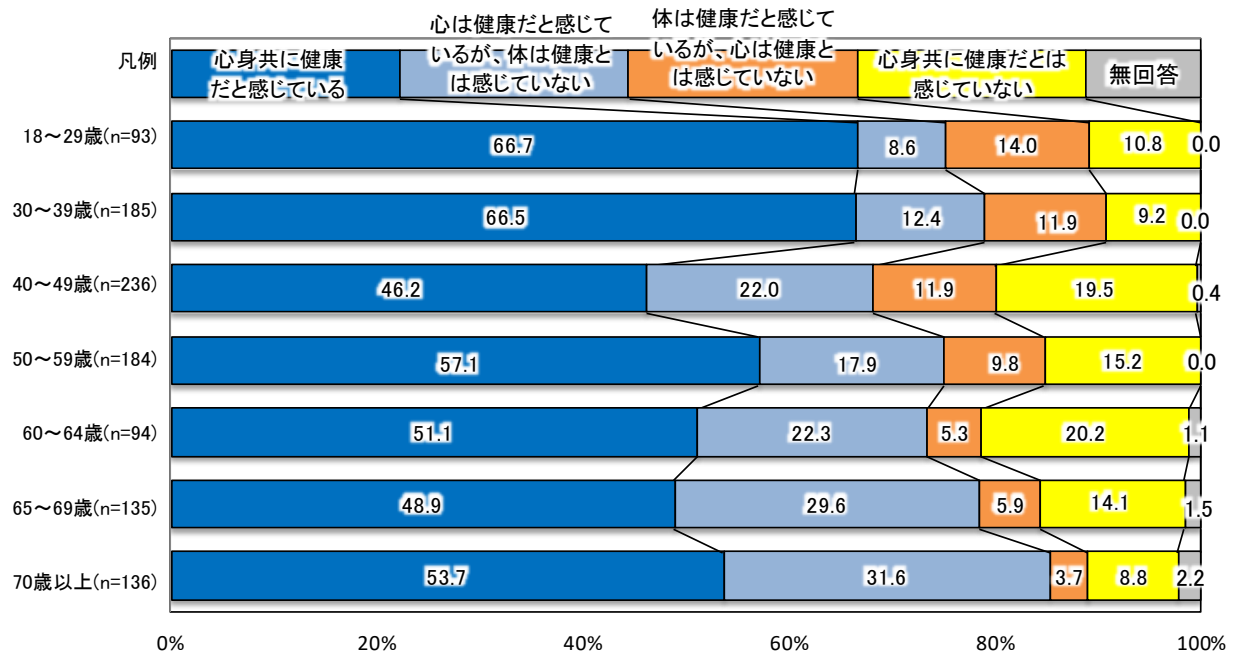
【性別】

- 性別による大きな差は認められないが、「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、女性が男性を上回っている。



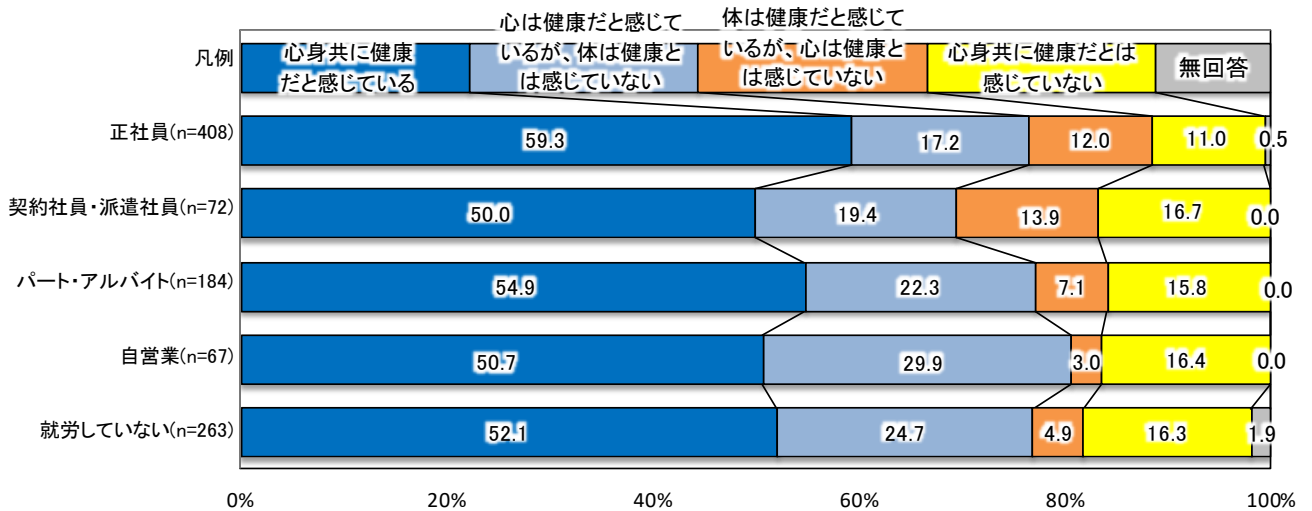
【年齢別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は、40代を除き年齢が若いほど概ね高くなる傾向が認められ、20代以下では66.7%と最も高くなっている。「心は健康だが、体は健康とは感じていない」人の割合は年齢が上がるにつれて概ね高くなる傾向が認められる。「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、60～64歳、40代が2割前後で高くなっている。



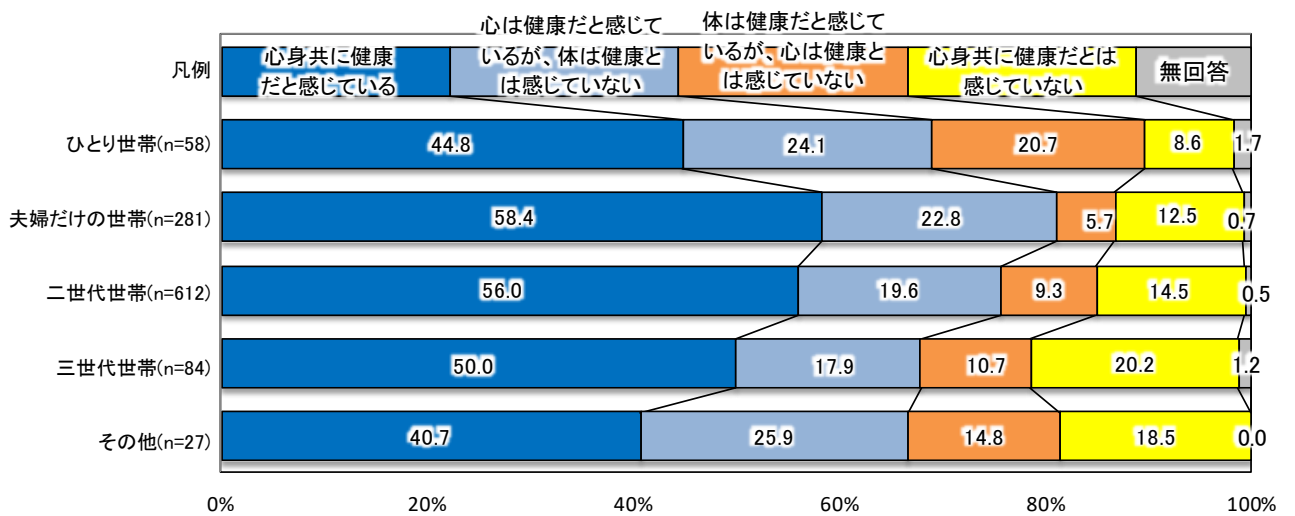
【職業別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は正社員の59.3%が最も高く、契約社員・派遣社員では50.0%と最も低くなっている。
- 「体は健康だと感じているが、心は健康とは感じていない」人の割合は、契約社員・派遣社員と正社員で10%台となっており、他の職業と比べ高くなっている。



【家族構成別】

- 「心身共に健康だと感じている」人の割合は、ひとり世帯とその他世帯において4割台となっており、他の世帯よりも低くなっている。
- 「心身共に健康だとは感じていない」人の割合は、三世帯世帯とその他で20%前後となっており、他の世帯よりも高くなっている。



2. 健康づくりの取組みについて

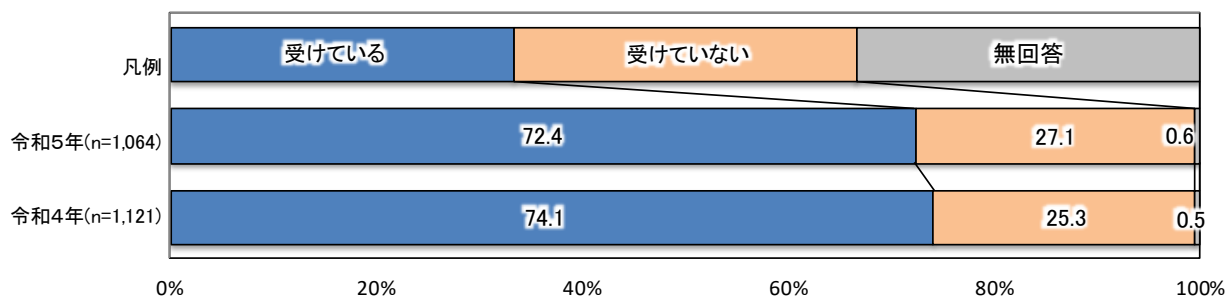
(1) 健康づくりへの取組み状況

①健診の受診(問17)

生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を受けていますか。受けていない方は、その理由は何ですか。

生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドック）を受けている人の割合は全体の72.4%と7割を超え、受けていない人の割合は27.1%となっている。

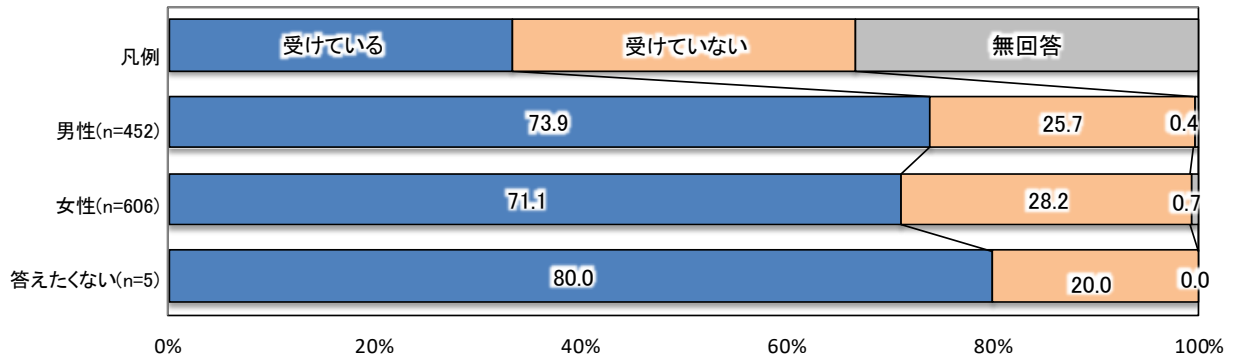
受けていない理由については、「医療機関を定期受診中」の25.7%が最も高く、以下、「時間が合わない」22.6%、「費用がかかる」18.4%が続いている。



	令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%
1 受けている	770	72.4	831	74.1
2 受けていない	288	27.1	284	25.3
3 無回答	6	0.6	6	0.5
合計	1,064	100.0	1,121	100.0

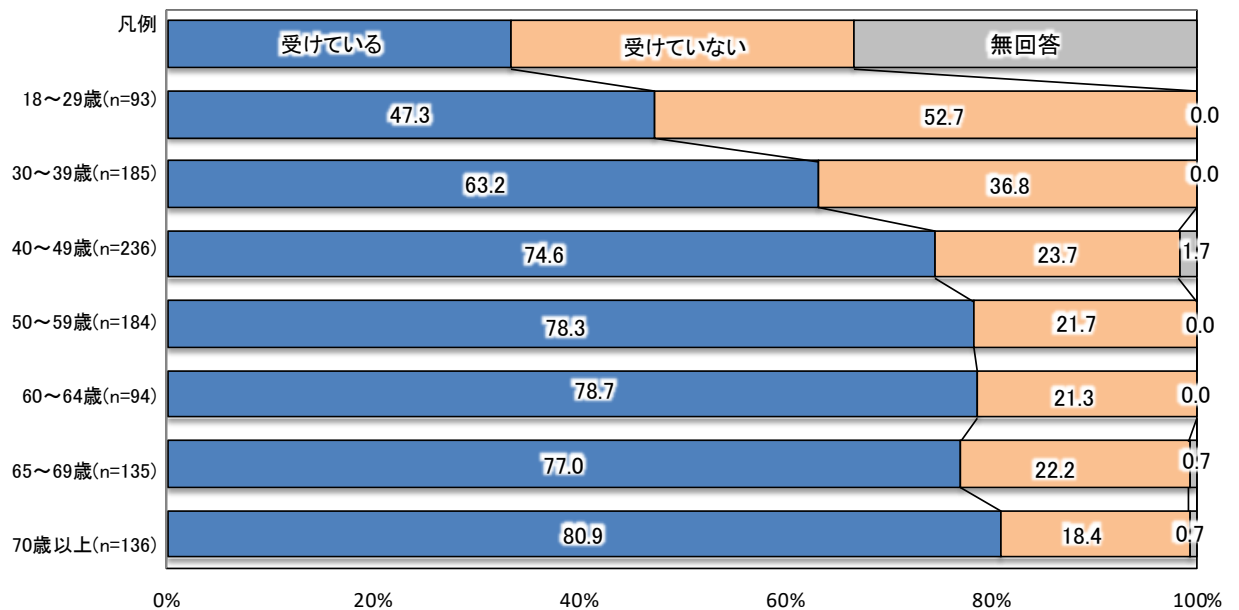
【性別】

- 生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドッグ）を受けている人の割合は、男性 73.9%、女性 71.1%となっており、男女ともに7割を超えている。

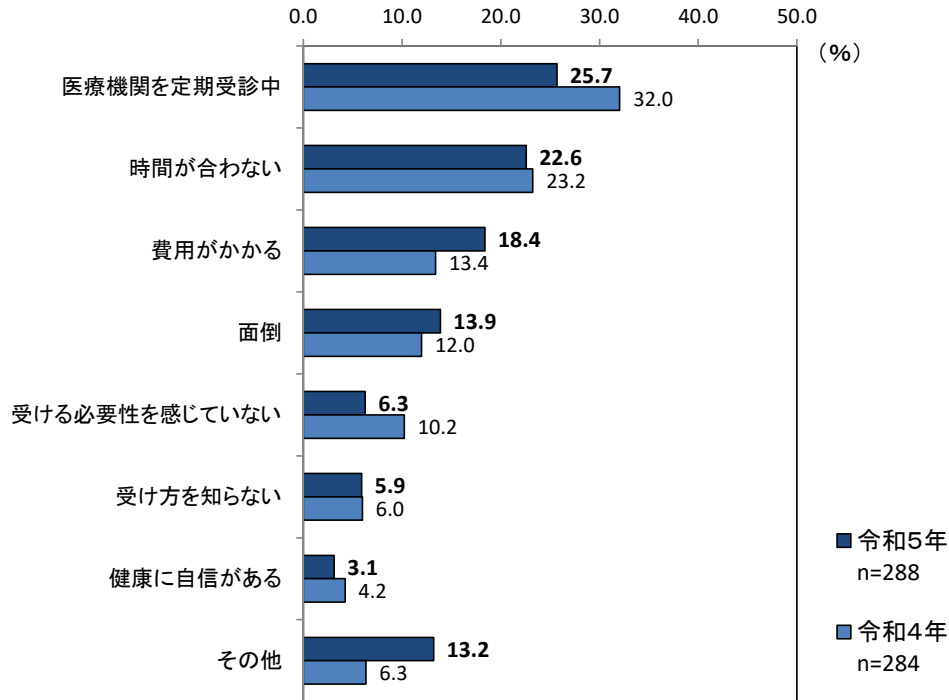


【年齢別】

- 生活習慣病予防のための健診（生活習慣病健診、特定健診、後期高齢者健診、人間ドッグ）を受けている人の割合は、概ね年代が上がるほど高くなる傾向が認められる。受けている割合が低いのは20代以下の47.3%と30代の63.2%。



【受けない理由】



その他の記述内容	件数
職場の定期健診を受けている	11
学生のため	7
時間をつくることができない	4
受ける年齢になっていないため	1
次男がまだ小さいのでお金を払って預けないといけない	1
子供を連れていけないといけない	1
子育てが忙しくて受ける時間がない	1
結果が怖い	1
タイミングが合わず、受けられなかった。	1
受けようとしていたがちょうどぎりぎり具合が悪くなったため	1
場所をいくつかふやしてほしいです	1

	合計	医療機関を定期受診中	費用がかかる	面倒	時間が合わない	受ける必要性を感じていない	健康に自信がある	受け方を知らない	その他
全体	288	25.7%	18.4%	13.9%	22.6%	6.3%	3.1%	5.9%	13.2%
■ 性別									
男性	116	21.6%	16.4%	12.1%	24.1%	7.8%	5.2%	6.9%	12.1%
女性	171	28.1%	19.9%	15.2%	21.6%	5.3%	1.8%	5.3%	14.0%
答えたくない	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
■ 年代別									
18～29歳	49	10.2%	16.3%	8.2%	18.4%	12.2%	6.1%	6.1%	26.5%
30～39歳	68	8.8%	30.9%	17.6%	35.3%	7.4%	2.9%	7.4%	11.8%
40～49歳	56	14.3%	16.1%	16.1%	32.1%	1.8%	1.8%	7.1%	19.6%
50～59歳	40	30.0%	17.5%	20.0%	30.0%	5.0%	0.0%	5.0%	5.0%
60～64歳	20	55.0%	10.0%	10.0%	5.0%	0.0%	5.0%	0.0%	5.0%
65～69歳	30	53.3%	13.3%	13.3%	3.3%	6.7%	3.3%	6.7%	3.3%
70歳以上	25	64.0%	8.0%	4.0%	0.0%	8.0%	4.0%	4.0%	8.0%

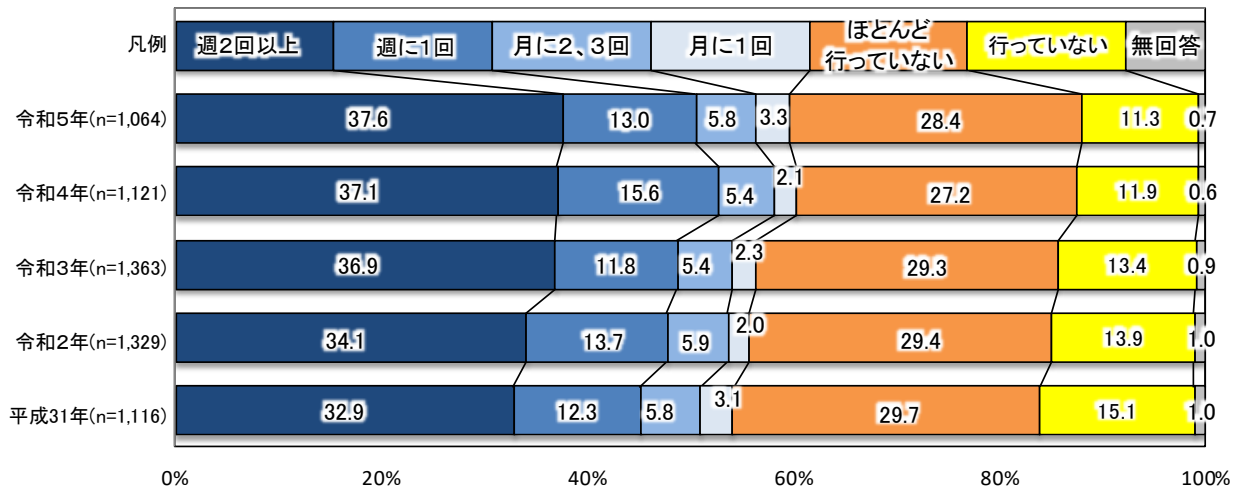
②健康づくりの取組み頻度(問18)

あなたは、日頃から、体を動かすことに取り組んでいますか。

日頃から体を動かすことに取り組んでいる人(月1回以上)の割合は全体の59.7%と6割弱となっており、取り組んでいない(「ほとんど行っていない」+「行っていない」)人の割合は39.7%となっている。

取り組んでいる場合の頻度では、「週2回以上」37.6%が最も高く、次いで「週1回」が13.0%となっている。

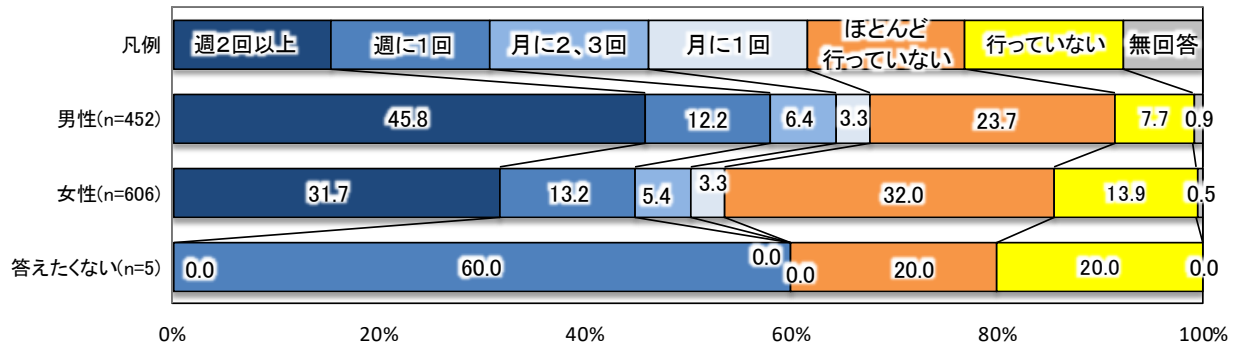
昨年度と比較して大きな差は認められないが、日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、平成31年以降から前年度まで増加し、今年度は横ばいとなっている。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	400	37.6	416	37.1	503	36.9	453	34.1	367	32.9
2 週に1回行っている	138	13.0	175	15.6	161	11.8	182	13.7	137	12.3
3 月に2,3回行っている	62	5.8	61	5.4	73	5.4	78	5.9	65	5.8
4 月に1回行っている	35	3.3	24	2.1	31	2.3	27	2.0	35	3.1
5 ほとんど行っていない	302	28.4	305	27.2	400	29.3	391	29.4	332	29.7
6 行っていない	120	11.3	133	11.9	183	13.4	185	13.9	169	15.1
7 無回答	7	0.7	7	0.6	12	0.9	13	1.0	11	1.0
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

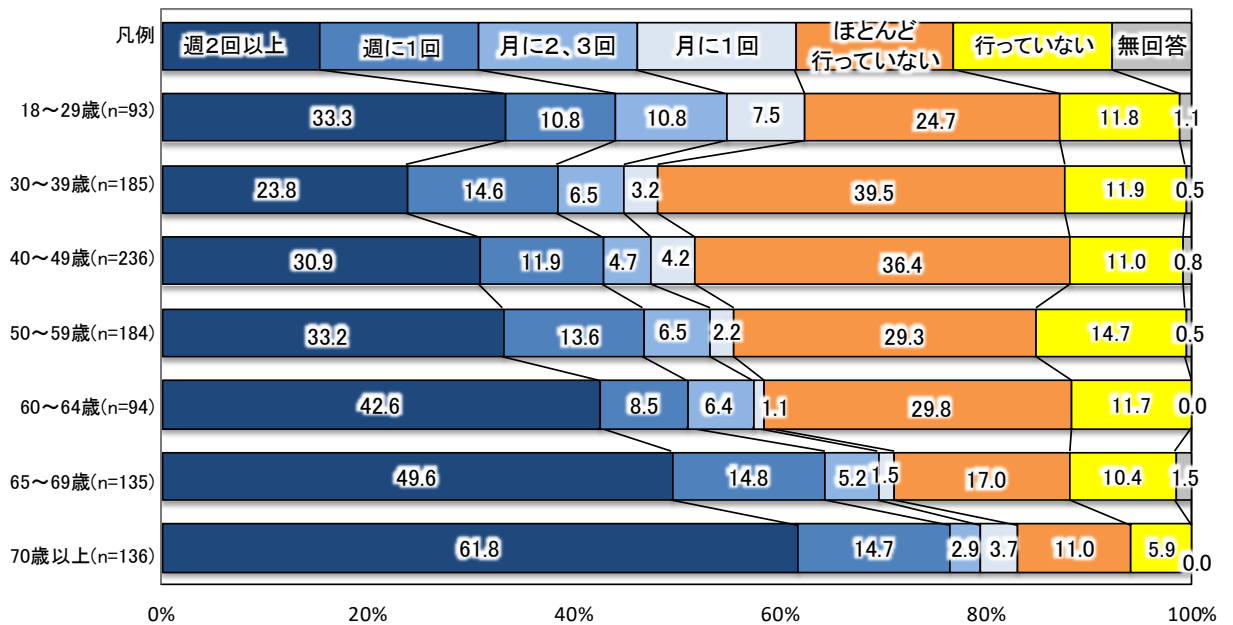
【性別】

- 日ごろから体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、男性 67.7%、女性 53.6%となっており、男性が女性を上回っている。特に男性は「週2回以上」が 45.8%となっており、「週1回」12.2%と合わせると6割弱が高頻度で日ごろから体を動かすことに取り組んでいる。
- 一方、女性の高頻度の取り組みの場合はほぼ半数の 45.9%となっている。



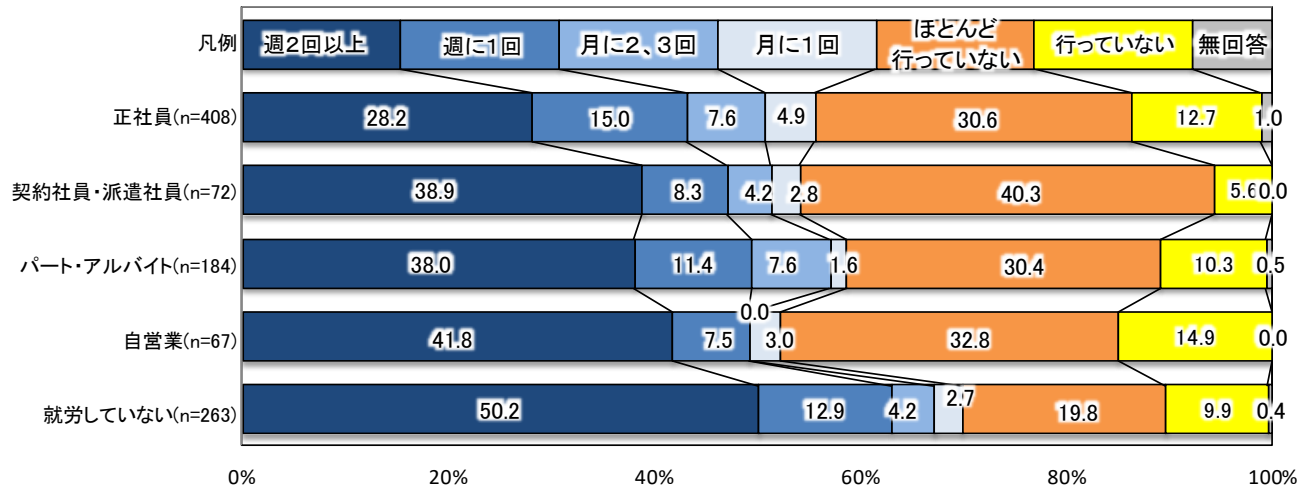
【年齢別】

- 日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、20代以下では62.4%となっている。30代では48.1%、40代では51.7%と他の年代と比べ低くなっており、その後は年齢とともに取り組む人の割合は増え、65歳以上では7割を超え、70歳以上では8割台となっている。



【職業別】

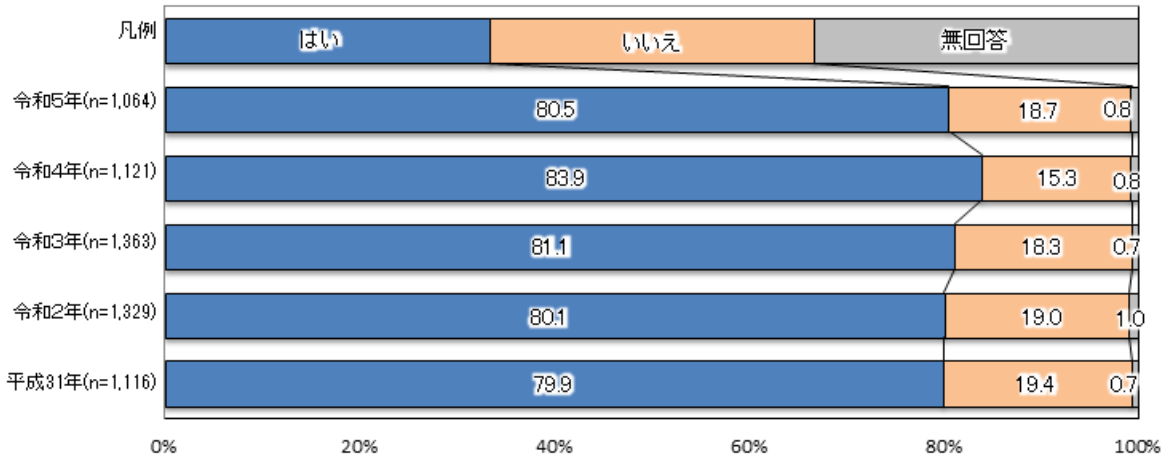
- 日頃から体を動かすことに取り組んでいる人の割合は、正社員では 55.7%、就労していない人では 70.0%となっており、最も低い自営業でも 52.3%と半数を超えている。
- 就労していない人においては、半数の人が週 2 回以上取り組んでいる。



(2) ストレス解消法 (問19)

自分なりのストレス解消法を持っていますか。

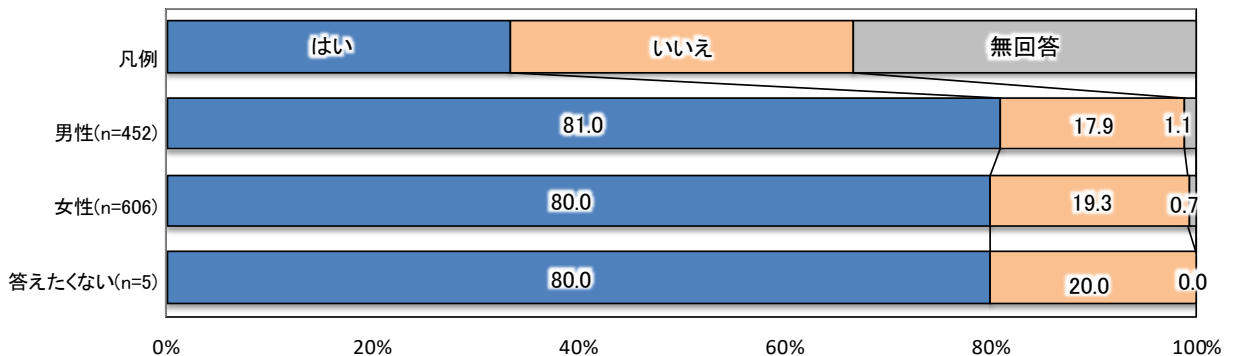
ストレス解消法を持っている人の割合は、80.5%となっている。前年度と比較すると、持っている人の割合は微減している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 はい	856	80.5	940	83.9	1105	81.1	1064	80.1	892	79.9
2 いいえ	199	18.7	172	15.3	249	18.3	252	19.0	216	19.4
3 無回答	9	0.8	9	0.8	9	0.7	13	1.0	8	0.7
合計	1,064	100.0	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

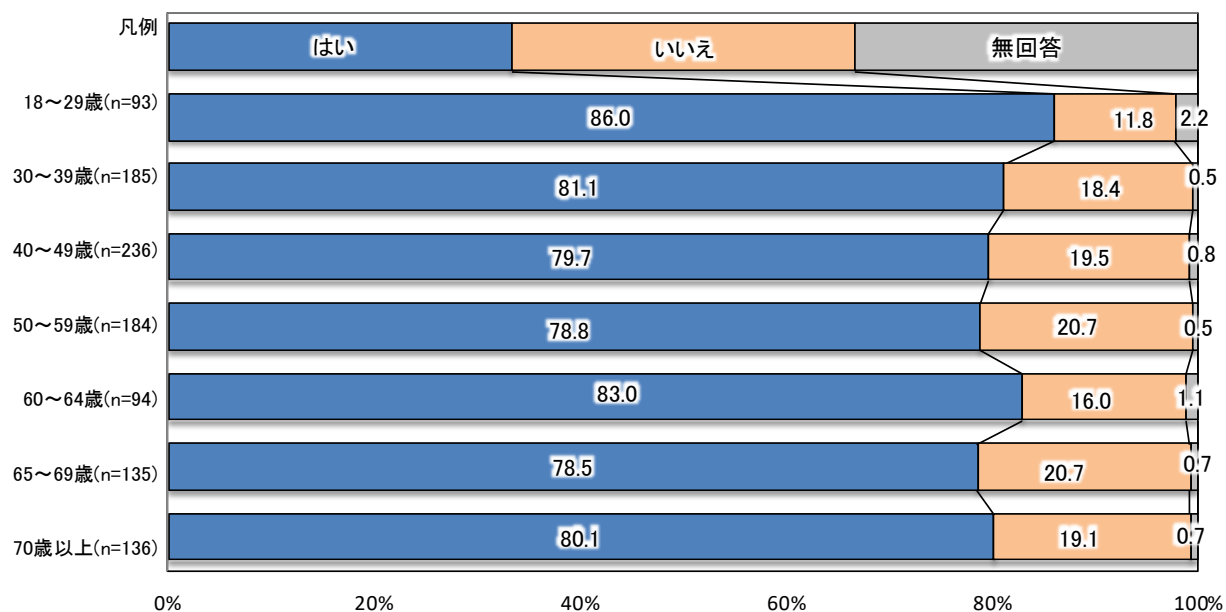
【性別】

●性別による大きな差は、認められない。



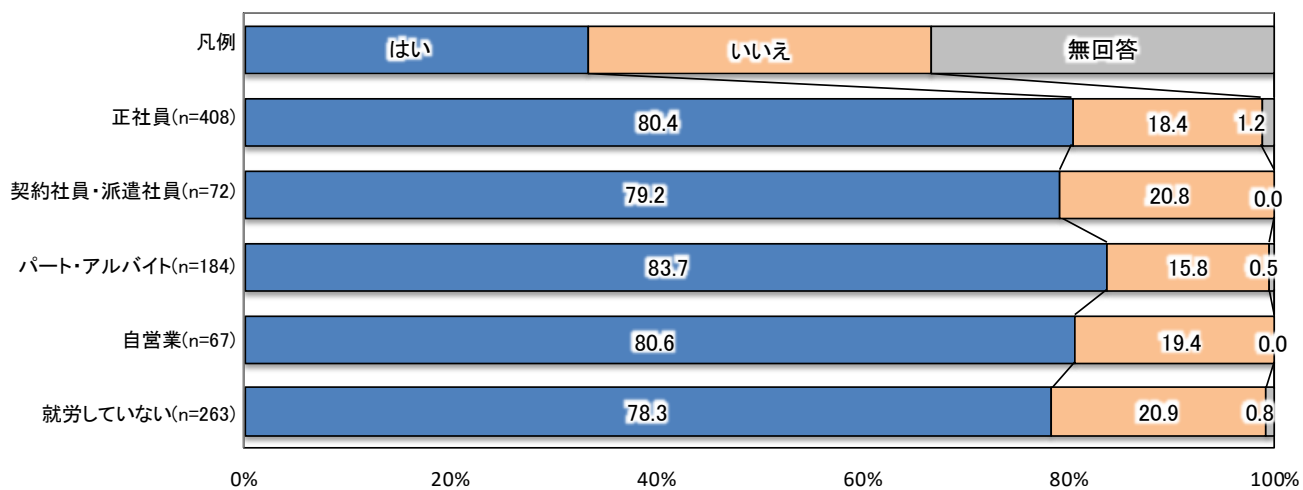
【年齢別】

●ストレス解消法を持っている人の割合は、すべての年代で8割前後となっている。



【職業別】

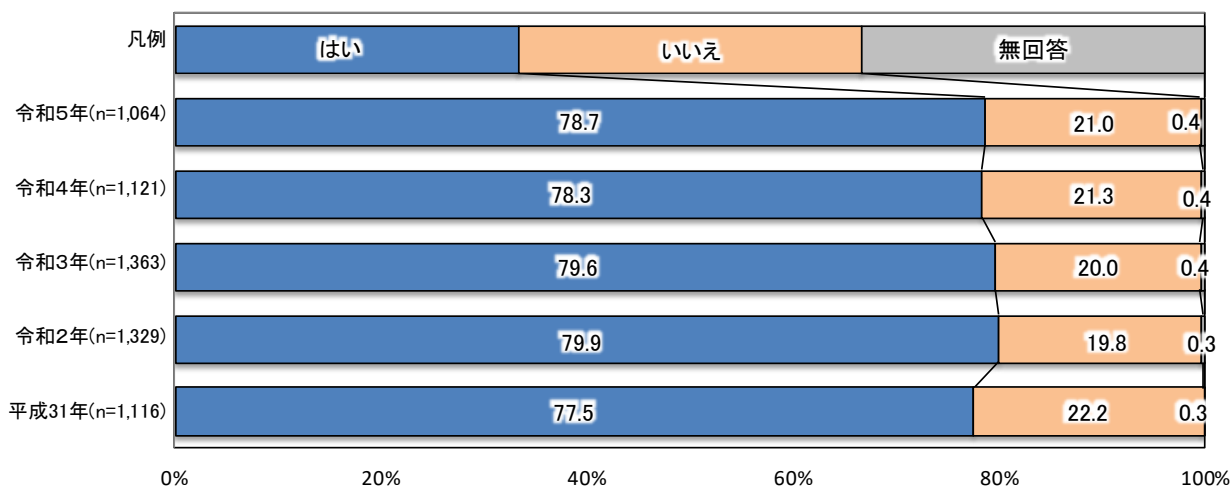
●ストレス解消法を持っている人の割合は、すべての職業で8割前後となっている。



(3) 規則正しい食生活 (問20)

食事は1日3回(朝・昼・晩)規則正しく食べていますか。

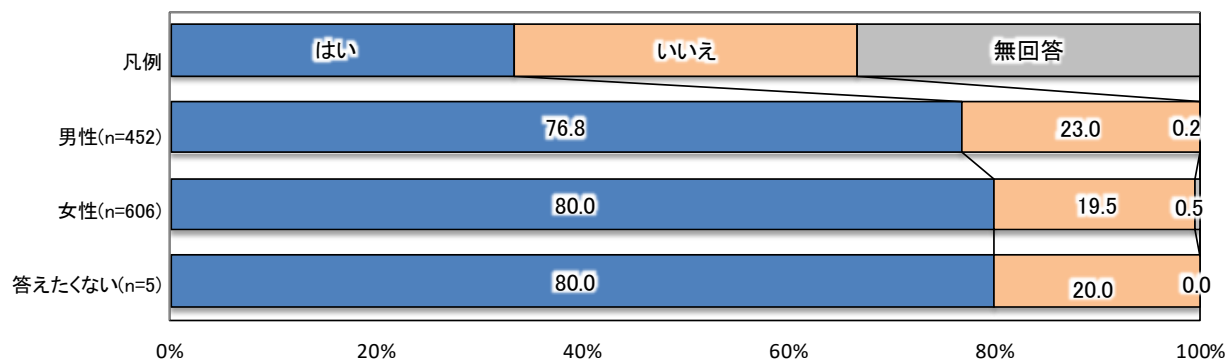
規則正しく食事をとっている人の割合は78.7%、規則正しく食事をとっていない人の割合は21.0%となっている。
前年度と比較して、大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 はい	837	78.7	878	78.3	1085	79.6	1062	79.9	865	77.5
2 いいえ	223	21.0	239	21.3	273	20.0	263	19.8	248	22.2
3 無回答	4	0.4	4	0.4	5	0.4	4	0.3	3	0.3
合計	1,064	100.0	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

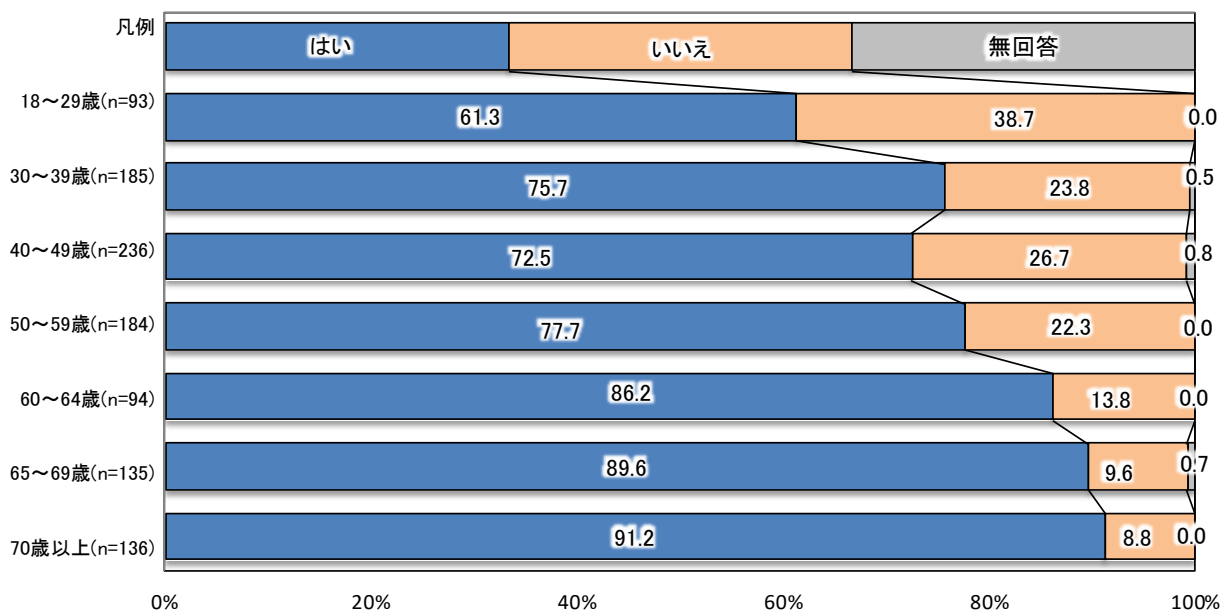
【性別】

●規則正しく食事をとっている人の割合は、男性76.8%、女性80.0%となっており、女性が男性をやや上回っている。男性では4人に1人が規則正しく食事をとっていない。



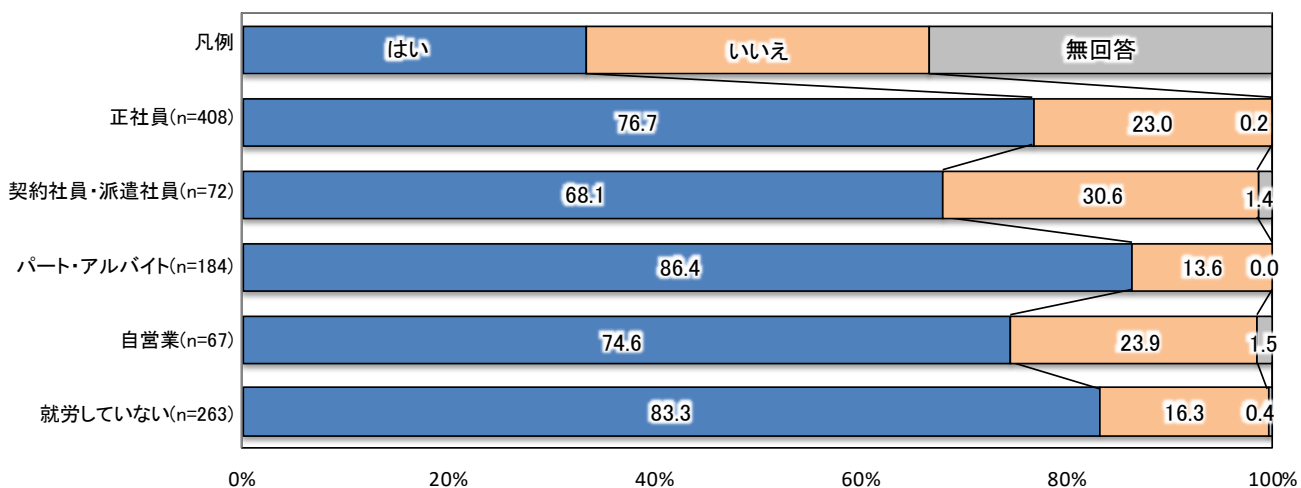
【年齢別】

●規則正しく食事をとっている人の割合は、20代以下を除くすべての年代で7割以上となっている。20代以下では規則正しく食事をとっていない人が4割近くとなっている。



【職業別】

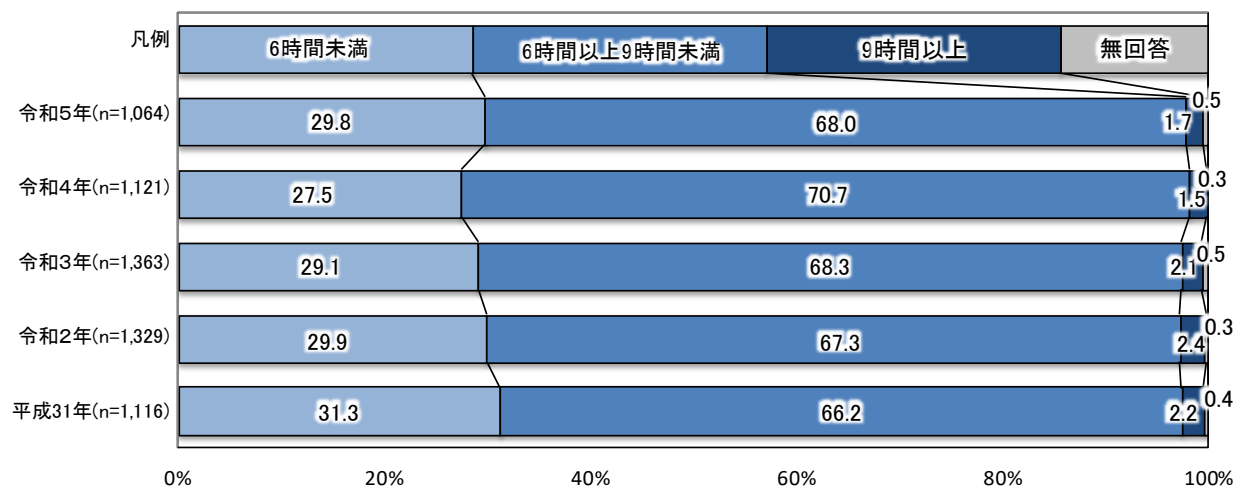
●規則正しく食事をとっている人の割合は、契約社員・派遣社員と自営業が他の職業に比べてやや低く、3～4人に一人が規則正しい食事をとっていない。



(4) 睡眠時間(問21)

昼寝を含めて1日の睡眠時間は何時間くらいですか。

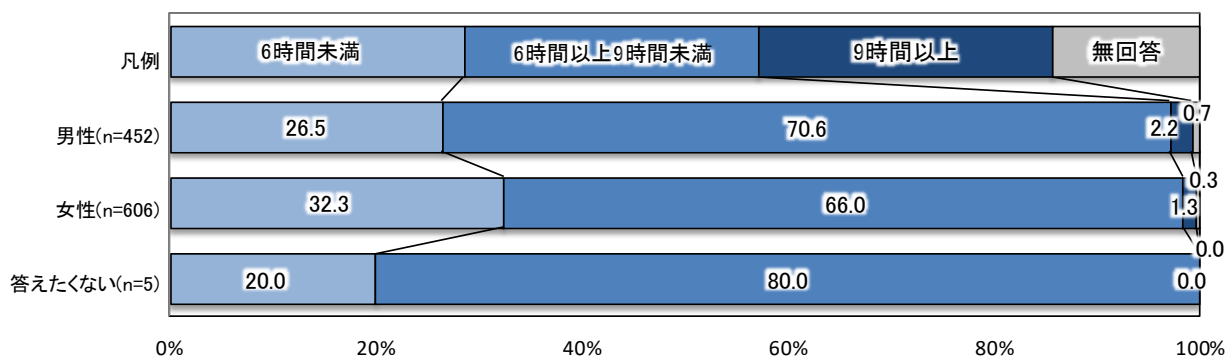
1日の睡眠時間は、6時間以上9時間未満の人の割合が68.0%と最も高くなっている。前年度と比較して大きな差は認められないが、睡眠時間が6時間以上9時間未満の人の割合は、平成31年以降から前年度まで微増し、その後、微減となっている。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 6時間未満	317	29.8	308	27.5	397	29.1	398	29.9	349	31.3
2 6時間以上9時間未満	724	68.0	793	70.7	931	68.3	895	67.3	739	66.2
3 9時間以上	18	1.7	17	1.5	28	2.1	32	2.4	24	2.2
4 無回答	5	0.5	3	0.3	7	0.5	4	0.3	4	0.4
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

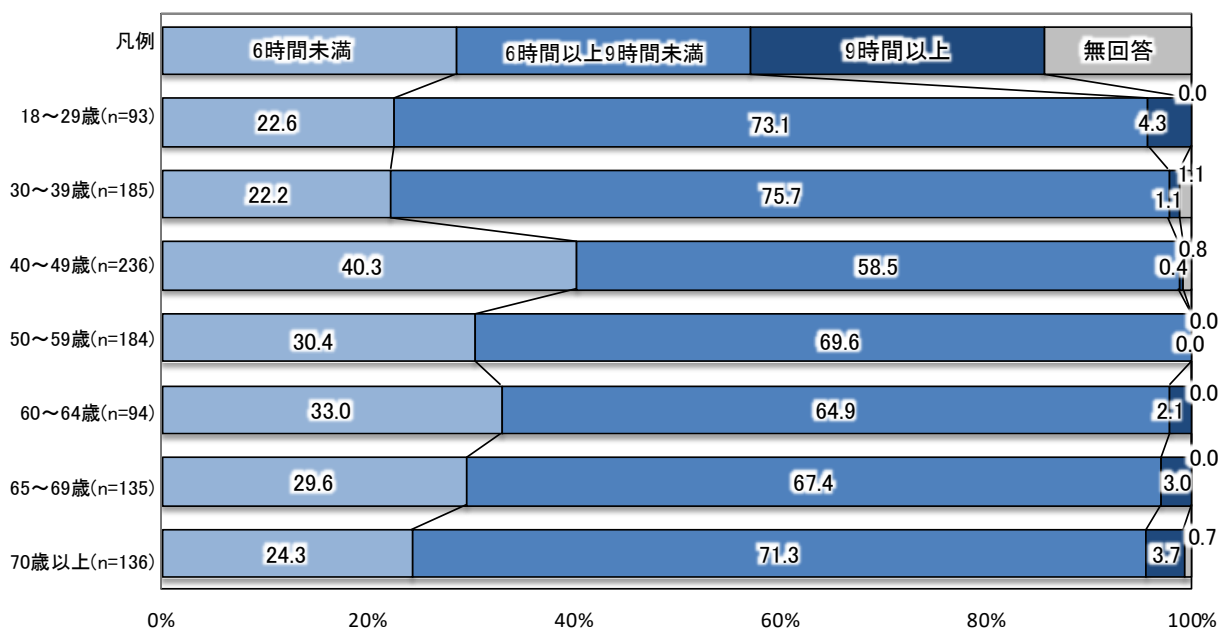
【性別】

●女性の6時間未満の人の割合は32.3%となっており、男性よりも高くなっている。



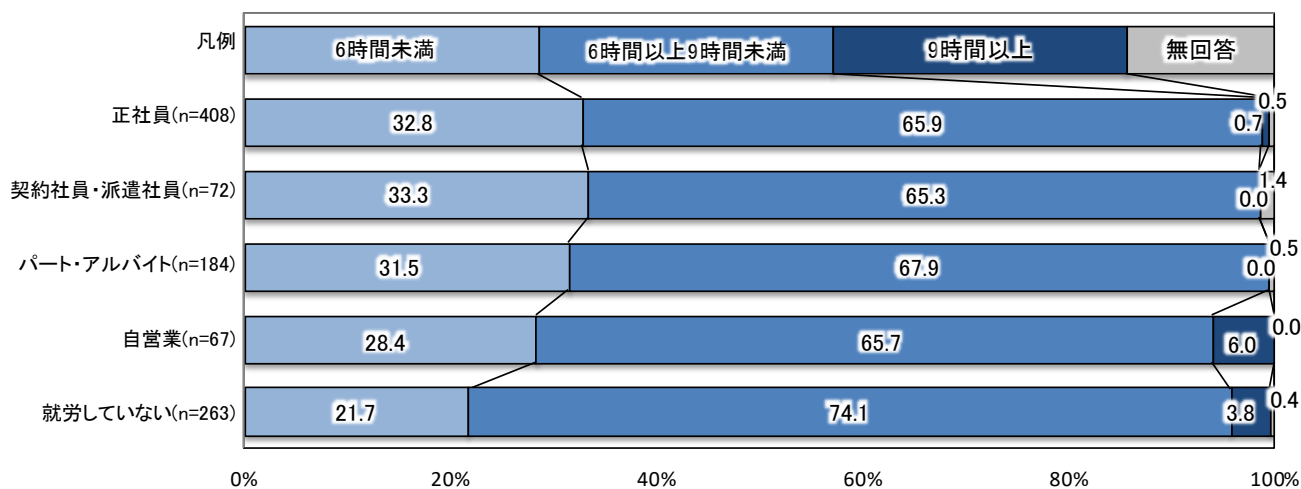
【年齢別】

- 生産年齢人口の中でも40代～60～64歳では睡眠時間が短くなっており、6時間未満の人の割合は3～4割と他の年代と比べ高くなっている。



【職業別】

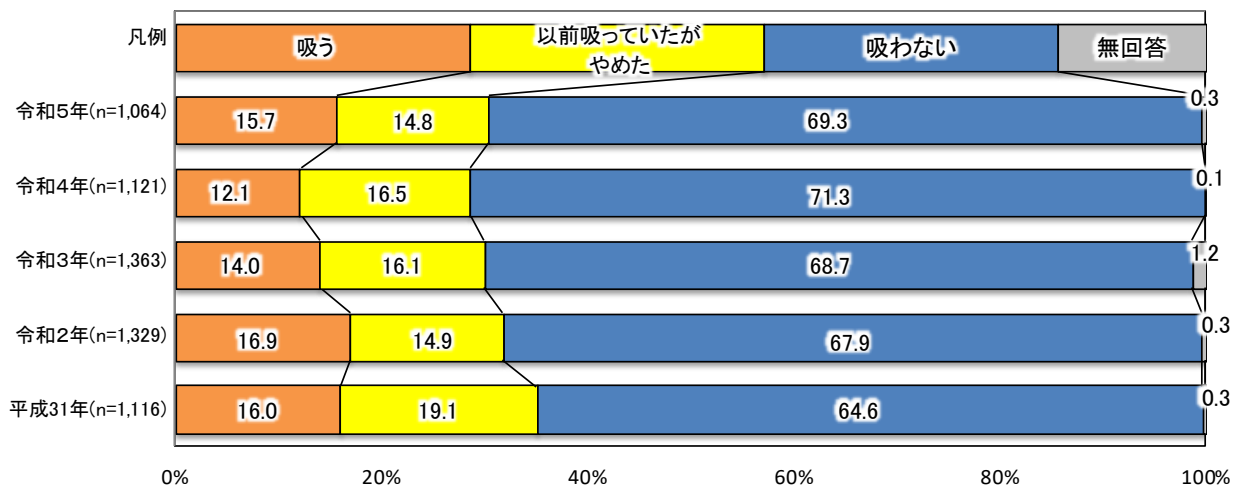
- 睡眠時間6時間未満の人の割合をみると、契約社員・派遣社員では33.3%と最も高く、これに正社員の32.8%が続いており、他の職業に比べて睡眠時間が短い人の割合が高くなっている。



(5) 喫煙（問22）

タバコを吸いますか。（電子タバコを含む）

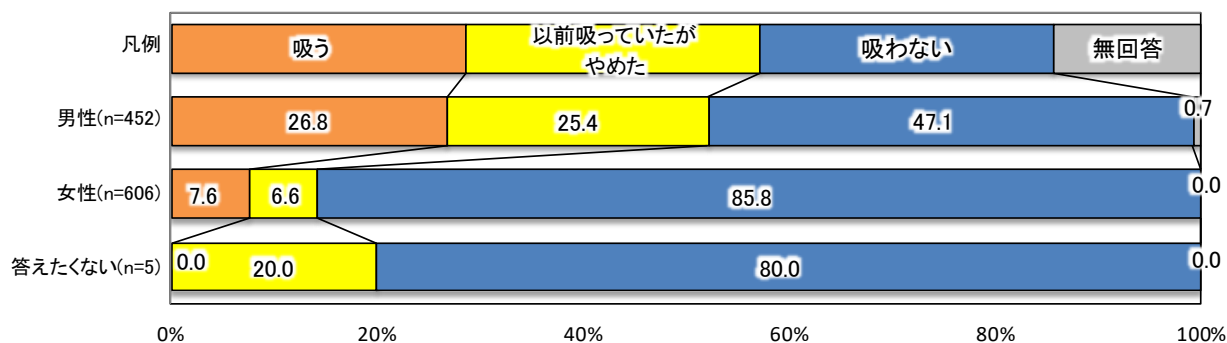
タバコを吸わない人が 69.3%と最も多く、以前吸っていたがやめた人の 14.8%と合わせると非喫煙者が 8 割以上を占めている。喫煙者は 15.7%。
前年度と比較して、喫煙者の割合は 3.6 ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 吸う	167	15.7	136	12.1	191	14.0	225	16.9	179	16.0
2 以前吸っていたがやめた	157	14.8	185	16.5	219	16.1	198	14.9	213	19.1
3 吸わない	737	69.3	799	71.3	937	68.7	902	67.9	721	64.6
4 無回答	3	0.3	1	0.1	16	1.2	4	0.3	3	0.3
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

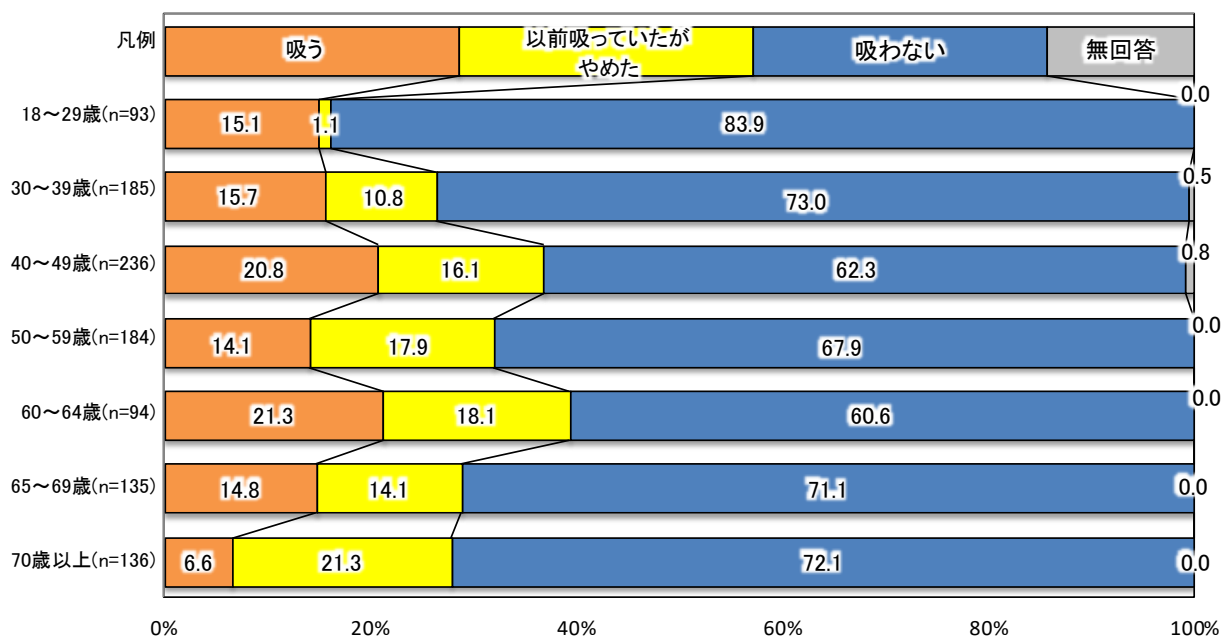
【性別】

- 喫煙者の割合は、男性が 26.8%、女性が 7.6%と男性が女性を上回っている。
- 男性では 25.4%が、以前吸っていたがやめたとしている。



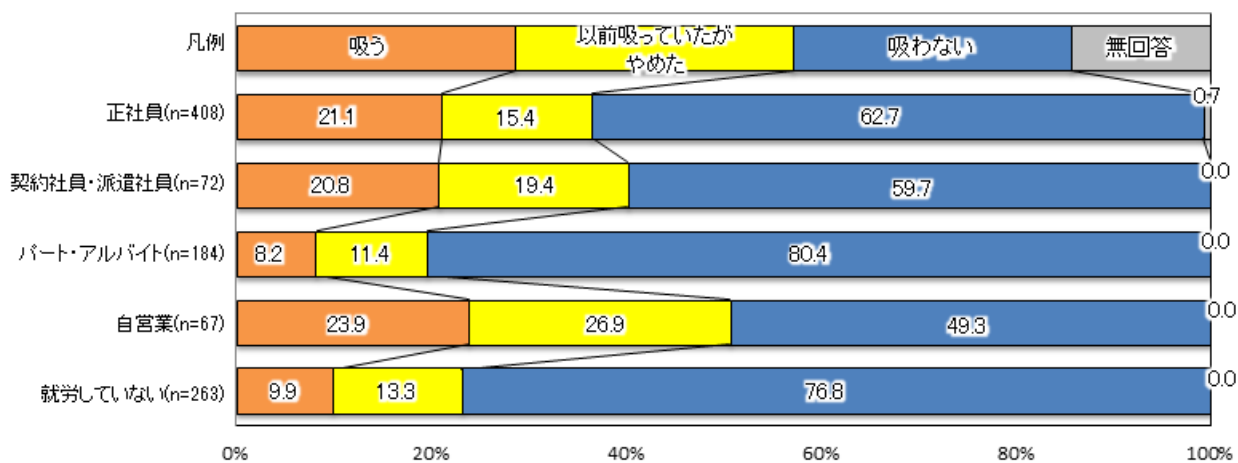
【年齢別】

- 喫煙者の割合は、40代と60～64歳を除く年代で1割前後となっている。
- 喫煙者の割合は、40代20.8%、60～64歳21.3%となっており、他の年代よりも高い。



【職業別】

- 喫煙者の割合は、正社員、契約社員・派遣社員、自営業で2割台となっており、パート・アルバイトや就労していないと比較して高くなっている。

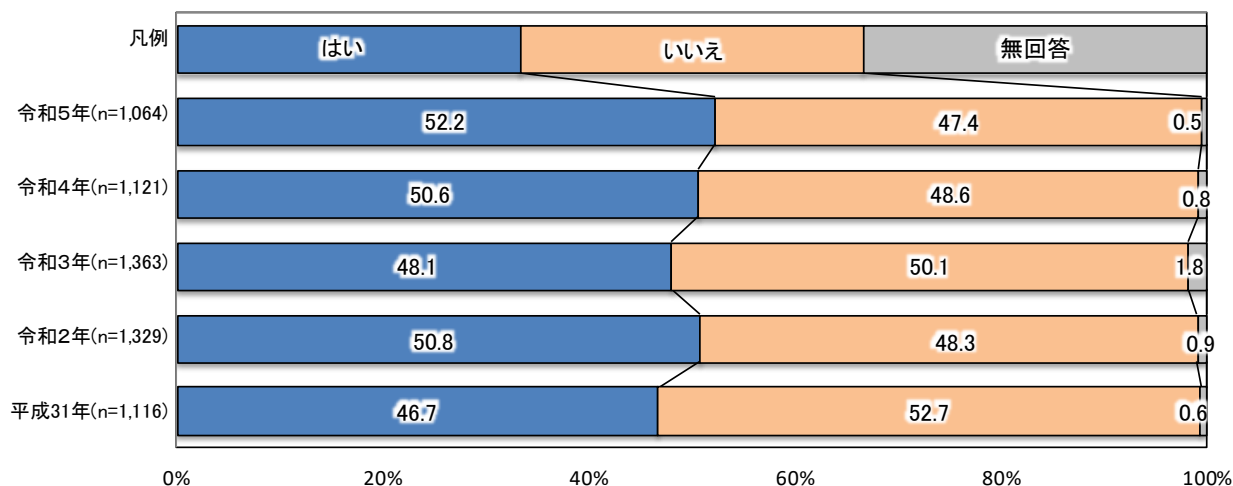


3. 健康知識について

(1) 飲酒量(問23)

生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っていますか。

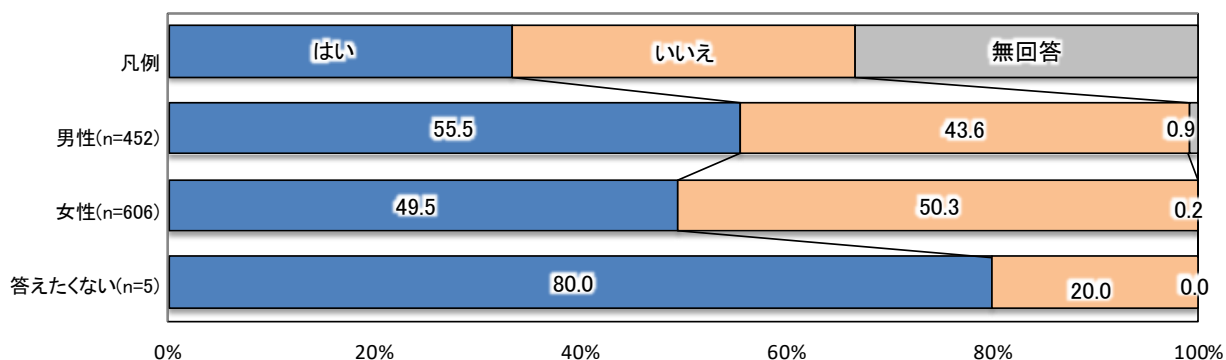
生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っている人の割合は 52.2%となっており、ほぼ半数を占めている。
 平成31年度以降、リスクを高める飲酒量を知っている人の割合は微増傾向であることが認められる。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 知っている	555	52.2	567	50.6	655	48.1	675	50.8	521	46.7
2 知らない(今回の調査で初めて聞いた)	504	47.4	545	48.6	683	50.1	642	48.3	588	52.7
3 無回答	5	0.5	9	0.8	25	1.8	12	0.9	7	0.6
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

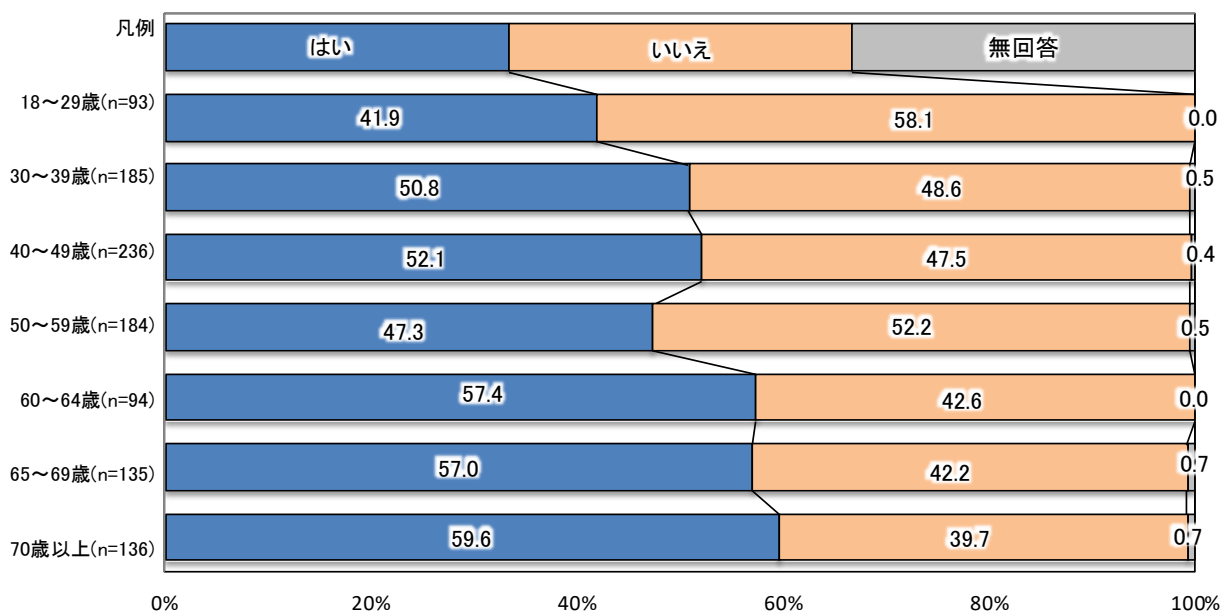
【性別】

●生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知っている人の割合は、男性 55.5%、女性 49.5%と男性が女性を上回っている。



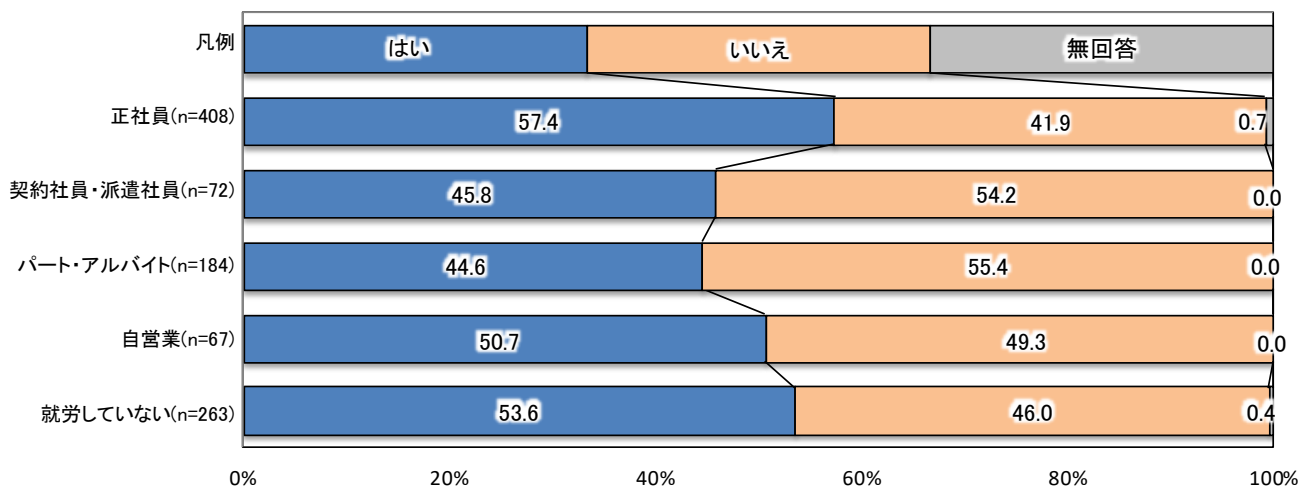
【年齢別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量について知らない人の割合は、20代以下の58.1%が最も高く、これに50代の52.2%が続いている。



【職業別】

- 生活習慣病のリスクを高める飲酒量を知っている人の割合は、正社員が57.4%と最も高く、パート・アルバイトの44.6%が最も低くなっている。

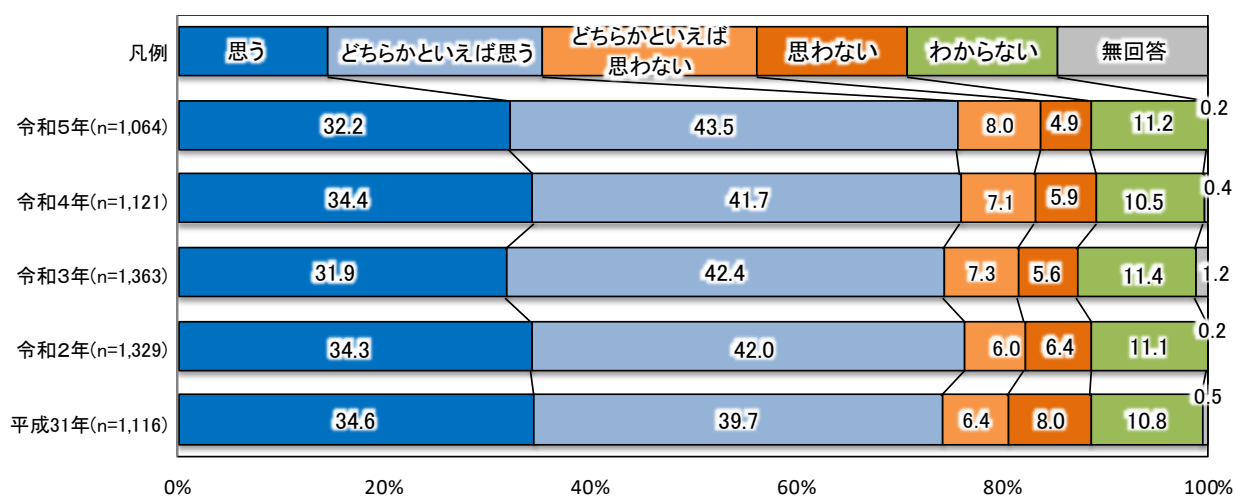


4. 生涯学習等について

(1) 生きがいを持った生活（問25）

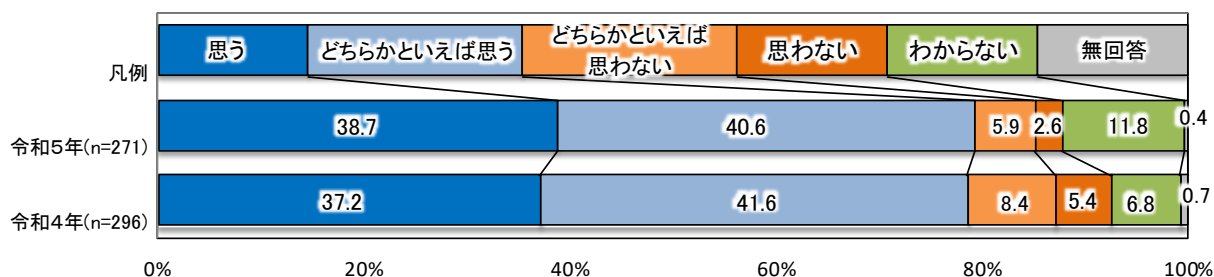
あなたは、生きがいを持って生活していると思いますか。

生きがいを持って生活していると思う人（「思う」+「どちらかといえば思う」）の割合は75.7%を占めている。思わない人（「思わない」+「どちらかといえば思わない」）は12.9%、「わからない」は11.2%となっている。
 前年度と比較して大きな差は認められない。
 なお、65歳以上のみで集計した場合をみると、思う人の割合が全世代の集計結果と比べ3.6ポイント高くなっている。



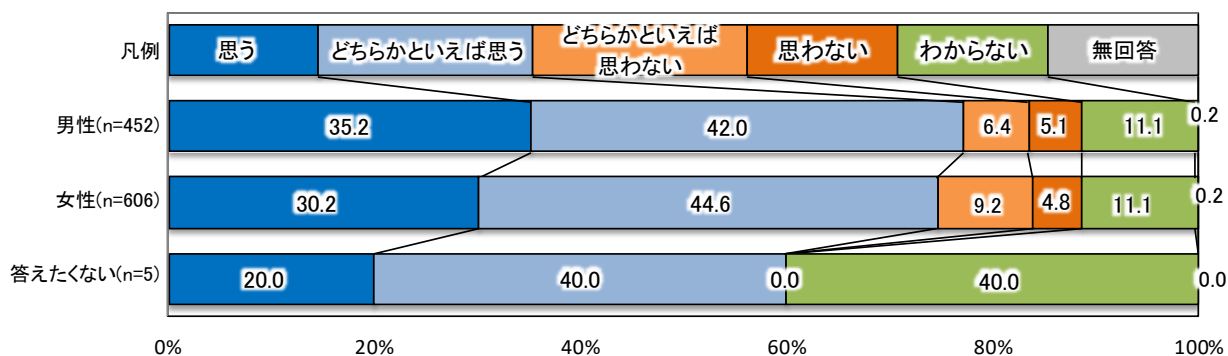
	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	343	32.2	386	34.4	435	31.9	456	34.3	386	34.6
2 どちらかといえば思う	463	43.5	467	41.7	578	42.4	558	42.0	443	39.7
3 どちらかといえば思わない	85	8.0	80	7.1	100	7.3	80	6.0	71	6.4
4 思わない	52	4.9	66	5.9	77	5.6	85	6.4	89	8.0
5 わからない	119	11.2	118	10.5	156	11.4	148	11.1	121	10.8
6 無回答	2	0.2	4	0.4	17	1.2	2	0.2	6	0.5
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

65歳以上



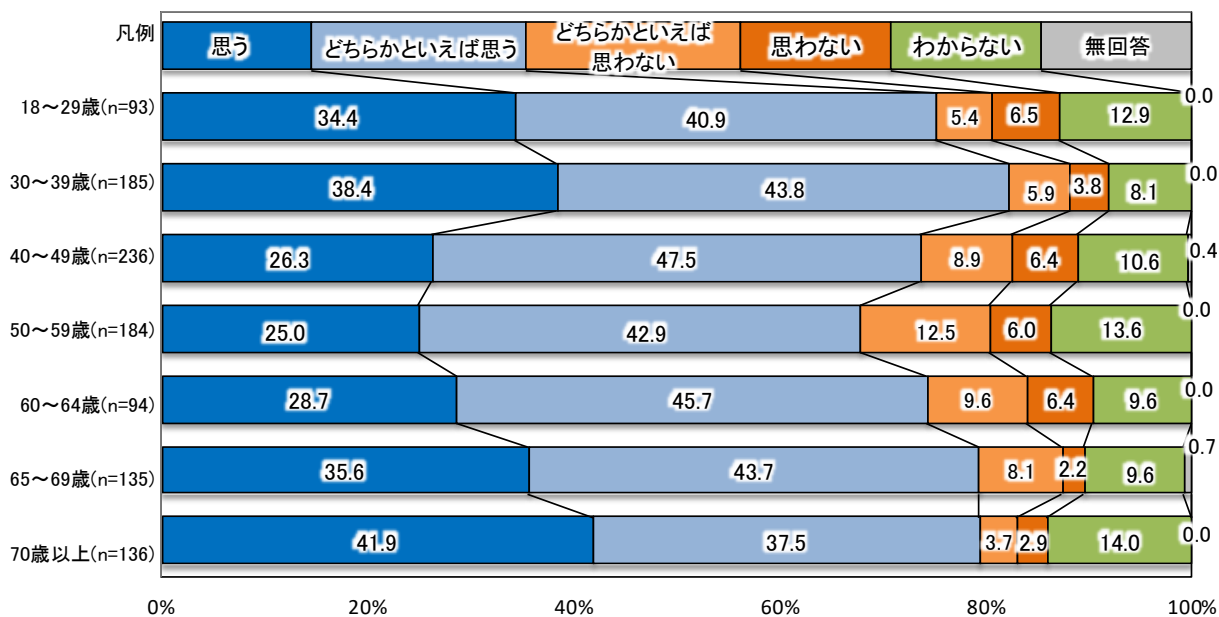
【性別】

●生きがいをもって生活していると思う人の割合は、男性の77.2%に対し女性は74.8%となっており、男性の割合がやや高い。



【年齢別】

●生きがいをもって生活していると思う人の割合は、30代の82.2%が最も高く、これに70歳以上の74.9%、65～69歳79.3%が続いている。一方、50代で生きがいをもって生活していると思う人の割合は67.9%で最も低くなっている。

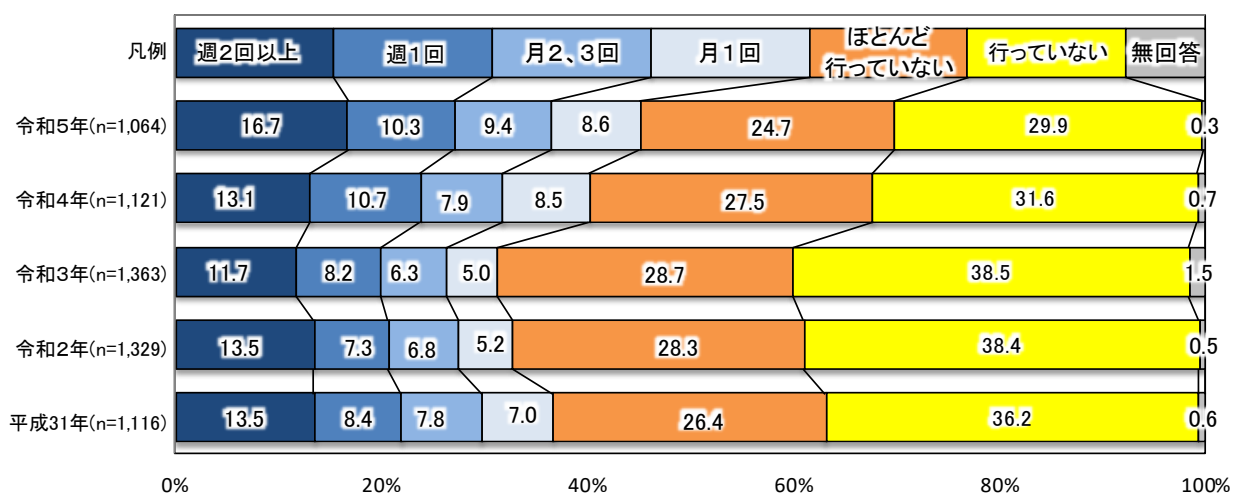


(2) 生涯学習について

①生涯学習の実施（問26）

あなたは、生涯学習（学び：文化活動、趣味、レクリエーション活動など）をどのくらい行っていますか。

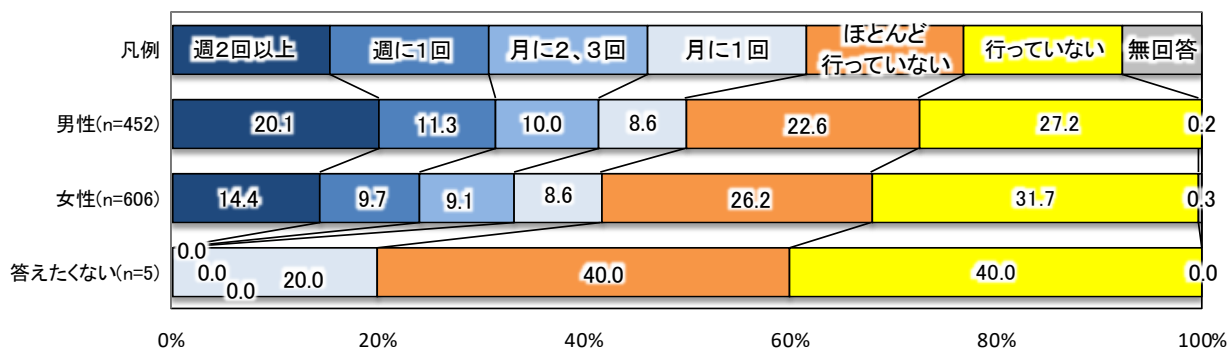
生涯学習を行っている人（月1回以上）の割合は45.0%、行っていない人（「ほとんど行っていない」＋「行っていない」）の割合は54.6%となっている。
 行っている頻度をみると、「週2回以上」が16.7%で最も高くなっている。
 前年度と比較すると、行っている人の割合は、4.8ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	178	16.7	147	13.1	160	11.7	179	13.5	151	13.5
2 週1回行っている	110	10.3	120	10.7	112	8.2	97	7.3	94	8.4
3 月2、3回行っている	100	9.4	89	7.9	86	6.3	90	6.8	87	7.8
4 月1回行っている	92	8.6	95	8.5	68	5.0	69	5.2	78	7.0
5 ほとんど行っていない	263	24.7	308	27.5	391	28.7	376	28.3	295	26.4
6 行っていない	318	29.9	354	31.6	525	38.5	511	38.4	404	36.2
7 無回答	3	0.3	8	0.7	21	1.5	7	0.5	7	0.6
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

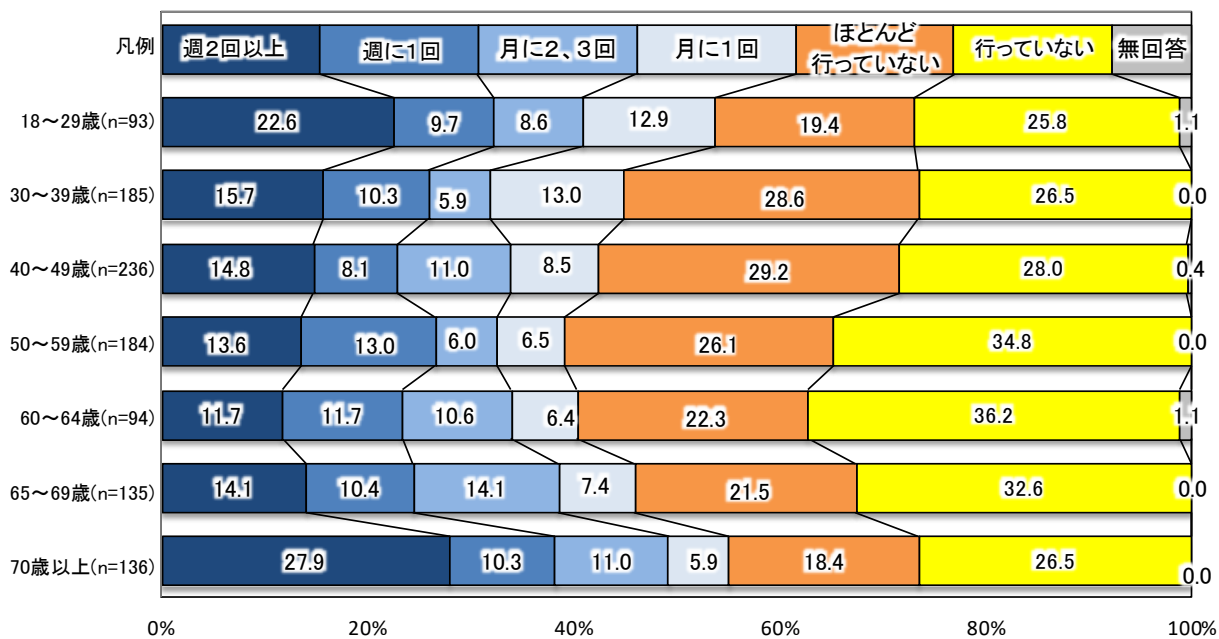
【性別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、男性 50.0%、女性 41.8%となっており、男性が女性より高くなっている。



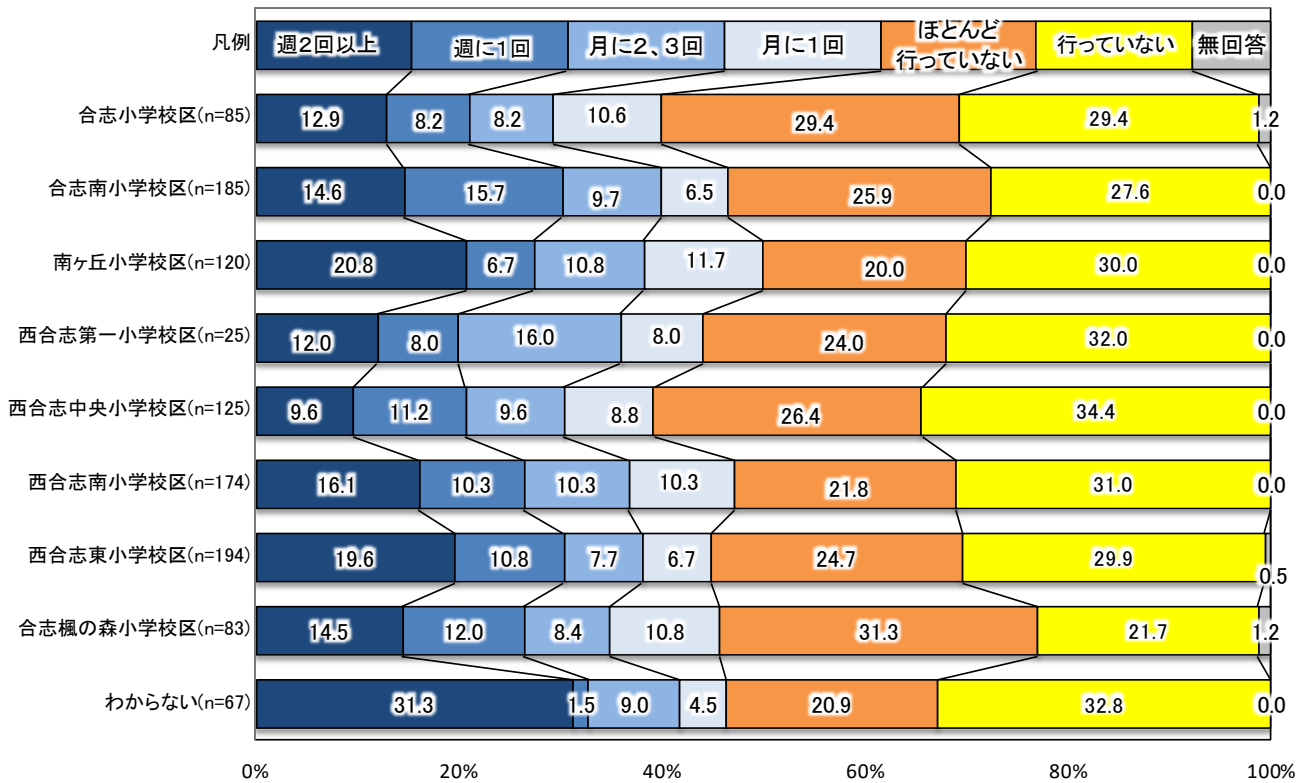
【年齢別】

- 生涯学習を行っている人の割合は、50代で39.1%、60～64歳で40.4%となっており、他の年代に比べて低くなっている。また、20代以下で生涯学習を行っている人の割合は半数を超えているが、30代から減少し50代を底に年代が上がるにしたがって増えている。



【校区別】

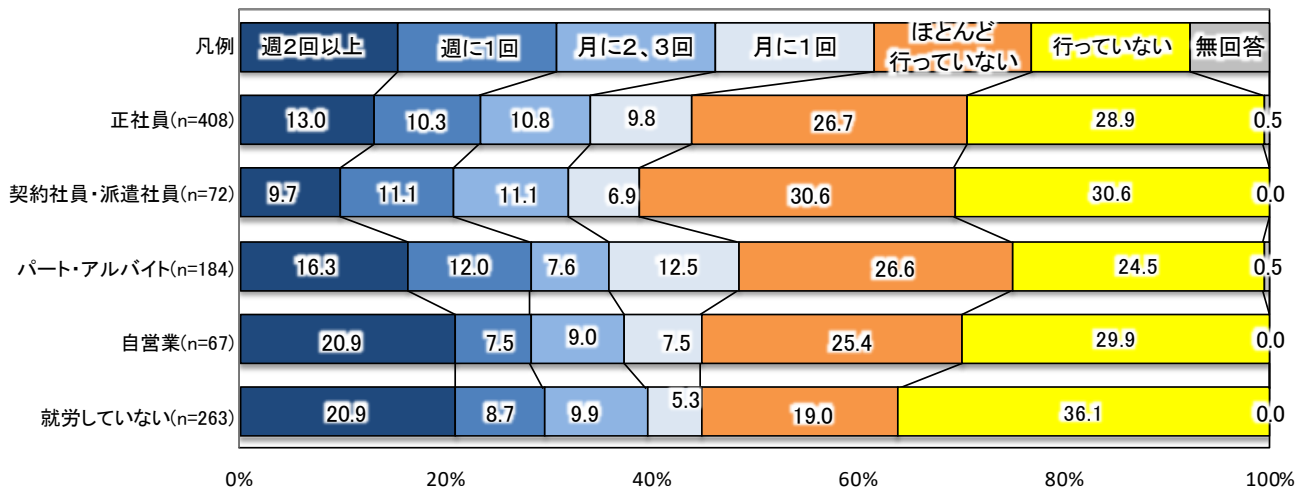
●生涯学習を行っている人の割合は、西合志中央小 39.2%、合志小で 39.9%となっており、他校区より低い。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

●生涯学習を行っている人の割合は、契約社員・派遣社員で 38.8%となっており、他の職業よりも低い。

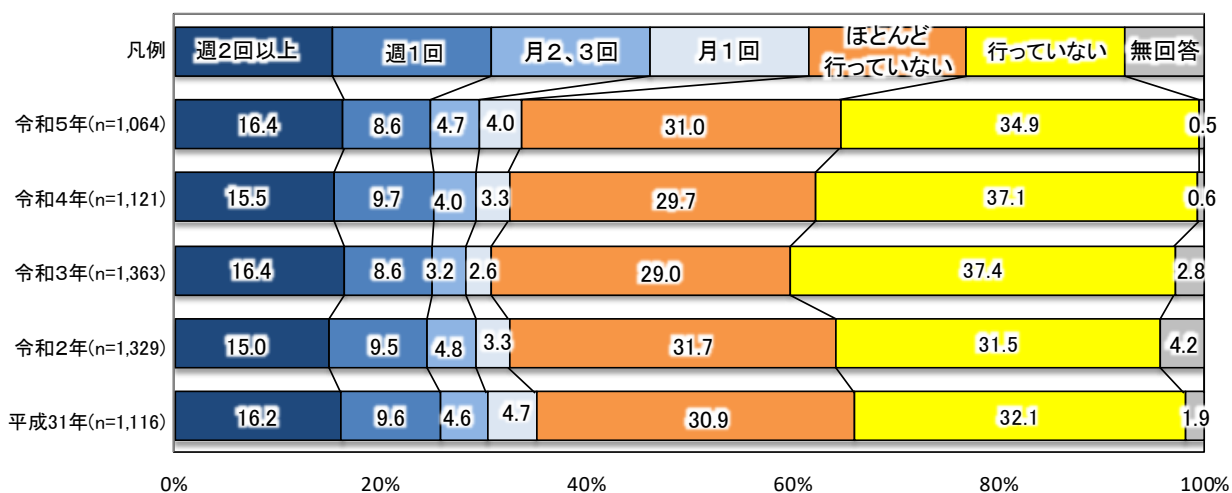


(3) スポーツについて

①スポーツの実施（問27）

あなたは、スポーツをどのくらい行っていますか。

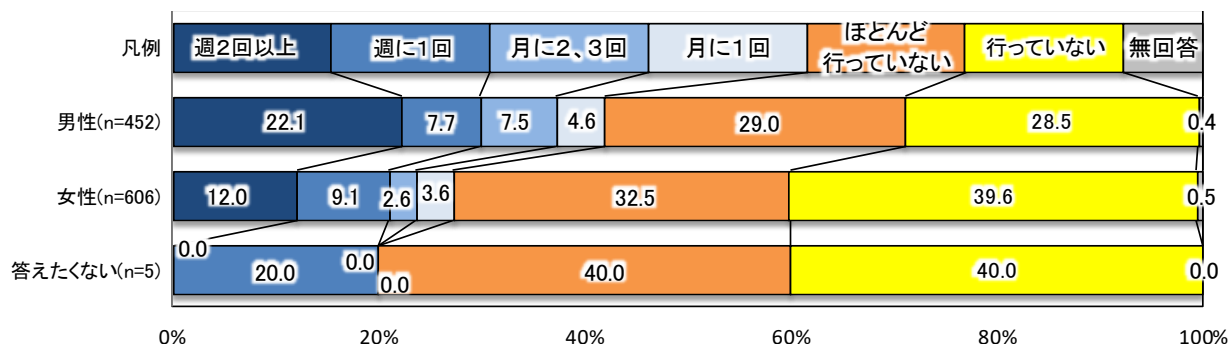
スポーツを行っている人（月1回以上）の割合は33.7%、行っていない人（「ほとんど行っていない」+「行っていない」）の割合は65.9%となっている。
 なお、行っている人の頻度では、「週2回以上」の16.4%が最も高くなっている。
 前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週2回以上行っている	174	16.4	174	15.5	224	16.4	199	15.0	181	16.2
2 週1回行っている	91	8.6	109	9.7	117	8.6	126	9.5	107	9.6
3 月2、3回行っている	50	4.7	45	4.0	44	3.2	64	4.8	51	4.6
4 月1回行っている	43	4.0	37	3.3	35	2.6	44	3.3	53	4.7
5 ほとんど行っていない	330	31.0	333	29.7	395	29.0	421	31.7	345	30.9
6 行っていない	371	34.9	416	37.1	510	37.4	419	31.5	358	32.1
7 無回答	5	0.5	7	0.6	38	2.8	56	4.2	21	1.9
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

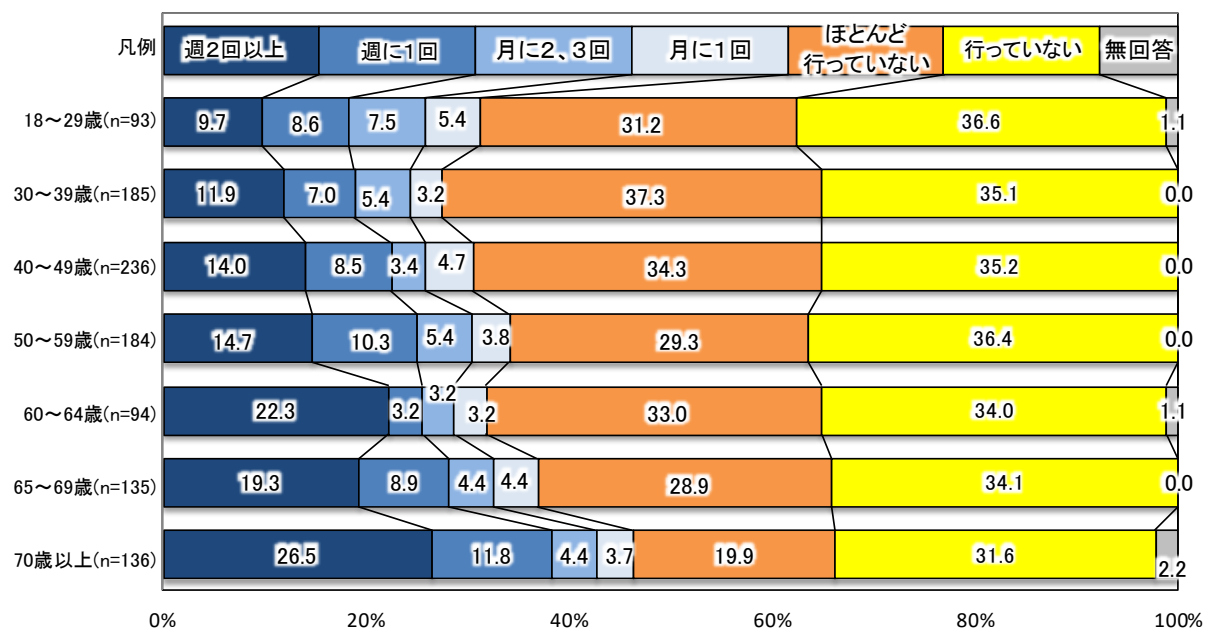
【性別】

- スポーツを行っている人の割合は、男性の41.9%に対し、女性は27.3%となっており、男性の割合が高くなっている。特に男性は「週2回以上」の高頻度の割合が22.1%となっている。



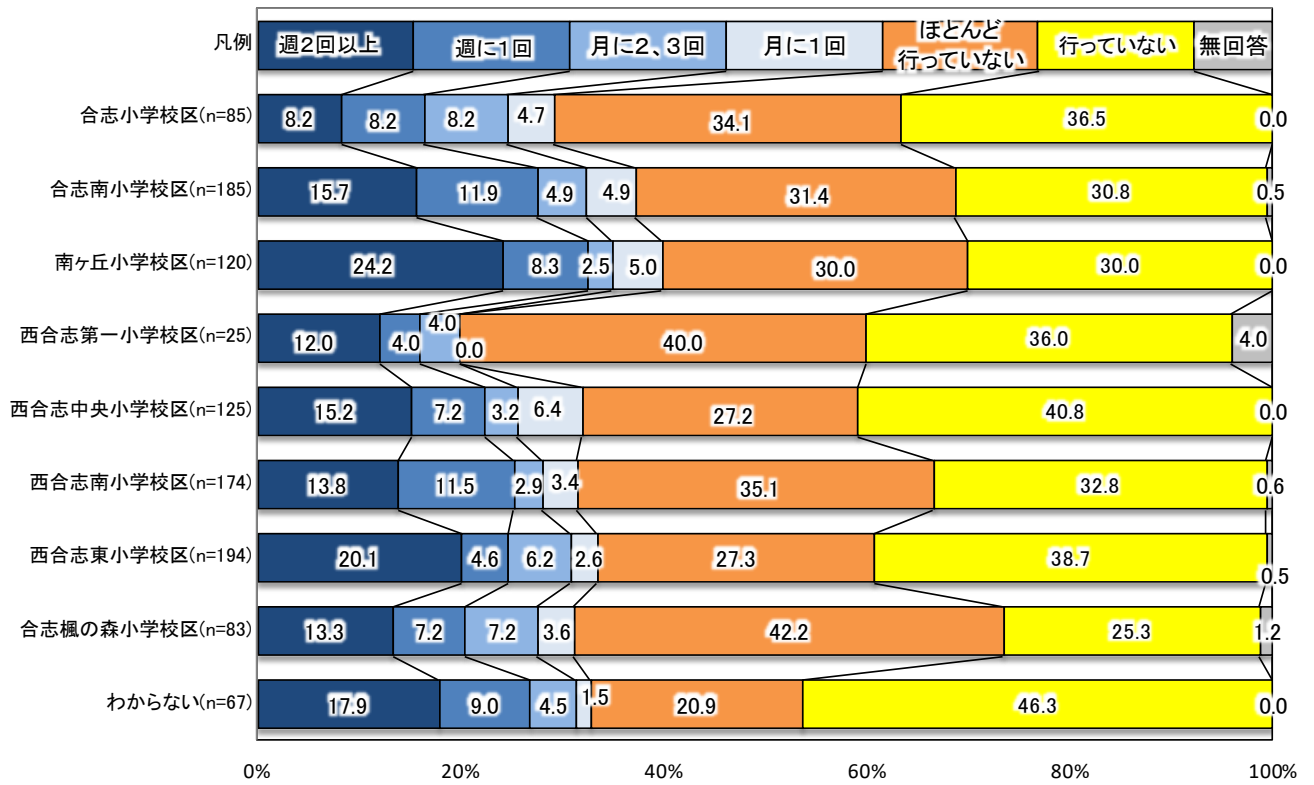
【年齢別】

- スポーツを行っている人の割合は、20代以下で31.2%となっているが、30代で27.5%に減少し、その後は年齢とともに概ね増加傾向が認められ、70歳以上では46.4%となっている。
- 行っていない人（「ほとんど行っていない」+「行っていない」）の割合は、30代で72.4%となっており、他の年代よりも高い。



【校区別】

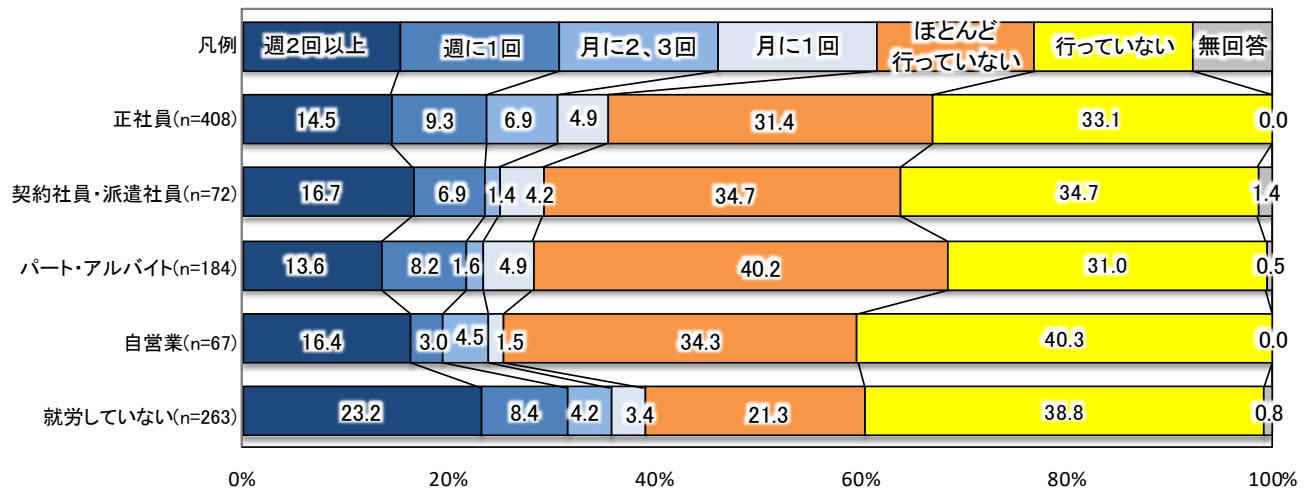
●スポーツを行っている人の割合は、南ヶ丘小が40.0%、合志南小が37.4%となっており、他の校区と比べて高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

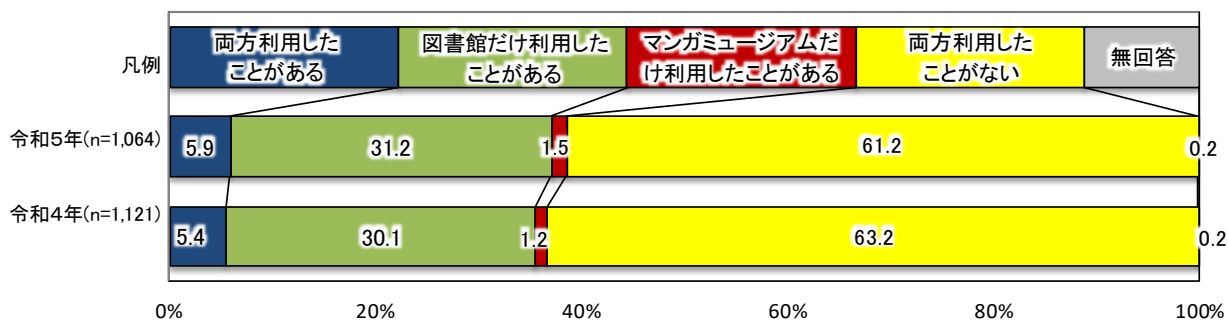
●スポーツを行っている人の割合は、契約社員・派遣社員、パート・アルバイト、自営業では3割未満となっており、他の職業に比べて低い。



(4) 図書館の利用(問28)

あなたは、過去1年間で合志市立図書館と合志マンガミュージアムを利用したことがありますか。

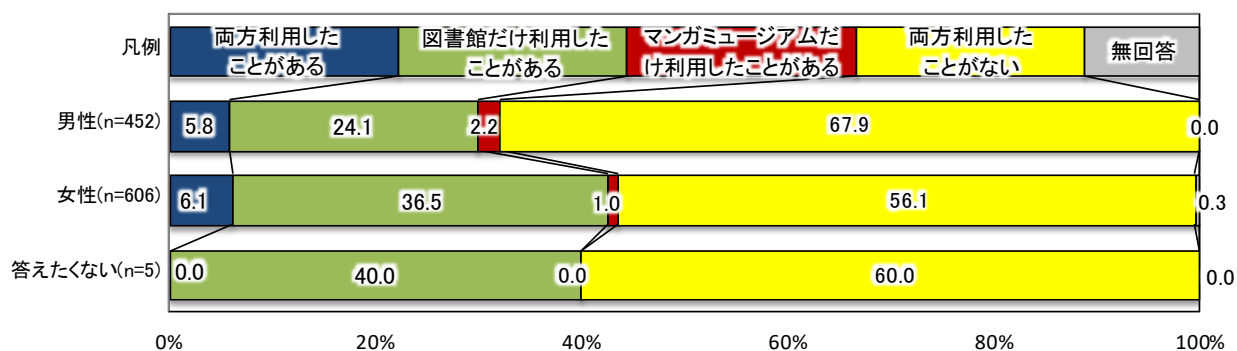
過去1年間に、図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は38.6%となっている。両方利用したことがない人は61.2%となっている。
前年度と比べて大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%
1 両方利用したことがある	63	5.9	61	5.4
2 図書館だけ利用したことがある	332	31.2	337	30.1
3 マンガミュージアムだけ利用したことがある	16	1.5	13	1.2
4 両方利用したことがない	651	61.2	708	63.2
5 無回答	2	0.2	2	0.2
合計	1,064	100.0	1121	100.0

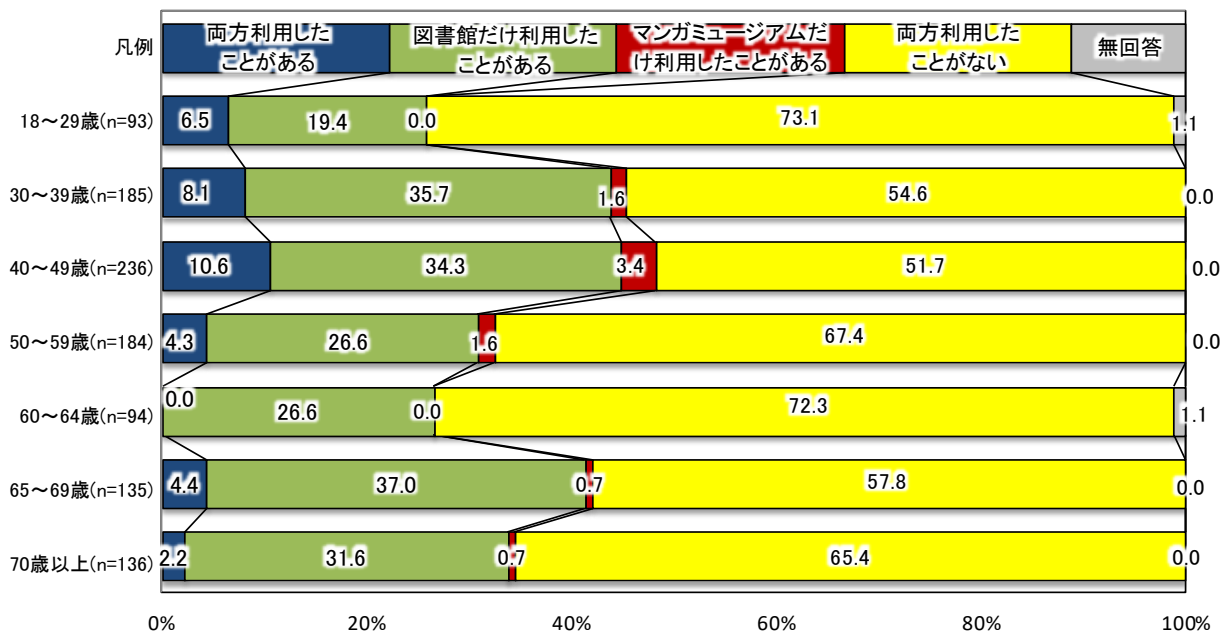
【性別】

●過去1年間に図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、男性32.1%、女性43.6%となっており、女性が男性を上回っている。



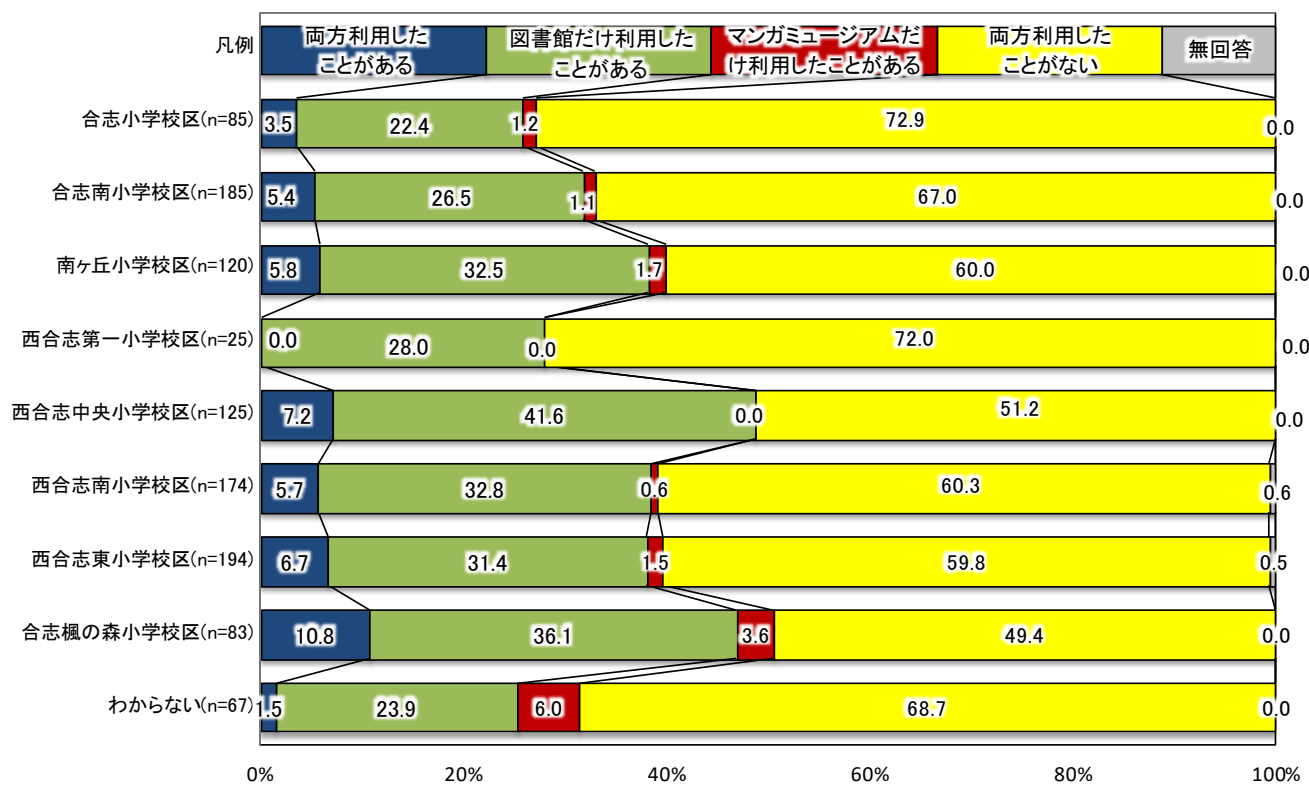
【年齢別】

●過去1年間に図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、40代48.3%、30代45.4%、65～69歳42.1%となっており、他の年代と比べて高くなっている。



【校区别】

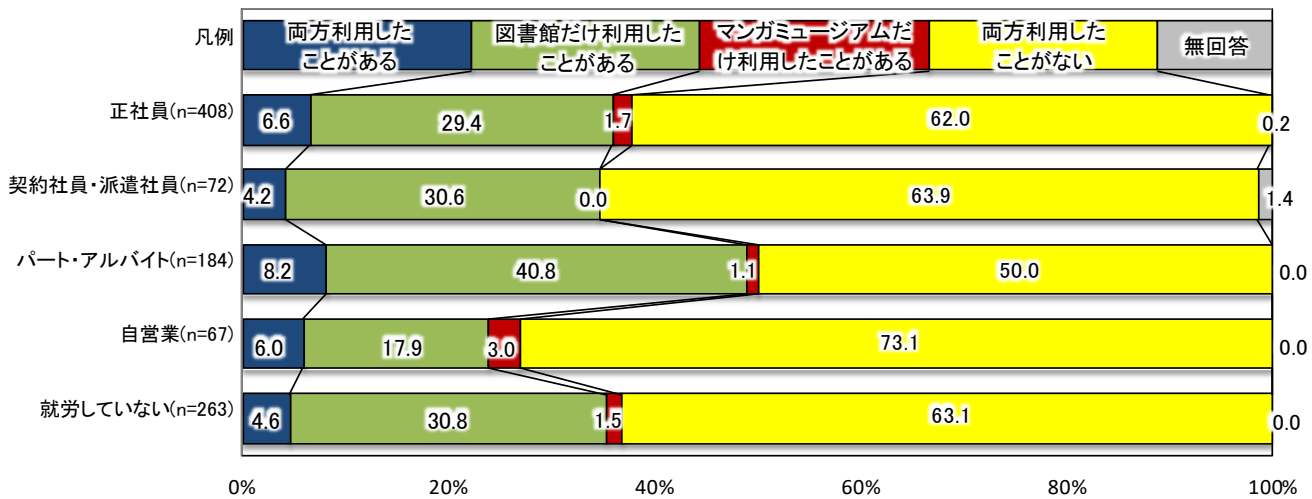
●過去1年間に図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、西合志中央小、合志楓の森小で5割前後となっており、他の小学校区と比べ高くなっている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

【職業別】

●過去1年間に図書館またはマンガミュージアムを利用したことがある人の割合は、パート・アルバイトで50.1%となっており、他の職業に比べて高い。



生活環境について

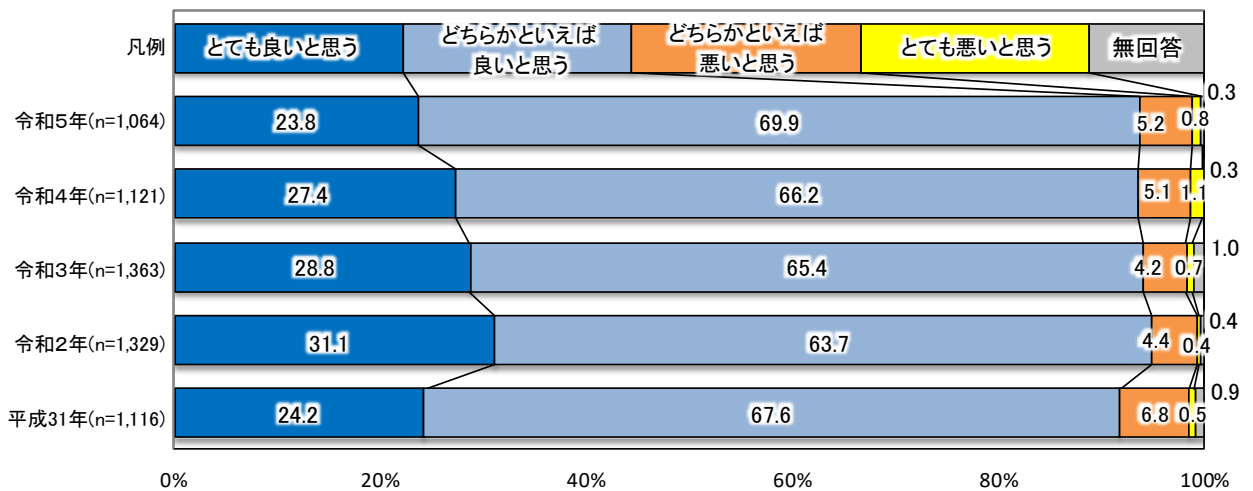
1. 住環境の評価

(1) 住環境評価（問42）

あなたの住んでいるところは、良い住環境だと思いますか？

住環境について、良い（「とても良い」+「どちらかといえば良い」）とする人の割合は93.7%となっており、悪い（「とても悪い」+「どちらかといえば悪い」）とする人の割合は6.0%となっている。

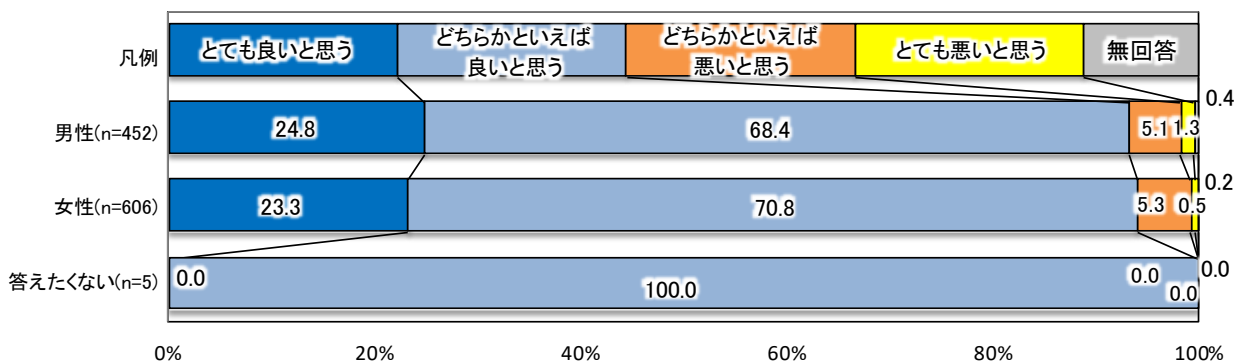
前年度と比較して、「とても良い」とする人の割合が3.6ポイント減少している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 とても良いと思う	253	23.8	307	27.4	392	28.8	413	31.1	270	24.2
2 どちらかといえば良いと思う	744	69.9	742	66.2	891	65.4	847	63.7	754	67.6
3 どちらかといえば悪いと思う	55	5.2	57	5.1	57	4.2	59	4.4	76	6.8
4 とても悪いと思う	9	0.8	12	1.1	10	0.7	5	0.4	6	0.5
5 無回答	3	0.3	3	0.3	13	1.0	5	0.4	10	0.9
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

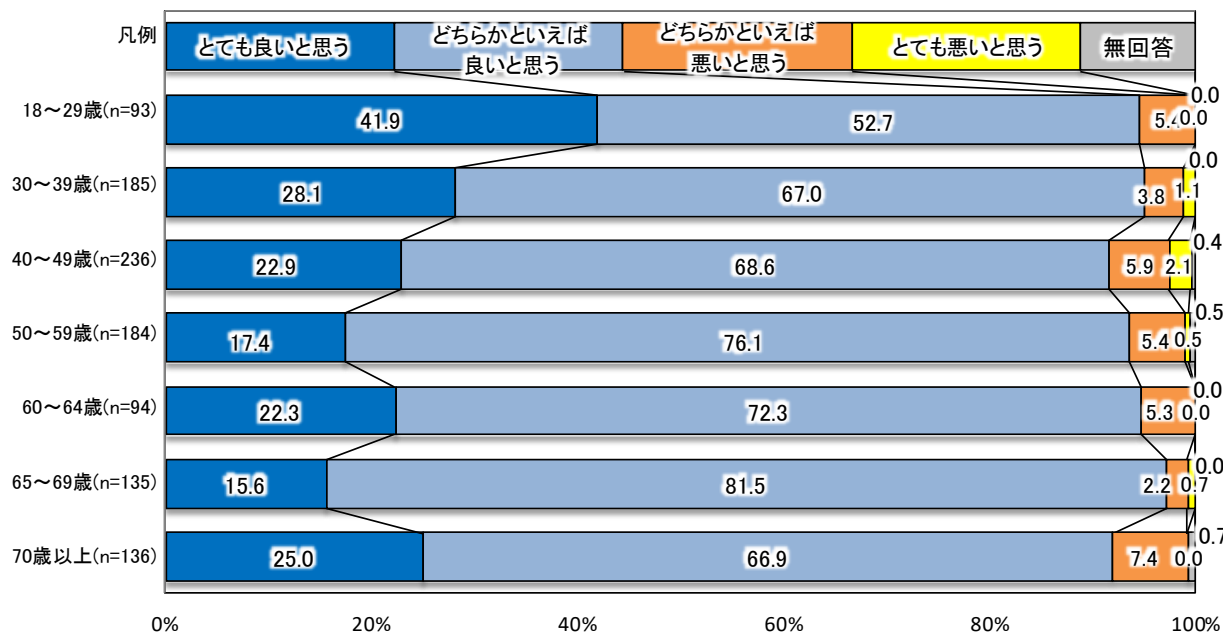
【性別】

●住環境について、性別による大きな差は認められない。



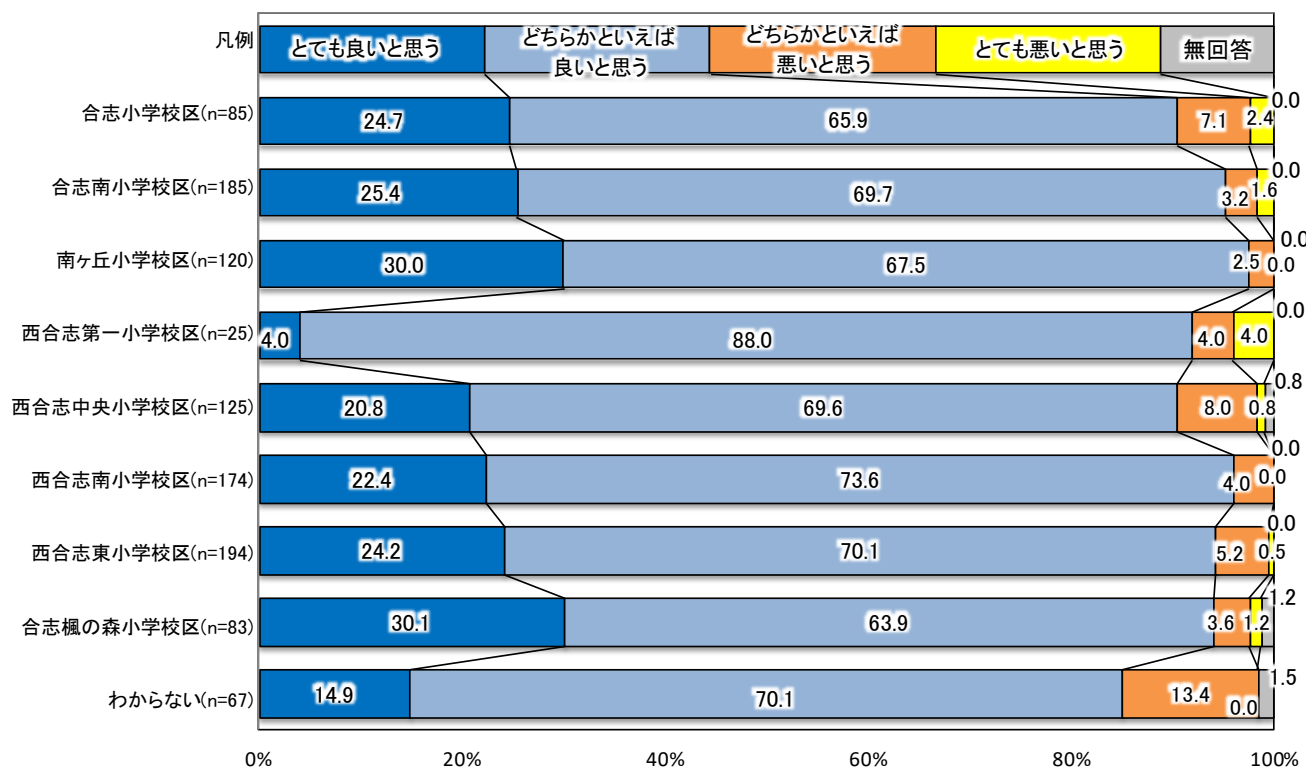
【年齢別】

- 住環境について、良いとする割合については、各年代で90%台を占め大きな差は認められない。
- とても良いとする割合は、20代以下の41.9%が最も高く、その割合は30代から年代が上がるにつれて50代の17.4%まで減少し、その後は60～64歳22.3%、65～69歳15.6%と推移し70歳以上で25.0%となっている。



【校区別】

- 住環境について良いとする割合は、全ての校区で9割台となっており、南ヶ丘小、合志楓の森小では「とても良い」が3割台となっている。



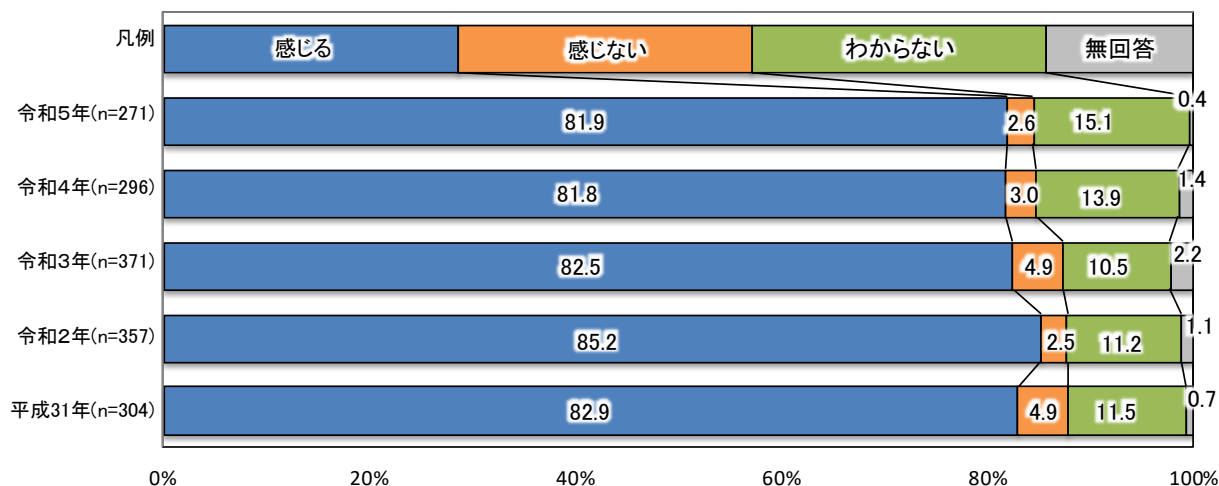
(2) 住み慣れた地域 (問24)

あなたは、住み慣れた地域で生活できていると感じますか。

住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は 81.9%となっており、「感じない」は 2.6%、「わからない」は 15.1%となっている。

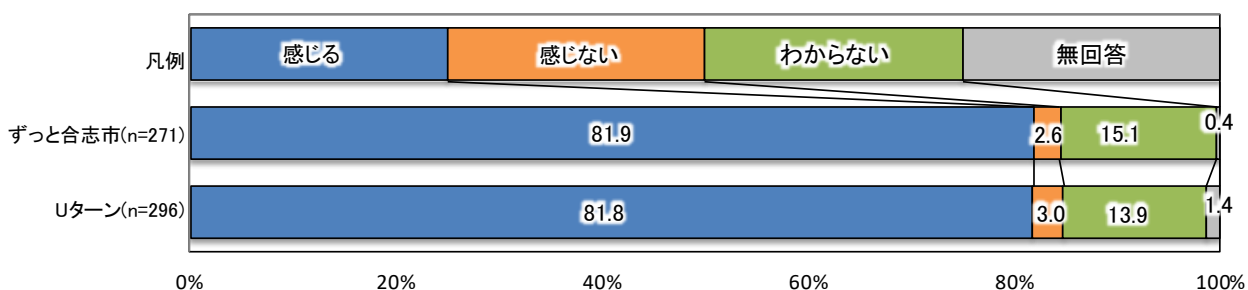
前年度と比較して大きな差は認められない。

なお、以前から市内に居住している人と U ターンした人と比較しても、大きな差は認められない。



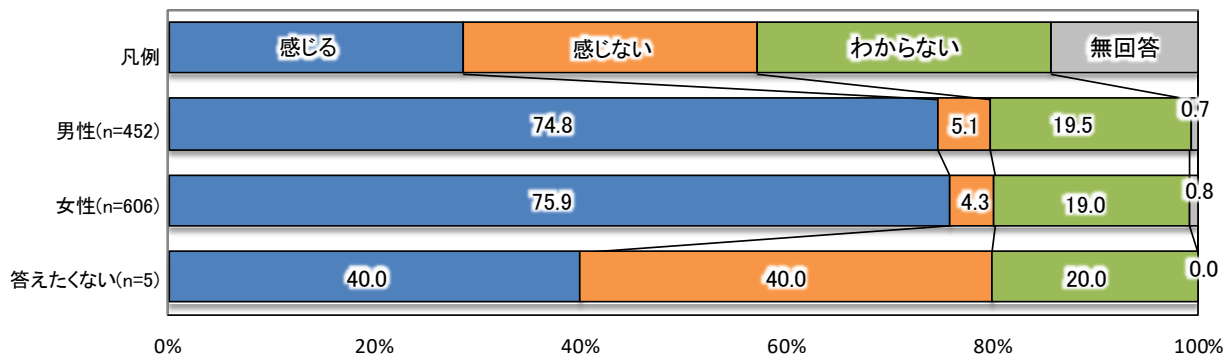
	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 感じる	801	75.3	849	75.7	1030	75.6	1022	76.9	820	73.5
2 感じない	51	4.8	57	5.1	73	5.4	66	5.0	74	6.6
3 わからない	204	19.2	210	18.7	240	17.6	234	17.6	215	19.3
4 無回答	8	0.8	5	0.4	20	1.5	7	0.5	7	0.6
合計	1,064	100.0	1121	100.0	1363	100.0	1329	100.0	1116	100.0

Uターン者との比較



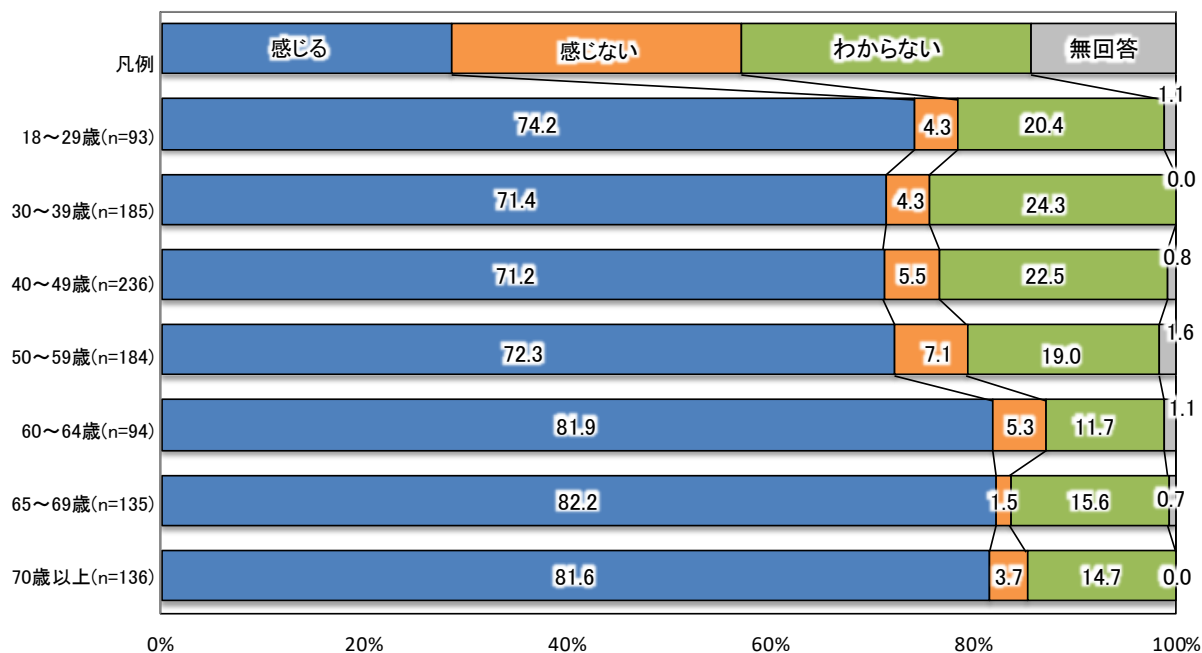
【性別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合について、性別による大きな差は認められない。



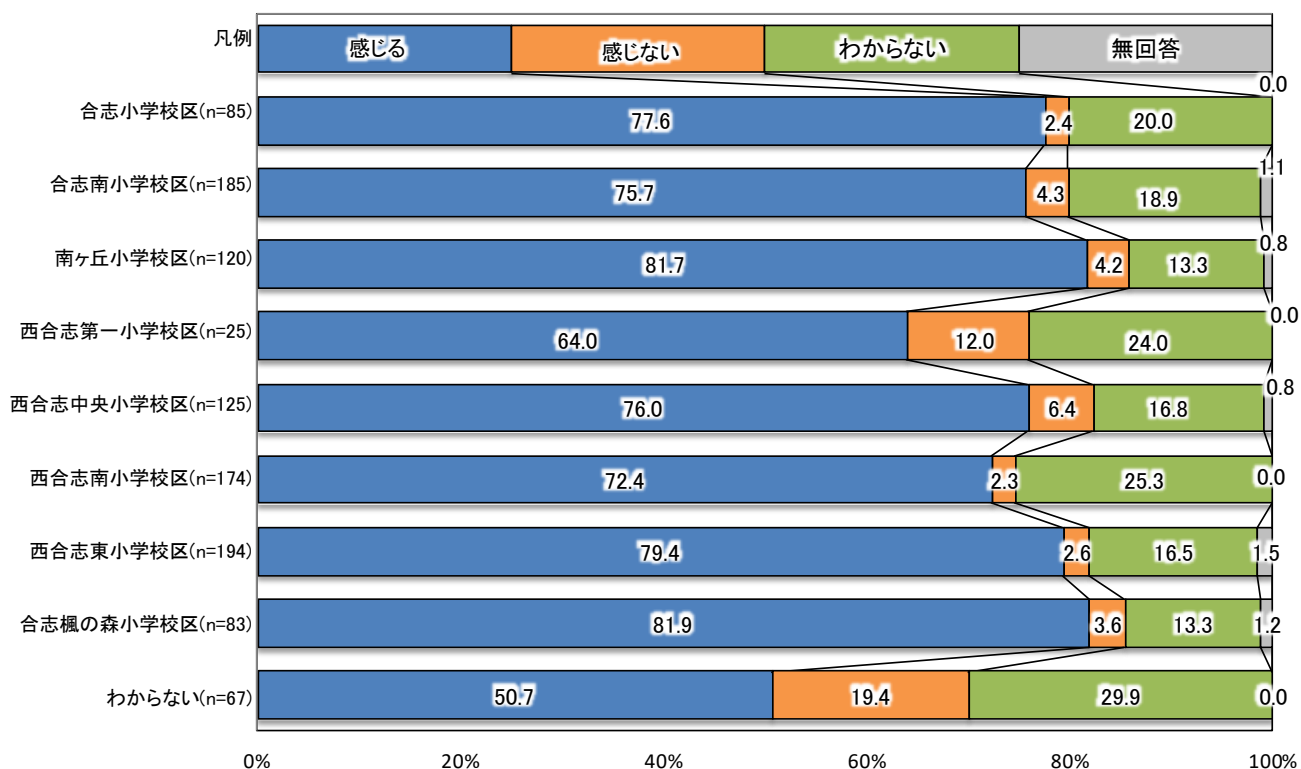
【年齢別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、60～64歳以上の年代で8割とになっているが、50代以下では70%台とやや低くなっている。



【校区別】

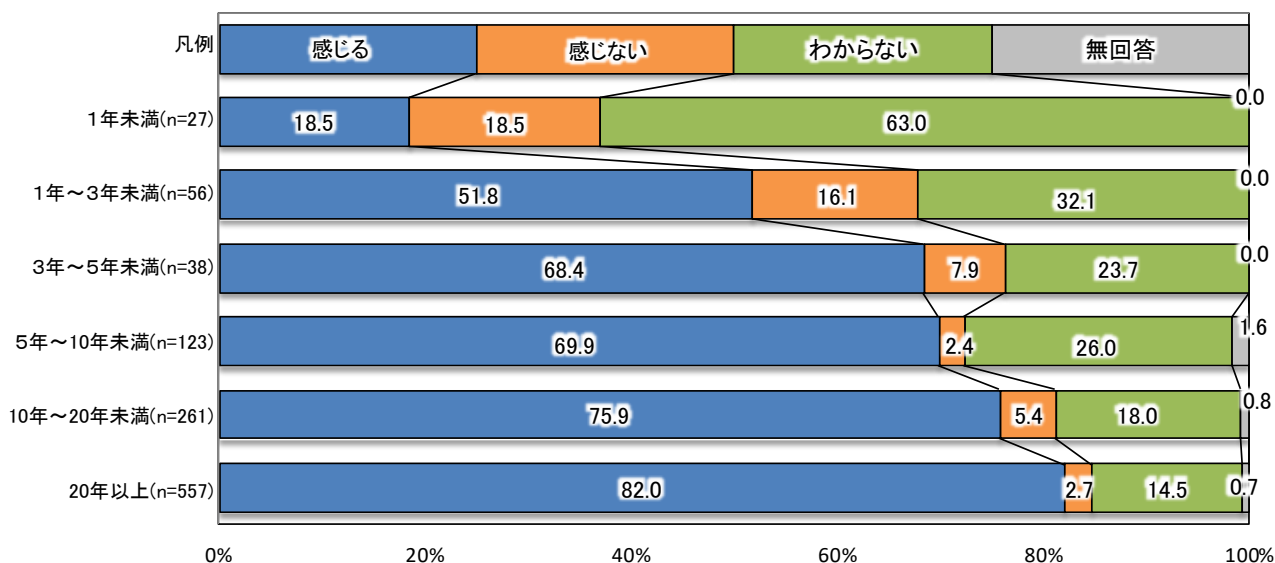
●住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、西合志第一 64.0%、西合志南 72.4%となっており、他の校区よりやや低い。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

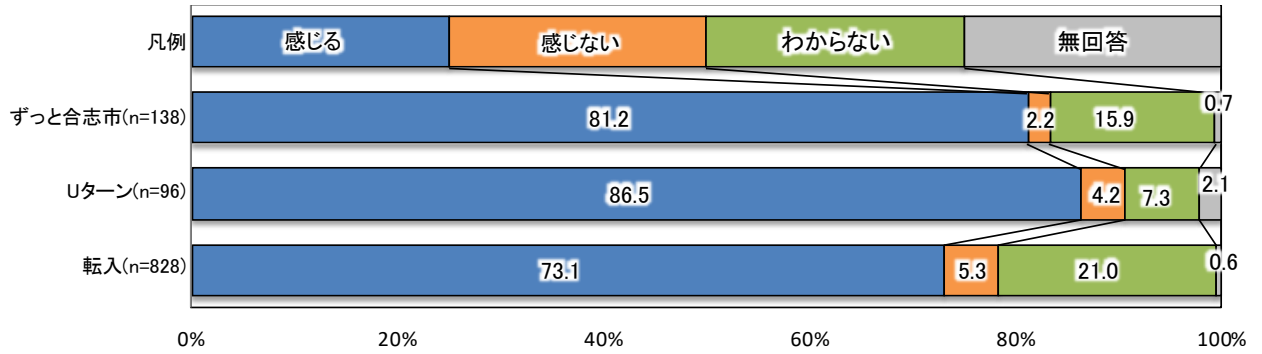
【居住年数別】

●居住年数が長くなるにつれ、住み慣れた地域で生活できていると感じている人の割合は高くなっていく。居住年数が1年以上になると、半数以上が住み慣れた地域と感じている。



【出身地別】

- 住み慣れた地域で生活できていると「感じる」人の割合は、転出なく合志市に住んでいる人では81.2%、Uターンして住んでいる人は86.5%と最も高く、転入で住んでいる人では73.1%とやや低くなっている。



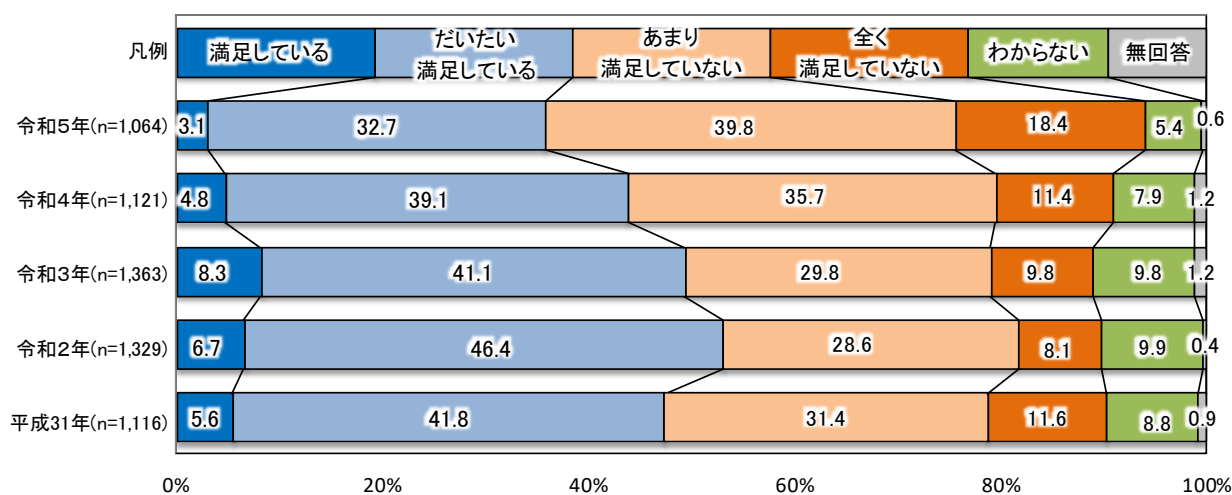
2. 交通について

(1) 道路移動の満足度（問44）

あなたは、合志市内の道路の利用に満足していますか。

合志市内の道路の利用に満足していない（「全く満足していない」+「あまり満足していない」）人の割合は 58.2%となり、「満足している」+「だいたい満足している」人の割合 35.8%を大きく上回っている。

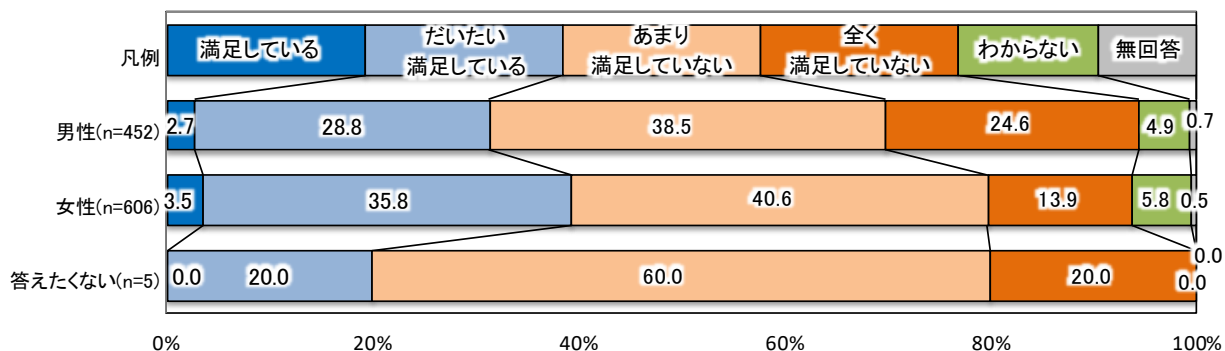
前年度と比較して、満足している人の割合が 8.1 ポイント減少し、満足していない人の割合は 11.1 ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 満足している	33	3.1	54	4.8	113	8.3	89	6.7	62	5.6
2 だいたい満足している	348	32.7	438	39.1	560	41.1	617	46.4	467	41.8
3 あまり満足していない	424	39.8	400	35.7	406	29.8	380	28.6	350	31.4
4 全く満足していない	196	18.4	128	11.4	133	9.8	107	8.1	129	11.6
5 わからない	57	5.4	88	7.9	134	9.8	131	9.9	98	8.8
6 無回答	6	0.6	13	1.2	17	1.2	5	0.4	10	0.9
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

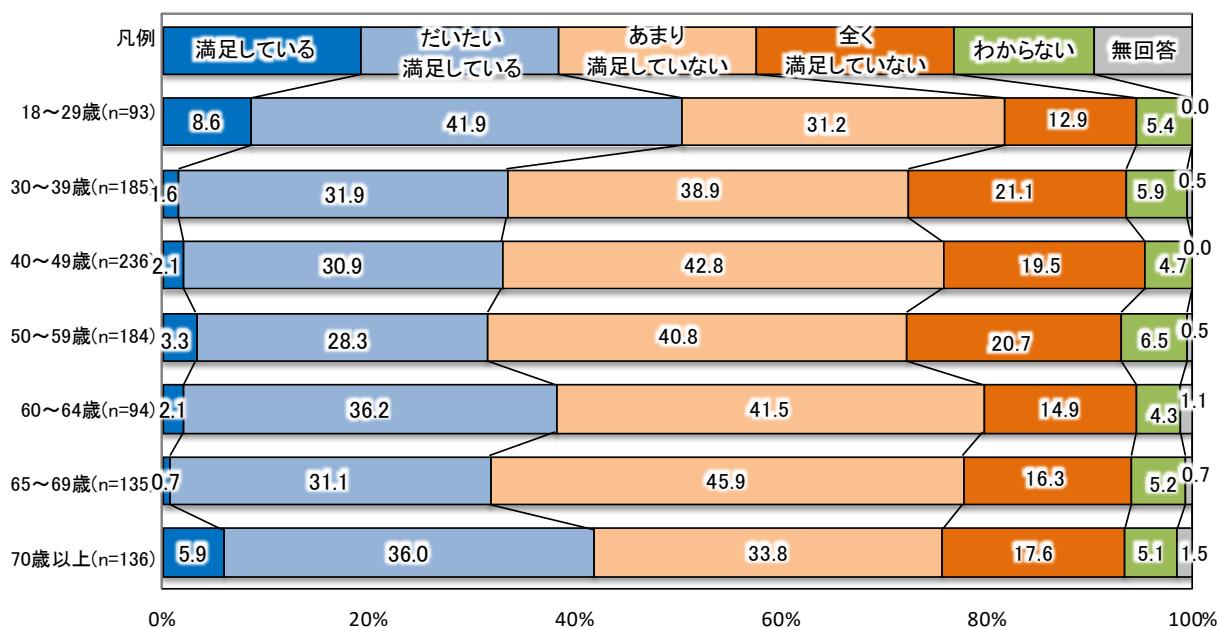
【性別】

●合志市内の道路の利用に満足していない人の割合は、男性 63.1%、女性 54.5%となっており、男性の割合が高い。



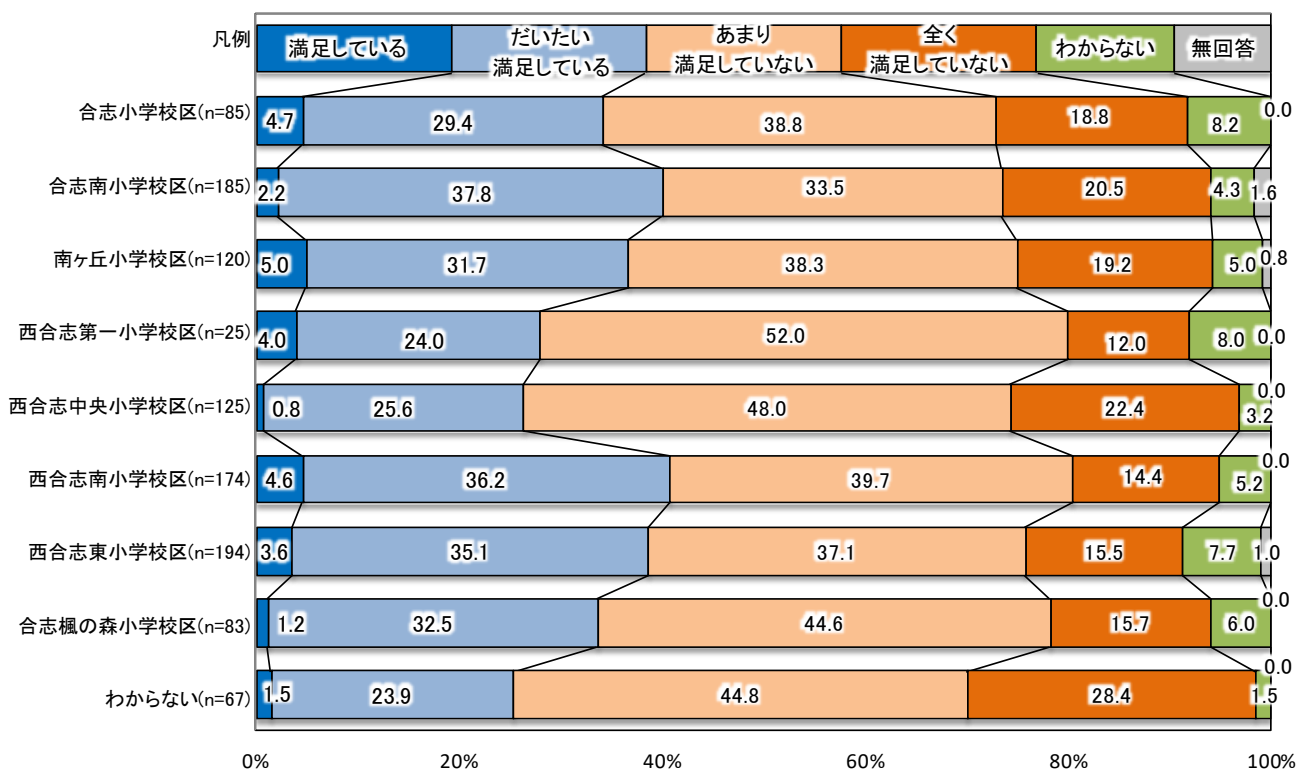
【年齢別】

●合志市内の道路の利用に満足していない人の割合は、20代以下の44.1%を除き、各年代で半数を超えている。



【校區別】

●合志市内の道路の利用に満足していない人の割合は、西合志中央小の70.4%が最も高く、これに西合志第一小（回答者数25人）の64.0%、合志楓の森草の60.3%が続いている。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

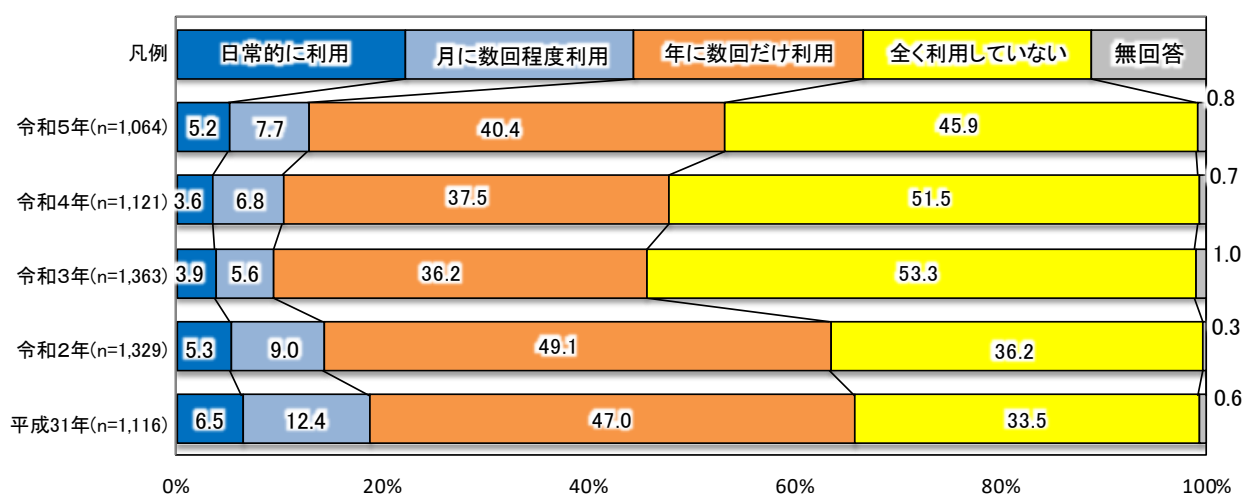
(2) 公共交通の利用について

①公共交通の利用状況(問45)

あなたは、どの程度公共交通機関（JR、バス、電車）を利用していますか。

公共交通機関を「日常的に利用している」人の割合は 5.2%、「月に数回程度利用している」が 7.7%、「年に数回だけ利用している」が 40.4%で、利用している人を合わせた割合は 53.3%となっている。一方、「全く利用していない」が 45.9%となっており、4 割の人が公共交通機関を利用していない。

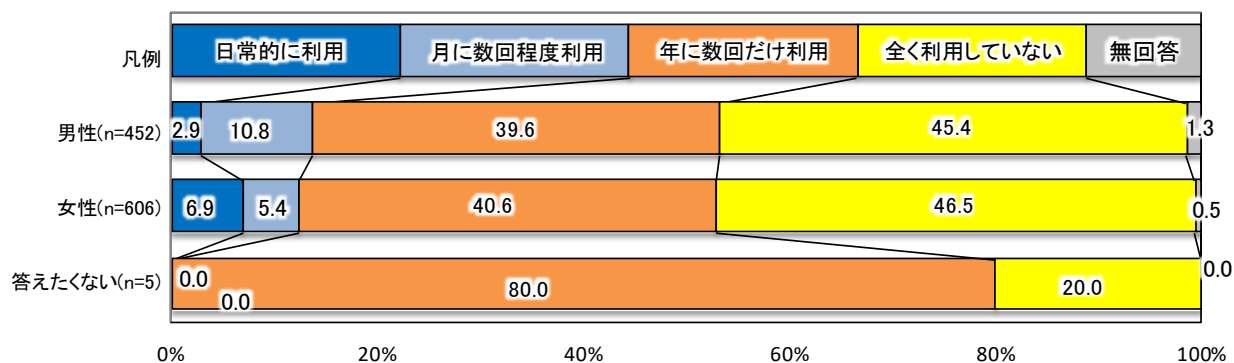
前年度と比較すると、年に数回以上利用している人の割合は 5.4 ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 日常的に利用している	55	5.2	40	3.6	53	3.9	71	5.3	72	6.5
2 月に数回程度利用している	82	7.7	76	6.8	76	5.6	120	9.0	138	12.4
3 年に数回だけ利用している	430	40.4	420	37.5	493	36.2	653	49.1	525	47.0
4 全く利用していない	488	45.9	577	51.5	727	53.3	481	36.2	374	33.5
5 無回答	9	0.8	8	0.7	14	1.0	4	0.3	7	0.6
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

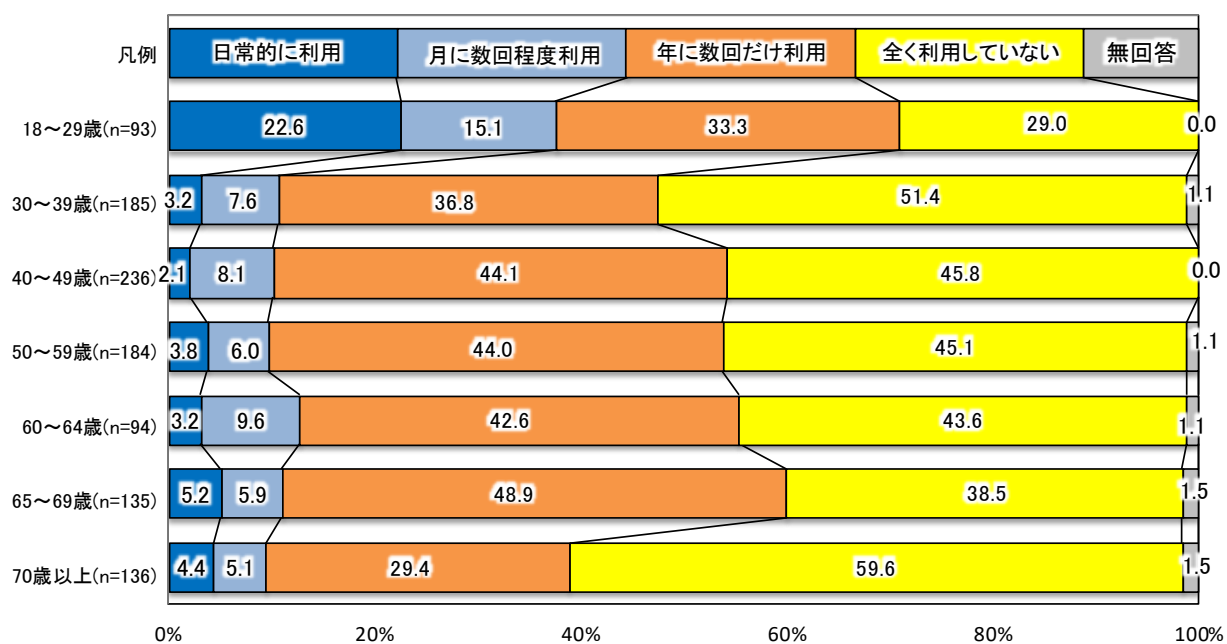
【性別】

●公共交通機関を利用している人の割合について、性別による大きな差は認められない。



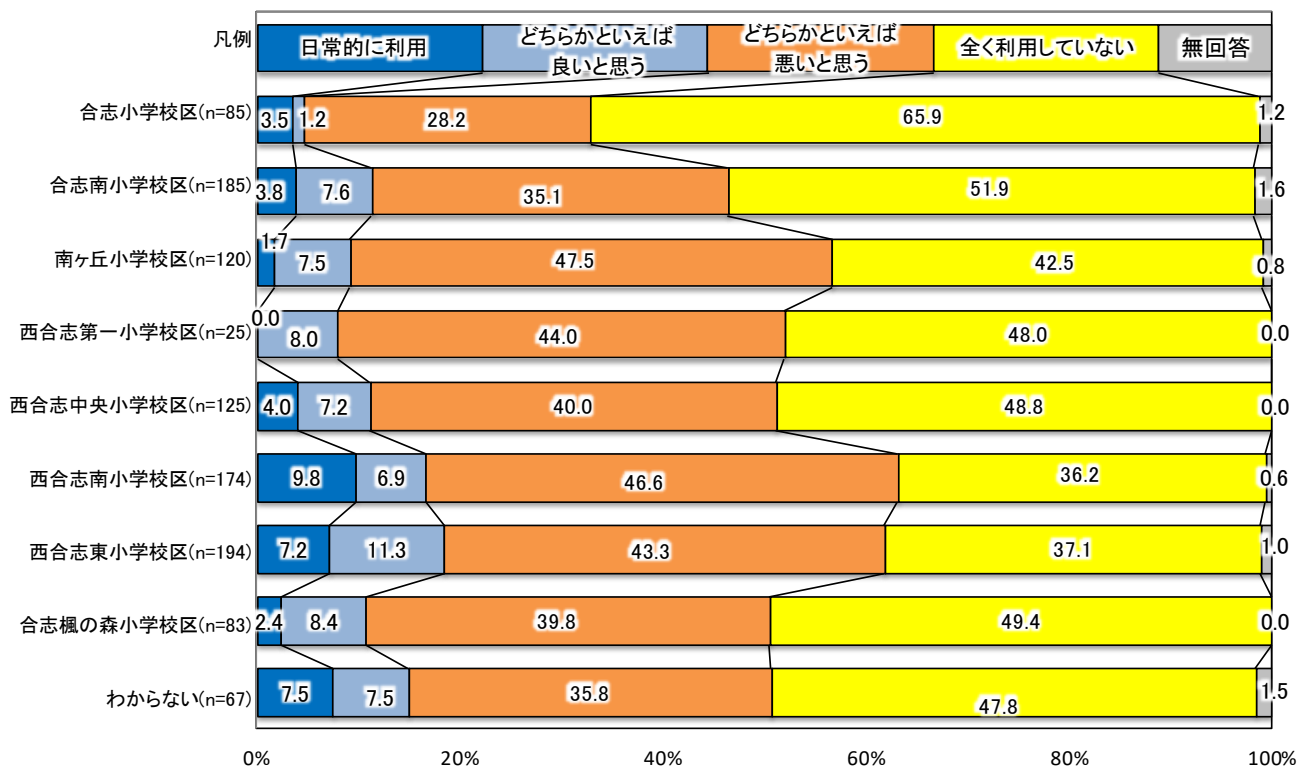
【年齢別】

- 20代以下では、公共交通機関を「日常的に利用している」人の割合は22.6%、「月に数回程度利用している」が15.1%と他の年代と比べて利用している人の頻度が高くなっている。
- 公共交通機関を「全く利用していない」人の割合は70歳以上の59.6%が最も高く、以下、30代51.4%が続き、65~69歳の38.5%まで年代が上がるほど低くなっている。



【校区別】

- 公共交通を利用している人の割合は、西合志南小、西合志東小が60%台で他の校区よりも高くなっている。
- 一方、合志小では65.9%が全く利用していないとなっている。

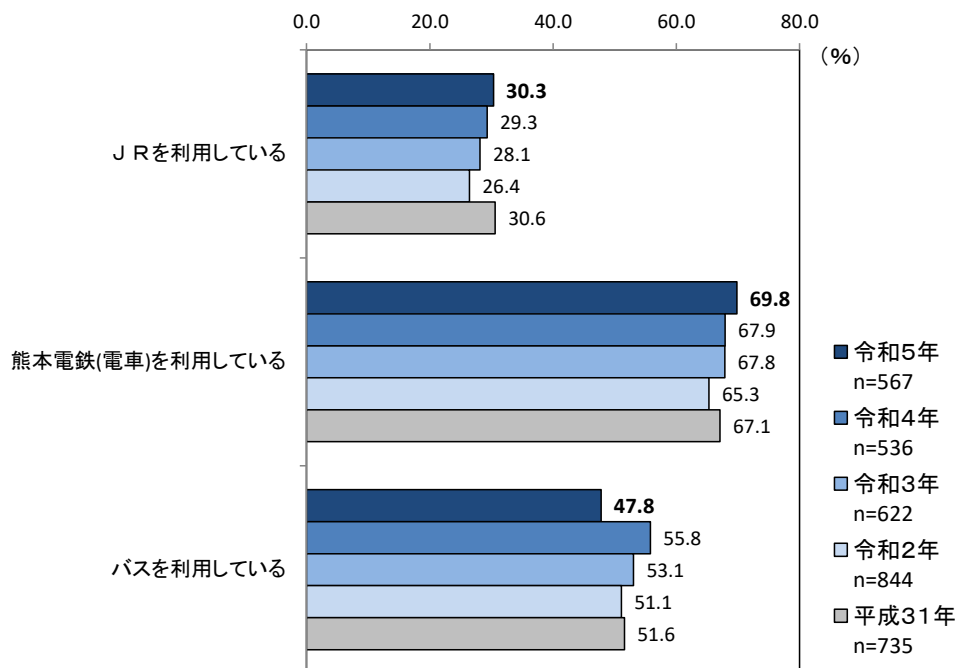


※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

②利用機関（問46）

問45で1～3と答えた方にお尋ねします。
あなたは、どの公共交通機関を利用していますか。

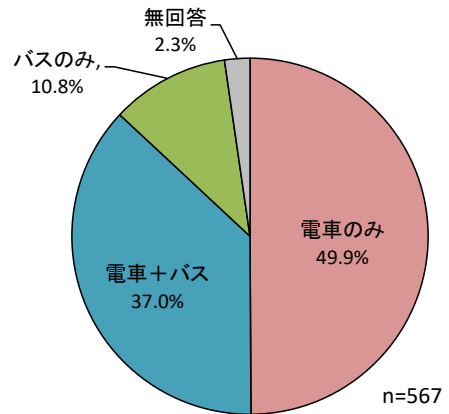
公共交通機関を利用している 567 人について利用している交通機関をみると、「熊本電鉄（電車）」が69.8%、「バス」47.8%、「JR」30.3%となっている。
前年度と比較して、「バス」の割合が8.0ポイント減少している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=567		n=536		n=622		n=844		n=735	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 JRを利用している	172	30.3	157	29.3	175	28.1	223	26.4	225	30.6
2 熊本電鉄(電車)を利用している	396	69.8	364	67.9	422	67.8	551	65.3	493	67.1
3 バスを利用している	271	47.8	299	55.8	330	53.1	431	51.1	379	51.6

（参考）利用公共交通機関の組み合わせ

参考までに 567 人の公共交通機関の利用組み合わせを見ると、JR や熊本電鉄の「電車のみ」を利用している人の割合は 49.9%で最も高く、「電車とバス」を利用している人の割合は 37.0%、「バスのみ」を利用している人の割合は 10.8%となっている。



【性別】

- 「JR」を利用している人の割合は、男性 27.8%、女性 32.1%となっており、女性の割合がやや高くなっている。

【年齢別】

- 年齢別にみると、65 歳以上の高齢者はバスの利用は多い。
- 64 歳以下では、熊本電鉄の利用が 7 割台と高く、また 20 代以下の JR の利用は他の年代よりも高くなっている。

【校区別】

- 校区別にみると、南ヶ丘小と合志南小では半数以上が「JR」を利用している。西合志中央小、西合志南小、西合志東小、合志楓の森小では、「熊本電鉄」を 8 割以上が利用している。「バス」は合志小、合志南小、南ヶ丘小、西合志第一小、合志楓の森小の 5 割以上が「バス」を利用している。

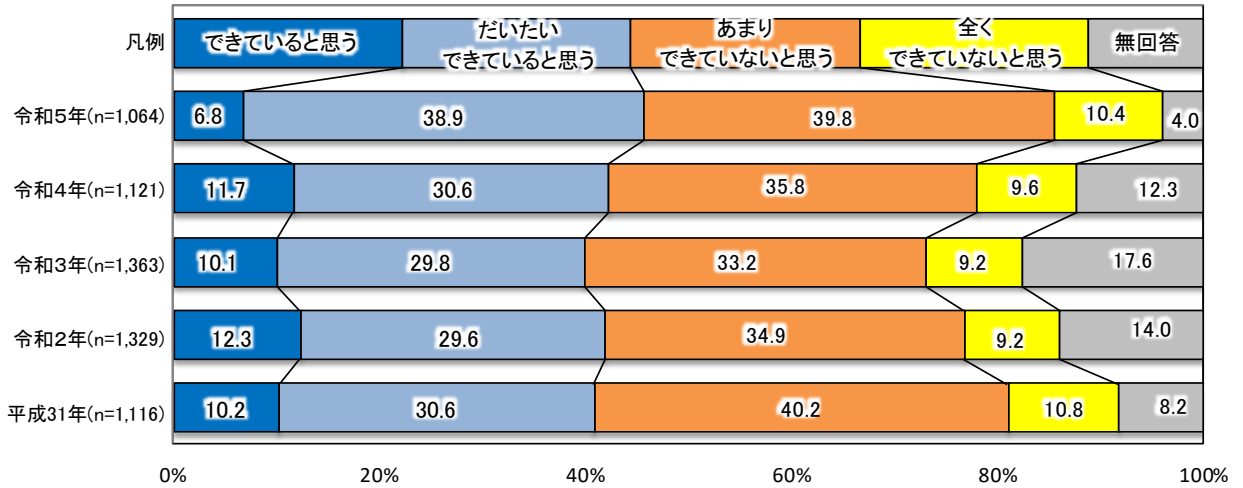
	合計	JR を利用 している	熊本 電鉄 (電車) を 利用 している	バス を利用 している
全体	567	30.3%	69.8%	47.8%
■性別				
男性	241	27.8%	70.5%	48.1%
女性	321	32.1%	69.8%	47.7%
答えたくない	4	50.0%	25.0%	50.0%
■年代別				
18～29歳	66	37.9%	71.2%	47.0%
30～39歳	88	28.4%	73.9%	47.7%
40～49歳	128	32.0%	75.0%	39.8%
50～59歳	99	26.3%	71.7%	45.5%
60～64歳	52	19.2%	75.0%	40.4%
65～69歳	81	34.6%	51.9%	58.0%
70歳以上	53	32.1%	67.9%	64.2%
■校区別				
合志小学校区	28	39.3%	57.1%	50.0%
合志南小学校区	86	65.1%	50.0%	55.8%
南ヶ丘小学校区	68	67.6%	20.6%	58.8%
西合志第一小学校区	13	30.8%	61.5%	61.5%
西合志中央小学校区	64	14.1%	87.5%	43.8%
西合志南小学校区	110	16.4%	81.8%	46.4%
西合志東小学校区	120	10.0%	92.5%	32.5%
合志楓の森小学校区	42	16.7%	88.1%	57.1%
わからない	34	26.5%	55.9%	52.9%

③公共交通の乗り継ぎの評価（問48）

あなたは、公共交通機関を使った合志市内外への乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると思いますか。

公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできている（「できている」+「だいたいできている」）人の割合は45.7%、「あまりできていない」は39.8%、「全くできていない」は10.4%となっている。

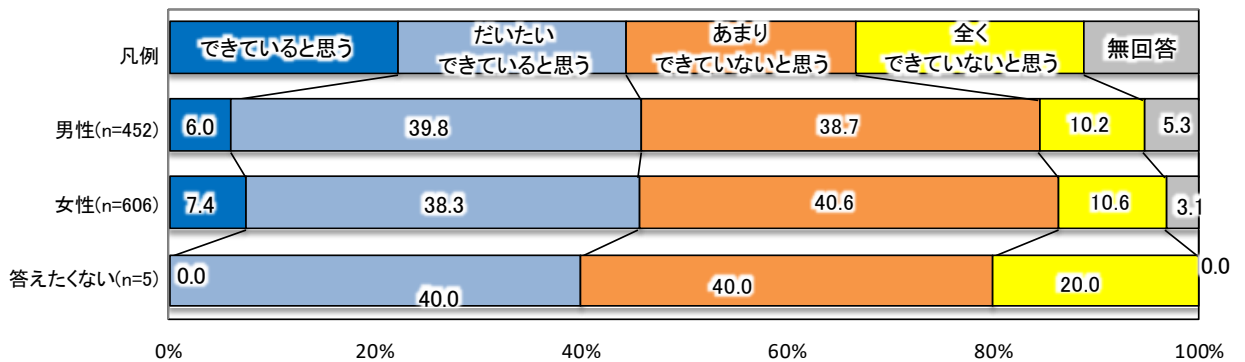
前年度と比較すると、乗り継ぎが円滑にできている人の割合は、3.4ポイントとやや増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 できていると思う	72	6.8	131	11.7	138	10.1	164	12.3	114	10.2
2 だいたいできていると思う	414	38.9	343	30.6	406	29.8	393	29.6	342	30.6
3 あまりできていないと思う	424	39.8	401	35.8	453	33.2	464	34.9	449	40.2
4 全くできていないと思う	111	10.4	108	9.6	126	9.2	122	9.2	120	10.8
5 無回答	43	4.0	138	12.3	240	17.6	186	14.0	91	8.2
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

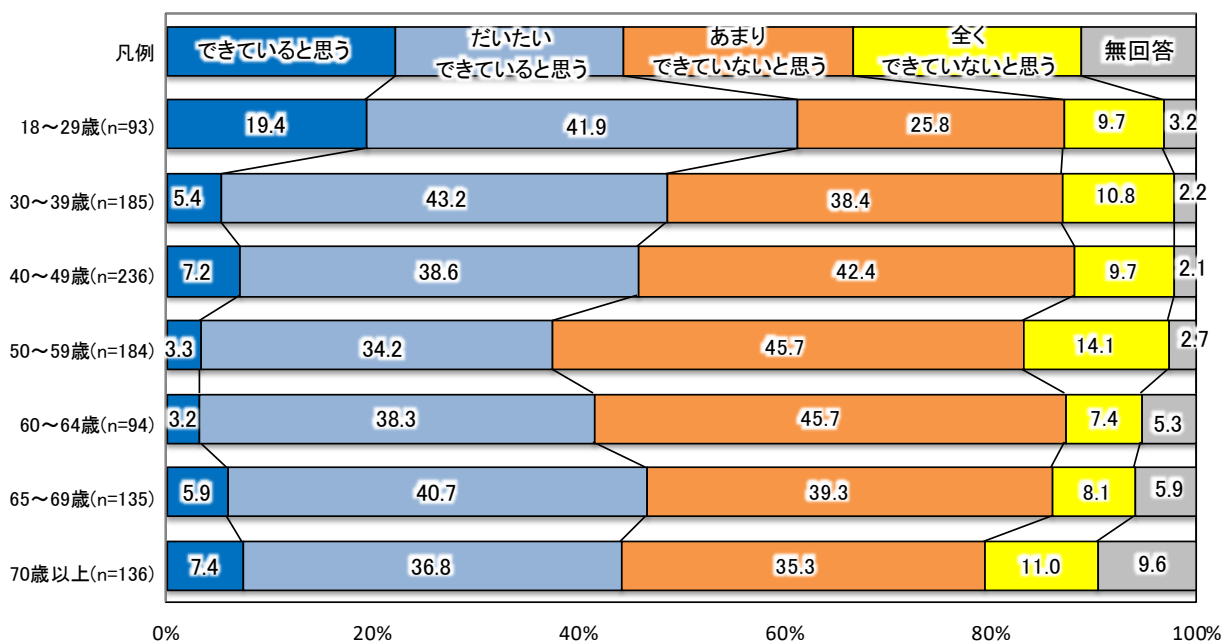
【性別】

- 公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合について、性別による大きな差は認められない。



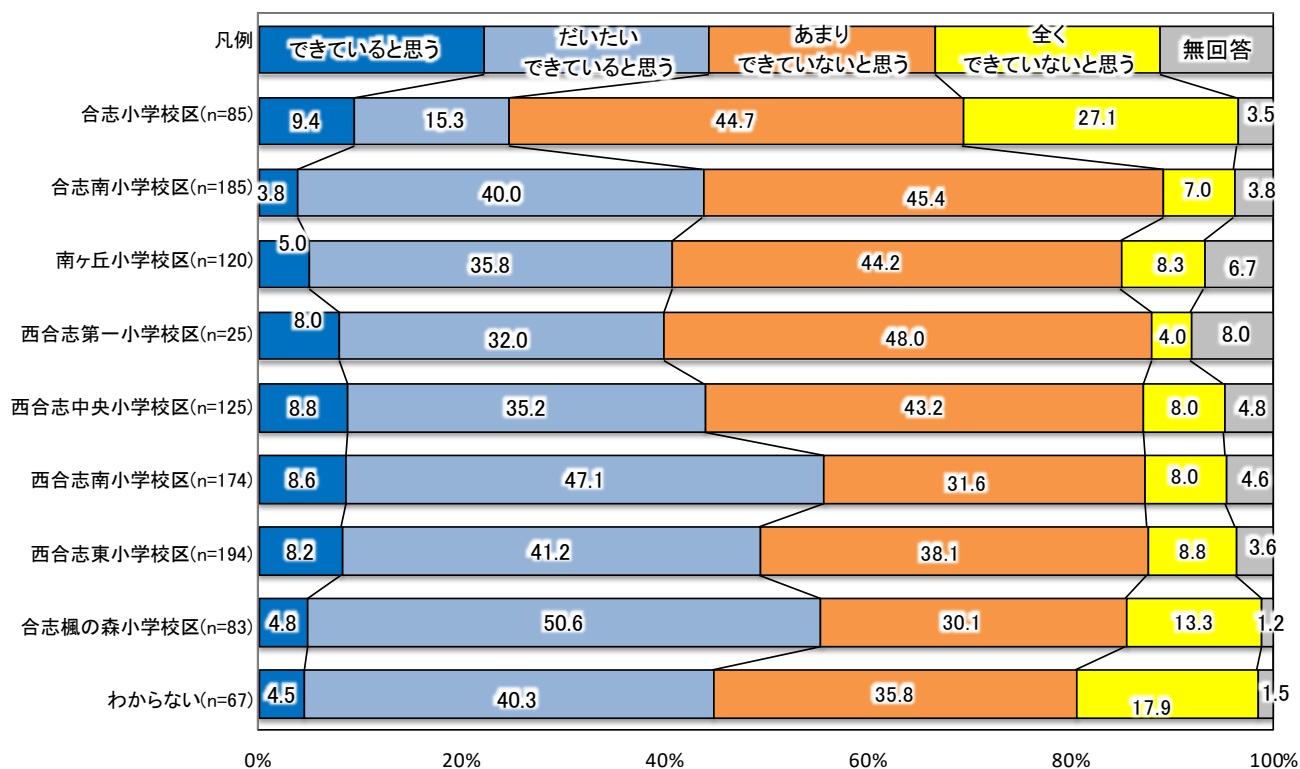
【年齢別】

●公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合は、20代以下では61.3%と最も高くなっている。「あまりできていない」と「全くできていない」を合わせた割合は、50～59歳の59.8%が最も高くなっている。



【校区別】

●公共交通機関での乗り換え、乗り継ぎが円滑にできていると感じている割合は、西合志南小55.7%、合志楓の森小55.4%と半数を超えているが、合志小、合志南小、西合志第一小、西合志中央小では円滑にできていないとする回答が50%を超えている。



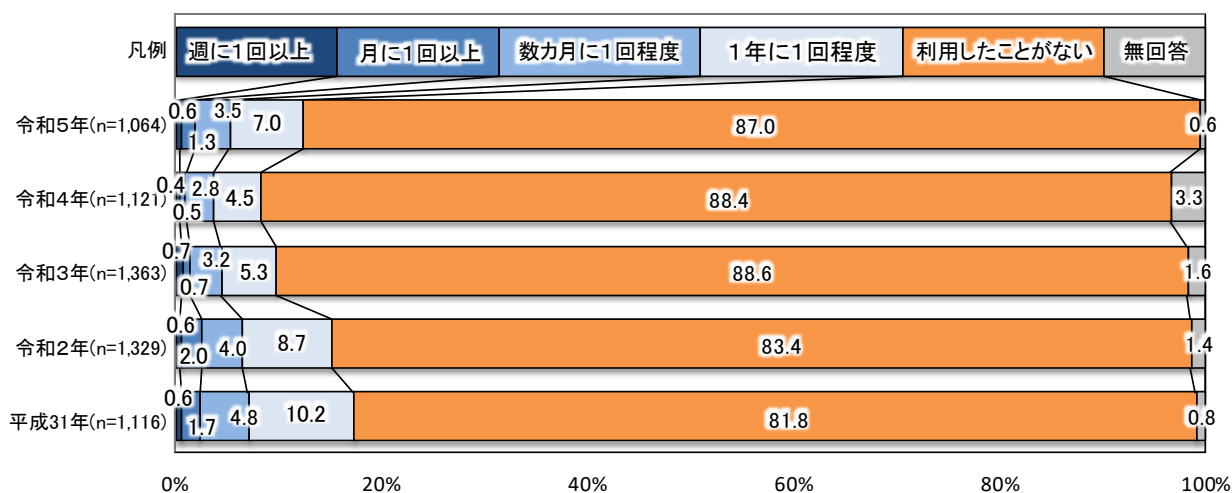
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(3) 合志市が委託しているバスについて

①利用経験（問49）

あなたは、過去1年間で合志市が委託しているレターバスや乗り合いタクシーのいずれかを利用したことがありますか。

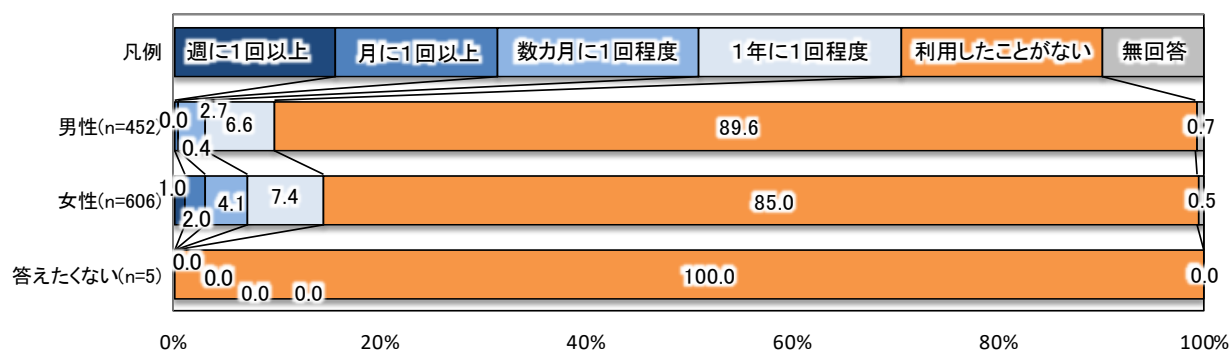
レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は12.4%となっており、87.0%の人は「利用したことがない」となっている。
 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための活動自粛などの影響により令和2年度以降、利用したことがある人の割合は減少傾向にあったが、今年度は前年度と比べ4.2ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 週に1回以上利用する	6	0.6	5	0.4	9	0.7	8	0.6	7	0.6
2 月に1回以上利用する	14	1.3	6	0.5	9	0.7	26	2.0	19	1.7
3 数カ月に1回程度利用する	37	3.5	31	2.8	44	3.2	53	4.0	54	4.8
4 1年に1回程度利用する	75	7.0	51	4.5	72	5.3	115	8.7	114	10.2
5 利用したことがない	926	87.0	991	88.4	1207	88.6	1109	83.4	913	81.8
6 無回答	6	0.6	37	3.3	22	1.6	18	1.4	9	0.8
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

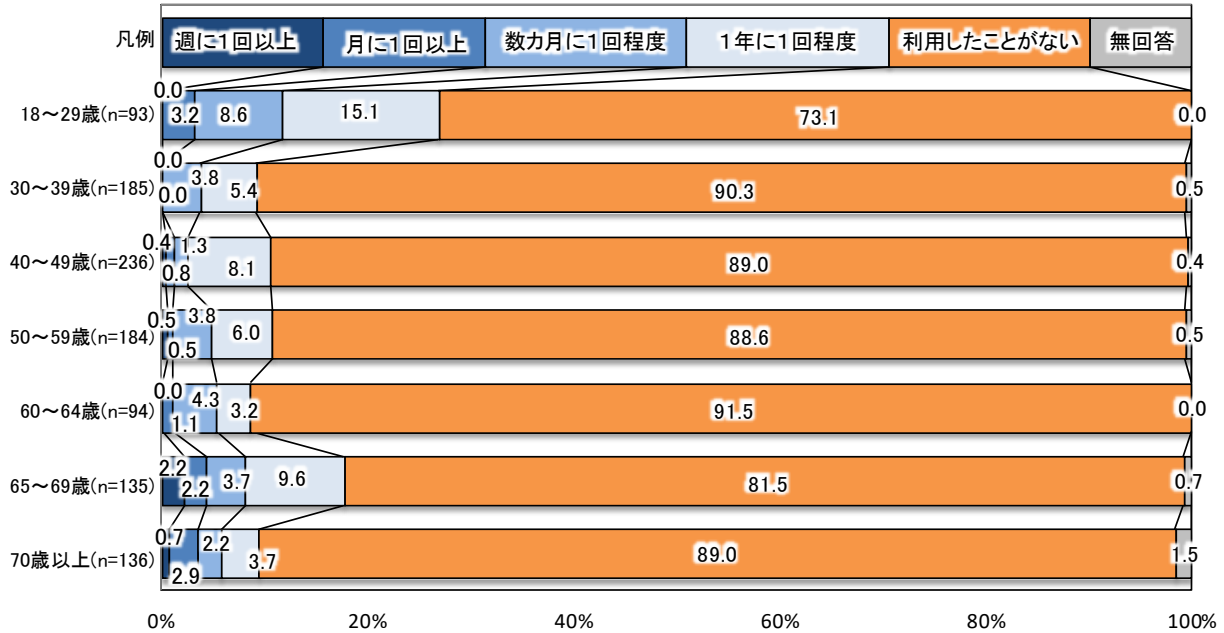
【性別】

●レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、男性9.7%、女性14.5%となっており、女性の割合が高い。



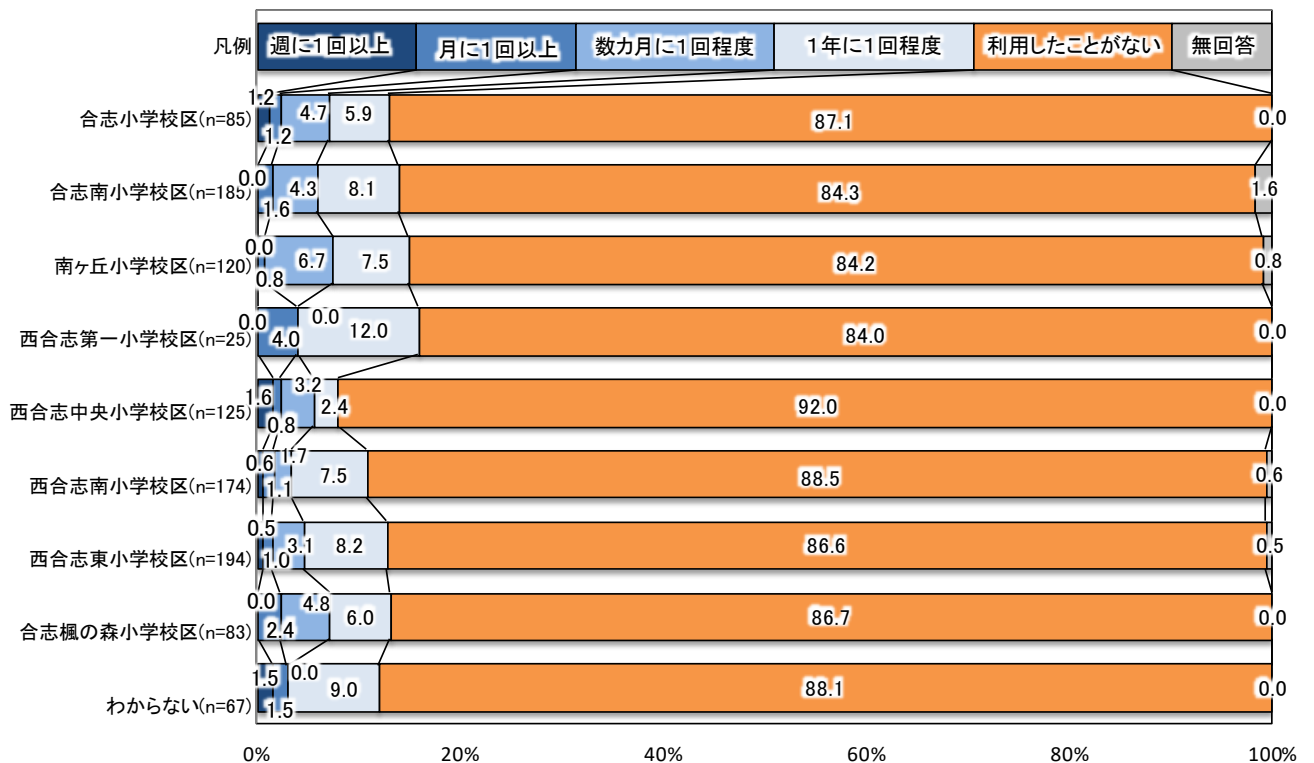
【年齢別】

- レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、20代以下では26.9%と最も高く、これに65～69歳の17.7%が続いている。その他の年代では1割前後と低くなっている。



【校区別】

- レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがある人の割合は、西合志第一小の16.0%が最も高く、西合志中央小の8.0%が最も低い。他の校区は10%前後となっている。



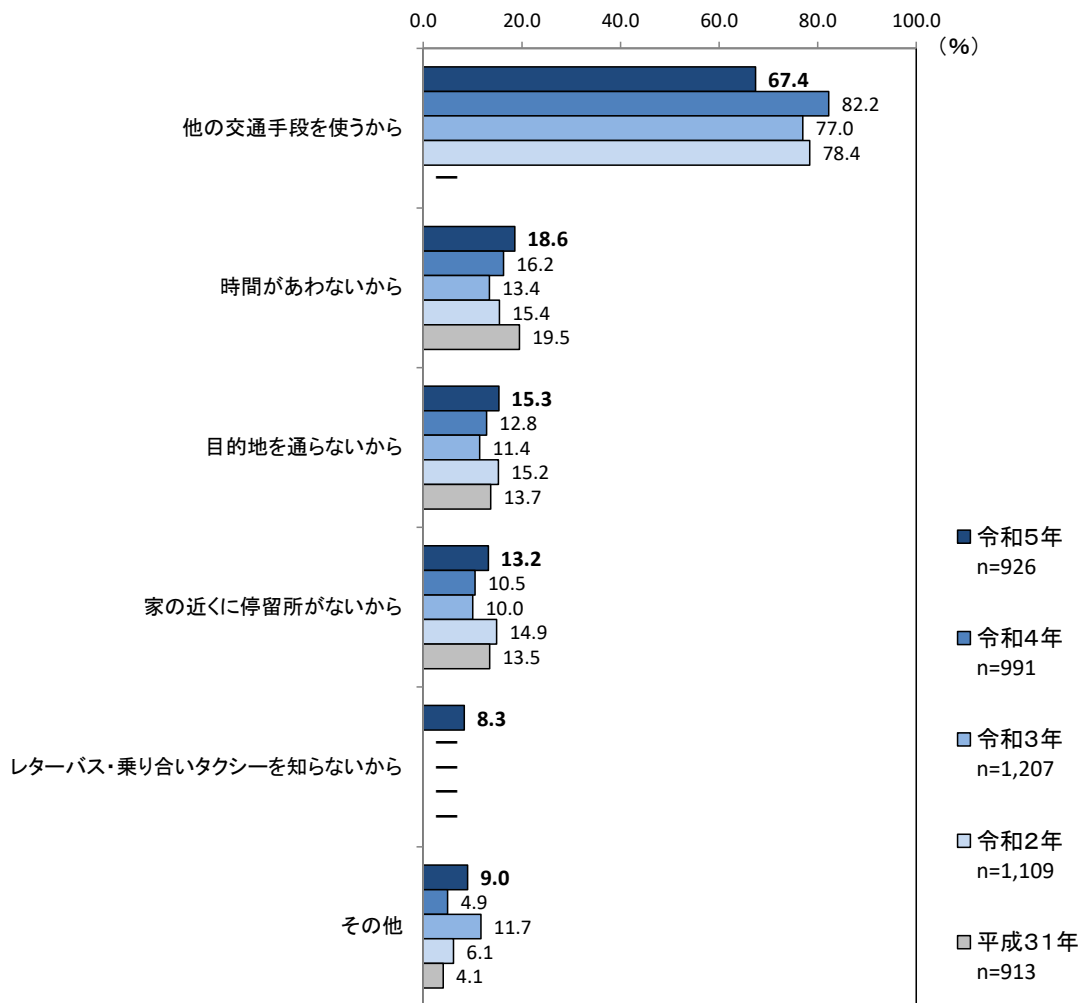
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

②利用しない理由（問50）

問49で「5.利用したことがない」と答えた方にお尋ねします。
それはなぜですか。

レターバスや乗り合いタクシーを利用したことがない926人について、利用しない理由を尋ねたところ、「他の交通手段を使うから」が67.4%と最も多く、次いで「時間が合わないから」18.6%、「目的地を通らないから」15.3%、「家の近くに停留所がないから」13.2%となっている。

前年度と比較すると、「他の交通手段を使うから」の割合は、14.8ポイント減少している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=926		n=991		n=1207		n=1109		n=913	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 時間が合わないから	172	18.6	161	16.2	162	13.4	171	15.4	178	19.5
2 家の近くに停留所がないから	122	13.2	104	10.5	121	10.0	165	14.9	123	13.5
3 目的地を通らないから	142	15.3	127	12.8	138	11.4	169	15.2	125	13.7
4 他の交通手段を使うから	624	67.4	815	82.2	929	77.0	869	78.4		
5 レターバス・乗り合いタクシーを知らないから	77	8.3								
6 その他	83	9.0	49	4.9	141	11.7	68	6.1	37	4.1

その他の記述内容	件数
自家用車を利用	61
介護が必要なため	2
乗る機会がない	2
時刻表を知らない	1
時間や乗り換えなどがわかりにくい	1
引っ越してきたばかり	1
乗り物は具合悪くなるので乗れない	1
コロナでなるべく外出しない	1

【性別、年齢別、校区别】

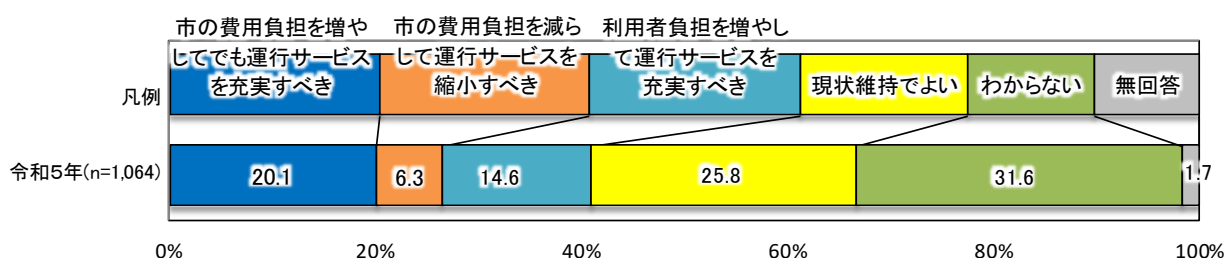
- 性別では男性で「目的地を通らないから」、女性では「近くに停留所がない」「他の交通手段を使うから」の割合がそれぞれ高くなっている。
- 年齢別では、50代で「時間があわない」「目的地を通らない」、30代で「知らない」の割合がそれぞれ高くなっている。
- 校区别では、合志楓の森小で「時間が合わないから」、西合志第一小で「家の近くに停留所がない」、南ヶ丘小で「目的地を通らない」がそれぞれ高くなっている。

	合計	時間があわないから	家の近くに停留所がない	目的地を通らないから	他の交通手段を使うから	クレターを知らなから合いた	その他
全体	926	18.6%	13.2%	15.3%	67.4%	8.3%	9.0%
■性別							
男性	405	18.8%	10.9%	18.5%	64.7%	9.6%	7.4%
女性	515	18.6%	15.0%	12.6%	69.5%	7.2%	10.3%
答えたくない	5	0.0%	20.0%	40.0%	60.0%	0.0%	0.0%
■年代別							
18～29歳	68	17.6%	7.4%	17.6%	64.7%	8.8%	11.8%
30～39歳	167	12.6%	15.0%	11.4%	64.1%	14.4%	4.2%
40～49歳	210	19.5%	16.2%	15.7%	71.9%	6.7%	4.8%
50～59歳	163	26.4%	16.0%	22.1%	68.7%	8.0%	8.6%
60～64歳	86	22.1%	12.8%	11.6%	73.3%	4.7%	9.3%
65～69歳	110	15.5%	7.3%	14.5%	66.4%	3.6%	12.7%
70歳以上	121	15.7%	10.7%	13.2%	61.2%	9.9%	17.4%
■校区别							
合志小学校区	74	20.3%	16.2%	10.8%	67.6%	2.7%	18.9%
合志南小学校区	156	12.8%	9.6%	14.7%	59.6%	8.3%	11.5%
南ヶ丘小学校区	101	21.8%	6.9%	21.8%	73.3%	5.0%	6.9%
西合志第一小学校区	21	23.8%	23.8%	19.0%	57.1%	9.5%	0.0%
西合志中央小学校区	115	21.7%	13.0%	13.9%	73.0%	1.7%	8.7%
西合志南小学校区	154	19.5%	18.2%	14.9%	67.5%	11.7%	6.5%
西合志東小学校区	168	14.3%	11.3%	15.5%	69.6%	10.1%	7.1%
合志楓の森小学校区	72	26.4%	11.1%	11.1%	72.2%	11.1%	5.6%
わからない	59	20.3%	20.3%	18.6%	57.6%	13.6%	13.6%

③コミュニティバスの今後の在り方について（問47）

あなたは、コミュニティバス（レターバス・乗り合いタクシー）の運行サービス(運行ルート・便数など)についてどう思いますか。現在、コミュニティバスは年間約9,000万円の財源を使って市が委託して運行しています。

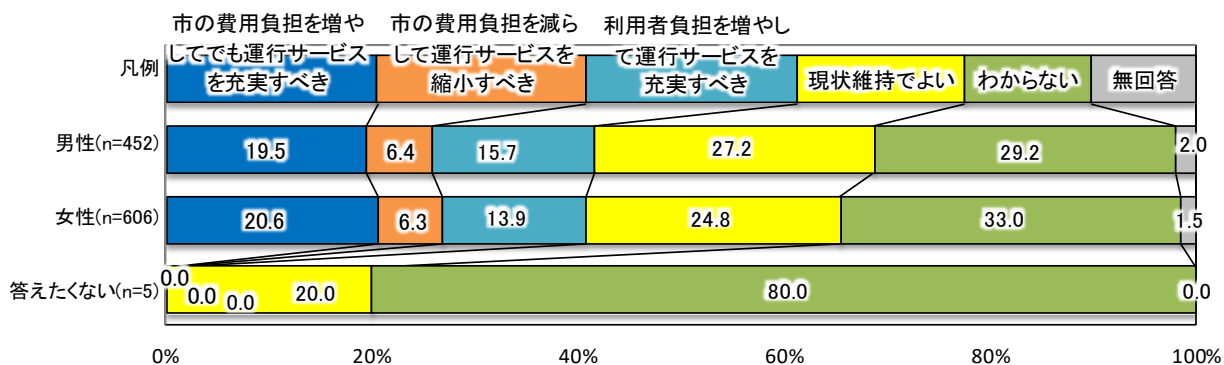
コミュニティバスの今後の在り方について尋ねたところ、「わからない」が31.6%で最も高く、以下、割合が高い方から「現状維持でよい」25.8%、「市の費用負担を増やしてでも運行サービスを充実すべき」20.1%、「利用者負担を増やして運行サービスを充実すべき」14.6%、「市の費用負担を減らして運行サービスを縮小すべき」6.3%の順となっている。「わからない」を除けば、現状維持もしくは運行を充実すべきという意見が多くなっている。



	令和5年度	
	人	%
1 市の費用負担を増やしてでも、運行サービス(運行ルート・便数など)を充実すべき	214	20.1
2 市の費用負担を減らして運行サービスを縮小すべき	67	6.3
3 利用者負担を増やして運行サービスを充実すべき	155	14.6
4 現状維持でよい	274	25.8
5 わからない	336	31.6
6 無回答	18	1.7
合計	1,064	100.0

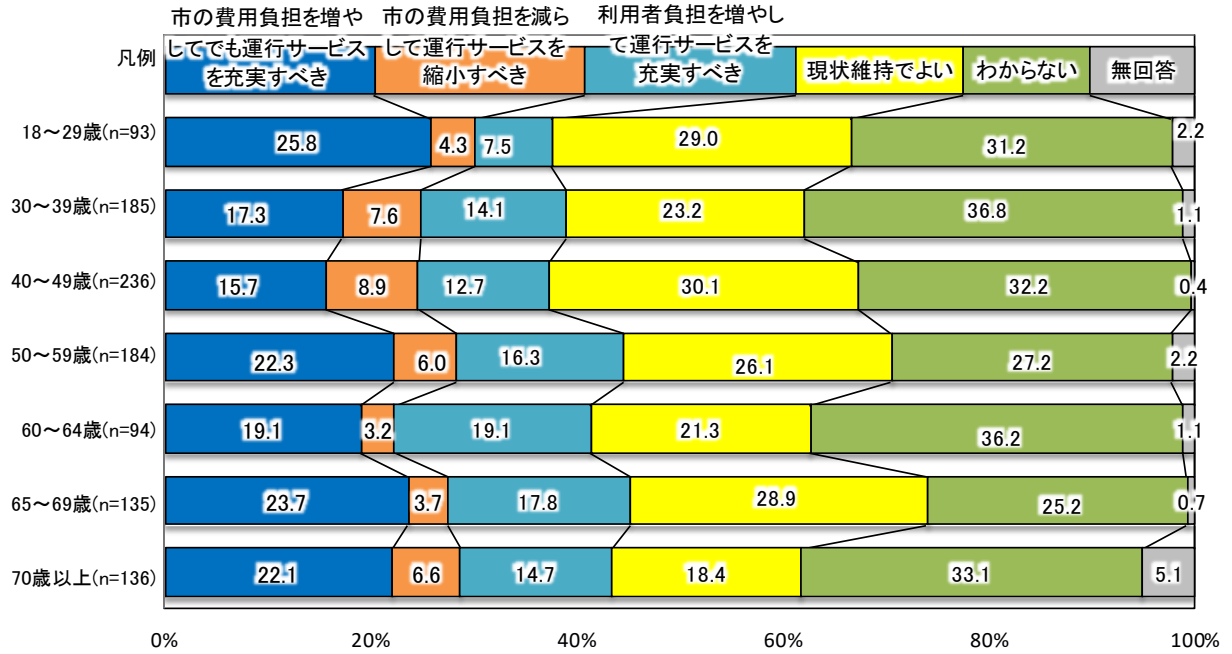
【性別】

●性別による大きな差は認められない。



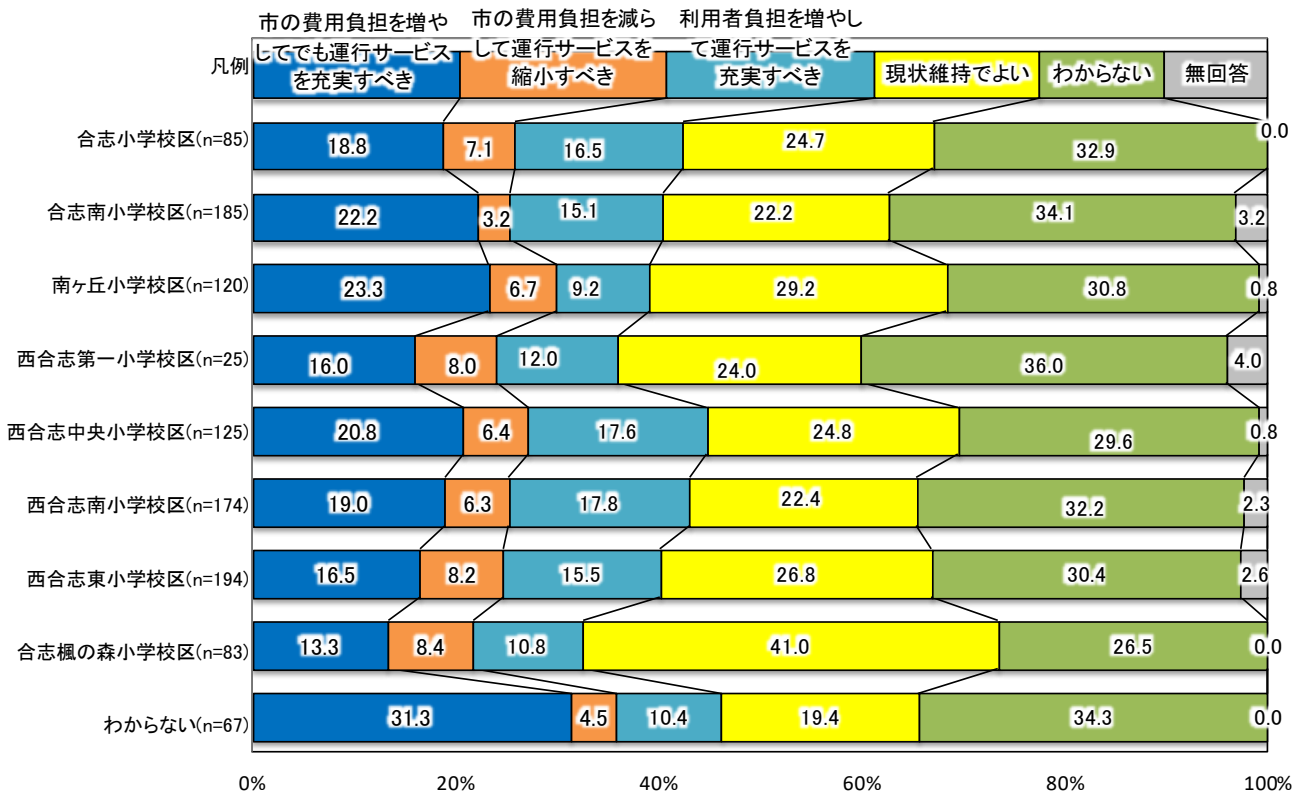
【年齢別】

- 「市の費用負担を増やしてでも運行サービスを充実すべき」の割合は、20代以下の25.8%が最も高く、これに65～69歳の23.7%、50代の22.3%が続いている。「現状維持でよい」の割合も、20代以下の29.0%が最も高く、これに65～69歳の28.9%が続いている。



【校区別】

- 「市の費用負担を増やしてでも運行サービスを充実すべき」の割合は、南ヶ丘小の23.3%が最も高く、これに合志南小の22.2%が続いている。「現状維持でよい」の割合は、合志楓の森小の41.0%が最も高く、これに南ヶ丘小の29.2%が続いている。

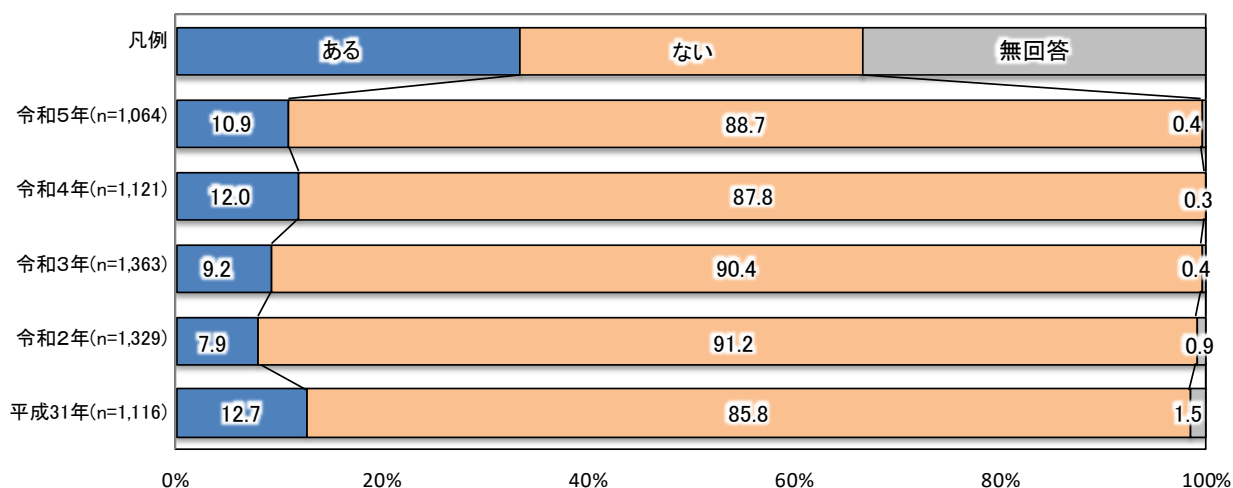


3. 人権侵害について

(1) 人権が侵害された経験（問29）

あなたは、過去1年間で自分の人権が侵害されたと感じたことがありますか。

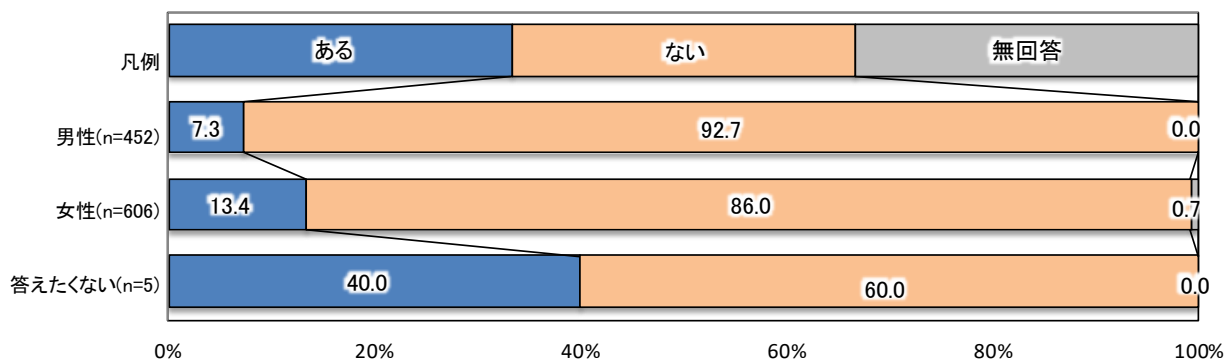
過去1年間で自分の人権が侵害されたことが「ある」人の割合は10.9%で、前年度調査と大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ある	116	10.9	134	12.0	126	9.2	105	7.9	142	12.7
2 ない	944	88.7	984	87.8	1232	90.4	1212	91.2	957	85.8
3 無回答	4	0.4	3	0.3	5	0.4	12	0.9	17	1.5
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

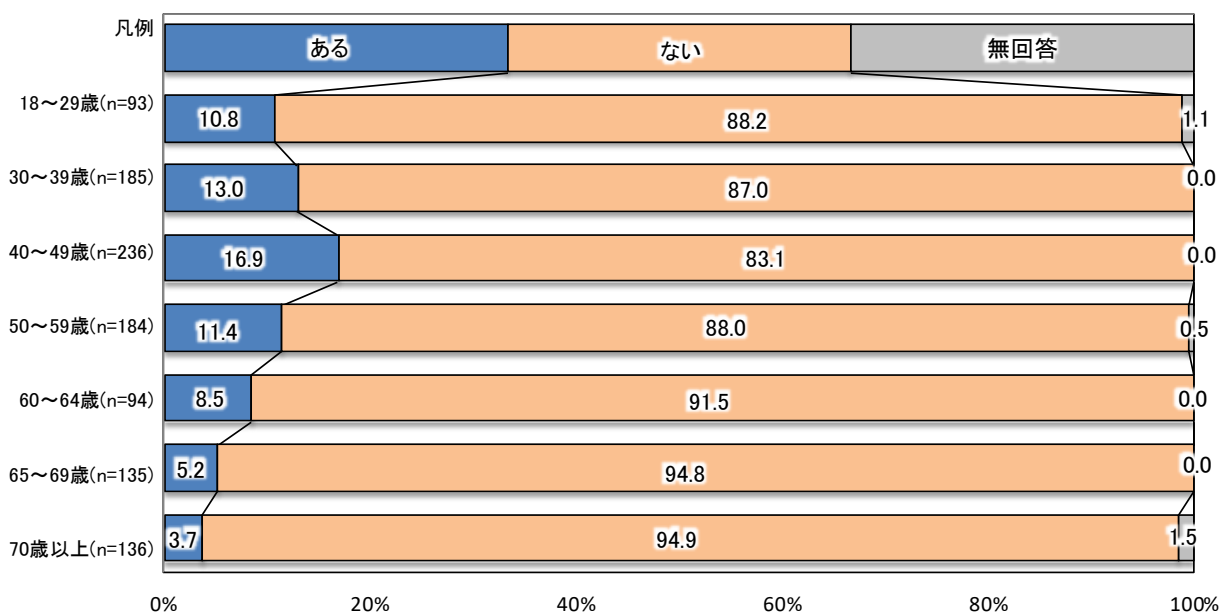
【性別】

- 人権が侵害されたことが「ある」人の割合は、男性の7.3%に対し女性は13.4%となっており、女性が男性よりも6.1ポイント高くなっている。



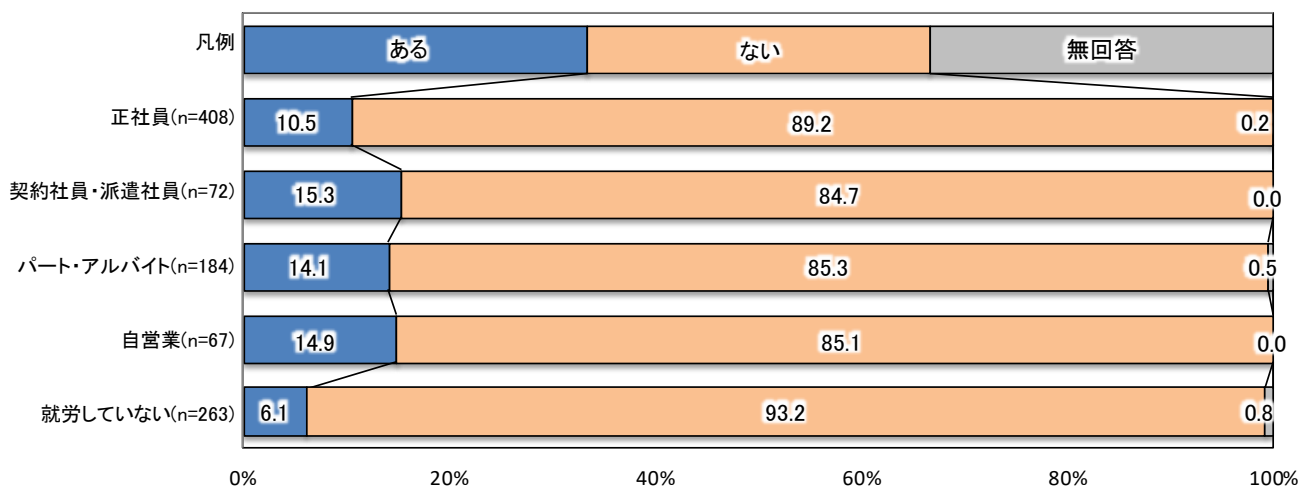
【年齢別】

●人権を侵害されたことがある人の割合は、40代の16.9%が最も高く、これに30代の13.0%、50代の11.4%が続いている。



【職業別】

●人権を侵害されたことがある人の割合は、契約社員・派遣社員の15.3%が最も高く、これに自営業の14.9%、パート・アルバイトの14.1%が続いている。



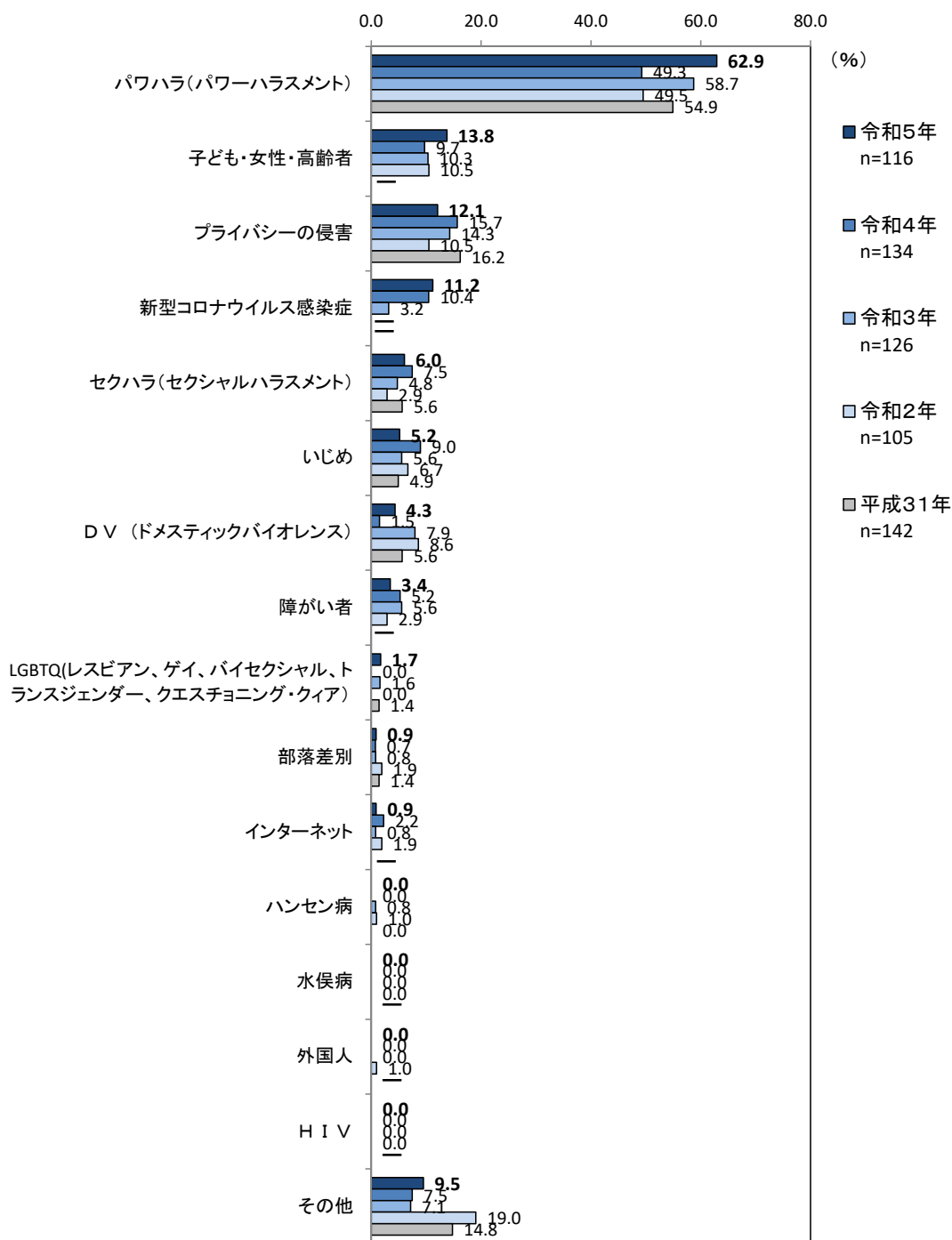
(2) 侵害された内容(問30)

問29で「1.ある」と答えた方にお尋ねします。

それはどのような場合ですか？差支えなければお聞かせください。

この1年間に人権が侵害されたことがある116人に、侵害された具体的な内容を尋ねたところ、「パワハラ」の62.9%が最も高く、次いで「子ども・女性・高齢者」13.8%、「プライバシーの侵害」12.1%、「新型コロナウイルス感染症」11.2%の順となっている。

「パワハラ」については、前年度と比べ13.6ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=116		n=134		n=126		n=105		n=142	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 部落差別	1	0.9	1	0.7	1	0.8	2	1.9	2	1.4
2 ハンセン病	0	0.0	0	0.0	1	0.8	1	1.0	0	0.0
3 水俣病	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
4 LGBTQ(レスビアン、ゲイ、バイセクシャル、トランスジェンダー、クエスチョニング・クィア)	2	1.7	0	0.0	2	1.6	0	0.0	2	1.4
5 子ども・女性・高齢者	16	13.8	13	9.7	13	10.3	11	10.5		
6 障がい者	4	3.4	7	5.2	7	5.6	3	2.9		
7 インターネット	1	0.9	3	2.2	1	0.8	2	1.9		
8 外国人	0	0.0	0	0.0	0	0.0	1	1.0		
9 HIV	0	0.0	0	0.0	0	0.0	0	0.0		
10 DV(ドメスティックバイオレンス)	5	4.3	2	1.5	10	7.9	9	8.6	8	5.6
11 セクハラ(セクシャルハラスメント)	7	6.0	10	7.5	6	4.8	3	2.9	8	5.6
12 パワハラ(パワーハラスメント)	73	62.9	66	49.3	74	58.7	52	49.5	78	54.9
13 いじめ	6	5.2	12	9.0	7	5.6	7	6.7	7	4.9
14 プライバシーの侵害	14	12.1	21	15.7	18	14.3	11	10.5	23	16.2
15 新型コロナウイルス感染症	13	11.2	14	10.4	4	3.2				
16 その他	11	9.5	10	7.5	9	7.1	20	19.0	21	14.8

その他の記述内容
体型について陰口を言われる
精神的虐待
自分でいろいろ判断したいが同調圧力がある
給与面
モラハラ
元同僚からの嫌がらせ
嫁という立場の弱さ
近くの人が無視する。兄弟3人で。
気分が悪くなるので言いたくない

【性別】

- 人権を侵害された内容について、「パワハラ」は男性 66.7%、女性 60.5%と男性での割合が高くなっている。「子ども・女性・高齢者」は男性 9.1%、女性 16.0%と女性での割合が高くなっている。

【年齢別】

- 人権を侵害された内容について、「パワハラ」は 30代~40代で 70%前後となっている。

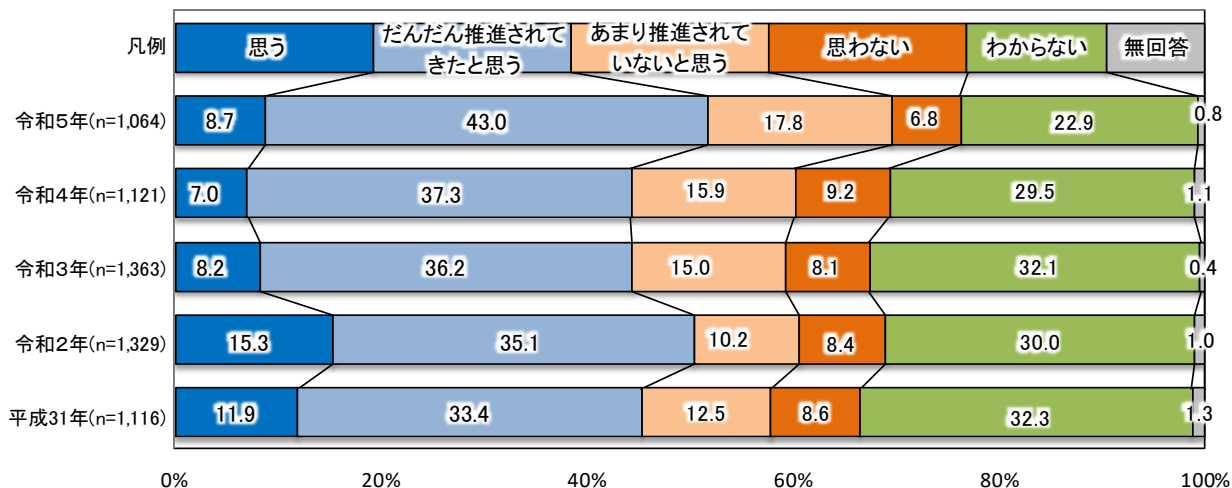
	合計	部落差別	ハンセン病	水俣病	LGBTQ	子ども・女性・高齢者	障がい者	インターネット	外国人	HIV	DV	セクハラ	パワハラ	いじめ	プライバシーの侵害	新型コロナウイルス感染症	その他
全体	116	0.9%	0.0%	0.0%	1.7%	13.8%	3.4%	0.9%	0.0%	0.0%	4.3%	6.0%	62.9%	5.2%	12.1%	11.2%	9.5%
■性別																	
男性	33	3.0%	0.0%	0.0%	3.0%	9.1%	6.1%	3.0%	0.0%	0.0%	0.0%	3.0%	66.7%	6.1%	12.1%	18.2%	9.1%
女性	81	0.0%	0.0%	0.0%	1.2%	16.0%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	4.9%	7.4%	60.5%	4.9%	12.3%	8.6%	9.9%
答えたくない	2	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	0.0%	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
■年代別																	
18~29歳	10	0.0%	0.0%	0.0%	10.0%	10.0%	10.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	50.0%	10.0%	30.0%	10.0%	10.0%
30~39歳	24	0.0%	0.0%	0.0%	4.2%	12.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	8.3%	70.8%	4.2%	8.3%	8.3%	0.0%
40~49歳	40	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	7.5%	7.5%	67.5%	10.0%	5.0%	15.0%	12.5%
50~59歳	21	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	4.8%	4.8%	0.0%	0.0%	9.5%	4.8%	61.9%	0.0%	14.3%	9.5%	4.8%
60~64歳	8	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	37.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	12.5%	50.0%	0.0%	25.0%	12.5%	25.0%
65~69歳	7	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	14.3%	14.3%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	57.1%	0.0%	28.6%	0.0%	14.3%
70歳以上	5	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	60.0%	0.0%	0.0%	20.0%	20.0%

4. 男女共同参画社会の推進について

(1) 男女共同参画社会の推進（問31）

あなたは、男女共同参画社会が推進されてきたと思いますか。

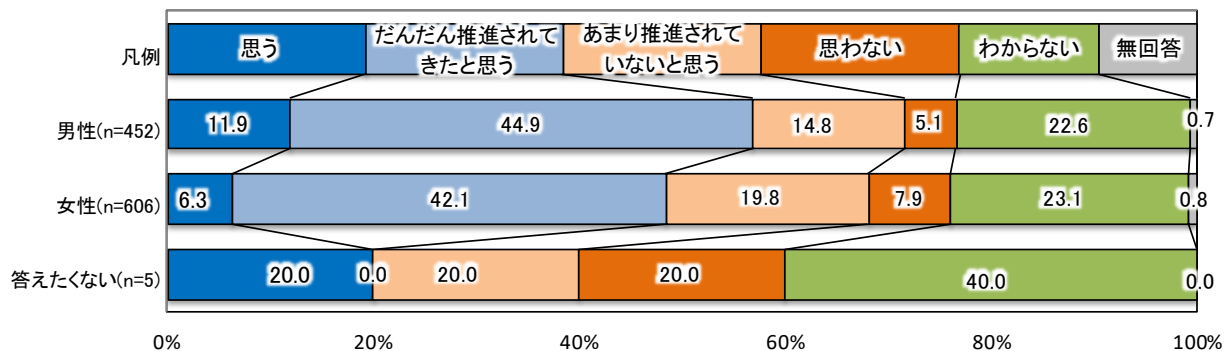
男女共同参画社会が推進されてきたと思う（「思う」+「だんだん推進されてきたと思う」）割合は 51.7%で半数を上回り、思わない（「あまり推進されていないと思う」+「思わない」）は 24.6%、「わからない」は 22.9%となっている。
前年度と比べ推進されてきたと思う割合が 7.4 ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	93	8.7	79	7.0	112	8.2	204	15.3	133	11.9
2 だんだん推進されてきたと思う	458	43.0	418	37.3	493	36.2	467	35.1	373	33.4
3 あまり推進されていないと思う	189	17.8	178	15.9	204	15.0	135	10.2	140	12.5
4 思わない	72	6.8	103	9.2	110	8.1	111	8.4	96	8.6
5 わからない	244	22.9	331	29.5	438	32.1	399	30.0	360	32.3
6 無回答	8	0.8	12	1.1	6	0.4	13	1.0	14	1.3
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

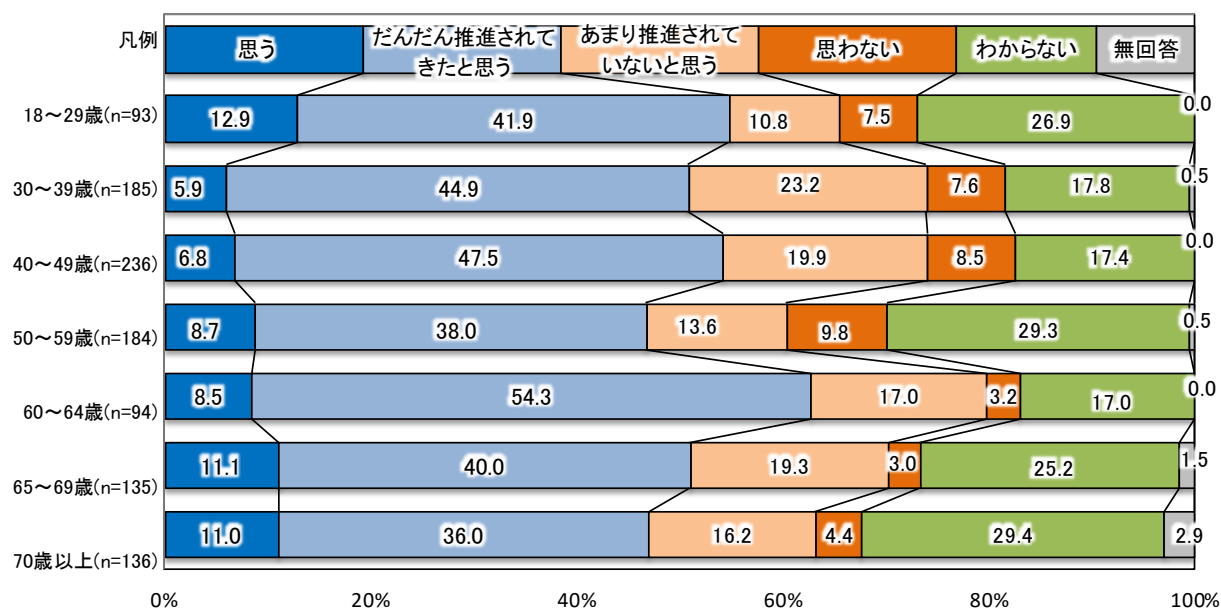
【性別】

●男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、男性 56.8%、女性 48.4%となっており、男性が女性を 8.4 ポイント上回っている。



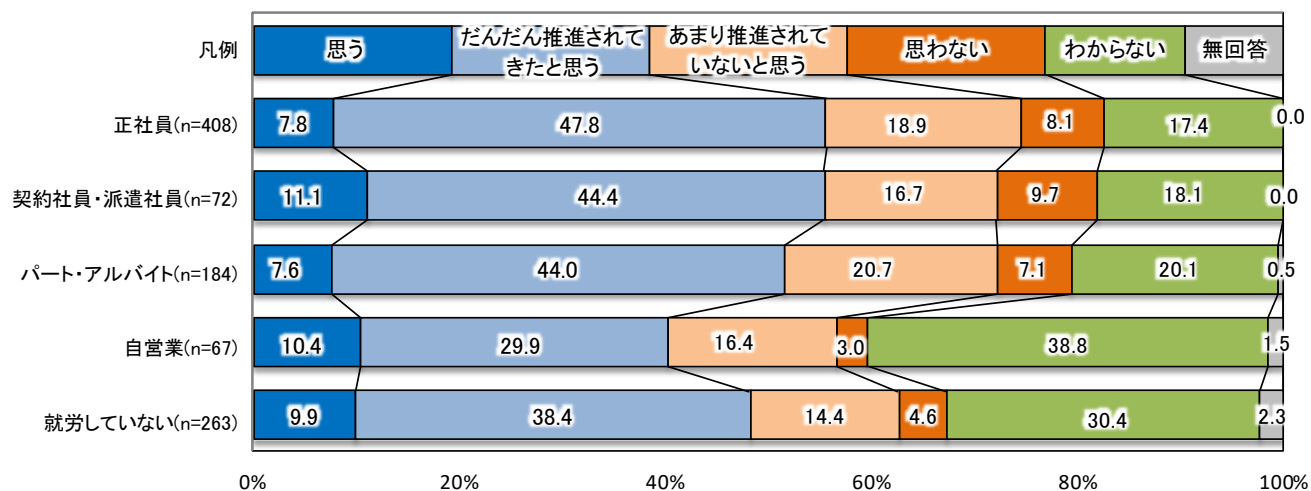
【年齢別】

- 男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は、60～64歳で6割台となっている一方で、50代、70歳以上では5割以下となっている。



【職業別】

- 正社員と契約社員・派遣社員では、男女共同参画社会が推進されてきたと思う割合は半数を超えているが、自営業では4割となっている。

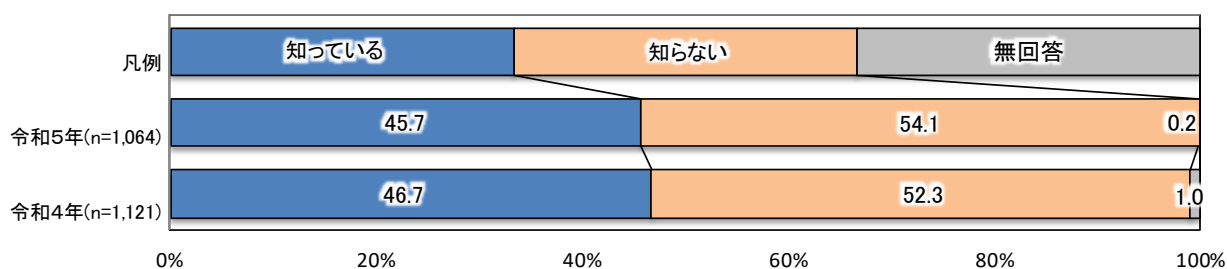


(2) 相談専門部署について

① 専門相談部署の認知度 (問 3 2)

あなたは、女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っていますか。
(例えば、DV/離婚相談や子育ての困難さ、児童虐待など)

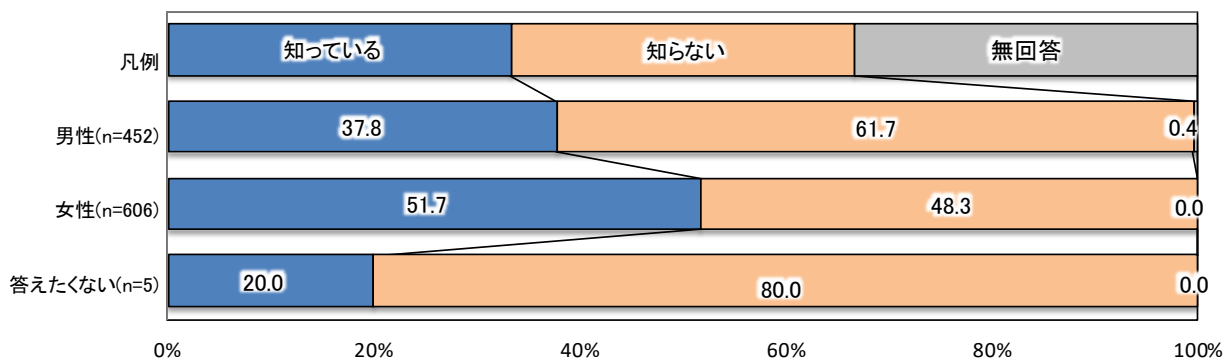
女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っているかについては、知っているが45.7%、知らないが54.1%となっている。
前年度と比べ大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度	
	人	%	人	%
1 知っている	486	45.7	524	46.7
2 知らない	576	54.1	586	52.3
3 無回答	2	0.2	11	1.0
合計	1,064	100.0	1,121	100.0

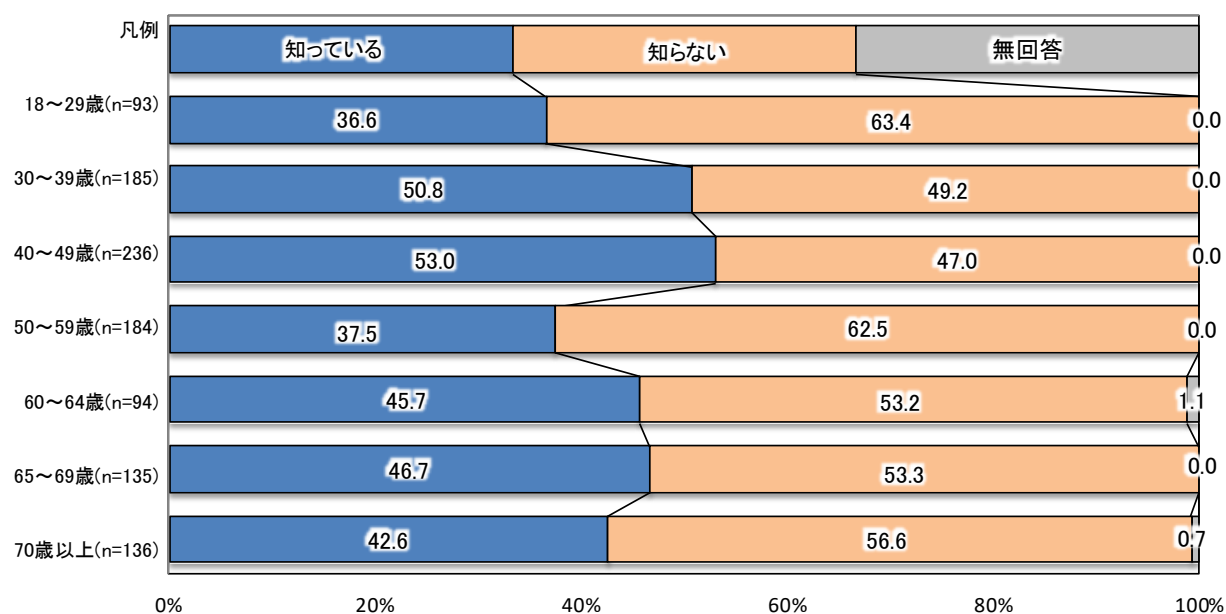
【性別】

●女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っている人の割合は、男性が37.8%、女性が51.7%となっており、認知度の差が認められる。



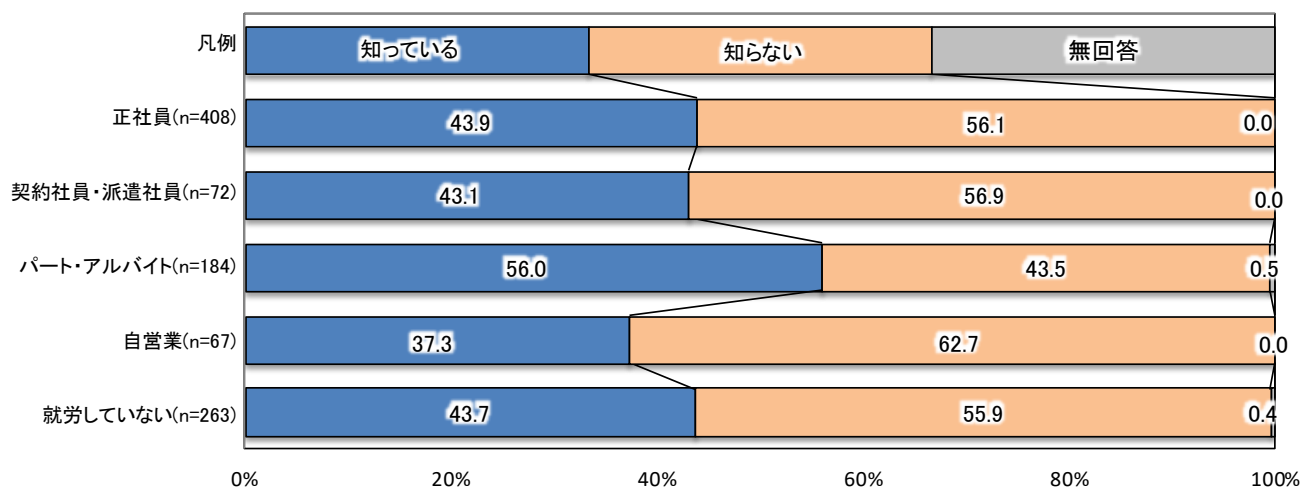
【年齢別】

- 女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っている割合は、30代～40代では50%台となっており、他の年代よりも高くなっている。



【職業別】

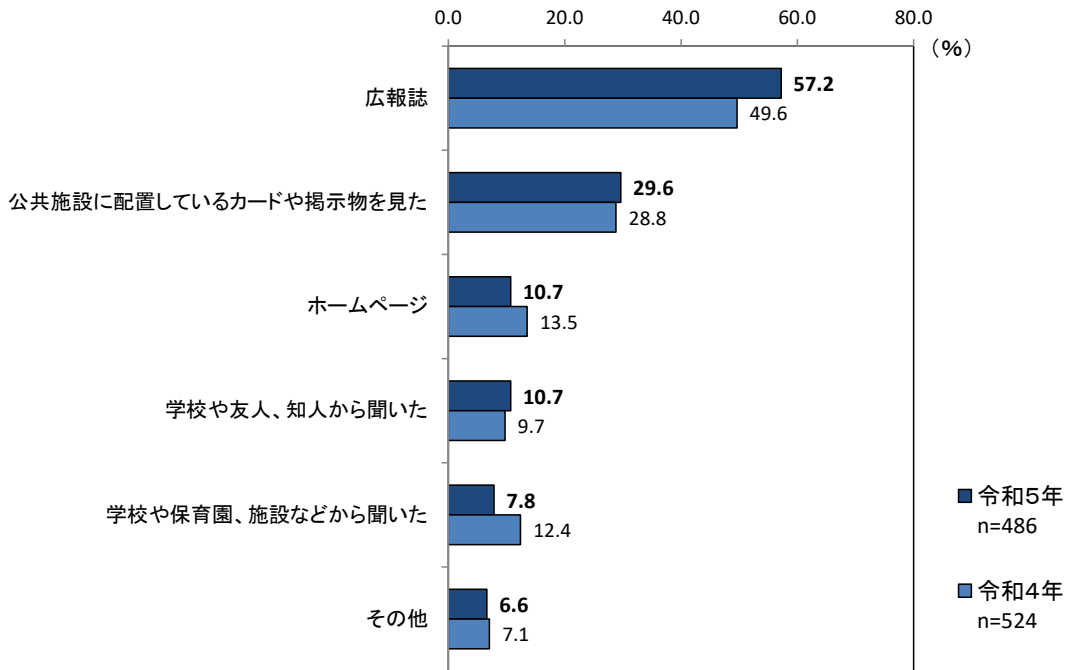
- 女性や子どもに関する相談専門部署が市役所内にあることを知っている割合は、パート・アルバイトの56.0%が最も高くなっている。



②専門相談部署が市役所内にあることを知った方法（問33）

問32で「1.知っている」と答えた方にお尋ねします。
相談窓口を知った方法は何か。

相談専門部署が市役所内にあることを知った方法については、広報誌が57.2%と最も高く、次いで公共施設に配置しているカードや掲示物29.6%、ホームページと学校や友人、知人から聞いたが10.7%となっている。
前年度と比べ広報誌の割合が7.6ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度	
	n=486		n=524	
	人	%	人	%
1 広報誌	278	57.2	260	49.6
2 ホームページ	52	10.7	71	13.5
3 公共施設に配置しているカードや掲示物を見た	144	29.6	151	28.8
4 学校や保育園、施設などから聞いた	38	7.8	65	12.4
5 学校や友人、知人から聞いた	52	10.7	51	9.7
6 その他	32	6.6	37	7.1
7 無回答	17	3.5	0	0.0

その他の記述内容	件数
仕事上で知っている	9
市役所に行った際に知った	3
テレビ	3
当然あるだろうと思っていた	3
民生委員	1
新聞	1
市からの訪問	1
ボランティア等の会議	1
SNS	1
突然電話があった 非常に迷惑だった	1

【性別】

- 相談専門部署が市役所内にあることを知った方法について、「公共施設に配置しているカードや掲示物」は男性 21.6%、女性 33.9%となっており、女性の方が男性を 12.3 ポイント上回っている。

【年齢別】

- 相談専門部署が市役所内にあることを知った方法について、30代と40代では「公共施設に配置しているカードや掲示物」、50代以上では「広報誌」がそれぞれ最も高くなっている。20代以下では「学校や保育園、施設などから聞いた」が44.1%で最も高くなっている。

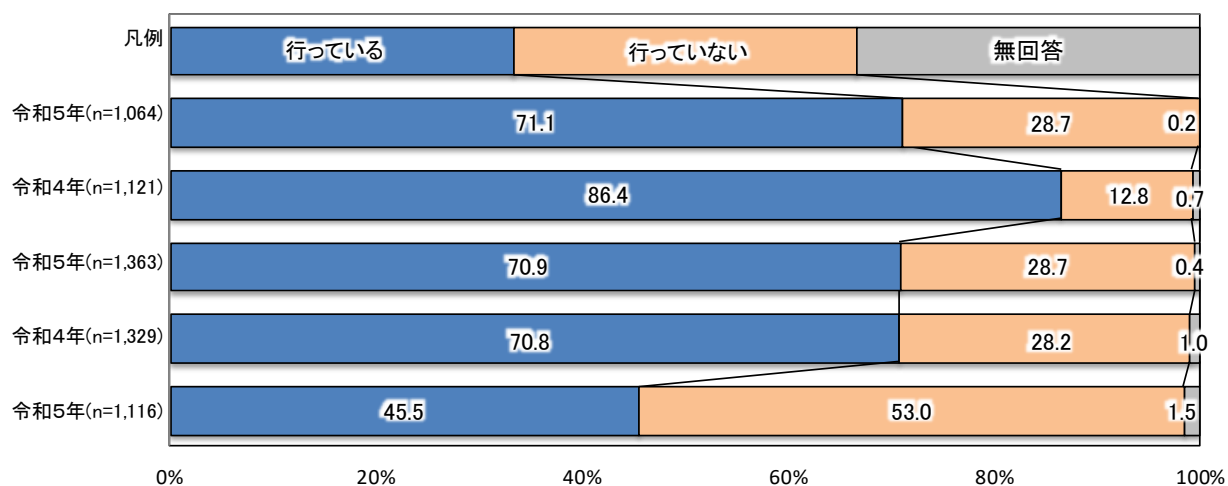
	合計	広報誌	ホームページ	公共施設に配置しているカードや掲示物	学校や保育園、施設などから聞いた	学校や友人、知人から聞いた	その他
全体	486	57.2%	10.7%	29.6%	7.8%	10.7%	6.6%
■性別							
男性	171	59.1%	13.5%	21.6%	4.7%	12.3%	6.4%
女性	313	56.2%	8.9%	33.9%	9.6%	9.9%	6.7%
答えたくない	1	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
■年代別							
18～29歳	34	32.4%	5.9%	26.5%	44.1%	8.8%	2.9%
30～39歳	94	39.4%	10.6%	37.2%	9.6%	13.8%	5.3%
40～49歳	125	46.4%	10.4%	40.8%	4.0%	12.8%	9.6%
50～59歳	69	68.1%	15.9%	31.9%	5.8%	8.7%	7.2%
60～64歳	43	62.8%	4.7%	20.9%	2.3%	9.3%	9.3%
65～69歳	63	79.4%	14.3%	12.7%	4.8%	4.8%	4.8%
70歳以上	58	82.8%	8.6%	17.2%	1.7%	12.1%	3.4%

危機管理について

1. 健康危機への備え（問36）

あなたは、新型インフルエンザや新型コロナウイルス等の感染症に関して、日頃から情報収集を行っていますか。

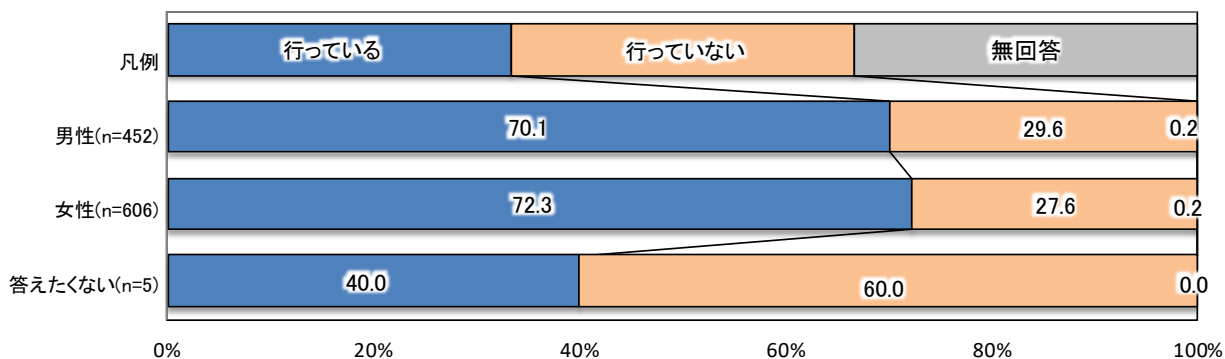
新型インフルエンザや新型コロナウイルス感染症などの健康危機に備え、日頃から情報収集を行っている人の割合は71.1%、行っていない人は28.7%となっている。
前年度と比較して、行っている人の割合は15.3ポイント減少している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 行っている	757	71.1	969	86.4	966	70.9	941	70.8	508	45.5
2 行っていない	305	28.7	144	12.8	391	28.7	375	28.2	591	53.0
3 無回答	2	0.2	8	0.7	6	0.4	13	1.0	17	1.5
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

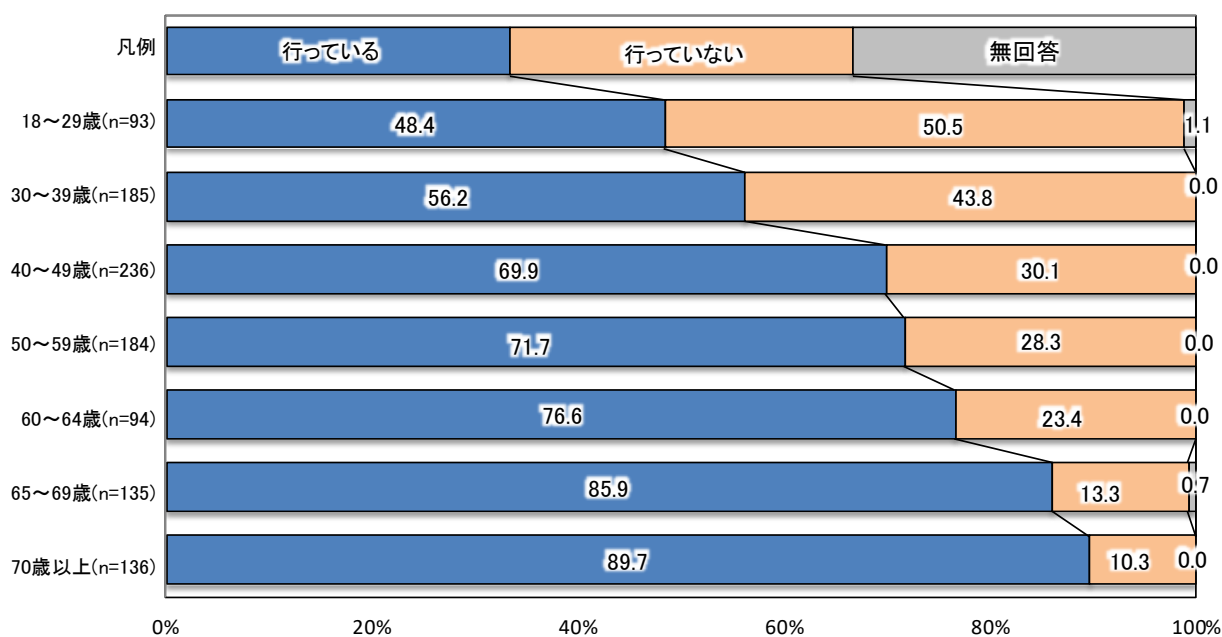
【性別】

●日頃から情報収集を行っている人の割合について、性別による大きな差は認められない。



【年齢別】

●日頃から情報収集を行っている人の割合は、年代が上がるにつれ高くなっており、65～69歳以上では8割台となっている。

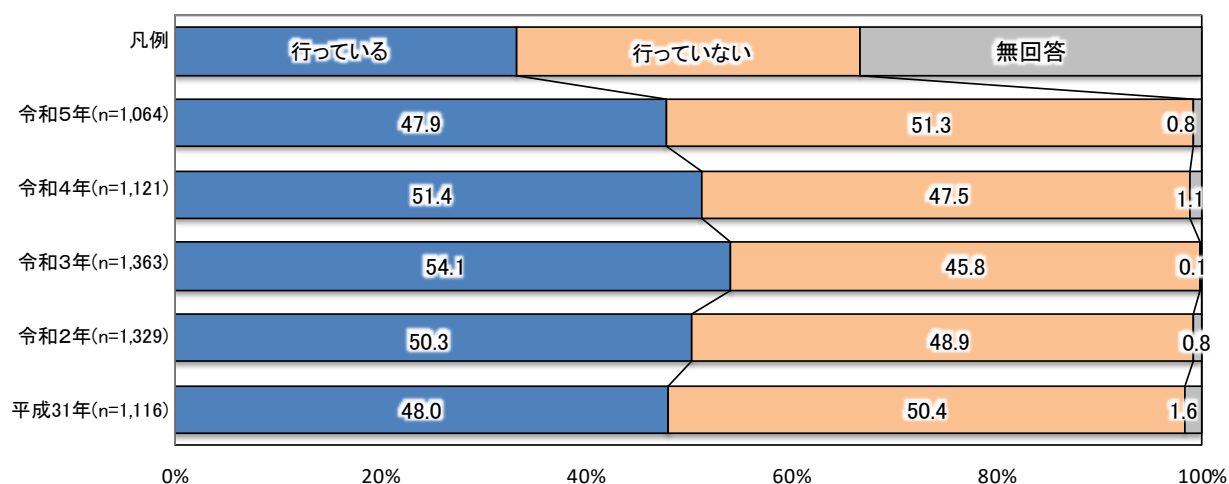


2. 防災の取組み

(1) 家庭内防災（問37）

あなたは、家庭内で防災に対する取組み（非常持ち出し袋の準備、家族での話し合い等）を行っていますか。

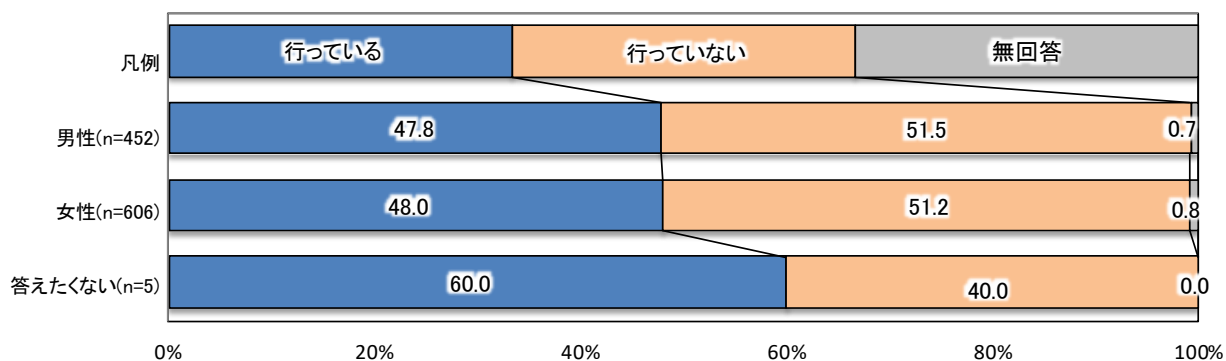
家庭内で防災に対する取組みを行っている人の割合は 47.9%、行っていない人の割合は 51.3%となっている。
 平成31年度以降、行っている人の割合は年々増加傾向にあったが、昨年度からやや減少傾向となっている。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 行っている	510	47.9	576	51.4	737	54.1	669	50.3	536	48.0
2 行っていない	546	51.3	533	47.5	624	45.8	650	48.9	562	50.4
3 無回答	8	0.8	12	1.1	2	0.1	10	0.8	18	1.6
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

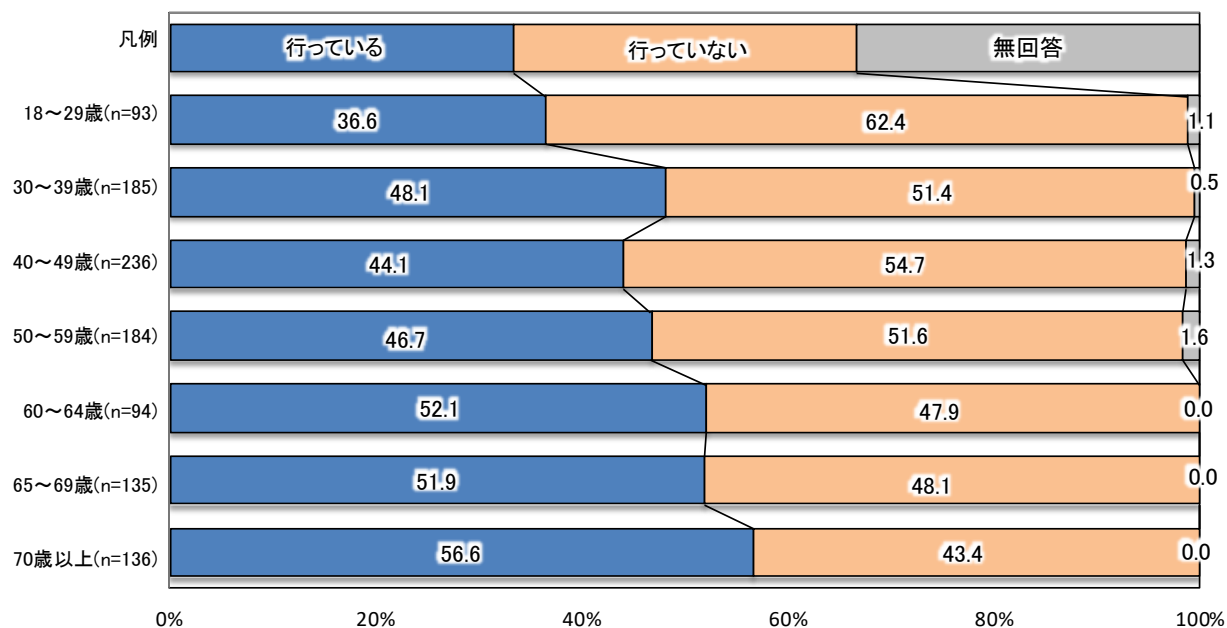
【性別】

●家庭内で防災に対する取組みを行っている人の割合について、大きな差は認められない。



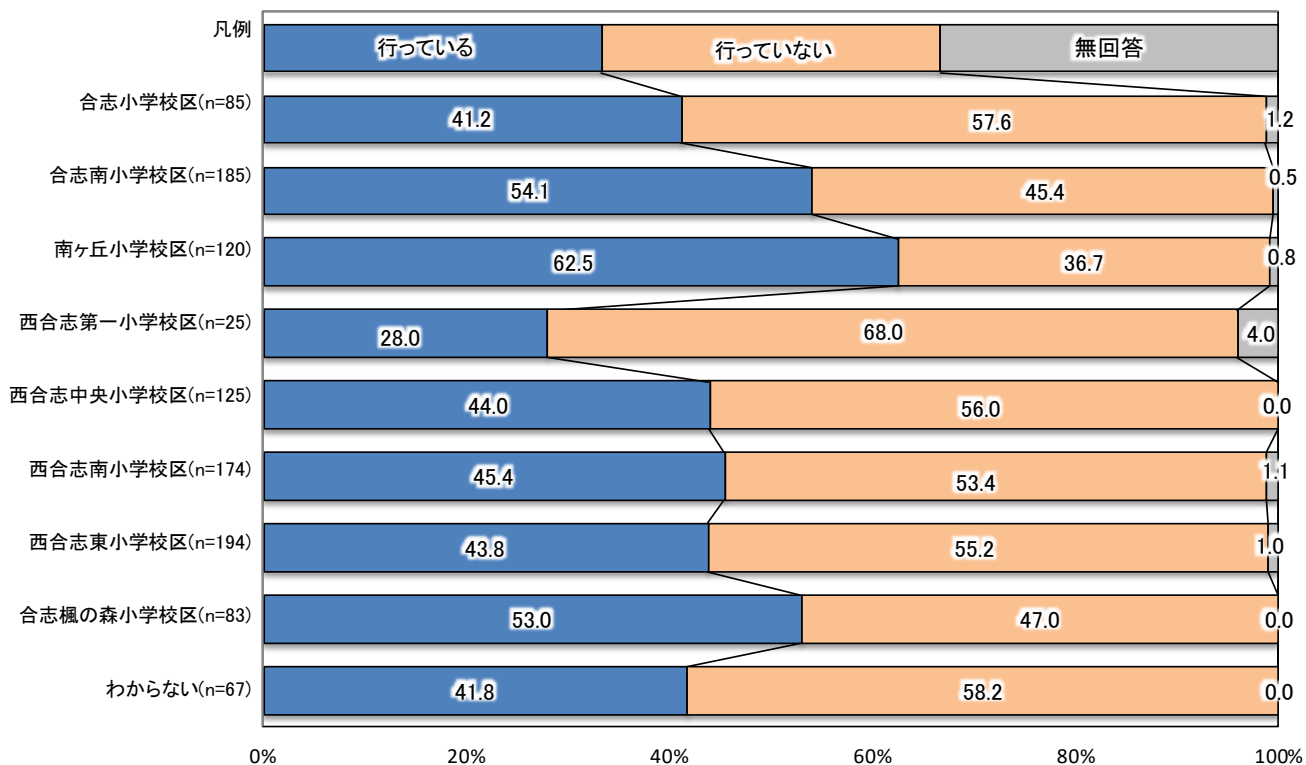
【年齢別】

- 家庭内で防災に対する取り組みを行っている人の割合は、年代が下がるほど概ね低くなっていく傾向が認められる。



【校区別】

- 家庭内で防災に対する取り組みを行っている人の割合は、合志南小、南ヶ丘小、合志楓の森小で半数を超えている。



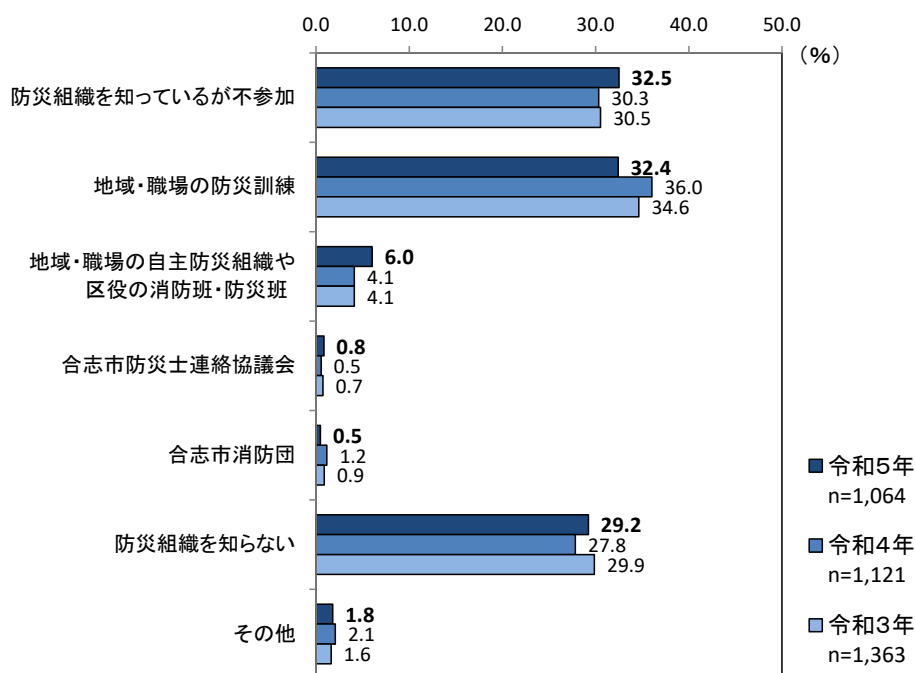
※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

(2) 地域防災（問38）

あなたは、地域・職場内で防災に対する取組み（防災訓練の参加、自主防災組織・消防団への参加等）を行っていますか。

地域・職場内での防災に対する取組みについては、「防災組織について知っているが、参加していない」が32.5%で最も高く、次いで「地域・職場の防災訓練に参加」している人の割合が32.4%「防災組織を知らない」が29.2%となっている。

防災に取り組んでいる人（「地域・職場の防災訓練に参加」+「地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班に参加している」+「合志市消防団に参加している」+「合志市防災士連絡協議会に参加している」）の割合は39.7%となっており、昨年度と比べ大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	n=1064		n=1121		n=1363	
	人	%	人	%	人	%
1 地域・職場の防災訓練	345	32.4	404	36.0	472	34.6
2 地域・職場の自主防災組織や区役の消防班・防災班	64	6.0	46	4.1	56	4.1
3 合志市消防団	5	0.5	13	1.2	12	0.9
4 合志市防災士連絡協議会	9	0.8	6	0.5	10	0.7
5 防災組織を知っているが不参加	346	32.5	340	30.3	416	30.5
6 防災組織を知らない	311	29.2	312	27.8	407	29.9
7 その他	19	1.8	23	2.1	22	1.6

その他の記述内容
町内会の行事に参加
体力が弱くて参加は出来ない
他にあって参加したくありません
現在、居住地区の自主防災組織を知らない
会社を退職しているので今は行っていない

【性別】

- 性別による大きな差は認められない。

【年齢別】

- 地域・職場で防災に取り組んでいる割合は、50代では約半数となっている。

【校区別】

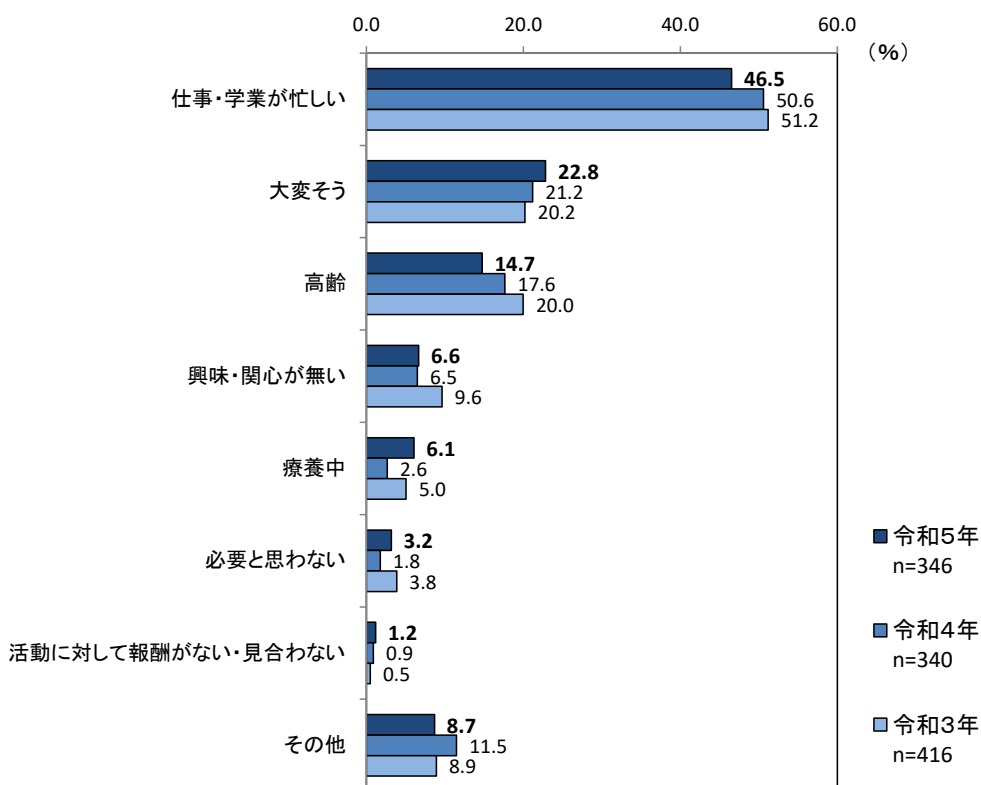
- 地域・職場内で防災に対する取り組みを「行っている」割合は、合志小が半数以上となり、他の校区よりも高くなっている。

	合計	地域・職場の防災訓練	地域・職場の消防の自主防災組織	合志市消防団	合志市防災士連絡協議会	不参加	防災組織を知っているが	防災組織を知らない	その他
全体	1064	32.4%	6.0%	0.5%	0.8%	32.5%	29.2%	1.8%	
■性別									
男性	452	32.3%	8.4%	0.2%	1.1%	34.1%	27.4%	2.0%	
女性	606	32.5%	4.3%	0.5%	0.7%	31.5%	30.7%	1.5%	
答えたくない	5	20.0%	0.0%	20.0%	0.0%	20.0%	20.0%	20.0%	
■年代別									
18～29歳	93	19.4%	0.0%	1.1%	1.1%	36.6%	43.0%	1.1%	
30～39歳	185	27.0%	3.2%	0.0%	0.0%	26.5%	43.8%	1.1%	
40～49歳	236	34.3%	7.2%	1.3%	0.8%	28.8%	30.9%	0.4%	
50～59歳	184	37.5%	10.9%	0.5%	1.1%	32.1%	22.8%	1.6%	
60～64歳	94	38.3%	1.1%	0.0%	1.1%	35.1%	22.3%	4.3%	
65～69歳	135	28.1%	8.9%	0.0%	0.7%	37.0%	27.4%	1.5%	
70歳以上	136	39.0%	5.9%	0.0%	1.5%	39.0%	12.5%	3.7%	
■校区別									
合志小学校区	85	43.5%	10.6%	2.4%	1.2%	27.1%	17.6%	1.2%	
合志南小学校区	185	31.9%	4.9%	0.0%	1.1%	29.7%	34.1%	2.2%	
南ヶ丘小学校区	120	35.0%	9.2%	0.0%	0.8%	33.3%	21.7%	2.5%	
西合志第一小学校区	25	32.0%	8.0%	0.0%	0.0%	44.0%	20.0%	4.0%	
西合志中央小学校区	125	30.4%	10.4%	0.0%	0.8%	32.0%	27.2%	1.6%	
西合志南小学校区	174	27.0%	4.0%	0.6%	1.7%	37.4%	32.2%	1.7%	
西合志東小学校区	194	34.0%	4.1%	1.0%	0.0%	36.1%	26.3%	0.5%	
合志楓の森小学校区	83	33.7%	4.8%	0.0%	1.2%	30.1%	32.5%	0.0%	
わからない	67	29.9%	1.5%	0.0%	0.0%	22.4%	44.8%	6.0%	

(3) 防災への取り組みに参加しない理由（問39）

問38で「5. 防災組織について知っているが、参加していない」と答えた方にお尋ねします。それはなぜですか。

防災組織について知っているが、参加していない346人について、参加していない理由を尋ねたところ、「仕事・学業が忙しい」の割合が46.5%で最も高く、次いで「大変そう」22.8%、高齢14.7%となっており、前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度	
	n=346		n=340		n=416	
	人	%	人	%	人	%
1 仕事・学業が忙しい	161	46.5	172	50.6	213	51.2
2 療養中	21	6.1	9	2.6	21	5.0
3 高齢	51	14.7	60	17.6	83	20.0
4 興味・関心が無い	23	6.6	22	6.5	40	9.6
5 必要と思わない	11	3.2	6	1.8	16	3.8
6 大変そう	79	22.8	72	21.2	84	20.2
7 活動に対して報酬がない・見合わない	4	1.2	3	0.9	2	0.5
8 その他	30	8.7	39	11.5	37	8.9

その他の記述内容	件数
依頼などがないため	4
家庭の事情で活動日に参加できないことが多い	3
不要な活動が多すぎる。負担しかない	2
日程が合わないから	2
意識したことがないから	2
子どもの世話で忙しいから	2
活動がない	2
消防団に入りたくても、入り方がわからない	1
参加したいが、組織が整っていない	1
防災訓練がいつ行われているかわからないのでわかっていれば参加したいと思う	1
最近引越してきたから	1
消防団を定年	1
体力に自信がないから	1

【性別】

- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は男性 20.8%、女性 9.9%で、男性が女性より 10.9 ポイント高くなっている。同様に「仕事・学業が忙しい」をあげている人の割合は男性 51.3%、女性 42.4%で、男性が女性より 8.9 ポイント高くなっている。

【年齢別】

- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は年代が上がるにつれ高くなっている。また、「仕事・学業が忙しい」あげている人の割合は、50代を除き年代が下がるにつれ高くなっている。

【校区別】

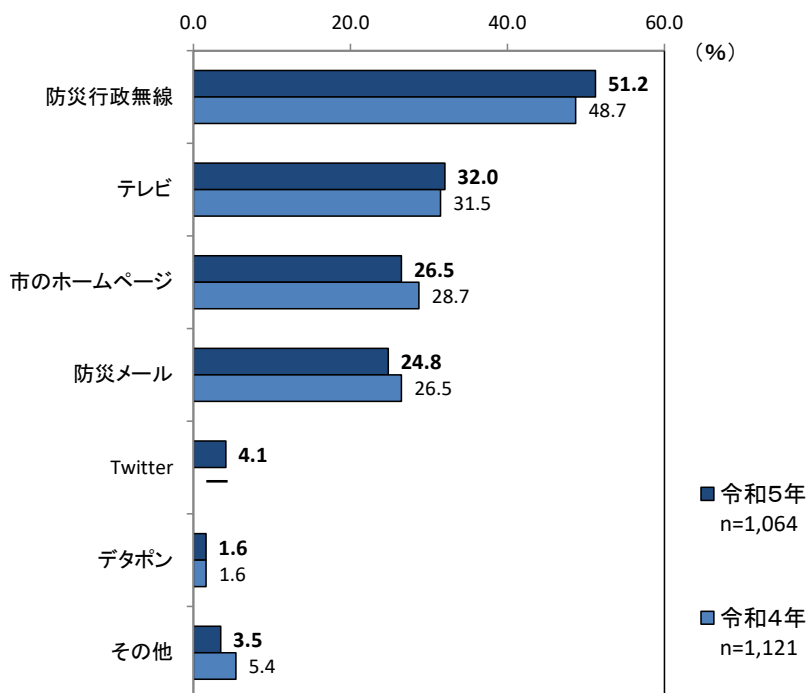
- 参加していない防災に対する取組みを行っていない理由として、「高齢」をあげている人の割合は西合志第一小で 3 割弱と高くなっている。同様に「仕事・学業が忙しい」をあげている人の割合は南ヶ丘小、西合志第一小、西合志中央小、西合志南小、合志楓の森小で 50%台となっている。

	合計	忙し 仕事 ・学 業が	療 養 中	高 齢	無 興 味 ・ 関 心 が	必 要 と 思 わ な い	大 変 そ う	見 報 活 動 に 対 し て 合 酬 が な い ・ い し て	そ の 他
全 体	346	46.5%	6.1%	14.7%	6.6%	3.2%	22.8%	1.2%	8.7%
■ 性別									
男性	154	51.3%	5.8%	20.8%	7.8%	5.8%	19.5%	1.3%	7.8%
女性	191	42.4%	6.3%	9.9%	5.8%	1.0%	25.7%	1.0%	9.4%
答えたくない	1	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
■ 年代別									
18～29歳	34	70.6%	8.8%	0.0%	8.8%	2.9%	23.5%	0.0%	8.8%
30～39歳	49	65.3%	0.0%	0.0%	6.1%	4.1%	26.5%	4.1%	10.2%
40～49歳	68	63.2%	5.9%	1.5%	8.8%	0.0%	20.6%	1.5%	1.5%
50～59歳	59	39.0%	6.8%	1.7%	5.1%	1.7%	27.1%	1.7%	10.2%
60～64歳	33	57.6%	3.0%	12.1%	6.1%	0.0%	21.2%	0.0%	9.1%
65～69歳	50	24.0%	6.0%	34.0%	4.0%	10.0%	26.0%	0.0%	16.0%
70歳以上	53	15.1%	11.3%	52.8%	7.5%	3.8%	15.1%	0.0%	7.5%
■ 校区別									
合志小学校区	23	34.8%	13.0%	4.3%	0.0%	8.7%	17.4%	0.0%	21.7%
合志南小学校区	55	45.5%	9.1%	14.5%	5.5%	0.0%	21.8%	1.8%	10.9%
南ヶ丘小学校区	40	50.0%	2.5%	12.5%	2.5%	7.5%	17.5%	5.0%	7.5%
西合志第一小学校区	11	54.5%	9.1%	27.3%	0.0%	9.1%	9.1%	0.0%	9.1%
西合志中央小学校区	40	52.5%	7.5%	12.5%	7.5%	0.0%	30.0%	0.0%	7.5%
西合志南小学校区	65	50.8%	4.6%	15.4%	9.2%	0.0%	23.1%	1.5%	7.7%
西合志東小学校区	70	42.9%	5.7%	17.1%	8.6%	5.7%	30.0%	0.0%	2.9%
合志楓の森小学校区	25	52.0%	0.0%	8.0%	8.0%	0.0%	28.0%	0.0%	8.0%
わからない	15	33.3%	6.7%	20.0%	13.3%	6.7%	0.0%	0.0%	20.0%

(4) 防災情報の収集方法（問40）

あなたは市の防災情報をどのようにして収集していますか。

市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、防災行政無線が51.2%と最も高く、以下、テレビ32.0%、市のホームページ26.5%、防災メール24.8%の順となっている。



	令和5年度		令和4年度	
	n=1064		n=1121	
	人	%	人	%
1 防災行政無線	545	51.2	546	48.7
2 テレビ	341	32.0	353	31.5
3 市のホームページ	282	26.5	322	28.7
4 防災メール	264	24.8	297	26.5
5 デタボン	17	1.6	18	1.6
6 Twitter	44	4.1		
7 その他	37	3.5	60	5.4

その他の記述内容	件数
市広報誌	9
家族	4
インターネット	3
LINE	2
区のおつまりで	1
新聞	1
防災アプリ	1
SNS	1
学校からの安心メール	1
転入の時にもらったチラシ	1
職場からの情報	1
市からの拡声放送	1
回覧板	1

【性別】

- 市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、テレビと防災メールは女性の割合がやや高くなっている。

【年齢別】

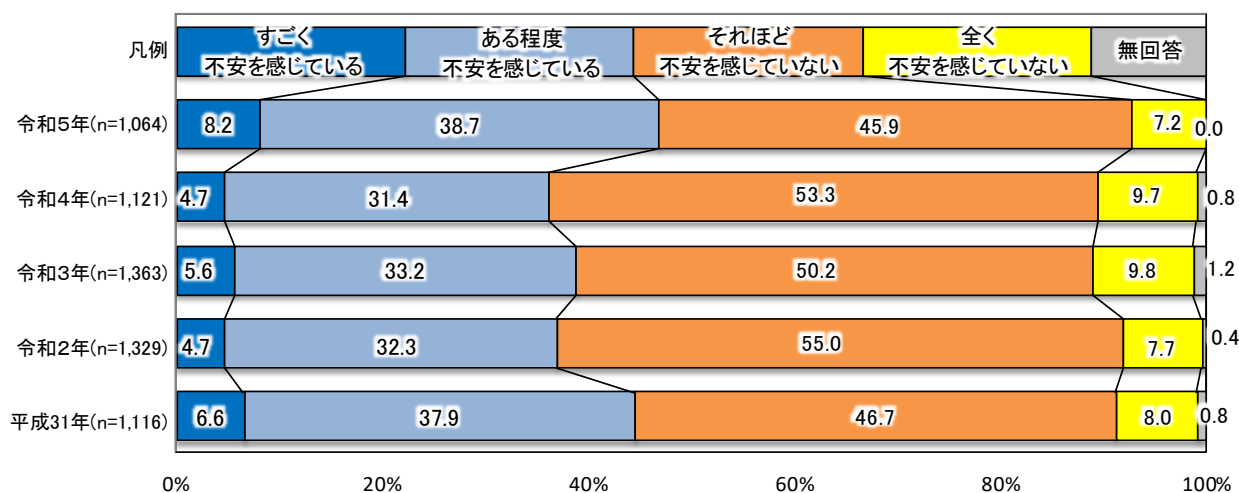
- 市の防災情報をどのようにして収集しているかについて、防災行政無線の割合は、年代が上がるにつれ概ね高くなっていく傾向が認められる。40代は市のホームページの割合が35.2%となっており、他の年代よりも高くなっている。

	合計	防災行政無線	テレビ	市のホームページ	防災メール	デタポン	T w i t t e r	その他
全体	1,064	51.2%	32.0%	26.5%	24.8%	1.6%	4.1%	3.5%
■性別								
男性	452	51.5%	29.6%	26.5%	21.9%	2.0%	4.9%	4.0%
女性	606	50.8%	34.0%	26.6%	26.9%	1.3%	3.5%	3.1%
答えたくない	5	60.0%	20.0%	20.0%	40.0%	0.0%	20.0%	0.0%
■年代別								
18～29歳	93	29.0%	59.1%	21.5%	8.6%	0.0%	17.2%	3.2%
30～39歳	185	38.9%	36.2%	26.5%	18.4%	0.5%	4.9%	2.2%
40～49歳	236	42.8%	28.0%	35.2%	32.2%	1.3%	5.5%	4.2%
50～59歳	184	58.2%	26.6%	20.7%	22.8%	1.1%	2.2%	3.3%
60～64歳	94	67.0%	29.8%	22.3%	30.9%	2.1%	0.0%	2.1%
65～69歳	135	64.4%	25.2%	26.7%	27.4%	2.2%	0.0%	3.7%
70歳以上	136	64.7%	30.1%	25.7%	27.9%	3.7%	1.5%	4.4%

3. 犯罪被害に合う不安（問41）

あなたやあなたの家族が、合志市内において犯罪被害（詐欺、窃盗、痴漢等）などに不安を感じていますか。

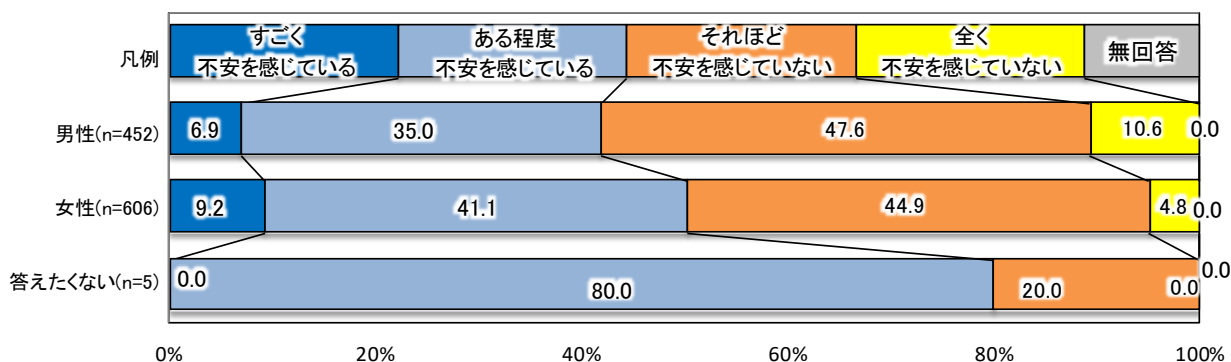
合志市内で犯罪被害にあう不安を感じている（「すごく不安を感じている」+「ある程度不安を感じている」）人の割合は 46.9%となっており、不安を感じていない（「全く不安を感じていない」+「それほど不安を感じていない」）が53.1%となっている。
前年度と比較すると、不安を感じている人の割合が 10.8 ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 すごく不安を感じている	87	8.2	53	4.7	77	5.6	62	4.7	74	6.6
2 ある程度不安を感じている	412	38.7	352	31.4	452	33.2	429	32.3	423	37.9
3 それほど不安を感じていない	488	45.9	598	53.3	684	50.2	731	55.0	521	46.7
4 全く不安を感じていない	77	7.2	109	9.7	134	9.8	102	7.7	89	8.0
5 無回答	0	0.0	9	0.8	16	1.2	5	0.4	9	0.8
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

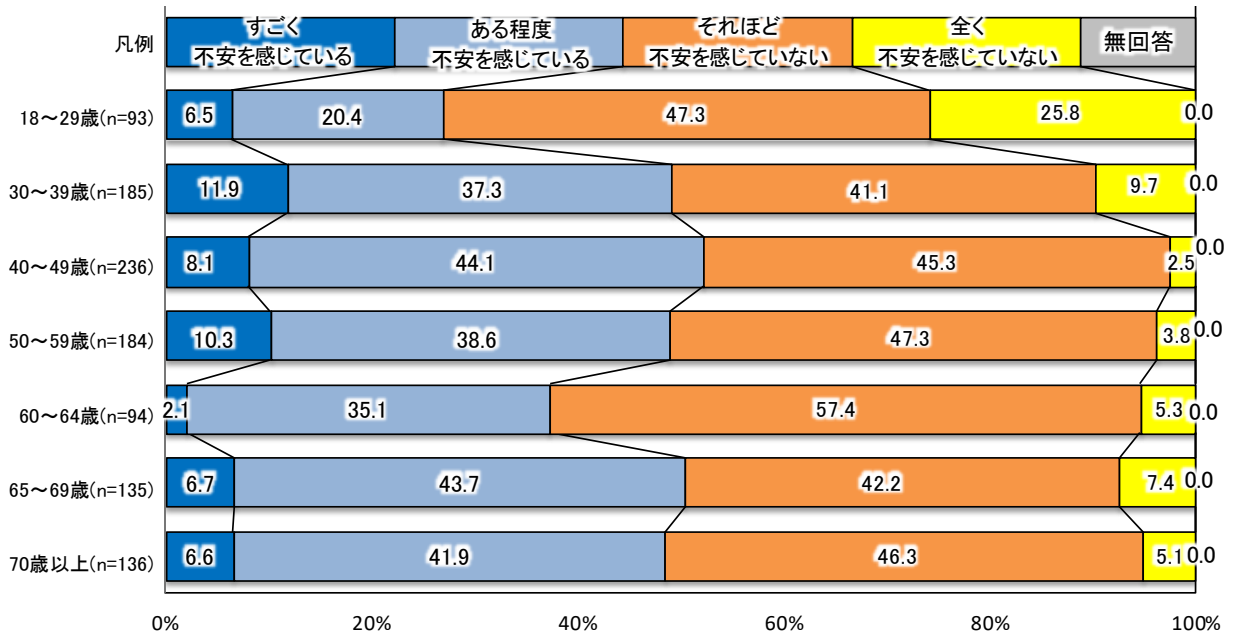
【性別】

●犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、男性 41.9%、女性 50.3%となっており、女性が男性を 8.4 ポイント上回っている。



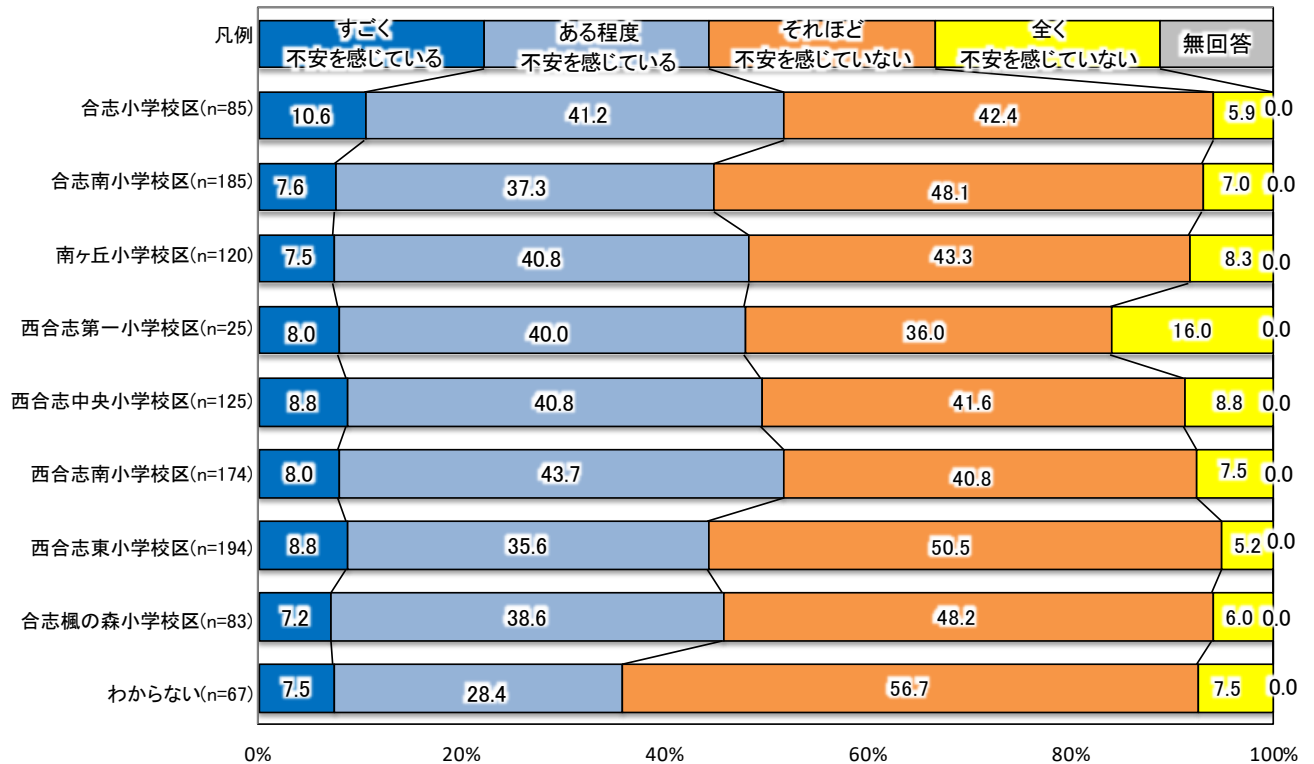
【年齢別】

●犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、60～64歳を除く30代以上では5割前後で高くなっている。20代以下では犯罪被害にあう不安を感じていない人が7割を超えている。



【校區別】

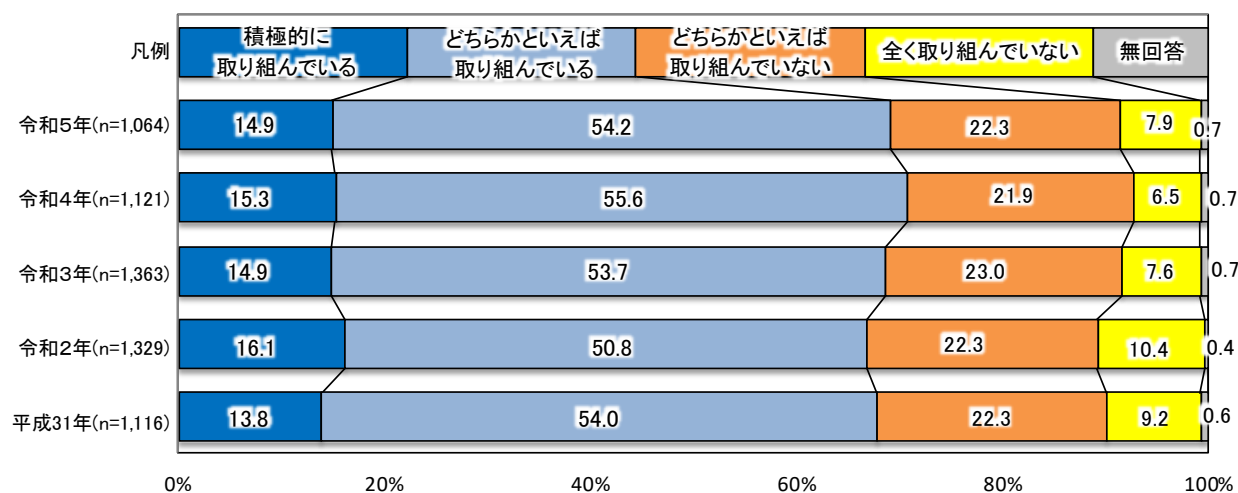
●犯罪被害にあう不安を感じている人の割合は、合志小と西合志南小で5割を超えている。



4. 地球温暖化防止への取組み（問43）

あなたの世帯では、何らかの地球温暖化防止対策（太陽光発電、太陽熱温水器、低燃費車両、LED化等の省エネ家電、節電等）に取り組んでいますか。

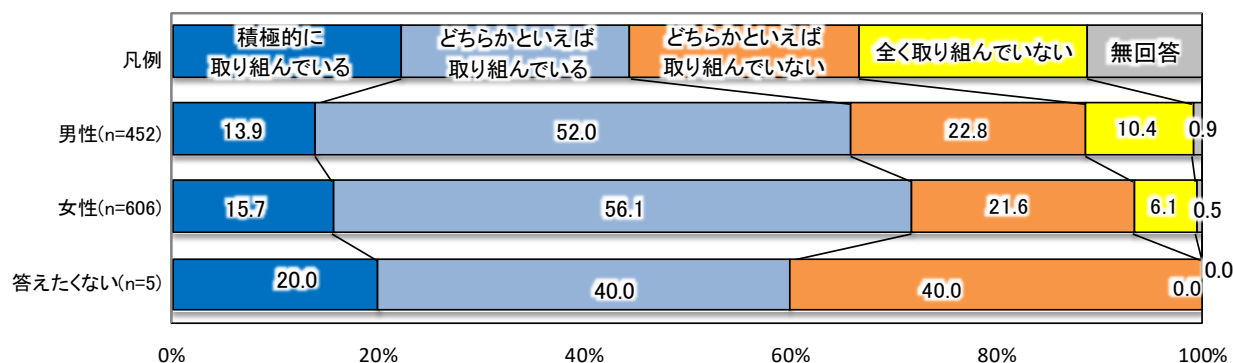
地球温暖化防止対策に取り組んでいる（「積極的に取り組んでいる」+「どちらかといえば取り組んでいる」）人の割合は69.1%となっており、取り組んでいない（「全く取り組んでいない」+「どちらかといえば取り組んでいない」）人の割合は30.2%となっている。
前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 積極的に取り組んでいる	159	14.9	171	15.3	203	14.9	214	16.1	154	13.8
2 どちらかといえば取り組んでいる	577	54.2	623	55.6	732	53.7	675	50.8	603	54.0
3 どちらかといえば取り組んでいない	237	22.3	246	21.9	314	23.0	297	22.3	249	22.3
4 全く取り組んでいない	84	7.9	73	6.5	104	7.6	138	10.4	103	9.2
5 無回答	7	0.7	8	0.7	10	0.7	5	0.4	7	0.6
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

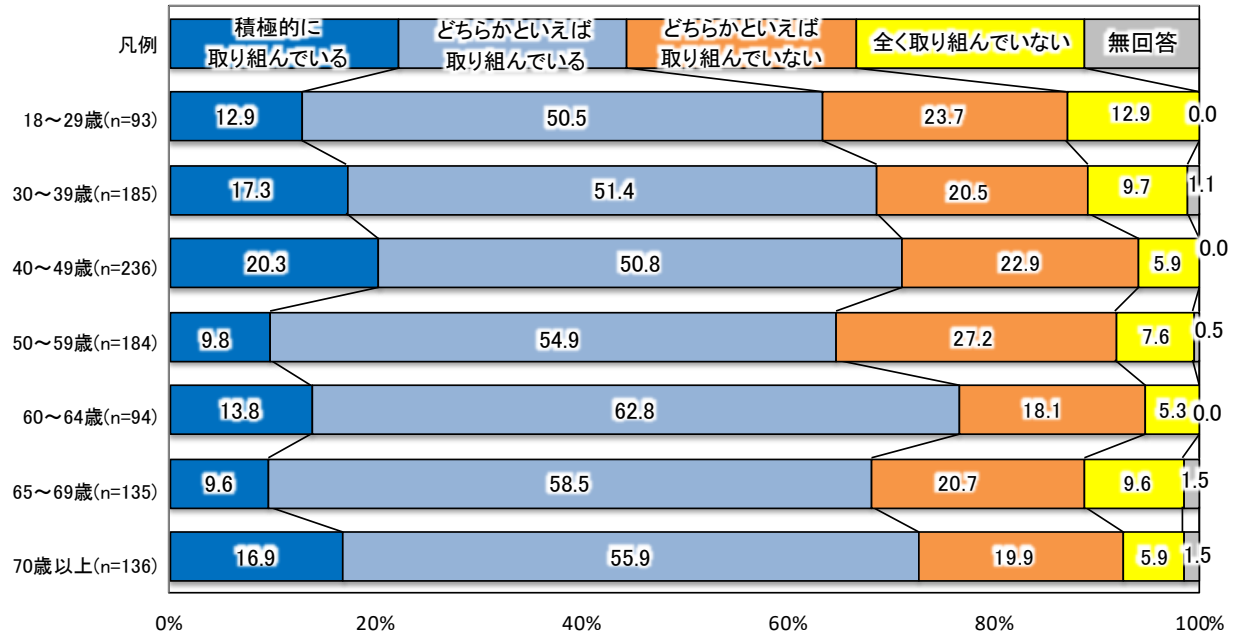
【性別】

●地球温暖化防止対策に取り組んでいる人の割合は、男性65.9%、女性71.8%となっており、女性の割合がやや高い。



【年齢別】

- 地球温暖化防止対策に取り組んでいる人の割合は、年代に関係なく半数を超えており、特に40代、60～64歳、70歳以上では7割台となっている。



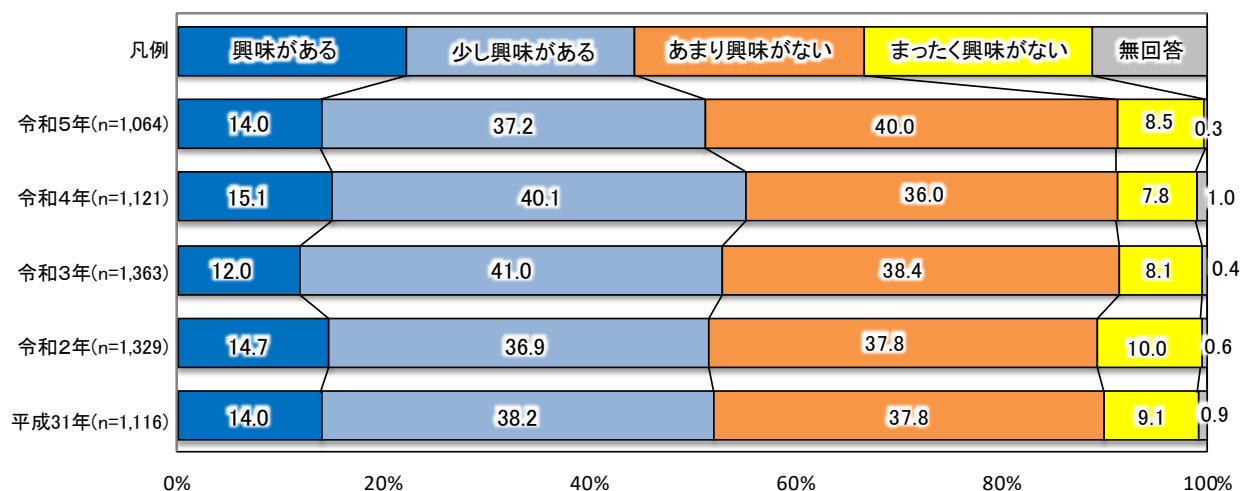
郷土意識について

1. 合志市の歴史・伝統文化への関心（問34）

あなたは、合志の歴史・伝統文化に興味がありますか。

合志の歴史・伝統文化に興味がある人（「興味がある」＋「少し興味がある」）の割合は51.2%、興味がない人（「まったく興味がない」＋「あまり興味がない」）の割合は48.5%となっている。

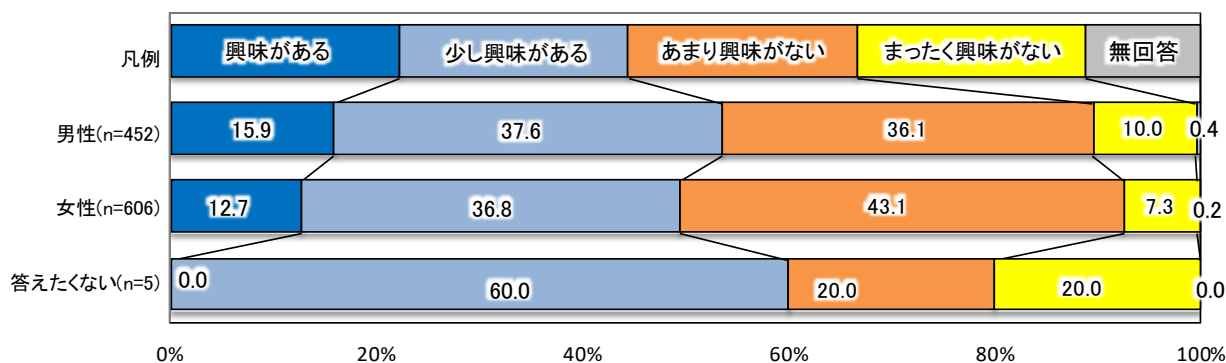
前年度と比較すると、興味がある人の割合が4.0ポイントとやや減少している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 興味がある	149	14.0	169	15.1	163	12.0	196	14.7	156	14.0
2 少し興味がある	396	37.2	450	40.1	559	41.0	490	36.9	426	38.2
3 あまり興味がない	426	40.0	404	36.0	524	38.4	502	37.8	422	37.8
4 まったく興味がない	90	8.5	87	7.8	111	8.1	133	10.0	102	9.1
5 無回答	3	0.3	11	1.0	6	0.4	8	0.6	10	0.9
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

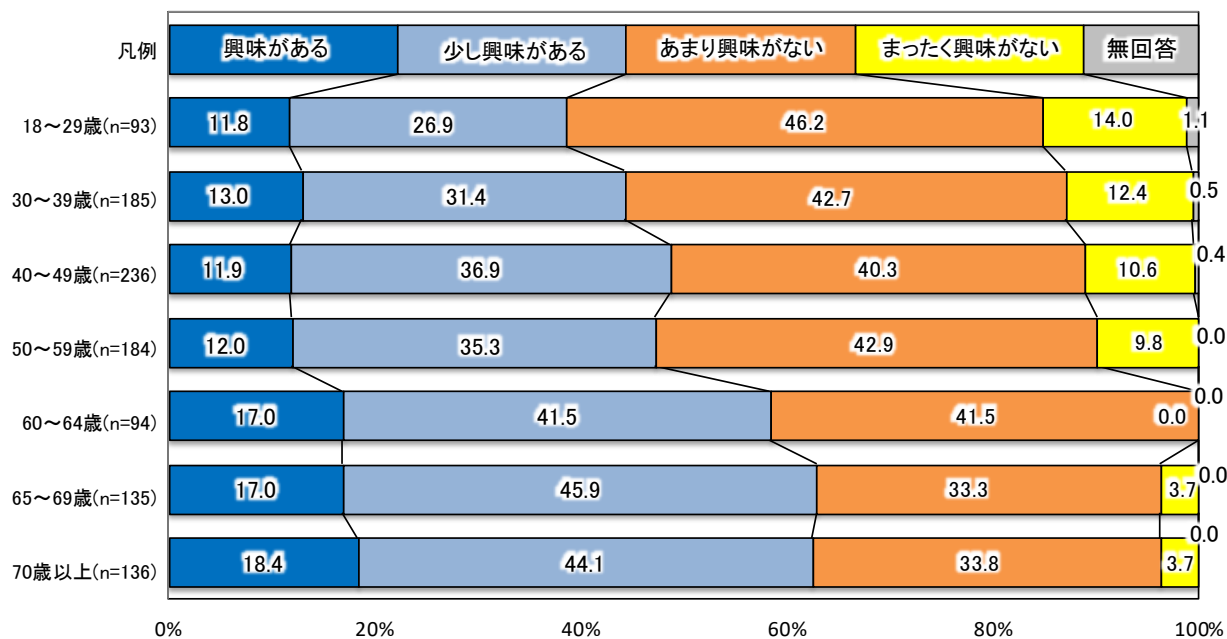
【性別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、男性 53.5%、女性 49.5%となっており、男性が女性を4.0ポイントとやや上回っている。



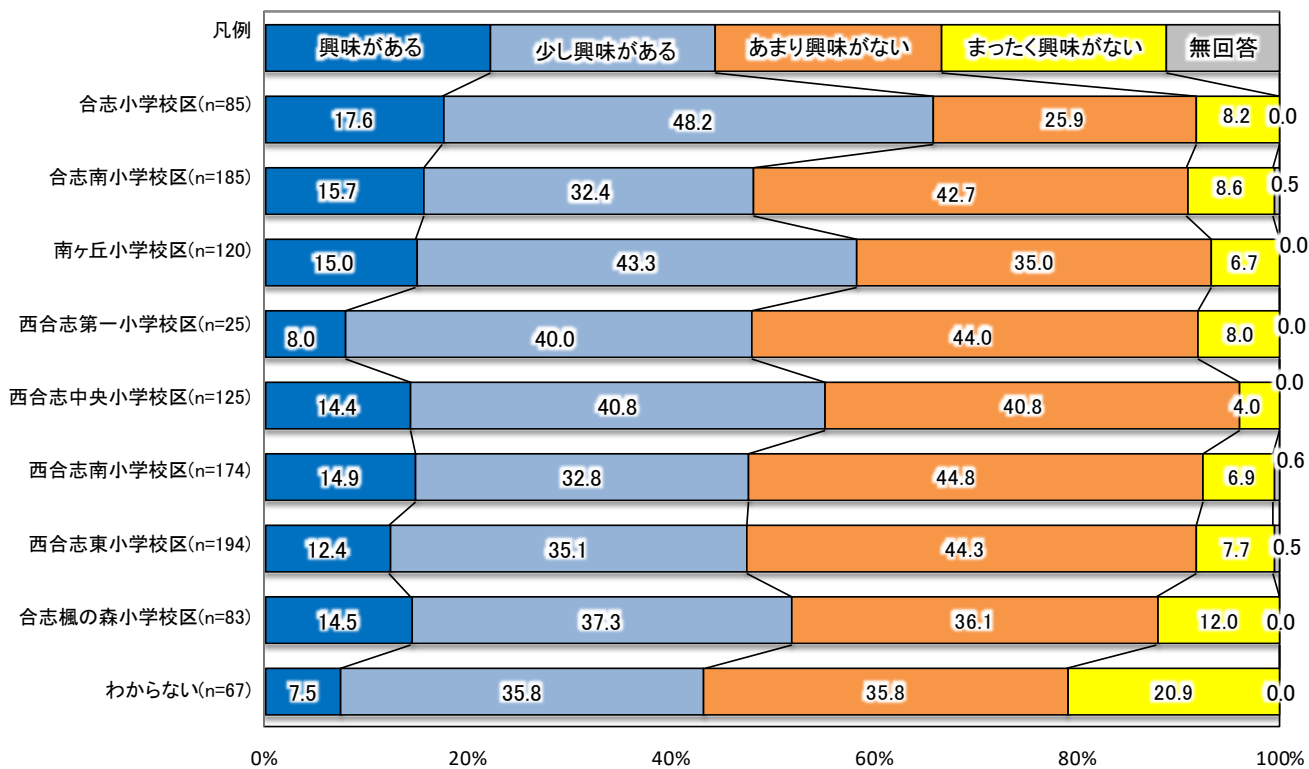
【年齢別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、60～64歳以上では半数を超えている。



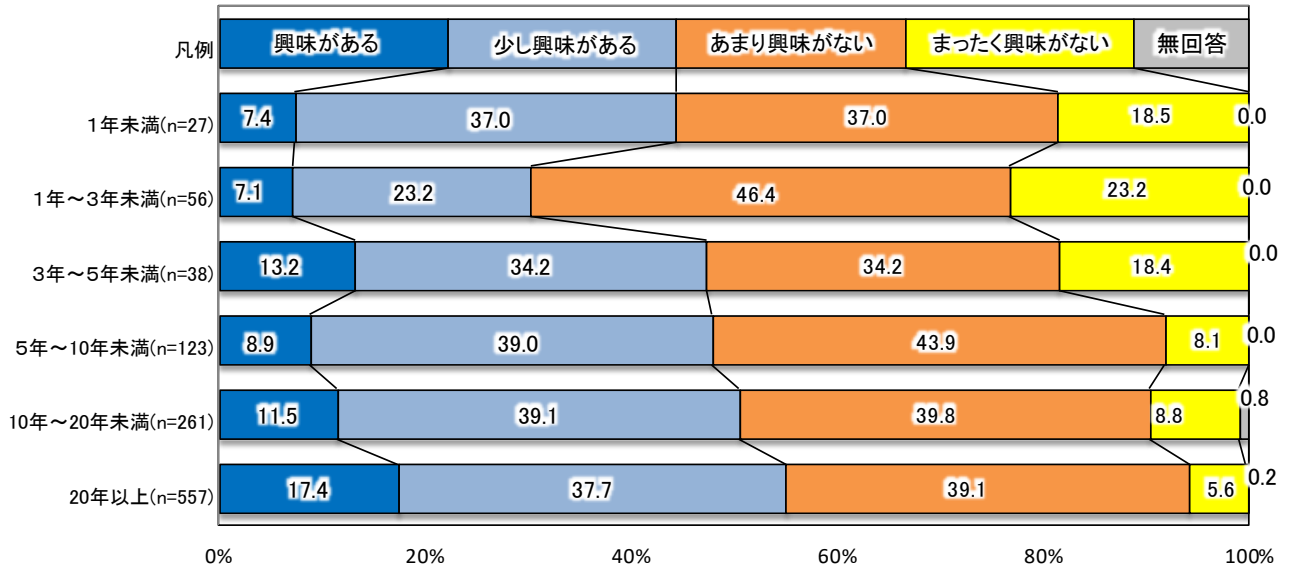
【校区別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、合志小の65.8%が最も高く、これに南ヶ丘小の58.3%、西合志中央小の55.2%が続いている。



【居住年数別】

●合志の歴史・伝統文化に興味がある人の割合は、居住年数 10 年以上、同 20 年以上において、半数以上となっている。

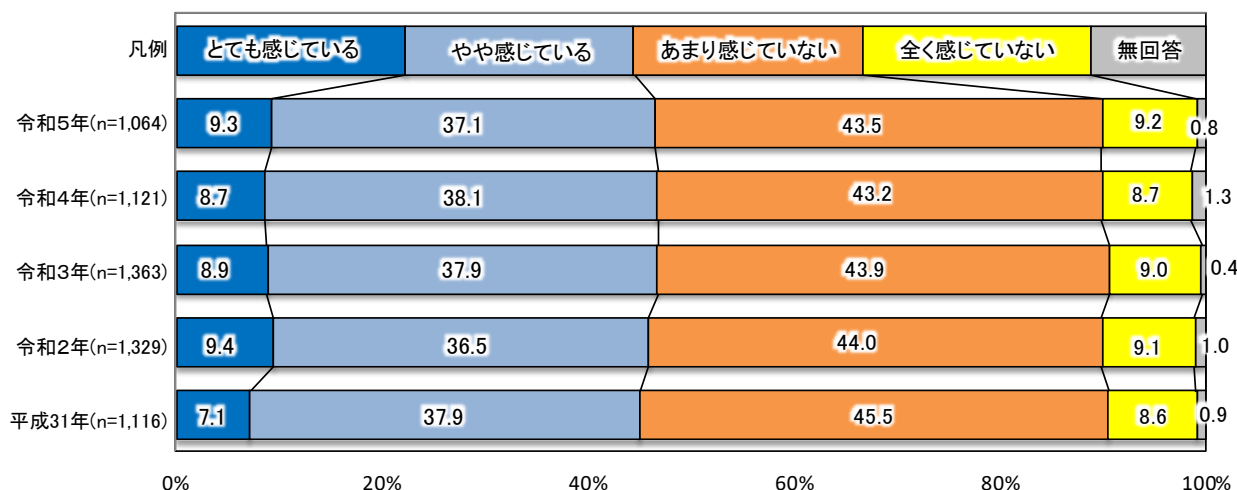


2. 郷土としての合志市への意識（問35）

あなたは、歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じていますか

歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている（「とても感じている」+「やや感じている」）人の割合は46.4%、感じていない人（「あまり感じていない」+「全く感じていない」）人の割合は52.7%となっている。

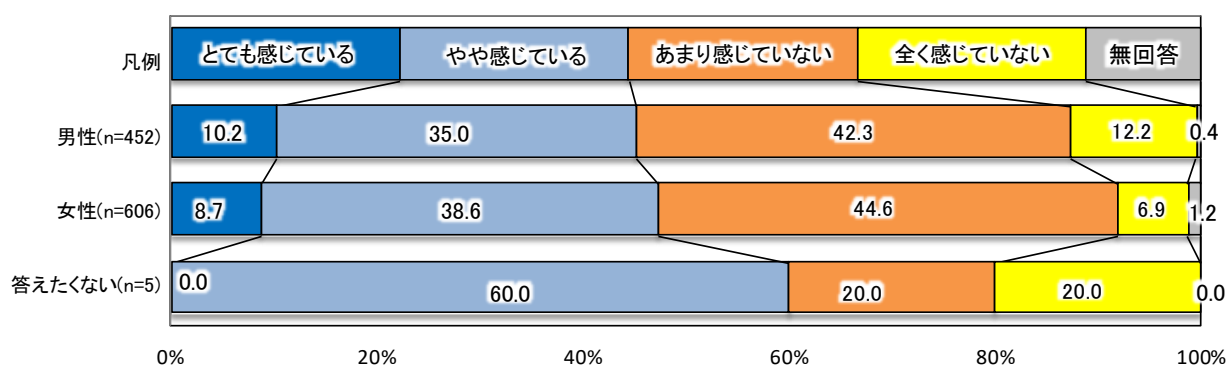
前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 とても感じている	99	9.3	97	8.7	121	8.9	125	9.4	79	7.1
2 やや感じている	395	37.1	427	38.1	516	37.9	485	36.5	423	37.9
3 あまり感じていない	463	43.5	484	43.2	598	43.9	585	44.0	508	45.5
4 全く感じていない	98	9.2	98	8.7	122	9.0	121	9.1	96	8.6
5 無回答	9	0.8	15	1.3	6	0.4	13	1.0	10	0.9
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

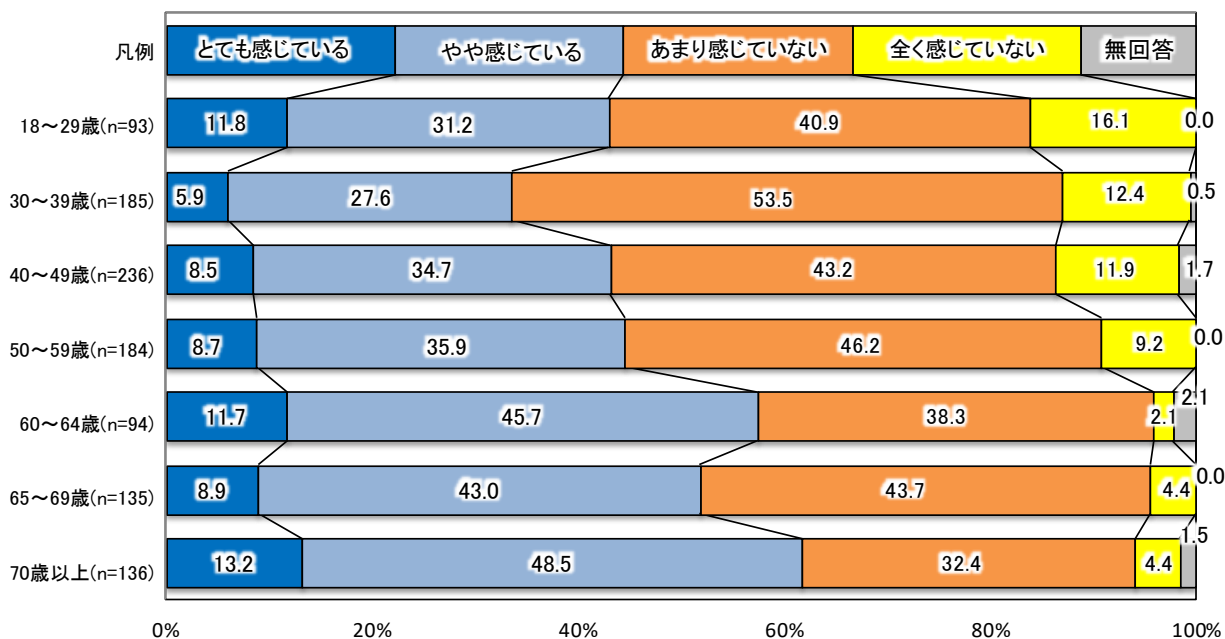
【性別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合について、性別による大きな差は認められない。



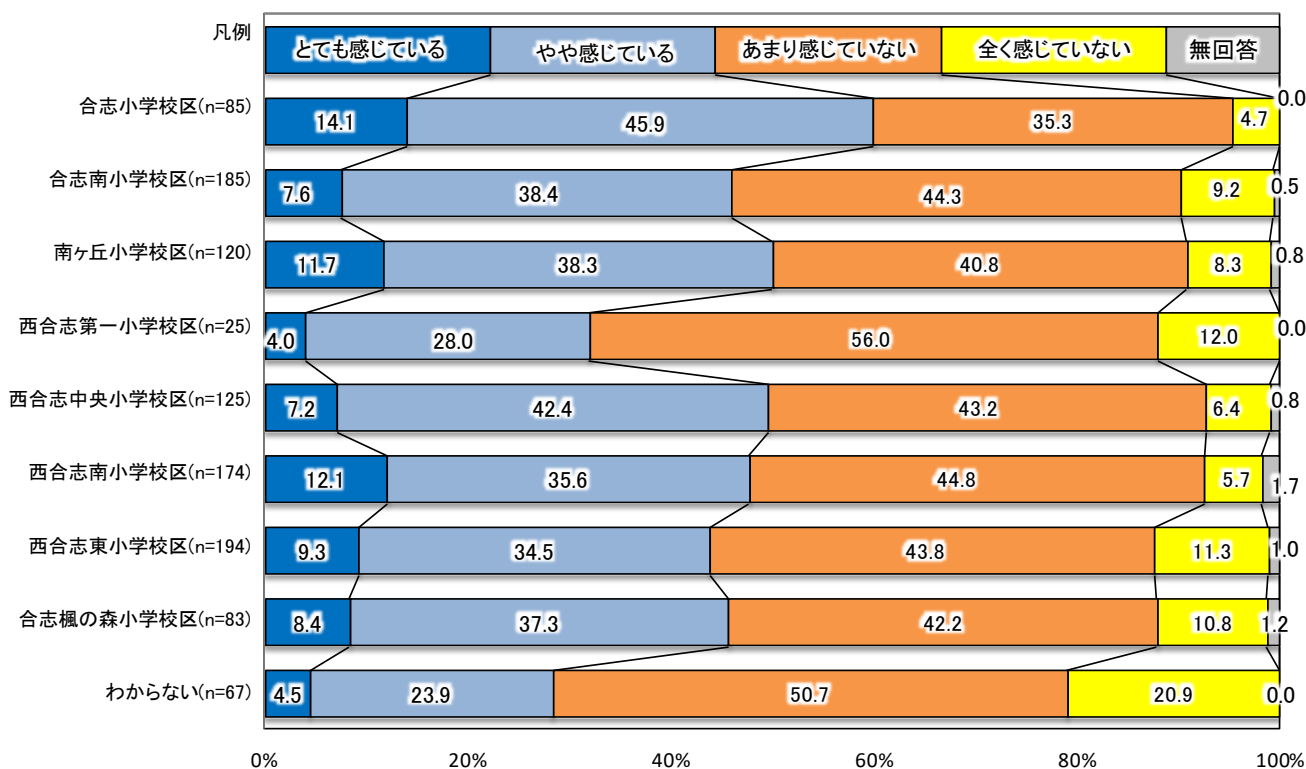
【年齢別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、30代以降、年齢があがるほど高くなっており、30代では3割台だが、70歳以上では6割を超えている。



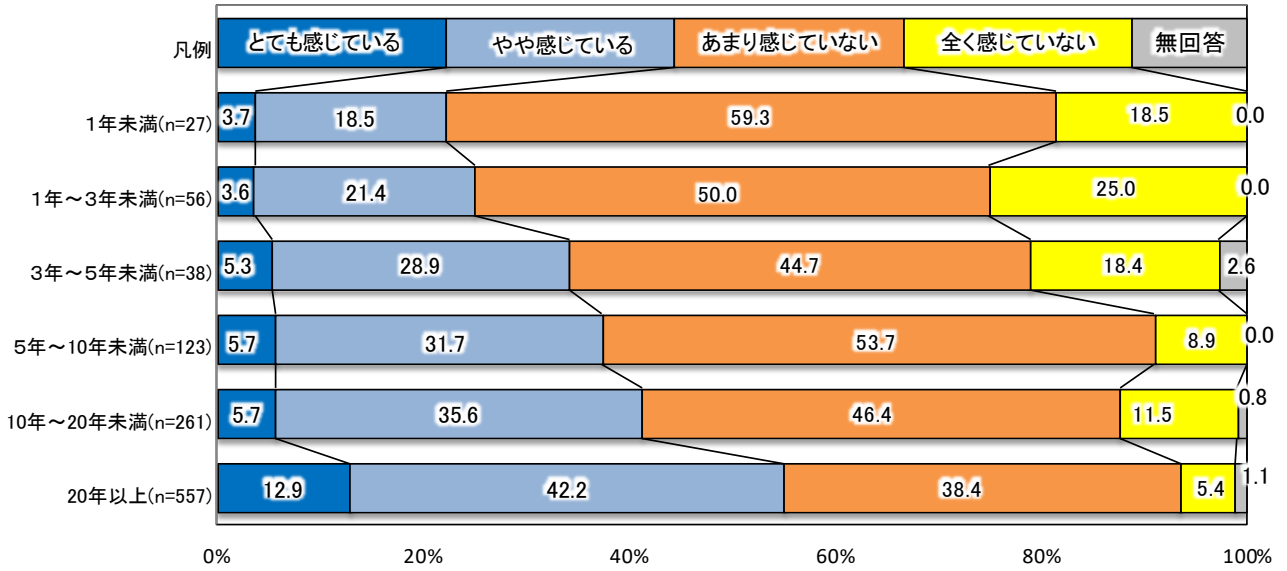
【校区別】

- 歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、合志小の60.0%が最も高く、南ヶ丘小においても半数を超えている。



【居住年数別】

●歴史、伝統文化を通して合志市に愛着を感じている人の割合は、1～3年未満では3割以下だが、10～20年未満では4割を超え、20年以上では半数を超えている。



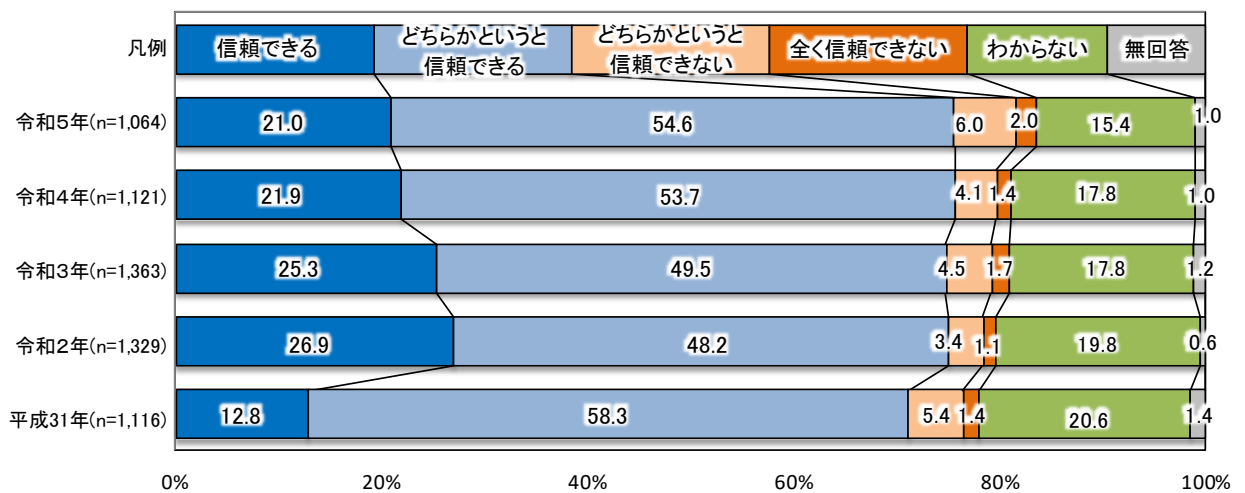
市政について

1. 市役所について

(1) 市役所への信頼（問5 1）

あなたにとって市役所は信頼できる存在ですか。

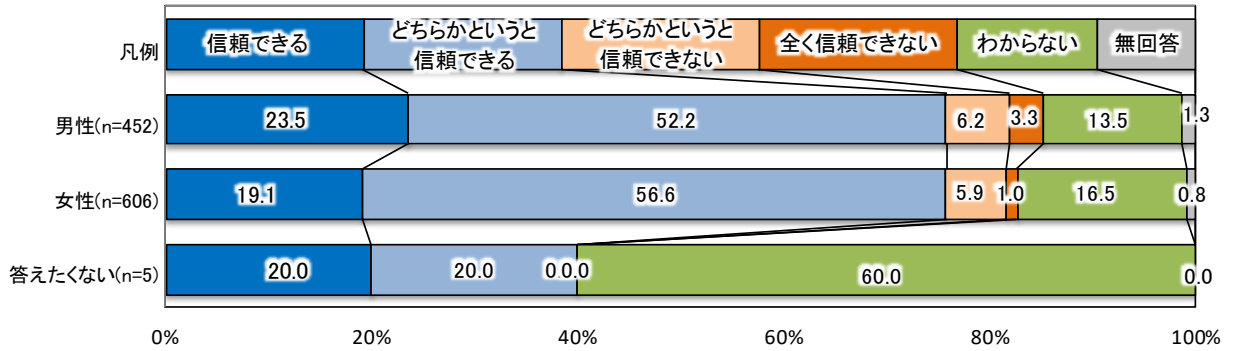
市役所が信頼できる（「信頼できる」+「どちらかという信頼できる」）人の割合は75.6%と全体の4分の3を占めており、信頼できない（「全く信頼できない」+「どちらかという信頼できない」）は8.0%となっている。
前年度と比較して、大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 信頼できる	223	21.0	246	21.9	345	25.3	358	26.9	143	12.8
2 どちらかという信頼できる	581	54.6	602	53.7	675	49.5	640	48.2	651	58.3
3 どちらかという信頼できない	64	6.0	46	4.1	61	4.5	45	3.4	60	5.4
4 全く信頼できない	21	2.0	16	1.4	23	1.7	15	1.1	16	1.4
5 わからない	164	15.4	200	17.8	243	17.8	263	19.8	230	20.6
6 無回答	11	1.0	11	1.0	16	1.2	8	0.6	16	1.4
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

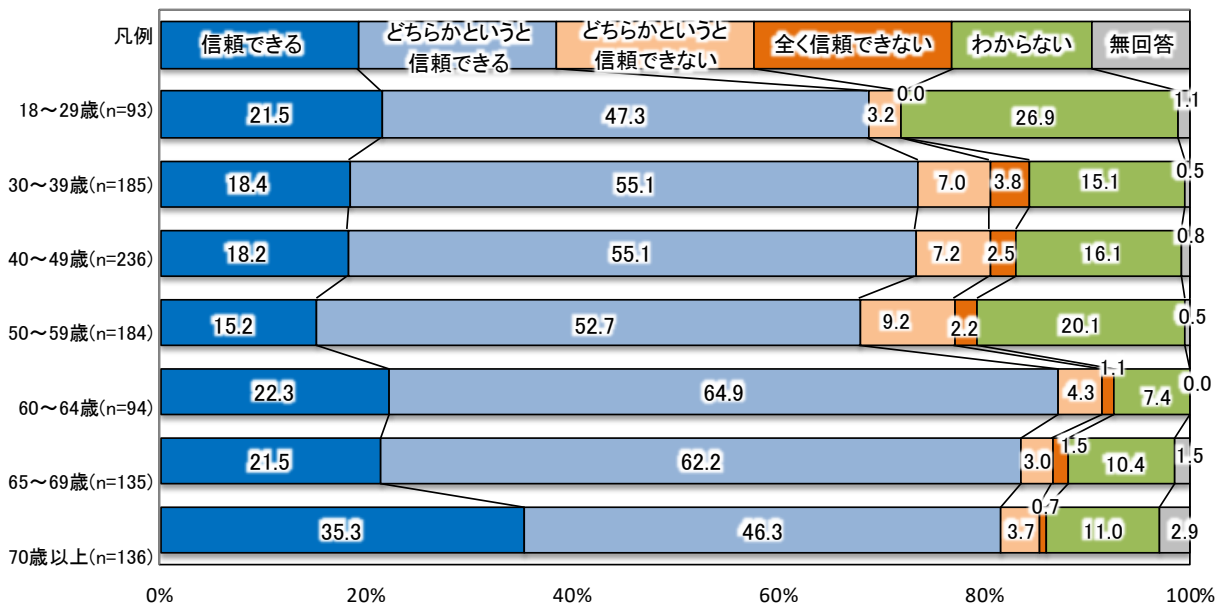
【性別】

●市役所が信頼できる人の割合については、性別による大きな差は認められない。



【年齢別】

●市役所が信頼できる人の割合は、最も低い50代で67.9%となっており、これに20代以下の68.8%が続いている。一方、最も高いのは、60～64歳の87.2%で、これに65～69歳の83.7%、70歳以上の81.6%が続いている。

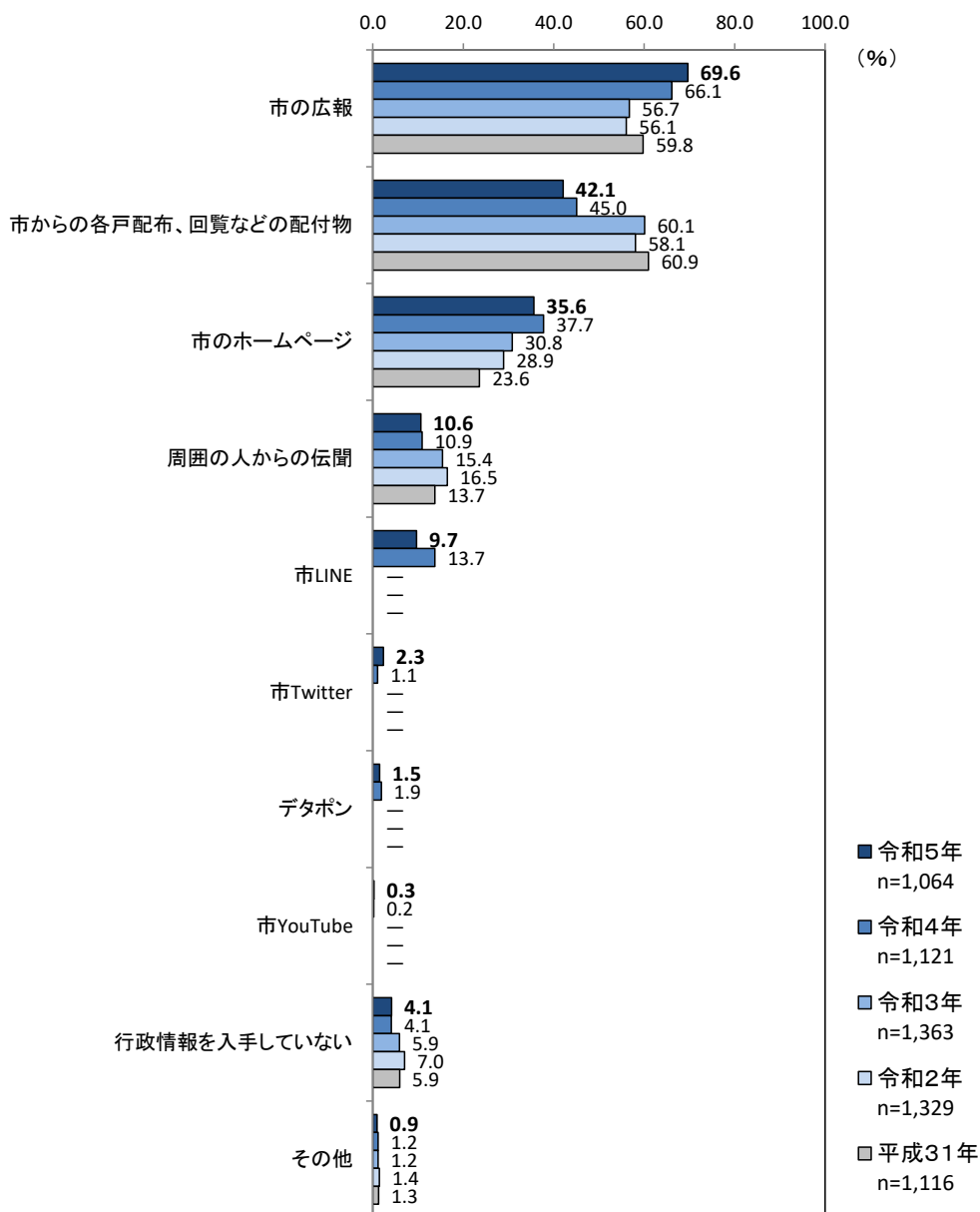


(2) 行政情報の入手 (問 5 2)

あなたは、どのように行政情報を入手していますか。

行政情報の入手方法については、「市の広報」が 69.6%、次いで「市からの各戸配付、回覧などの配布物」42.1%、「市のホームページ」35.6%、「周囲からの伝聞」10.6%、「市LINE」9.7%の順となっている。「行政情報を入手していない」人の割合は 4.1%となっている。

前年度と比較して上位の項目に違いはみられないものの、「市からの各戸配付、回覧などの配布物」の割合には減少傾向が認められる。



その他の記述内容

時々出向き、見学している
 分からないことは電話で聞く
 熊日新聞
 入手していない

	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=1064		n=1121		n=1363		n=1329		n=1116	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 市の広報	741	69.6	741	66.1	773	56.7	745	56.1	667	59.8
2 市のホームページ	379	35.6	423	37.7	420	30.8	384	28.9	263	23.6
3 市Twitter	25	2.3	12	1.1						
4 市YouTube	3	0.3	2	0.2						
5 市LINE	103	9.7	154	13.7						
6 デタボン	16	1.5	21	1.9						
7 周囲の人からの伝聞	113	10.6	122	10.9	210	15.4	219	16.5	153	13.7
8 行政情報を入手していない	44	4.1	46	4.1	80	5.9	93	7.0	66	5.9
9 市からの各戸配布、回覧などの配付物	448	42.1	505	45.0	819	60.1	772	58.1	680	60.9
10 その他	10	0.9	13	1.2	16	1.2	19	1.4	14	1.3

【性別】

- 「市の広報」「市からの配布物」では女性の割合が男性を上回っている。

【年齢別】

- 行政情報の入手方法については、「市からの配布物」は年齢が高くなるほど利用している人が多くなっている。30～50代では4割前後が「市のホームページ」から情報を入手している。

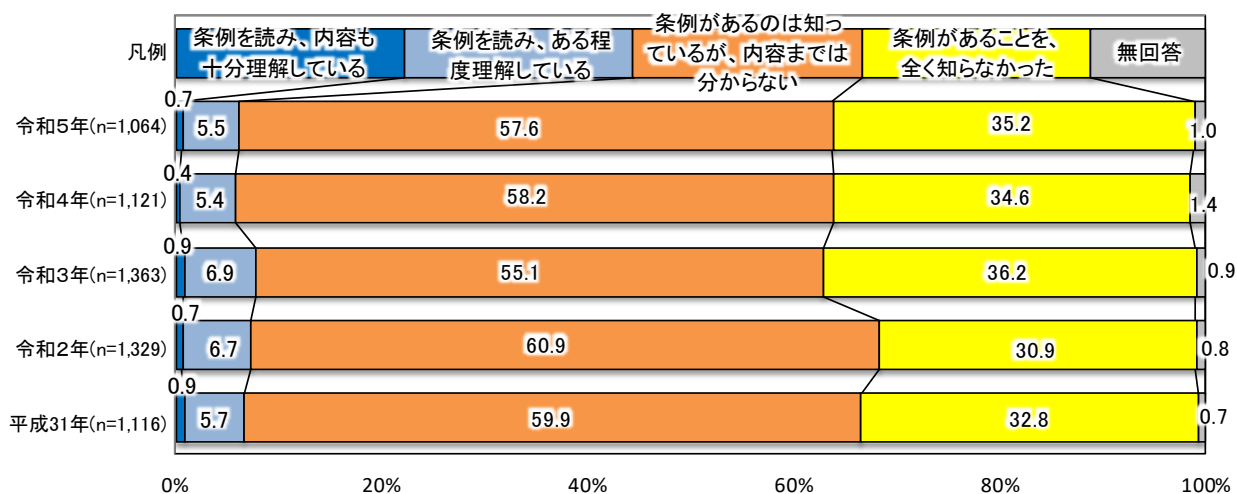
	合計	市の広報	市のホームページ	市Twitter	市YouTube	市LINE	デタボン	周囲の人からの伝聞	行政情報を入手していない	市からの各戸配布、回覧などの配付物	その他
全体	1,064	69.6%	35.6%	2.3%	0.3%	9.7%	1.5%	10.6%	4.1%	42.1%	0.9%
■性別											
男性	452	61.9%	34.7%	2.4%	0.2%	6.9%	1.5%	9.5%	4.9%	38.9%	1.5%
女性	606	75.4%	36.1%	2.3%	0.3%	11.6%	1.5%	11.6%	3.5%	44.6%	0.5%
答えたくない	5	60.0%	60.0%	0.0%	0.0%	40.0%	0.0%	0.0%	20.0%	40.0%	0.0%
■年代別											
18～29歳	93	43.0%	25.8%	7.5%	0.0%	6.5%	1.1%	26.9%	12.9%	31.2%	1.1%
30～39歳	185	57.3%	39.5%	3.2%	0.5%	7.6%	0.0%	12.4%	7.6%	28.1%	1.1%
40～49歳	236	66.9%	44.5%	3.4%	0.0%	8.1%	0.8%	8.5%	4.7%	36.9%	1.7%
50～59歳	184	71.7%	38.0%	2.2%	0.0%	12.0%	0.5%	9.2%	1.6%	41.3%	0.5%
60～64歳	94	88.3%	36.2%	0.0%	1.1%	10.6%	2.1%	9.6%	1.1%	45.7%	0.0%
65～69歳	135	83.7%	28.1%	0.0%	0.0%	14.8%	2.2%	7.4%	1.5%	57.0%	0.7%
70歳以上	136	80.1%	25.7%	0.0%	0.7%	8.8%	4.4%	6.6%	0.7%	61.8%	0.7%

(3) 合志市自治基本条例の認知(問53)

あなたは、合志市自治基本条例を知っていますか。

合志市の自治基本条例を知っている（「条例を読み、内容も十分理解している」+「条例を読み、ある程度理解している」+「条例があるのは知っているが、内容まではわからない」）人の割合は6割台となっているものの、内容まで理解している人（「内容も十分理解している」+「ある程度理解している」）は1割に満たず、条例の存在は知っていても内容までは理解していない割合が半数を超えている。また、「条例があることを全く知らなかった」は35.2%となっている。

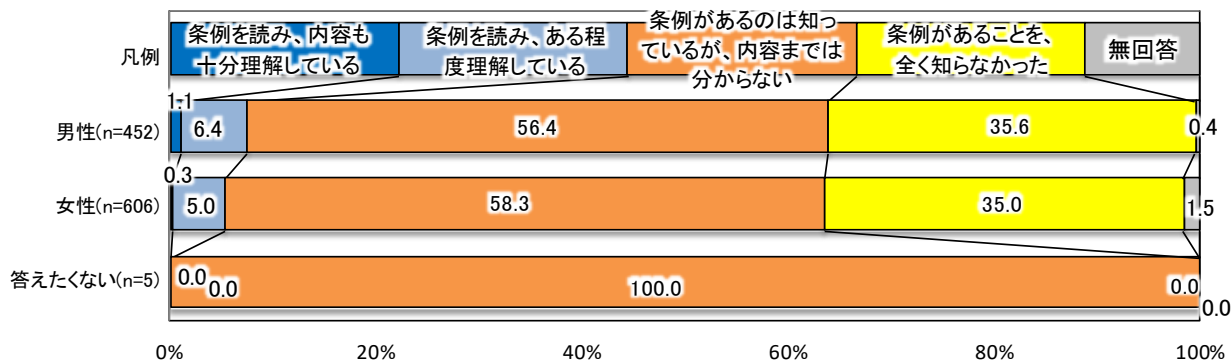
前年度と比較して大きな差は認められない。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 条例を読み、内容も十分理解している	7	0.7	5	0.4	12	0.9	9	0.7	10	0.9
2 条例を読み、ある程度理解している	59	5.5	60	5.4	94	6.9	89	6.7	64	5.7
3 条例があるのは知っているが、内容まではわからない	613	57.6	652	58.2	751	55.1	810	60.9	668	59.9
4 条例があることを、全く知らなかった	374	35.2	388	34.6	494	36.2	410	30.9	366	32.8
5 無回答	11	1.0	16	1.4	12	0.9	11	0.8	8	0.7
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

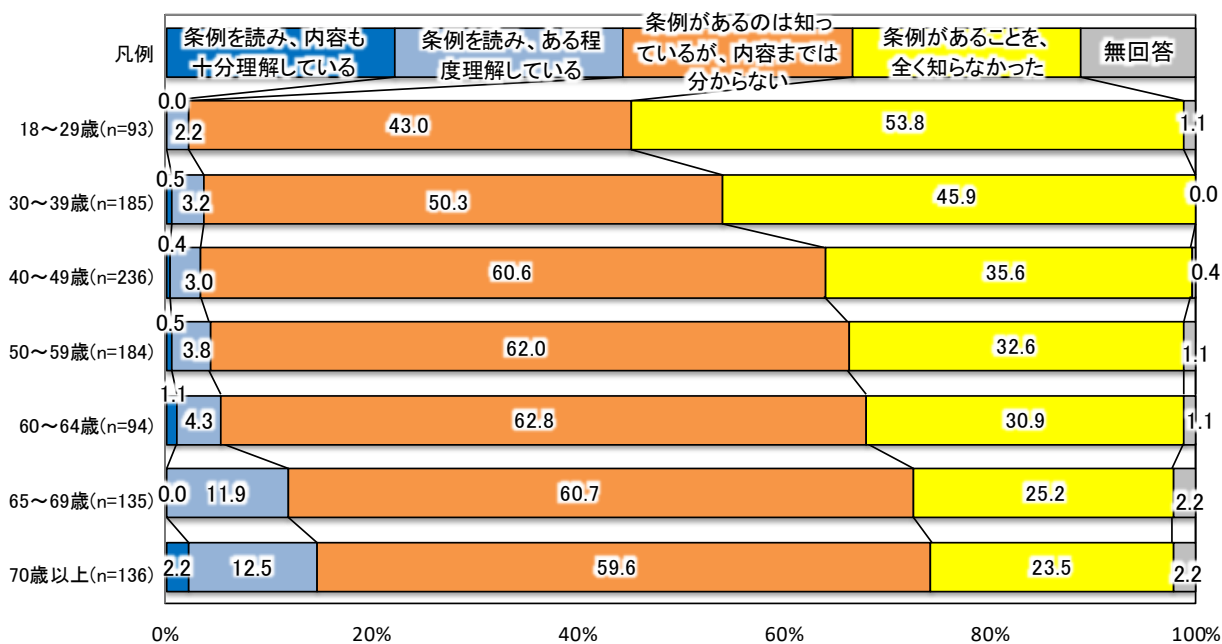
【性別】

● 条例を知っている人の割合については、性別による大きな差は認められない。



【年齢別】

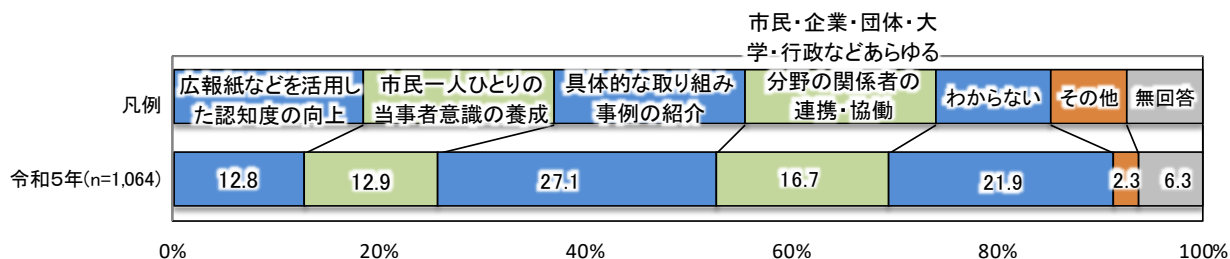
- 20代以下では条例を知らない割合が53.8%で最も高くなっている。
- 年代が上がるにつれ、条例を知っている人の割合も高くなっており30代以上で半数を超え、40代以上では6割以上となっている。一方、内容をある程度理解している割合は最も高い70歳以上においても14.7%となっている。



(4) SDGsの認知(問54)

あなたは、SDGsを更に推進するために市が何をすべきだと思いますか。

「具体的な取り組み事例の紹介」の27.1%が最も高く、以下、「わからない」21.9%、「あらゆる分野の関係者の連携・協働」16.7%、「市民一人ひとりの当事者意識の養成」12.9%、「広報誌などを活用した認知度の向上」12.8%の順となっている。

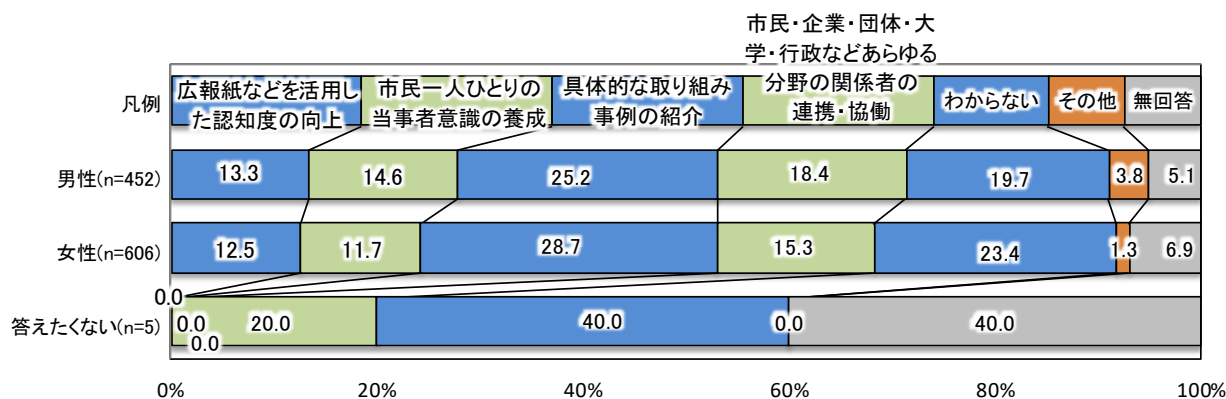


	令和5年度	
	人	%
1 広報誌などを活用した認知度の向上	136	12.8
2 市民一人ひとりの当事者意識の養成	137	12.9
3 具体的な取り組み事例の紹介	288	27.1
4 市民・企業・団体・大学・行政などあらゆる分野の関係者の連携・協働	178	16.7
5 わからない	233	21.9
6 その他	25	2.3
7 無回答	67	6.3
合計	1,064	100.0

その他の記述内容	件数
推進しなくてよい	8
紙を使用した配布物を減らす	4
先ずは市の職員が手本を	3
テレビを利用した取り組み内容のCM	1
SNSの利用	1
広報誌でまなかうもの、ネットでまなかうものと住み分ける	1
SDGsの具体的内容は常に検証されていくべき	1
教育機関への予算拡充。これによって子供達の成長をより良くすべき	1
自助努力が必要	1

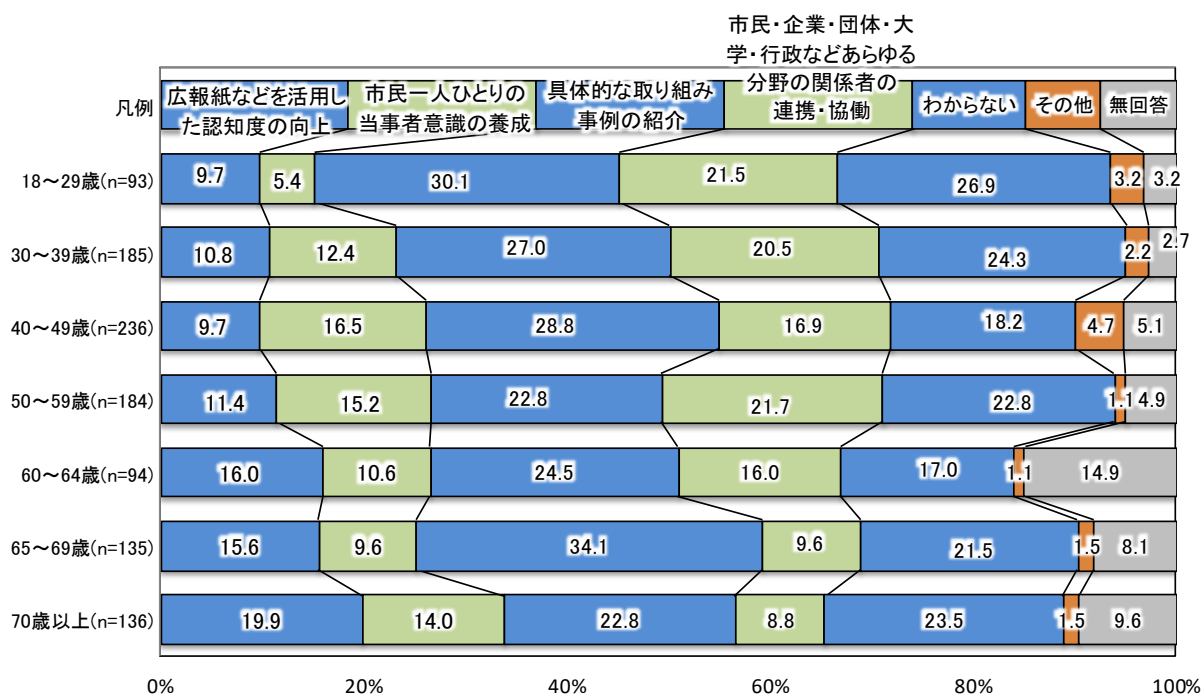
【性別】

- 性別による大きな差は認められないが、女性では「わからない」の割合が男性よりもやや高くなっている。



【年齢別】

- 70歳以上を除く各年代で「具体的な取り組み事例」の割合が最も高くなっている。



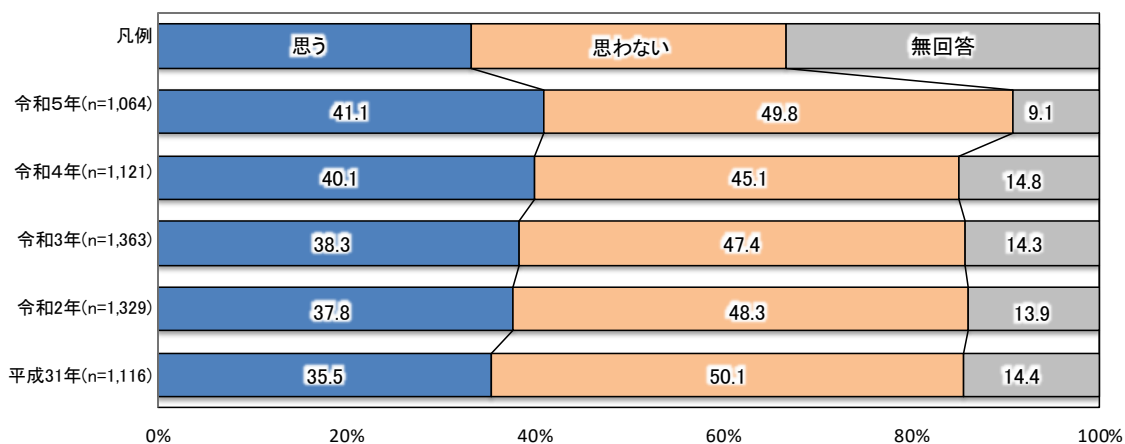
2. 市議会の活動について

(1) 市議会の運営（問55）

あなたは、市議会が市民の意見を反映した運営になっていると思いますか。

市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思う」人の割合は 41.1%、「思わない」が 49.8%となっている。

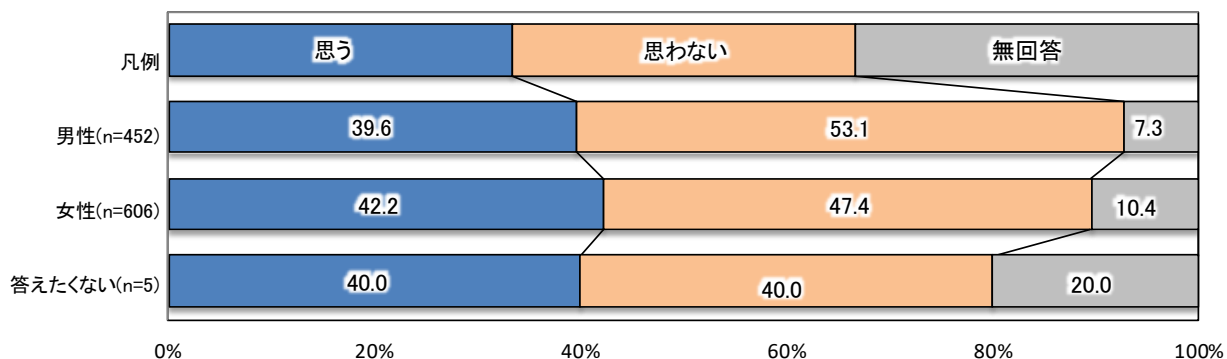
これまでと比較すると、徐々に「思う」の割合が増加している。また、前年度と比較すると、無回答の割合が減少し「思わない」の割合が 4.7 ポイントとやや増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 思う	437	41.1	449	40.1	522	38.3	502	37.8	396	35.5
2 思わない	530	49.8	506	45.1	646	47.4	642	48.3	559	50.1
3 無回答	97	9.1	166	14.8	195	14.3	185	13.9	161	14.4
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

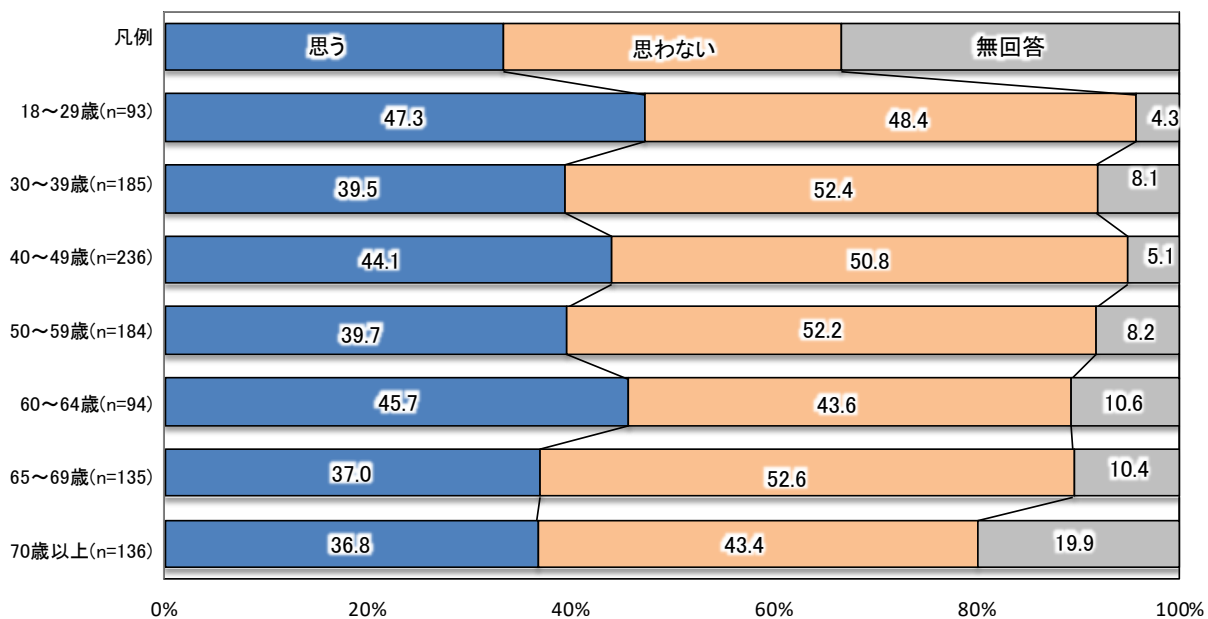
【性別】

●市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思わない」人の割合は、男性が53.1%、女性が47.4%となっており、男性では女性より5.7ポイント高くなっている。



【年齢別】

●市議会が市民の意見を反映した運営になっていると「思わない」人の割合は、30代、50代、65～69歳で半数を超えており、他の年代と比較して高くなっている。

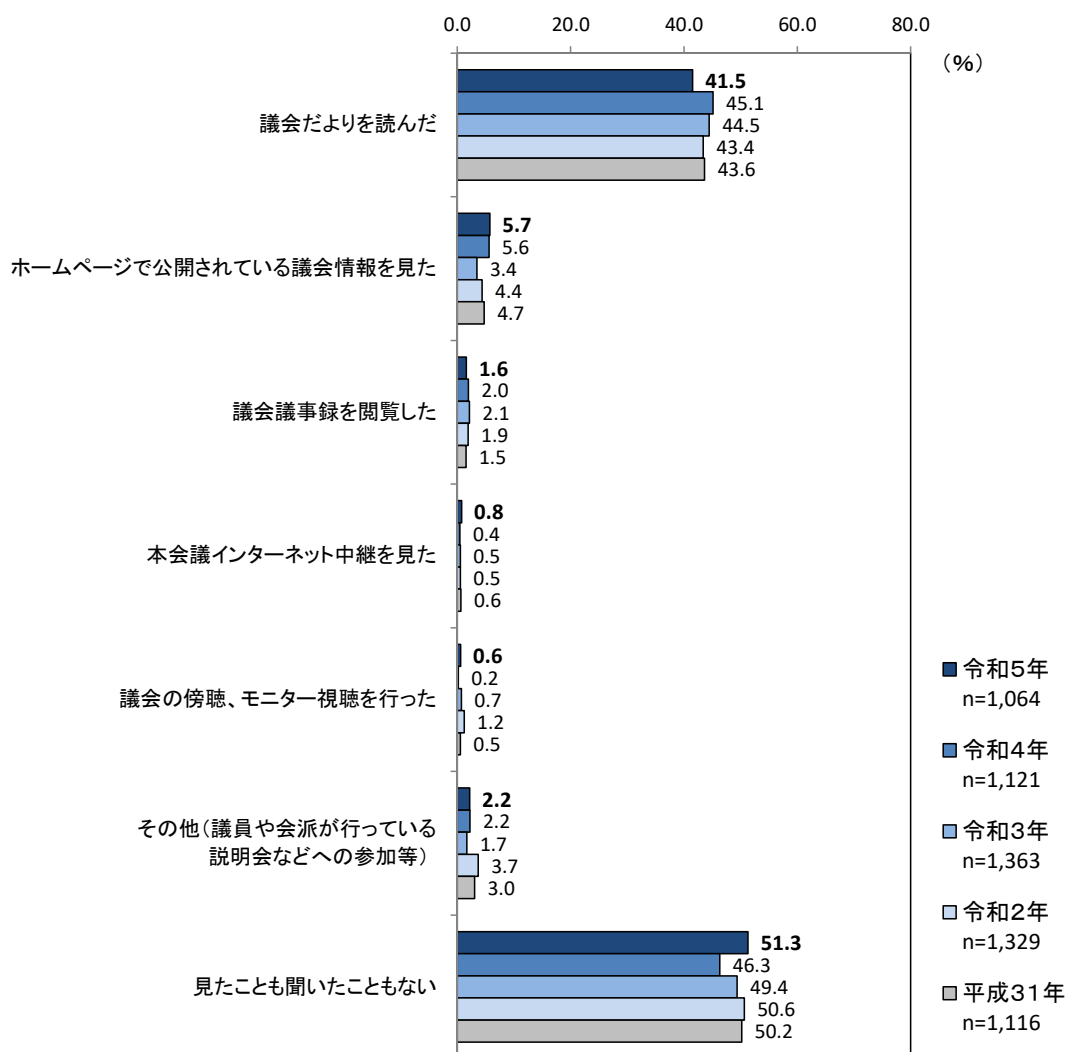


(2)市議会情報への接触（問56）

あなたは、過去1年間で市議会での議論を見た、または聞いたことがありますか。

過去1年以内の市議会での議論について、「見たことも聞いたこともない」人の割合は51.3%と半数を超えている。市議会の情報を入手している人の情報入手方法としては、「議会だよりを読んだ」が41.5%と最も高く、次いで「ホームページ」の5.7%となっている。

前年度と比較すると、「見たことも聞いたこともない」人の割合が5.0ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	n=1064		n=1121		n=1363		n=1329		n=1116	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 ホームページで公開されている議会情報を見た	61	5.7	63	5.6	47	3.4	58	4.4	53	4.7
2 本会議インターネット中継を見た	8	0.8	5	0.4	7	0.5	7	0.5	7	0.6
3 議会だよりを読んだ	442	41.5	506	45.1	606	44.5	577	43.4	487	43.6
4 議会の傍聴、モニター視聴を行った	6	0.6	2	0.2	10	0.7	16	1.2	6	0.5
5 議会議事録を閲覧した	17	1.6	22	2.0	29	2.1	25	1.9	17	1.5
6 その他(議員や会派が行っている説明会などへの参加等)	23	2.2	25	2.2	23	1.7	49	3.7	34	3.0
7 見たことも聞いたこともない	546	51.3	519	46.3	673	49.4	673	50.6	560	50.2

【性別】

- 男性では「見たことも聞いたこともない」が 55.8%を占め高くなっているが、女性では「議会だより」が 44.7%で高くなっている。

【年齢別】

- 年代別に見ると、市議会での議論を「見たことも聞いたこともない」割合は概ね年代が上がるにつれ減少している。
- 「議会だよりを読んだ」人の割合は、年齢とともに高くなり、20代以下では 18.3%だが、65～69歳以上では半数を超えている。

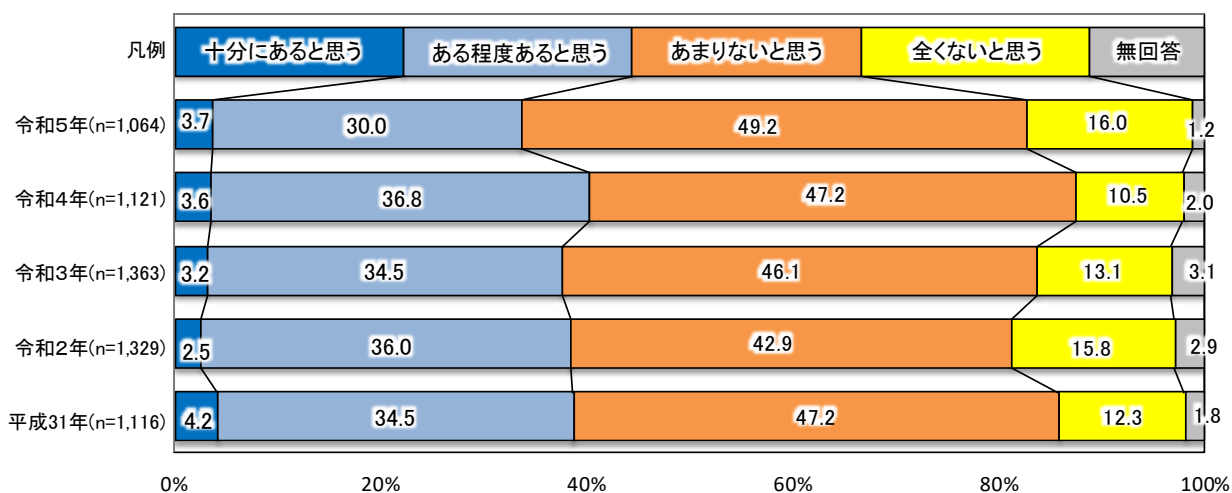
	合計	ホームページで公開されている議会情報を見た	本会議インターネット中継を見た	議会だよりを読んだ	議会の傍聴、モニター視聴を行った	議会議事録を閲覧した	その他（議員や会派が行っている説明会などへの参加等）	見たことも聞いたこともない
全体	1,064	5.7%	0.8%	41.5%	0.6%	1.6%	2.2%	51.3%
■性別								
男性	452	6.6%	0.9%	37.6%	0.9%	2.0%	2.7%	55.8%
女性	606	5.1%	0.7%	44.7%	0.3%	1.3%	1.8%	47.7%
答えたくない	5	0.0%	0.0%	20.0%	0.0%	0.0%	0.0%	80.0%
■年代別								
18～29歳	93	4.3%	1.1%	18.3%	0.0%	3.2%	1.1%	75.3%
30～39歳	185	4.3%	0.0%	22.2%	0.0%	1.1%	1.1%	72.4%
40～49歳	236	7.2%	0.0%	41.5%	0.0%	2.1%	2.1%	52.1%
50～59歳	184	4.9%	1.1%	46.7%	0.0%	1.1%	4.3%	46.2%
60～64歳	94	3.2%	0.0%	43.6%	1.1%	3.2%	1.1%	52.1%
65～69歳	135	6.7%	0.7%	57.8%	1.5%	0.7%	2.2%	34.1%
70歳以上	136	8.1%	2.9%	59.6%	2.2%	0.7%	2.2%	27.9%

(3) 市議会情報を得る機会（問57）

あなたは、市議会情報を得る機会が十分にあると思いますか。

市議会情報を得る機会がある（「十分にある」＋「ある程度ある」）人の割合は 33.7%、得る機会がない（「全くない」＋「あまりない」）人の割合は 65.2%となっている。

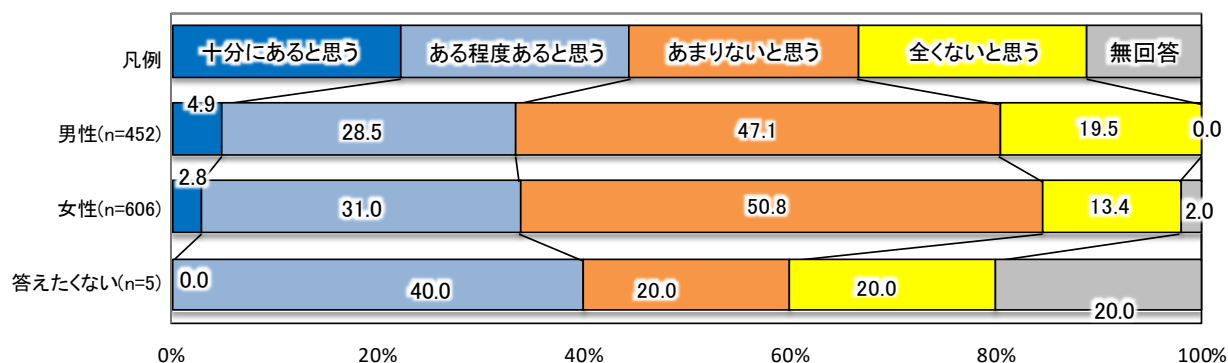
前年度と比較して、「ある程度あると思う」が6.8ポイント減少し、「まったくないと思う」が5.5ポイント増加している。



	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 十分にあると思う	39	3.7	40	3.6	43	3.2	33	2.5	47	4.2
2 ある程度あると思う	319	30.0	412	36.8	470	34.5	478	36.0	385	34.5
3 あまりないと思う	523	49.2	529	47.2	629	46.1	570	42.9	527	47.2
4 全くないと思う	170	16.0	118	10.5	179	13.1	210	15.8	137	12.3
5 無回答	13	1.2	22	2.0	42	3.1	38	2.9	20	1.8
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

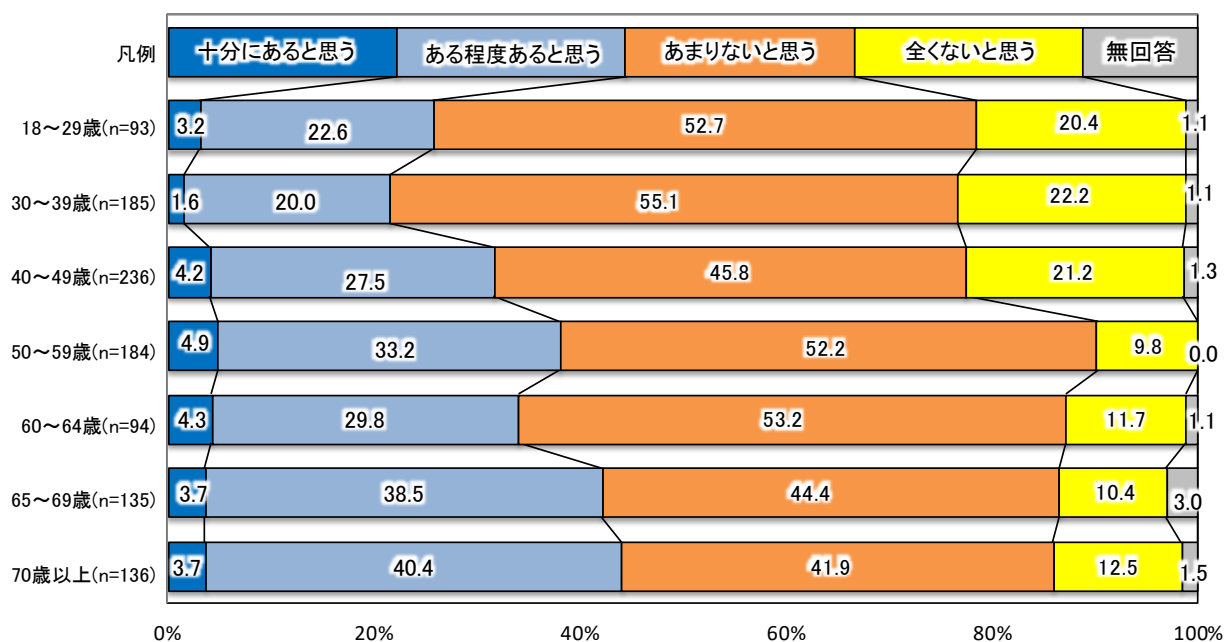
【性別】

- 市議会情報を得る機会がある人の割合をみると、「全くないと思う」は男性 19.5%、女性 13.4%で男性の割合が高くなっている。



【年齢別】

- 市議会情報を得る機会がある人の割合は、30代から50代までは年代が上がるにつれ高くなっており、65～69歳以上では4割台となっている。
- 市議会情報を得る機会がない人の割合は、20代以下から30代までは7割台となっている。



土地利用について

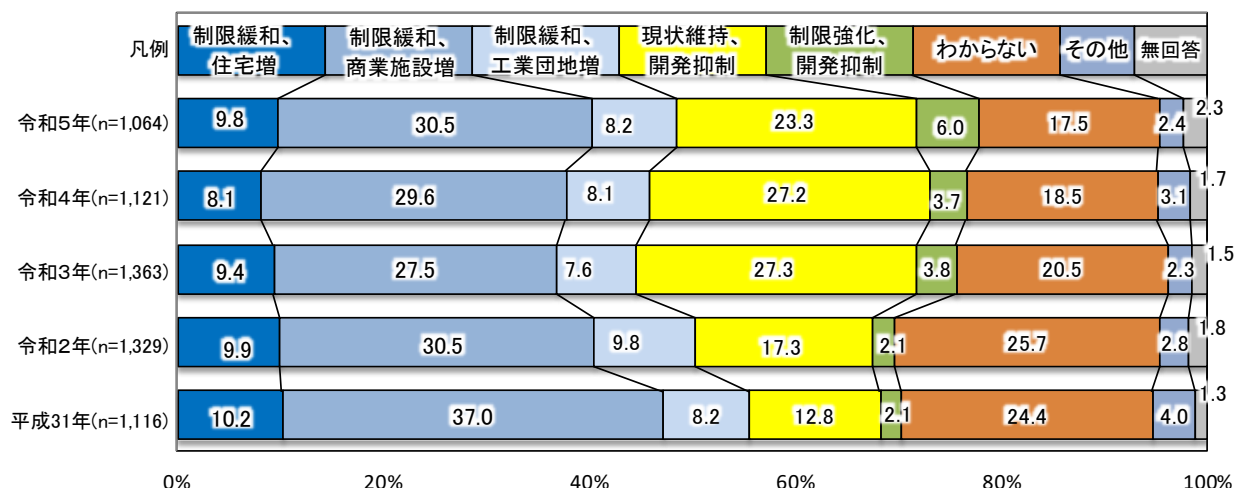
1. 土地利用について（問58）

合志市の南側の住宅からなる市街地を除き、北側に広がる農地や山林を含む古くからの 既存集落地域では、原則的に土地利用が制限されています。今後の本市の発展に必要な対策はどのようなものと思われますか。

今後の市の発展のための土地利用対策については、「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が 30.5%で最も高く、次いで「現状と同様の制限により、開発を抑制する」が 23.3%となっている。

現状の制限を緩和すべきと考える人（「制限を緩和し、住宅を増やす」＋「制限を緩和し、商業施設を増やす」＋「制限を緩和し工業団地を増やす」）は 48.5%となっており、現状の制限を維持すべきと考える人は 23.3%、制限を強化すべきと考える人は 6.0%となっている。

前年度と比較して、制限を緩和すべきと考える人の割合は 2.7 ポイントと微増、現状の制限を維持すべきと考える人の割合は 3.9 ポイントとやや減少している。

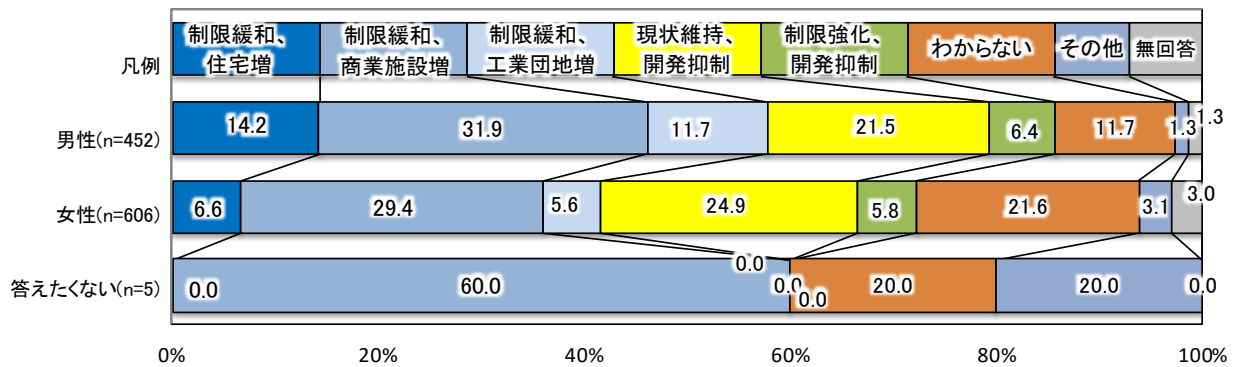


	令和5年度		令和4年度		令和3年度		令和2年度		平成31年度	
	人	%	人	%	人	%	人	%	人	%
1 制限緩和、開発誘導し住宅を増やす	104	9.8	91	8.1	128	9.4	132	9.9	114	10.2
2 制限緩和、開発誘導し商業施設を増やす	325	30.5	332	29.6	375	27.5	406	30.5	413	37.0
3 制限緩和、開発誘導し工業団地を増やす	87	8.2	91	8.1	104	7.6	130	9.8	92	8.2
4 現状の制限にて、開発抑制し農地や山林を守る	248	23.3	305	27.2	372	27.3	230	17.3	143	12.8
5 制限強化、開発抑制し農地や山林を守る	64	6.0	41	3.7	52	3.8	28	2.1	23	2.1
6 わからない	186	17.5	207	18.5	280	20.5	342	25.7	272	24.4
7 その他	26	2.4	35	3.1	32	2.3	37	2.8	45	4.0
8 無回答	24	2.3	19	1.7	20	1.5	24	1.8	14	1.3
合計	1,064	100.0	1,121	100.0	1,363	100.0	1,329	100.0	1,116	100.0

その他の記述内容	件数
道路整備してほしい	9
積極的に開発を誘導しつつ自然も守る	3
需要と供給のバランスが必要。住宅も商業施設、会社も増やすことが必要	2
学校の建て替えなど教育面の充実を	2
地下水を守ってほしい	1
開発することで住みにくなるのであれば困る。おいしい食材が穫れる合志も魅力的	1
開発をするのなら、一戸あたりの面積を大きくして広々とした豊かな感じを残して欲しい	1
開発の前に現状を良くしてほしい	1
区や組で検討する場があっていいと思う	1
当該地域に住む人々の意向次第	1
昔から居る住人をもう少し大切にしてほしい	1

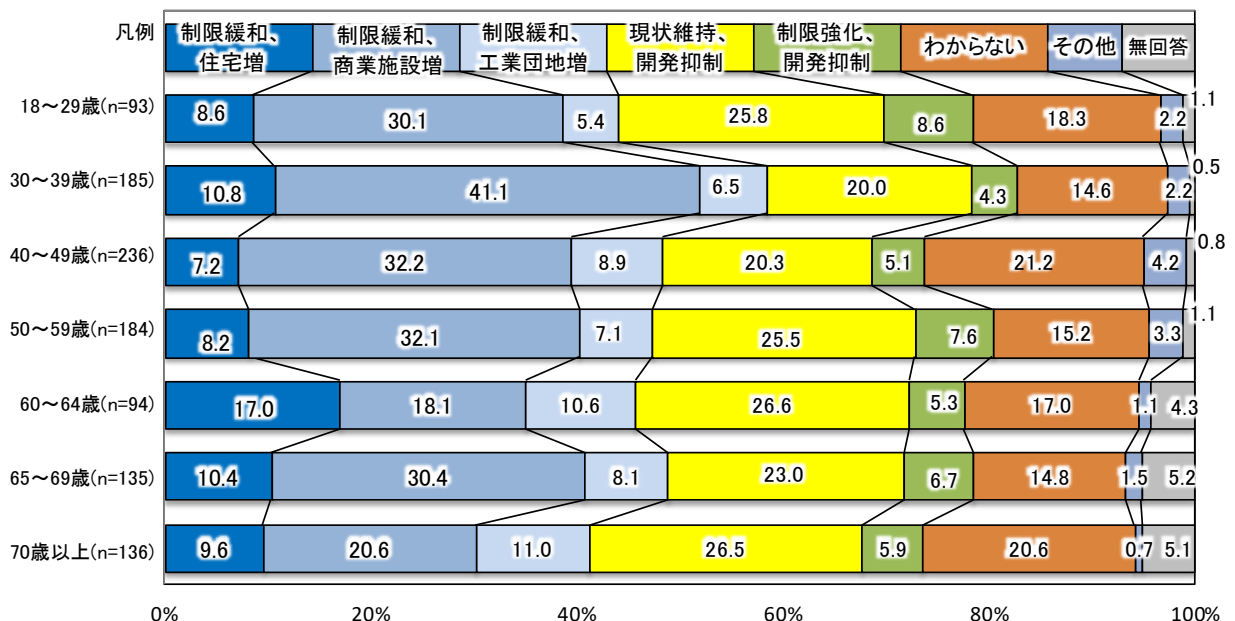
【性別】

- 制限を緩和すべきと考える人の割合は、男性 57.8%、女性 41.6%となっており、男性が女性を上回っている。
- 「わからない」の割合においては、女性が男性を 9.9 ポイント上回っている。



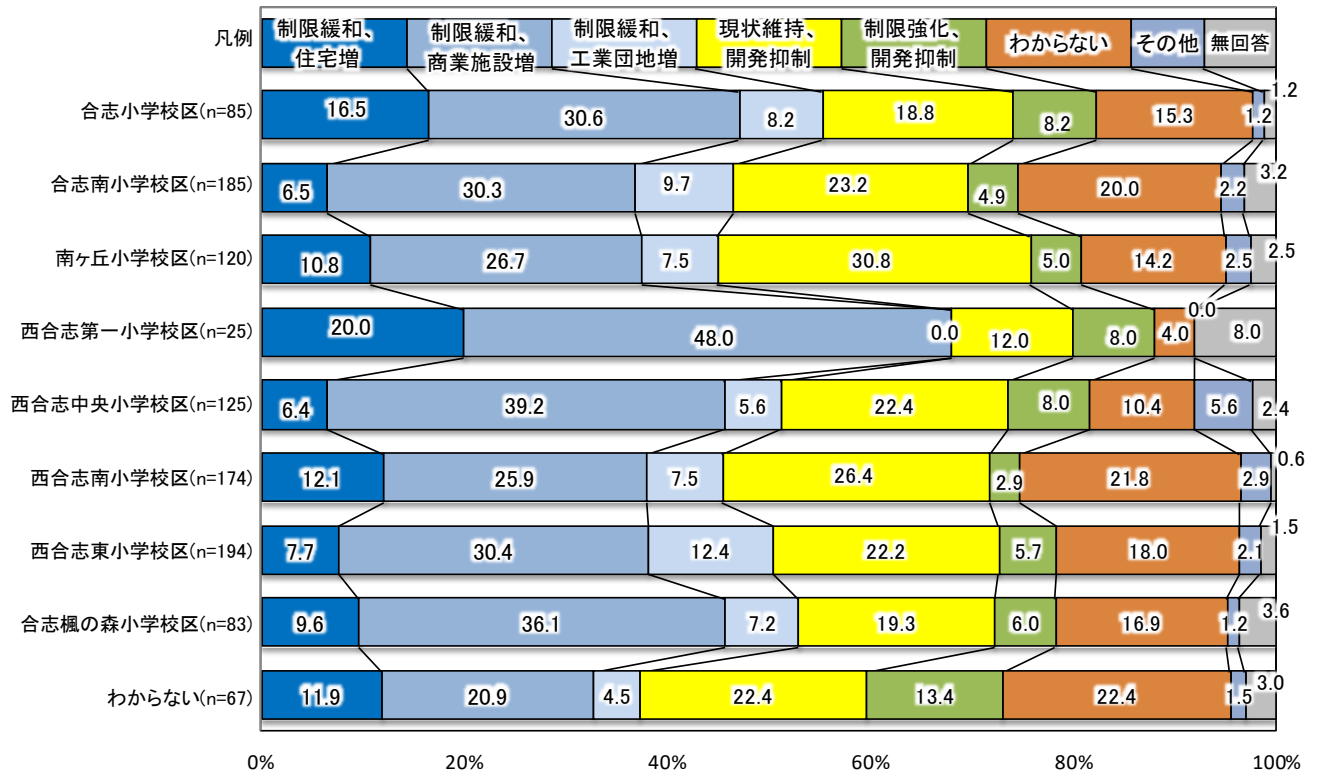
【年齢別】

- 制限を緩和すべきと考える人の割合は、30代の58.4%が最も高く、現状維持・開発抑制は60～64歳の26.6%、70歳以上の26.5%が高くなっている。



【校区】

- 合志小、合志南小、西合志第一小、西合志中央小、西合志東小、合志楓の森小学校では「制限を緩和し、積極的に開発を誘導し、商業施設を増やす」が3~4割台となっている。
- 南ヶ丘小では「現状と同様の制限により、開発を抑制し、農林や山地を守る」が3割台で高くなっている。
- 制限を緩和すべきと考える人の割合が最も高いのは、西合志第一小の68.0%となっている。

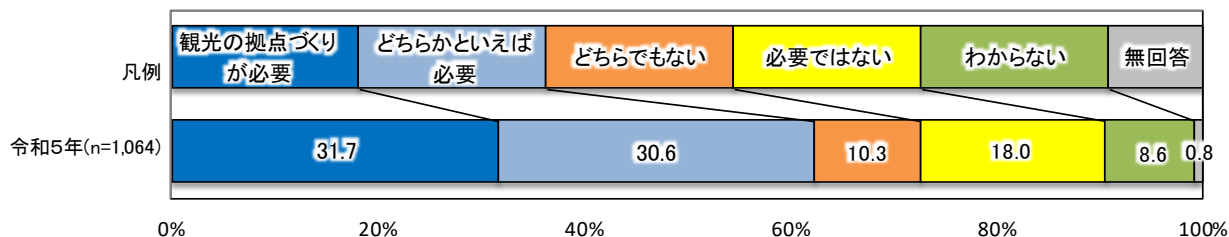


※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要

2. 観光の拠点づくりについて（問59）

本市は、TSMCの進出に伴う働く場の創出や、中九州横断道路の着手による交通網の整備により、今後、人の流入が期待されております。そのような中で、観光の拠点づくりが必要だと考えておりますが、これについてあなたはどのように思いますか。

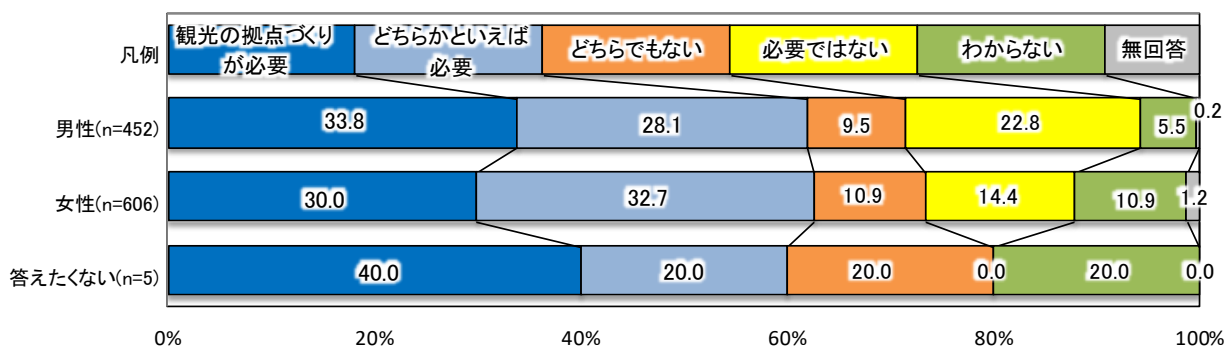
観光の拠点づくりが必要（「観光の拠点づくりが必要」+「どちらかといえば必要」）と回答した人の割合は62.3%、必要ではないと回答した人の割合は18.0%となっている。「どちらでもない」10.3%、「わからない」8.6%となっている。



	令和5年度	
	人	%
1 観光の拠点づくりが必要	337	31.7
2 どちらかといえば必要	326	30.6
3 どちらでもない	110	10.3
4 必要ではない	191	18.0
5 わからない	92	8.6
6 無回答	8	0.8
合計	1,064	100.0

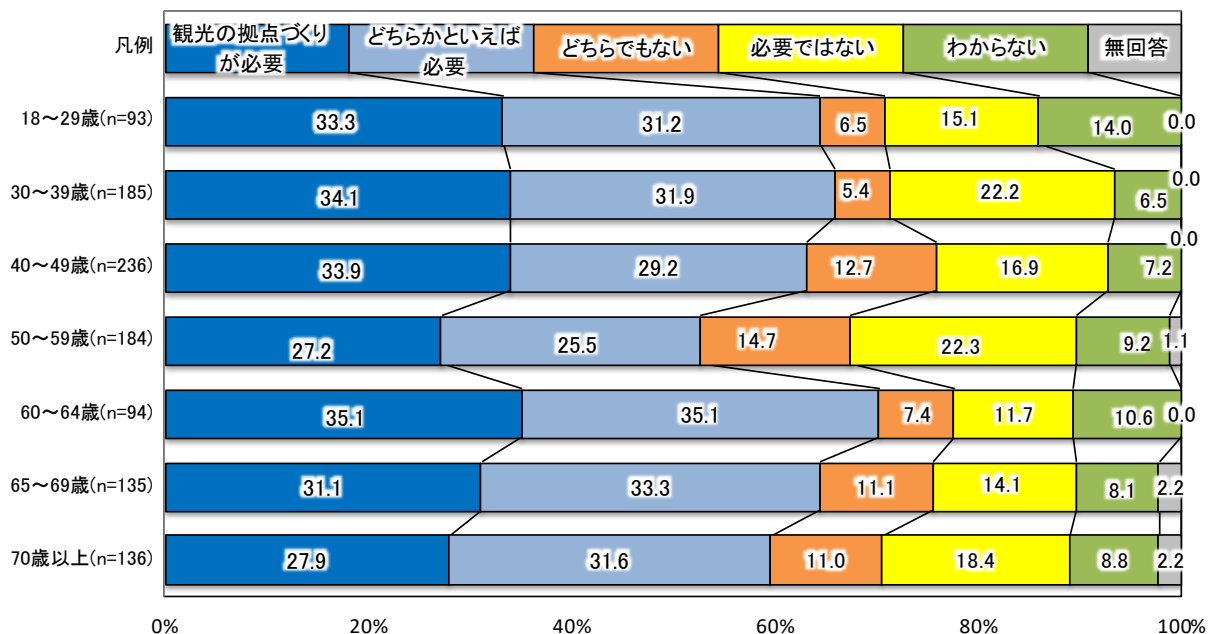
【性別】

- 「必要ではない」の割合は、男性22.8%、女性14.4%となっており、男性が女性を上回っている。
- 「わからない」の割合においては、女性が男性を5.4ポイント上回っている。



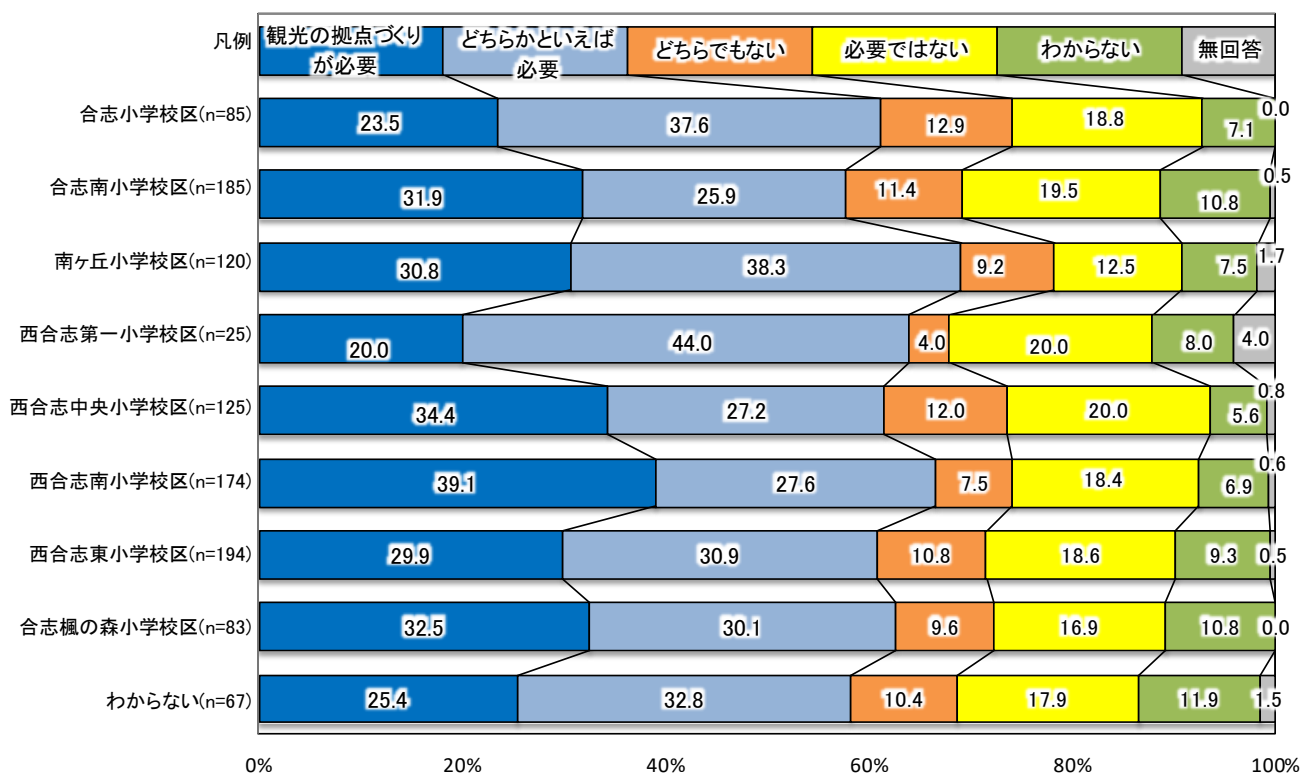
【年齢別】

●60～64歳では観光の拠点づくりが必要（「観光の拠点づくりが必要」+「どちらかといえば必要」）が7割台で最も高くなっている。これに対し、50代は観光の拠点づくりが必要が5割台で最も低く、「必要ではない」の割合が他の年代よりも高くなっている。



【校区】

●観光の拠点づくりが必要が最も高くなっているのは、南ヶ丘小の69.1%で、これに西合志南小の66.7%が続く。



※西合志第一小は回答者数が他よりも少ないので注意が必要